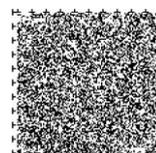
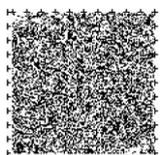


第8回久留米市
男女平等に関する市民意識調査
報告書

令和2年3月

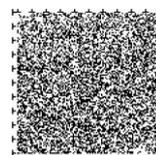
久留米市

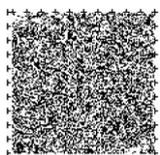




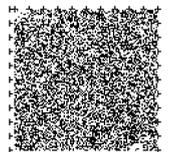
目次

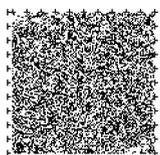
I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果の分析	2
第1章	男女平等に関する考え方について	2
第2章	子育て、教育について	14
第3章	仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関することがらについて	16
第4章	仕事について	35
第5章	社会活動などへの参加・参画について	39
第6章	人権侵害について	63
第7章	セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）について	84
第8章	男女平等、男女共同参画などに関することについて	86
	回答者属性	97
III	総括と今後の展望	102
IV	集計表	113
V	調査票	179





I 調査の概要





I 調査の概要

1 調査の目的

市民の男女平等に関する意識と実態を把握し、第4次久留米市男女共同参画行動計画及び第3次DV対策基本計画策定の基礎資料とする。

2 調査対象

久留米市在住の18歳以上の男女を無作為抽出

3 調査期間

令和元年7月19日から令和元年8月6日

4 調査方法

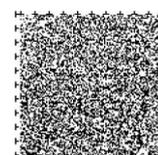
郵送による配布・回収

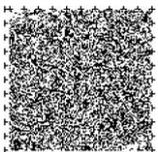
5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,114通	37.1%

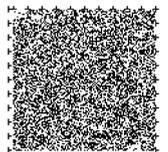
6 調査結果の表示方法

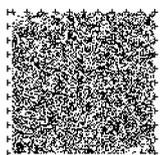
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。



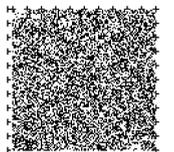


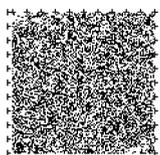
Ⅱ 調査結果の分析





第1章 男女平等に関する考え方 について





II 調査結果の分析

第1章 男女平等に関する考え方について

問1. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどのように思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「同感する」と「ある程度同感する」を合わせた“同感する”の割合が31.2%、「あまり同感しない」と「同感しない」を合わせた“同感しない”の割合が66.1%となっています。

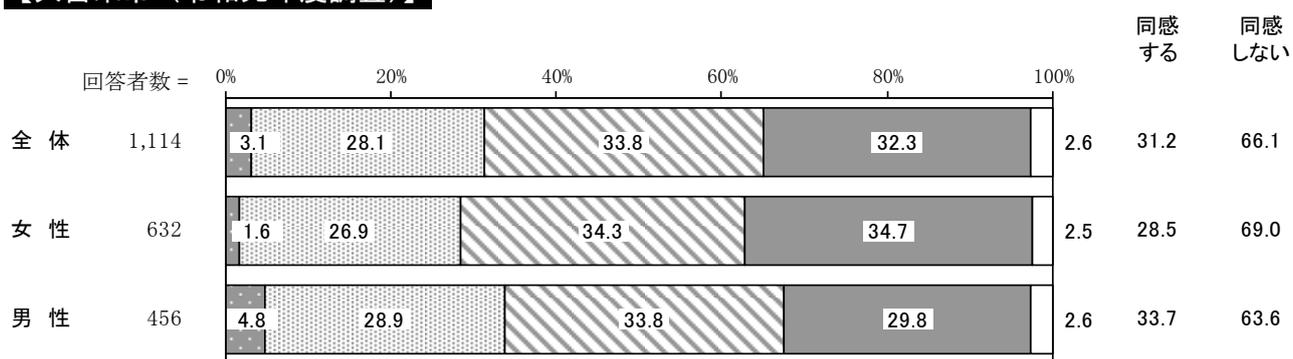
性別でみると、男性に比べ、女性で“同感しない”の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、男性の70歳以上で「同感する」の割合が43.1%、女性の10・20歳代で「同感しない」の割合が77.8%と高くなっています。

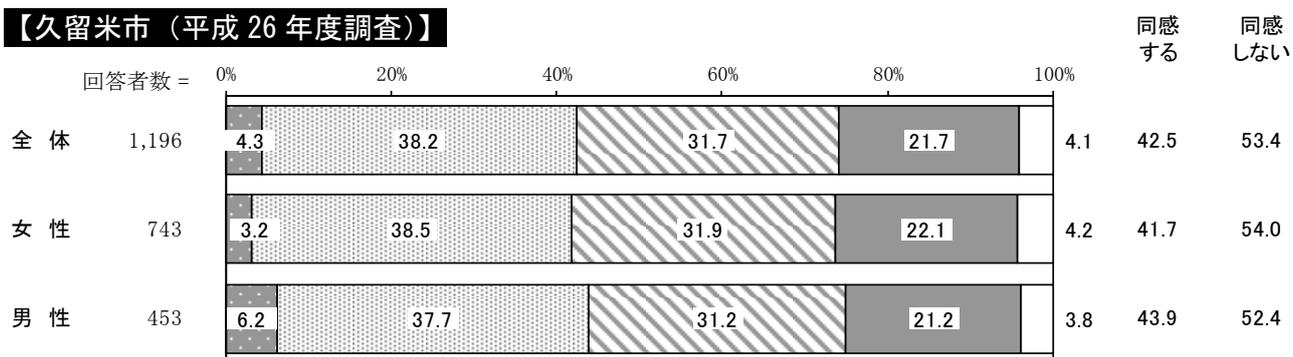
平成26年度調査と比較すると、平成26年度調査に比べ、男女とも“同感する”の割合が減少し、“同感しない”の割合が増加しています。

国調査との比較は、選択肢が異なるものの、国に比べ“同感しない”の割合が高くなっています。

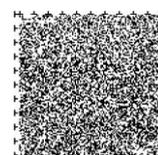
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】

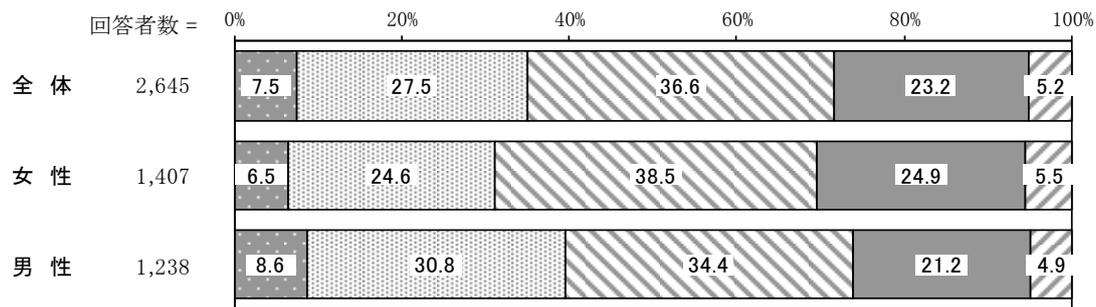


■ 同感する □ ある程度同感する ▨ あまり同感しない ■ 同感しない □ 無回答

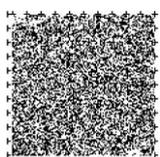


【国（令和元年度調査）】

同感する 同感しない



- 同感する
- ある程度同感する
- あまり同感しない
- 同感しない
- わからない
- 無回答



問2. あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (ア) から (ク) のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び
 ○印をつけてください。

※ “女性の方が優遇されている” : 「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」をあわせたもの
 “男性の方が優遇されている” : 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と「男性の方が優遇されている」をあわせたもの

(ア) 家庭生活では

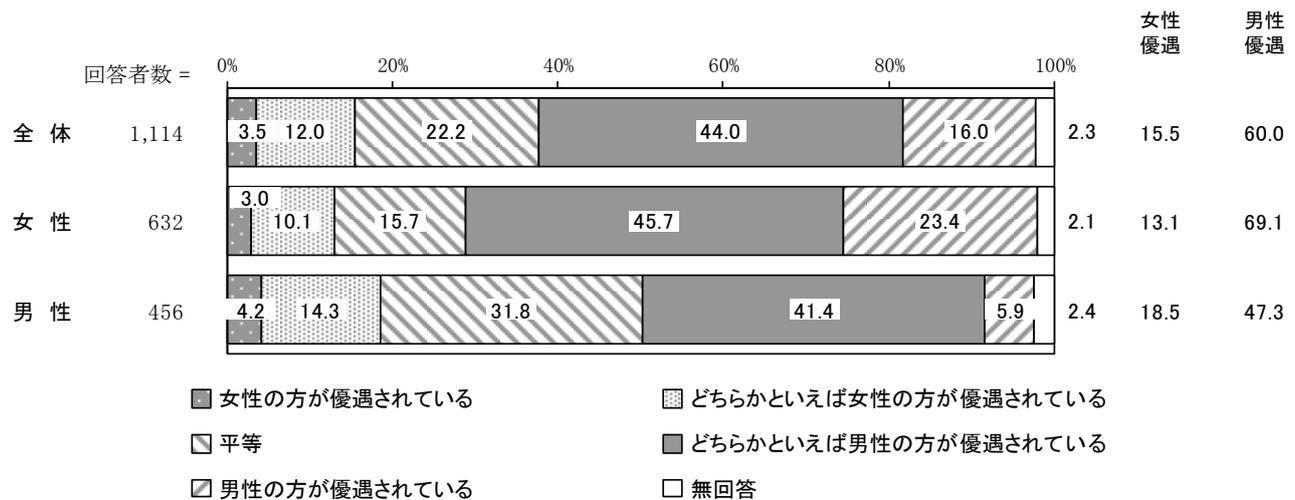
“女性の方が優遇されている”の割合が15.5%、「平等」の割合が22.2%、“男性の方が優遇されている”の割合が60.0%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

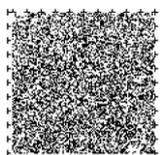
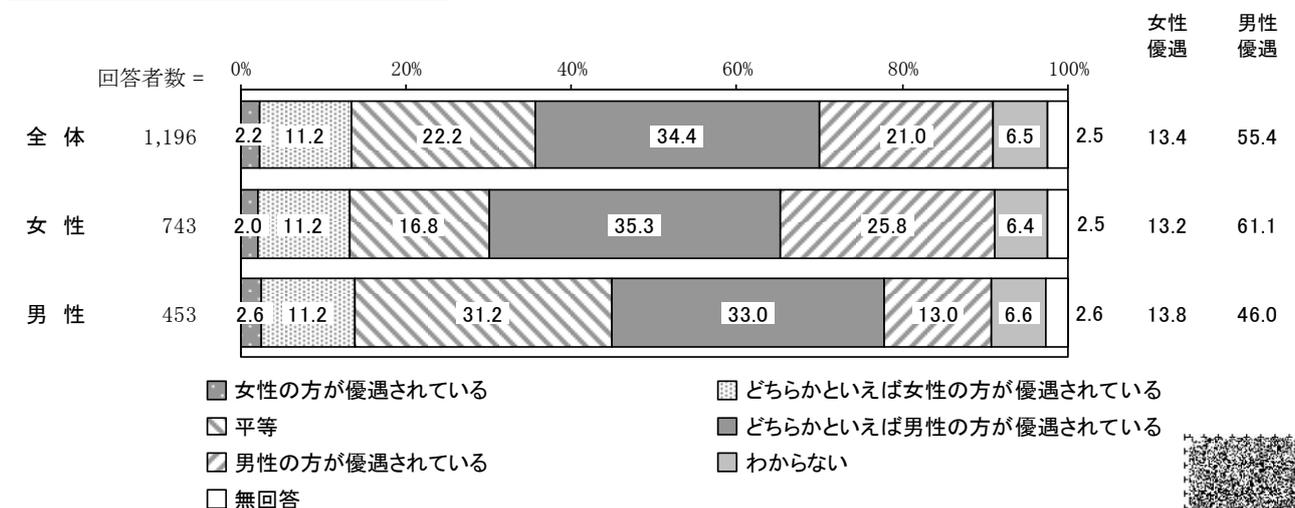
平成26年度調査と比較すると、選択肢が異なるものの、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が“増加しています”。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、国に比べ、男女とも「平等」の割合がたいへん低くなっています。

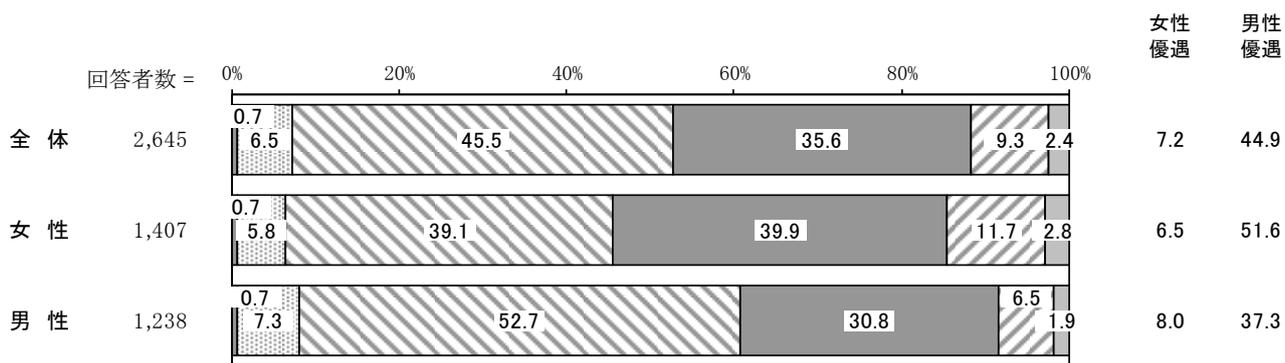
【久留米市（令和元年度調査）】



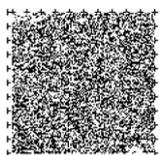
【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



- 女性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 男性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答



(イ) 職場では

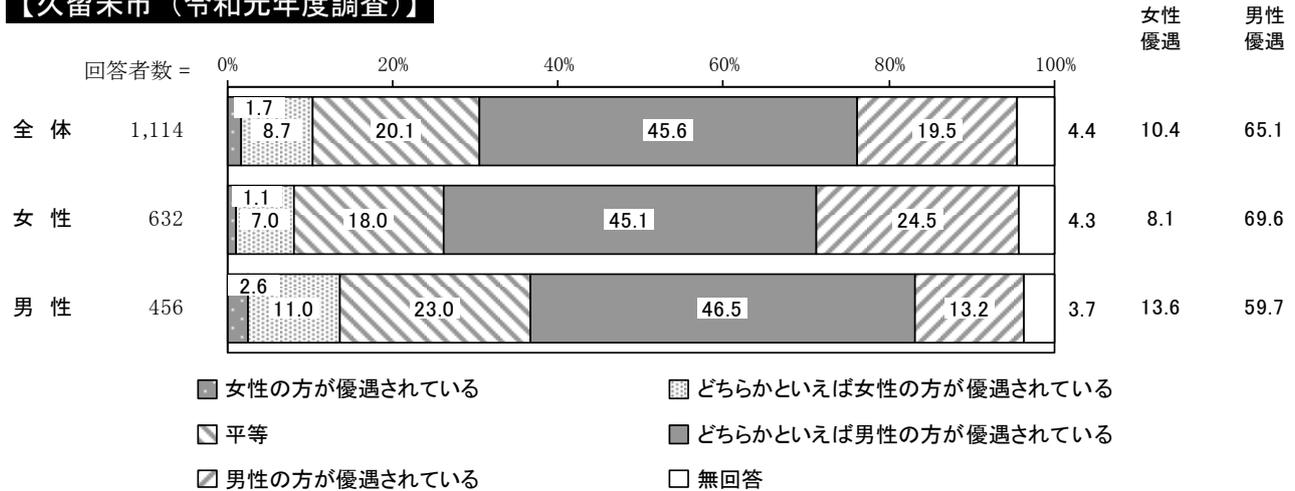
“女性の方が優遇されている”の割合が10.4%、「平等」の割合が20.1%“男性の方が優遇されている”の割合が65.1%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

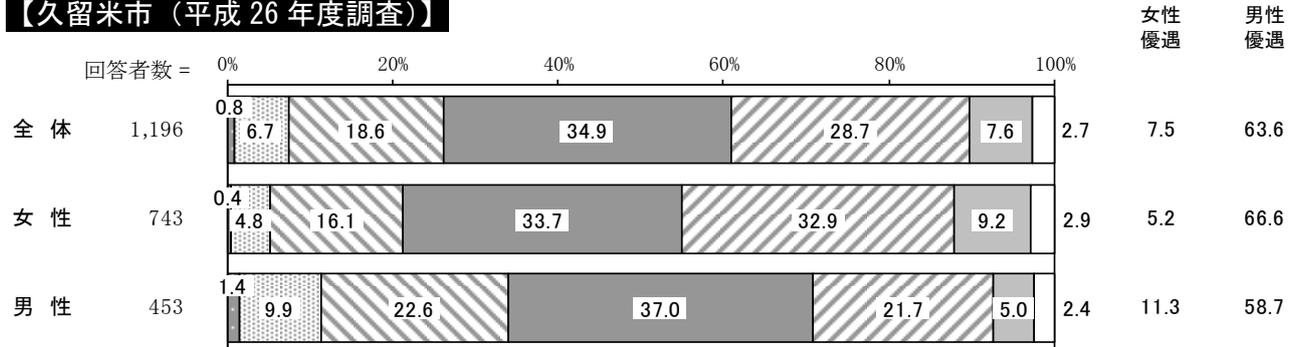
平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、国に比べ、男女とも“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

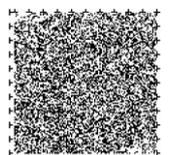
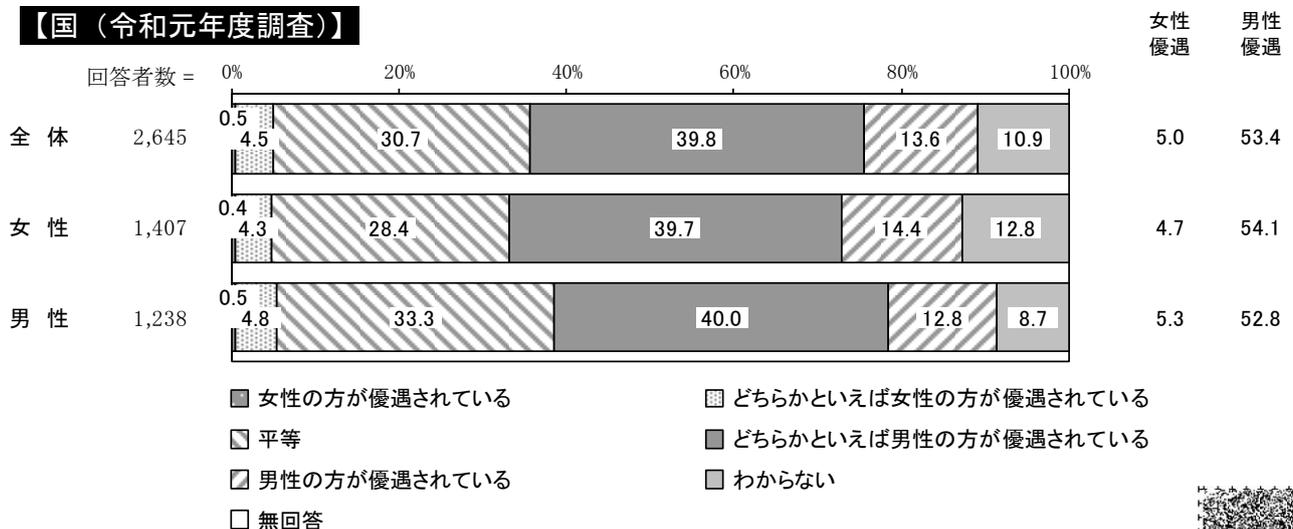
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



(ウ) 学校教育の場では

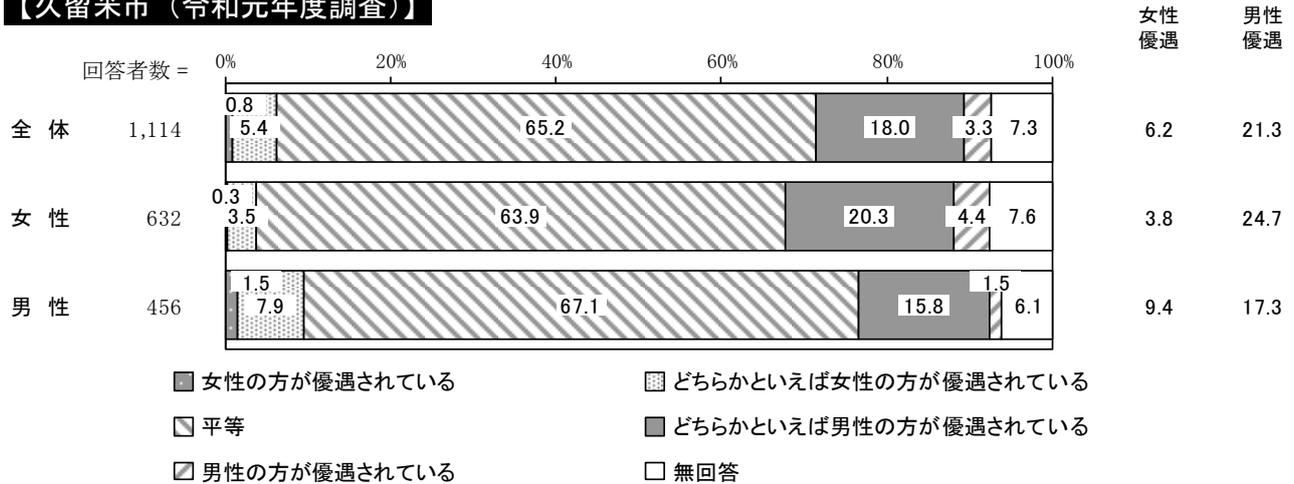
“女性の方が優遇されている”の割合が6.2%、「平等」の割合が65.2%、“男性の方が優遇されている”の割合が21.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

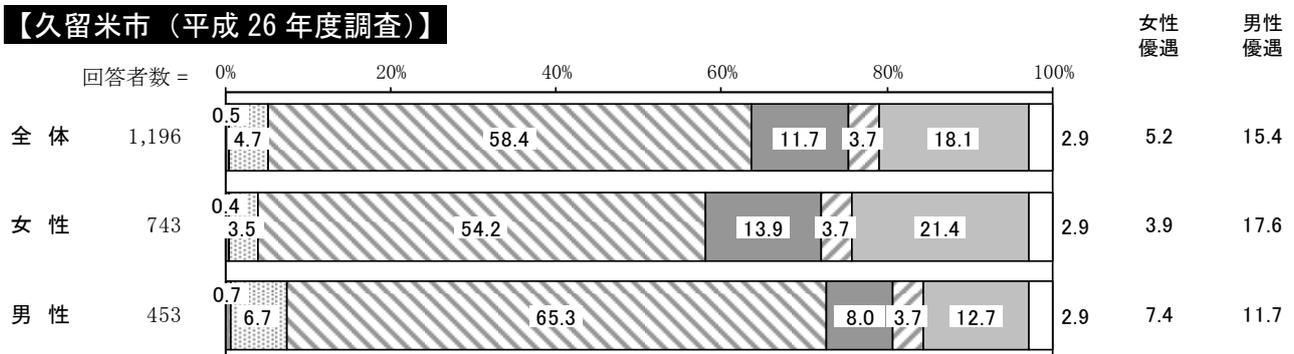
平成26年度調査と比較すると、男女とも「平等」の割合が増加しています。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、国に比べて、男女とも「平等」の割合が高くなっています。

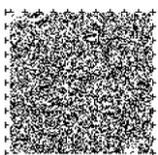
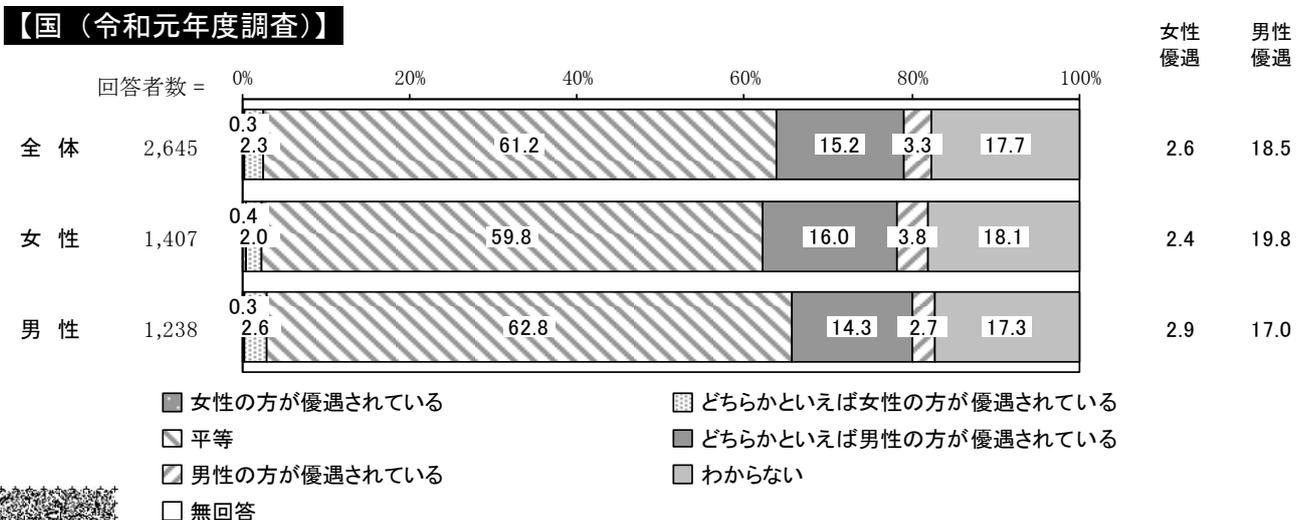
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



(エ) 地域活動・社会活動の場では

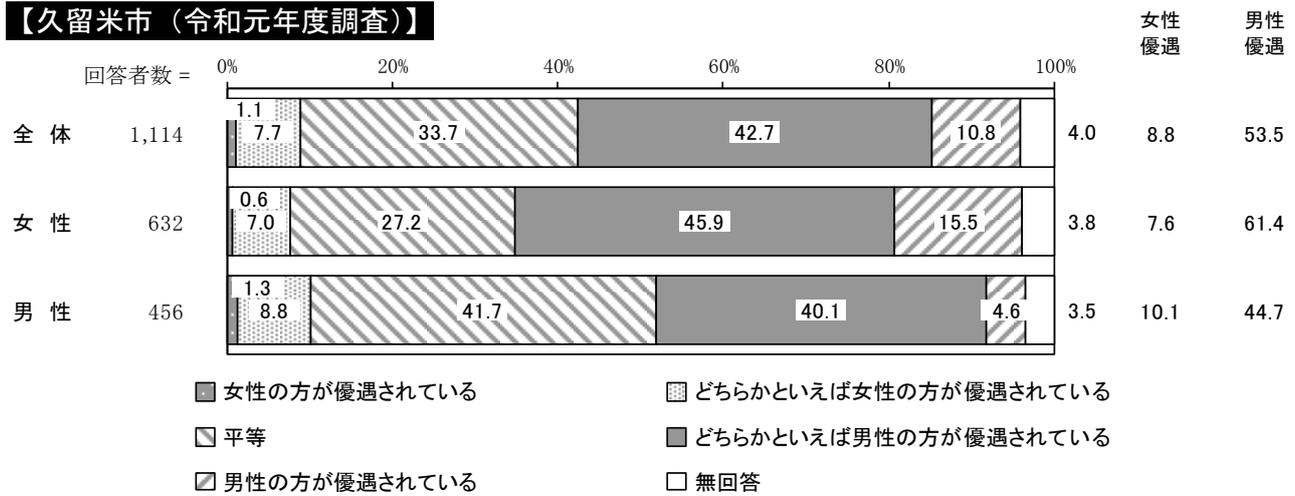
“女性の方が優遇されている”の割合が8.8%、「平等」の割合が33.7%、“男性の方が優遇されている”の割合が53.5%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「平等」の割合が高くなっています。

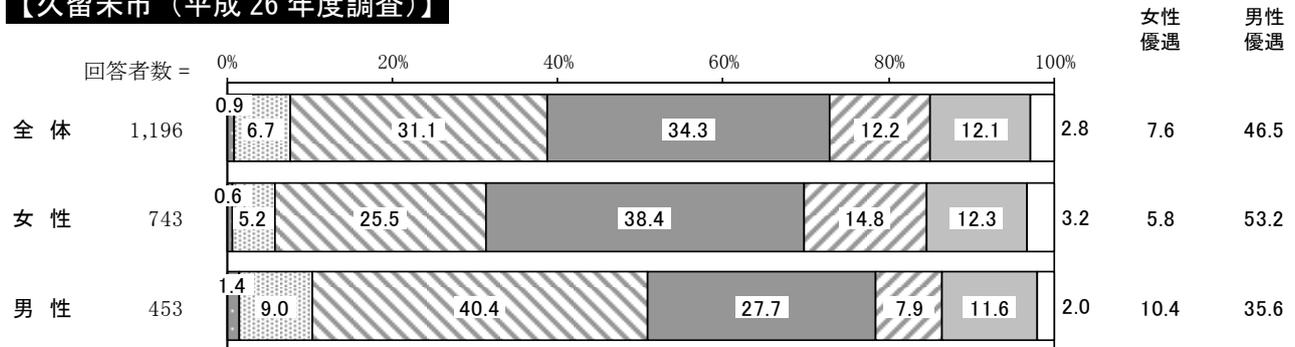
平成26年度調査と比較すると、男女とも“男性の方が優遇されている”の割合が増加しています。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、国に比べ、男女とも“男性の方が優遇されている”の割合が高く、「平等」の割合が低くなっています。

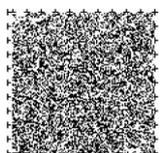
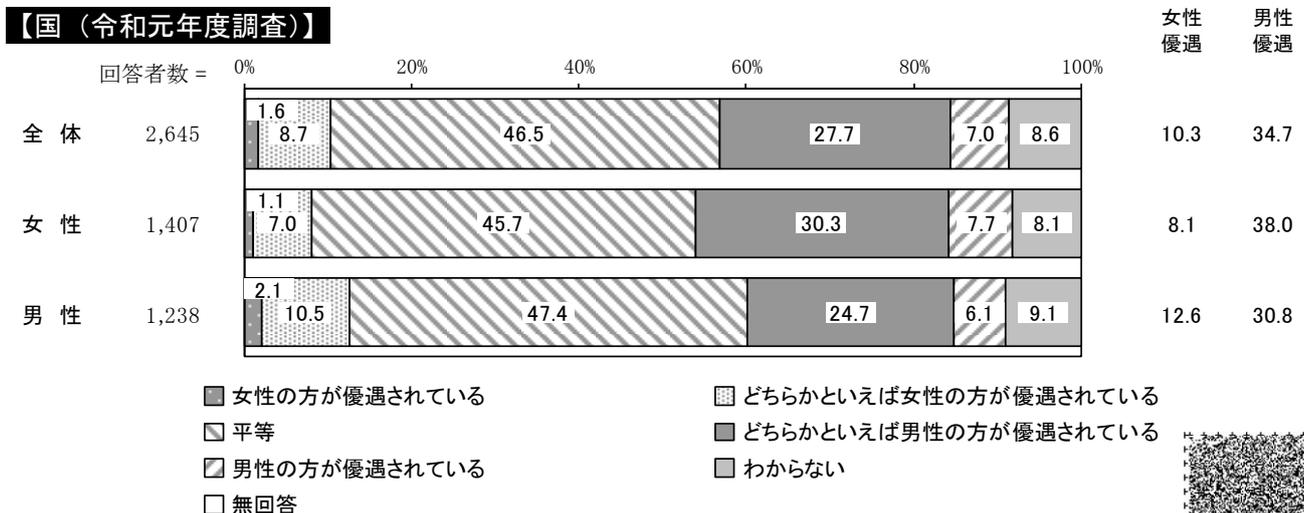
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



(オ) 政治の場では

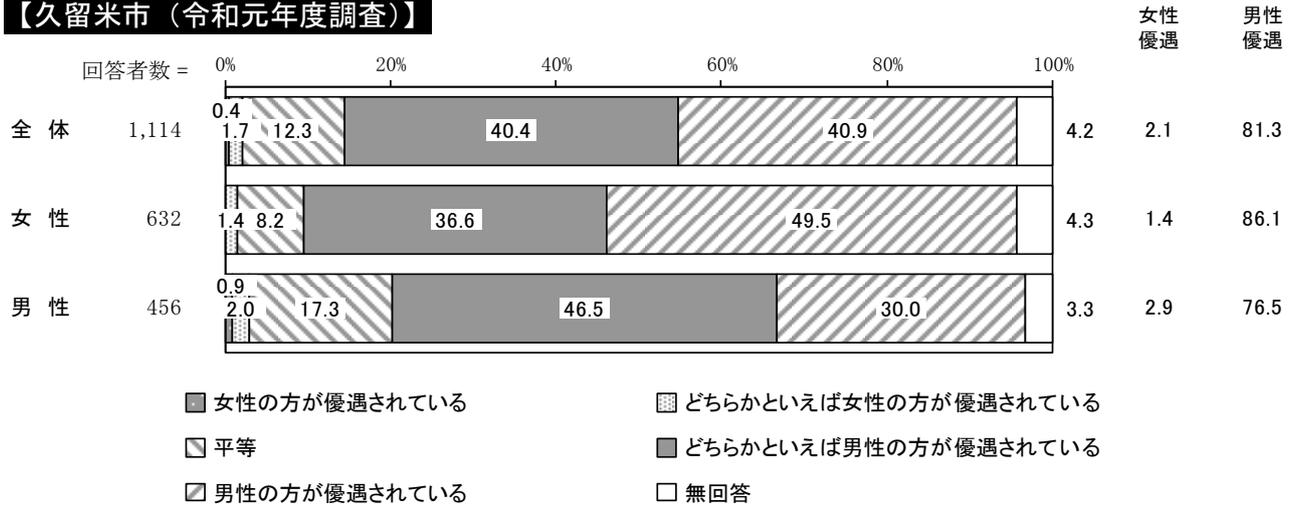
“女性の方が優遇されている”の割合が2.1%、「平等」の割合が12.3%、“男性の方が優遇されている”の割合が81.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「平等」の割合が高くなっています。

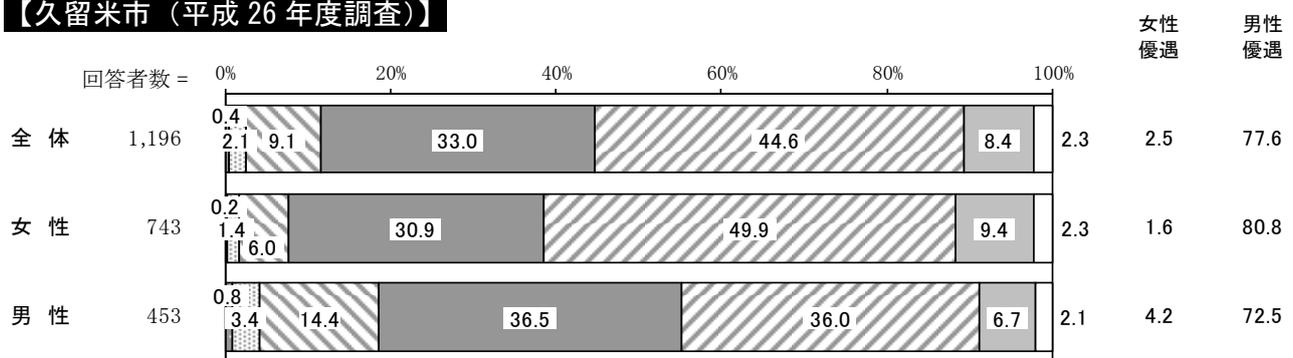
平成26年度調査と比較すると、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が増加しています。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、大きな差異はみられません。

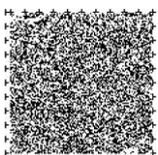
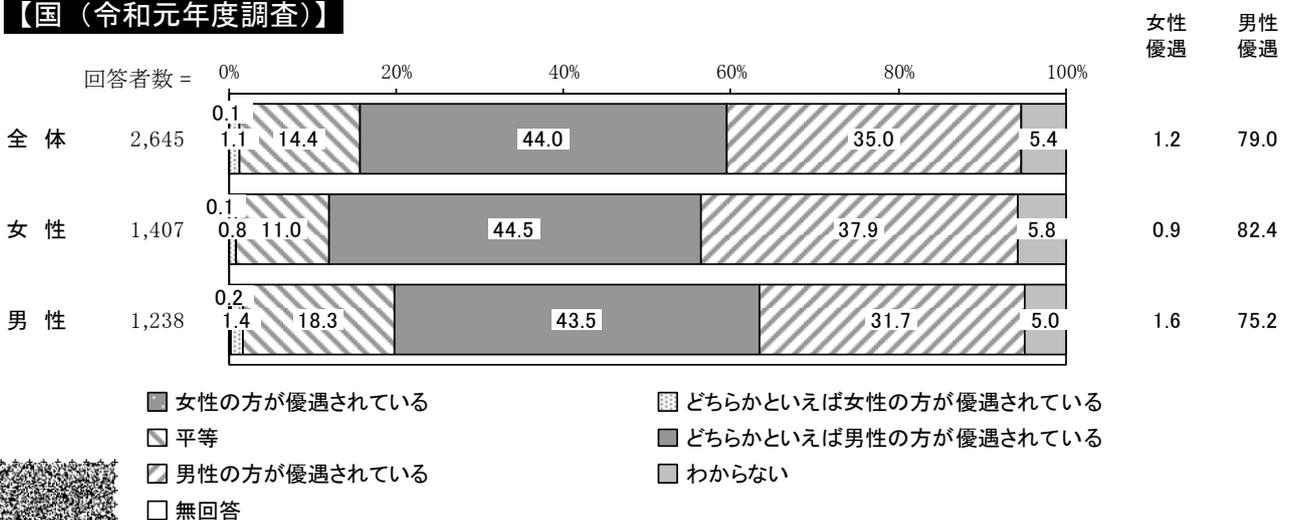
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



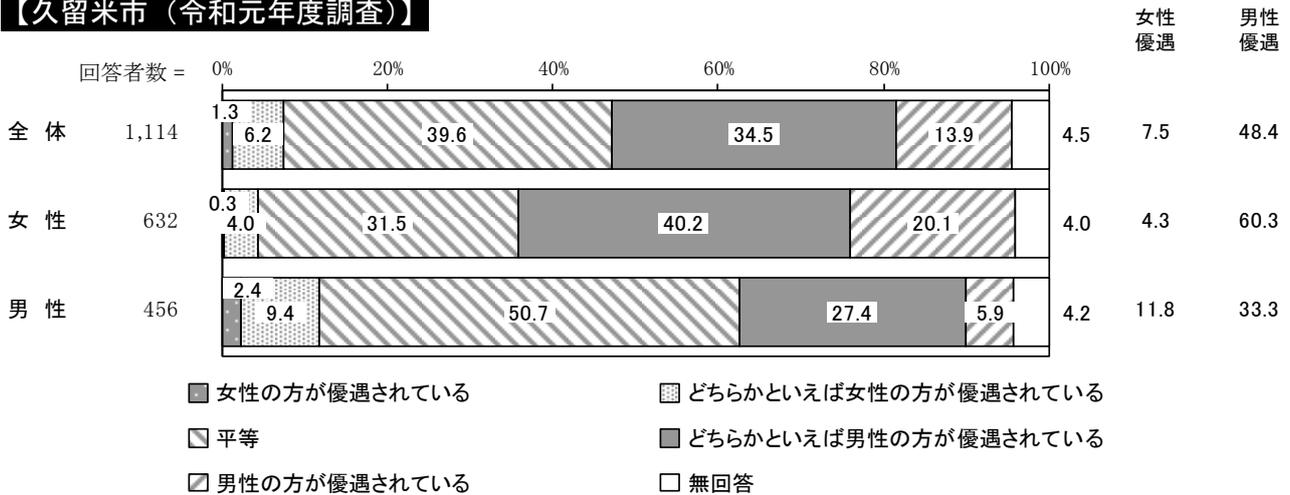
(カ) 法律や制度のうえでは

“女性の方が優遇されている”の割合が7.5%、「平等」の割合が39.6%、“男性の方が優遇されている”の割合が48.4%となっています。

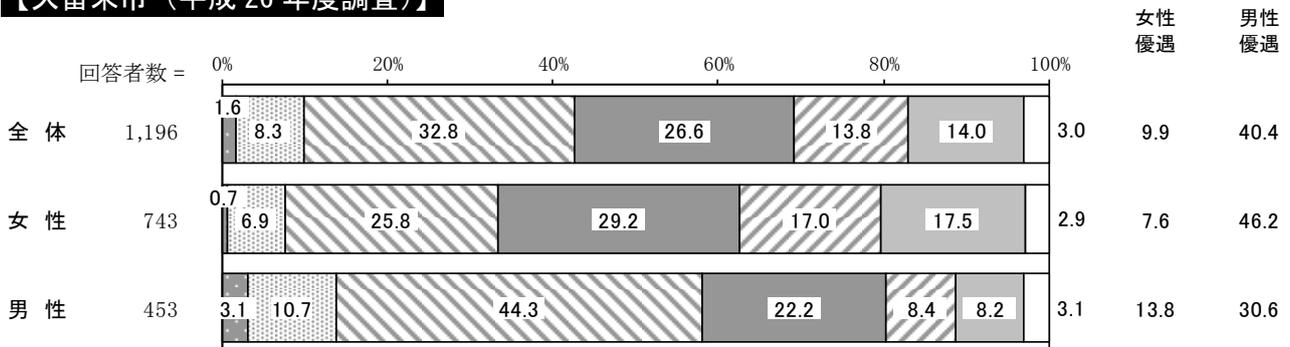
平成26年度調査と比較すると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「平等」の割合が高くなっています。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、国に比べ、男性で“男性の方が優遇されている”の割合が低くなっています。

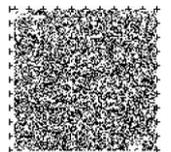
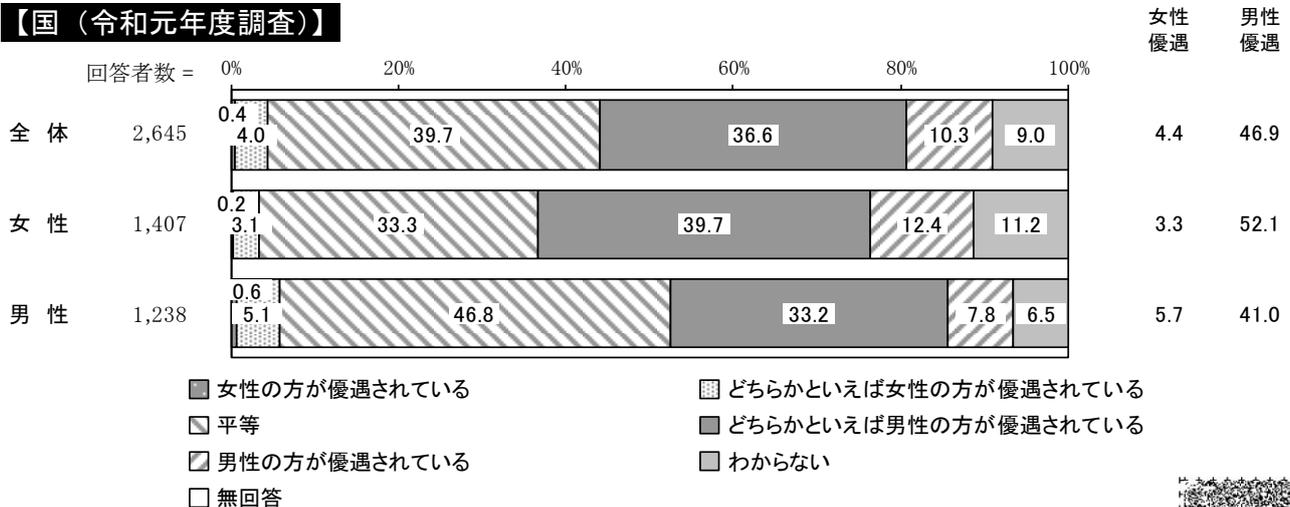
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



(キ) 社会の慣習・しきたりなどでは

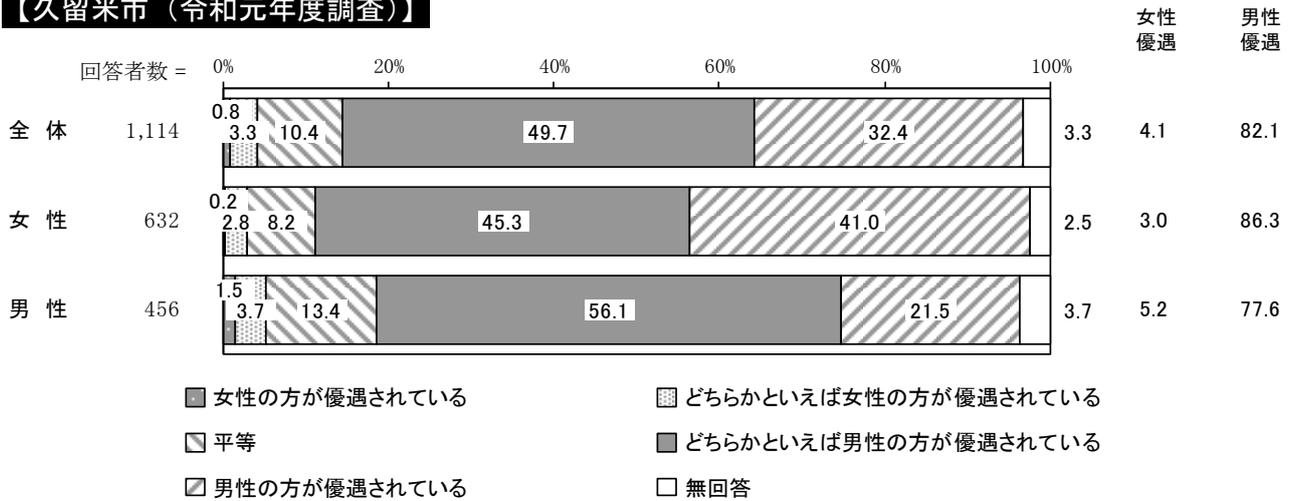
“女性の方が優遇されている”の割合が4.1%、「平等」の割合が10.4%、“男性の方が優遇されている”の割合が82.1%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「平等」の割合が高くなっています。

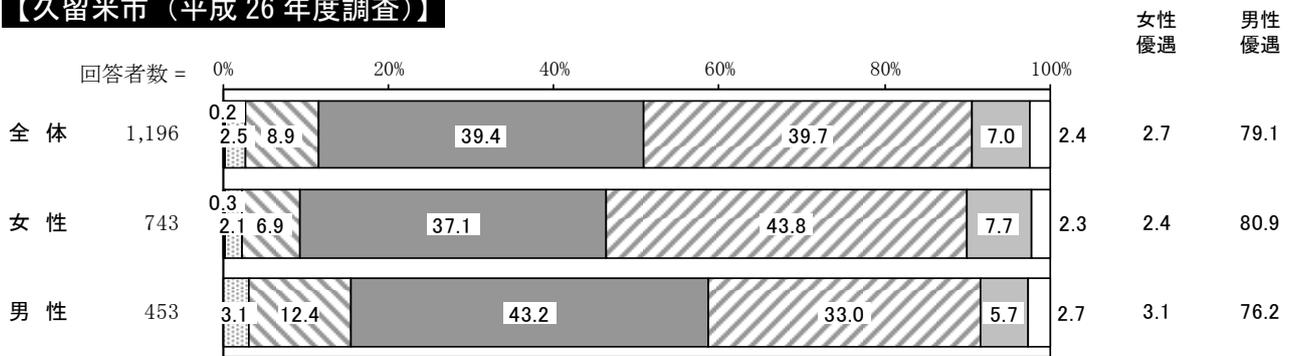
平成26年度調査と比較すると、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が増加しています。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、国に比べ、男女とも「平等」の割合が低く、“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

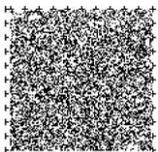
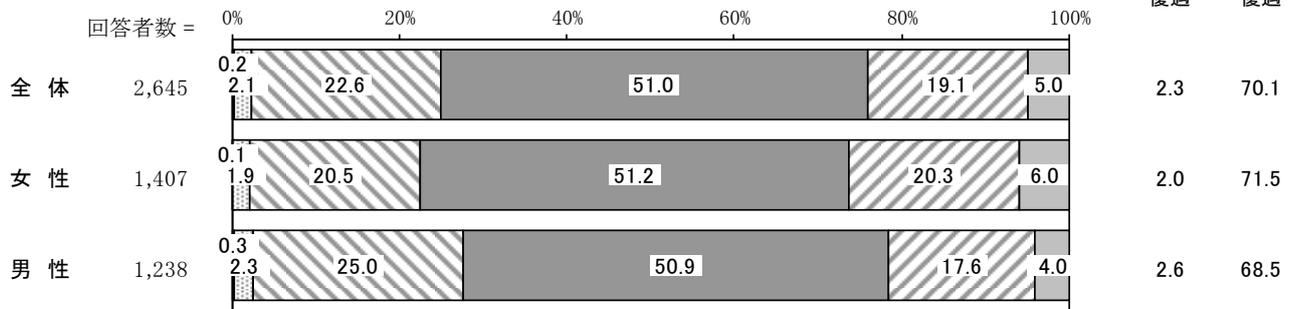
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



(ク) 社会全体では

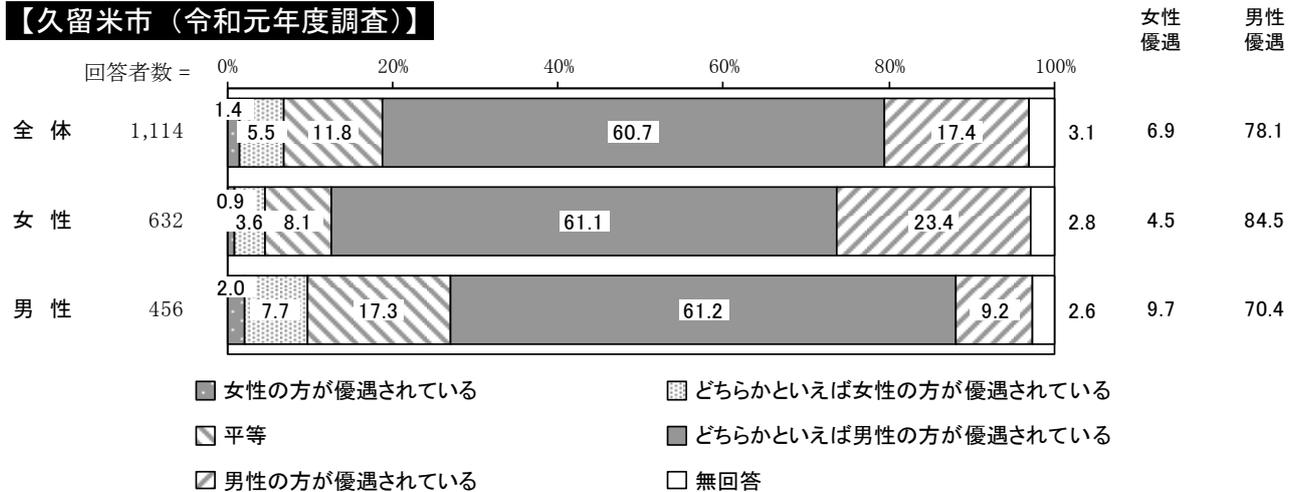
“女性の方が優遇されている”の割合が6.9%、「平等」の割合が11.8%、“男性の方が優遇されている”の割合が78.1%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で“女性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

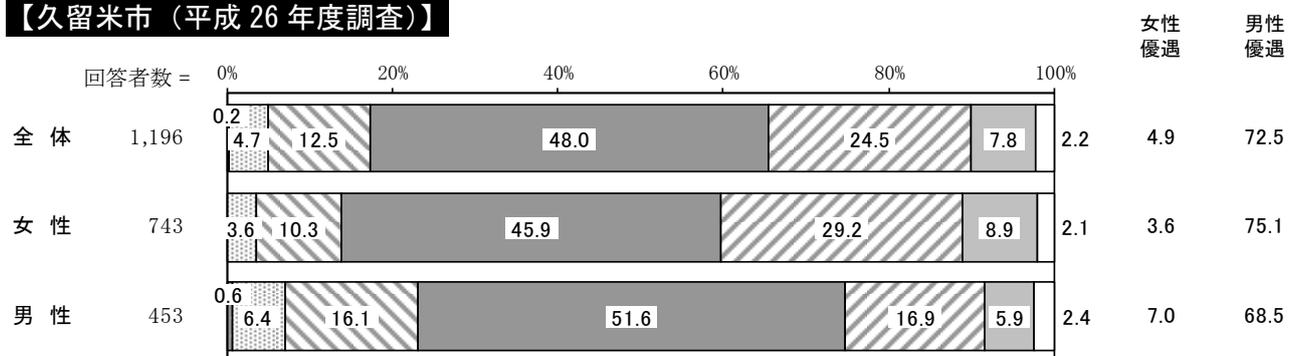
平成26年度調査と比較すると、全体、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が増加しています。

国調査と比較すると、選択肢が異なるものの、国に比べ、男女とも「平等」の割合が低くなっています。

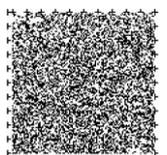
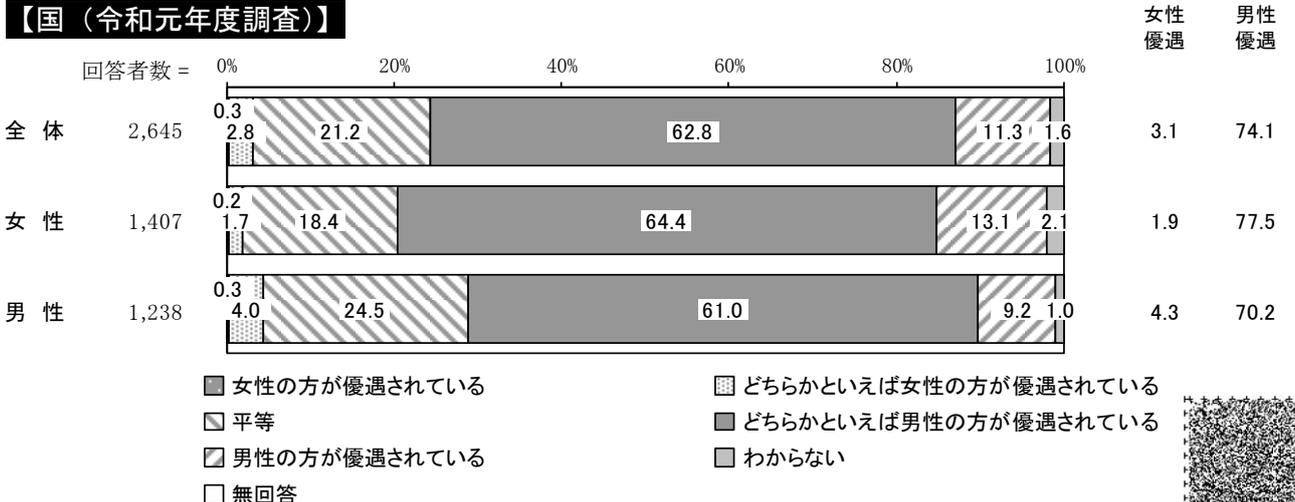
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



【国（令和元年度調査）】



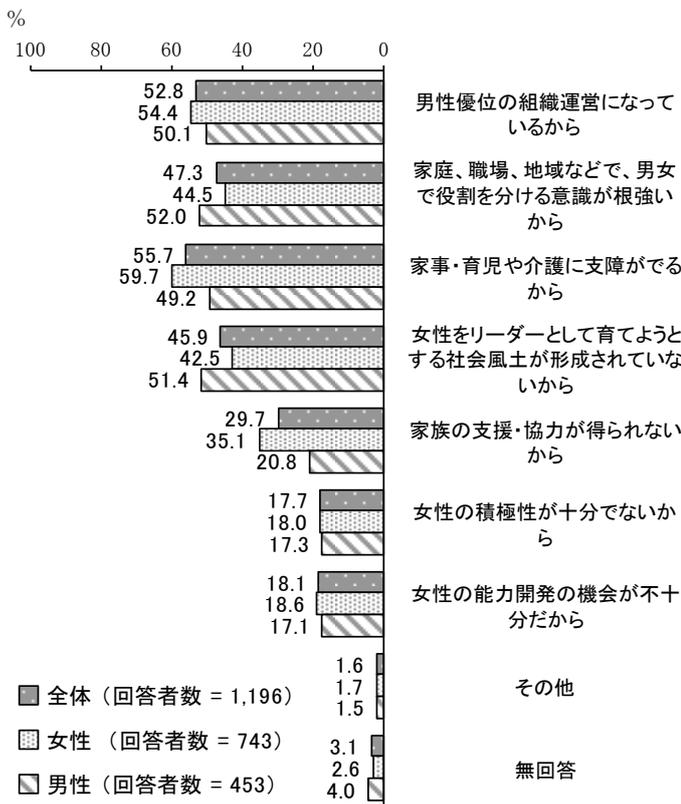
問3. 政治、行政、企業、地域などにおいて、政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由は何だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

「男性優位の組織運営になっているから」の割合が55.2%と最も高く、次いで「家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強いから」の割合が52.5%、「家事・育児や介護に支障がでるから」の割合が50.9%となっています。

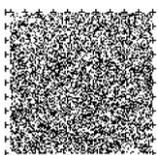
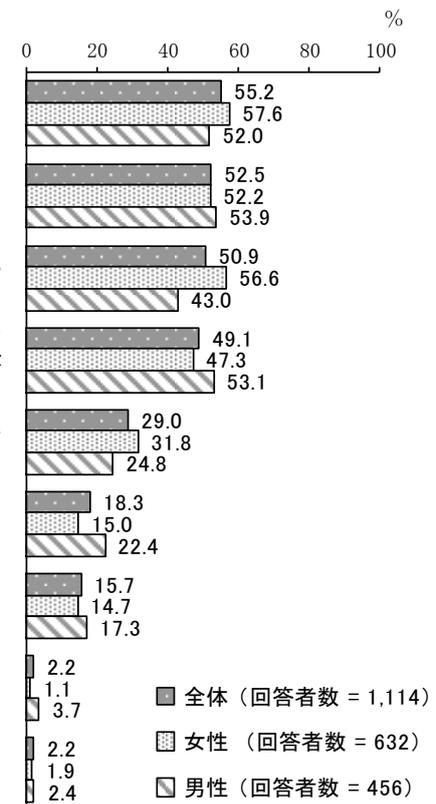
性別でみると、男性に比べ、女性で「男性優位の組織運営になっているから」「家事・育児や介護に支障がでるから」「家族の支援・協力が得られないから」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから」「女性の積極性が十分でないから」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強いから」の割合が、男性で「女性の積極性が十分でないから」の割合が増加しています。

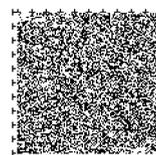
【久留米市（平成26年度調査）】

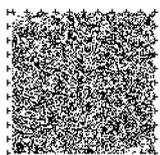


【久留米市（令和元年度調査）】



第2章 子育て、教育について





Ⅱ 調査結果の分析

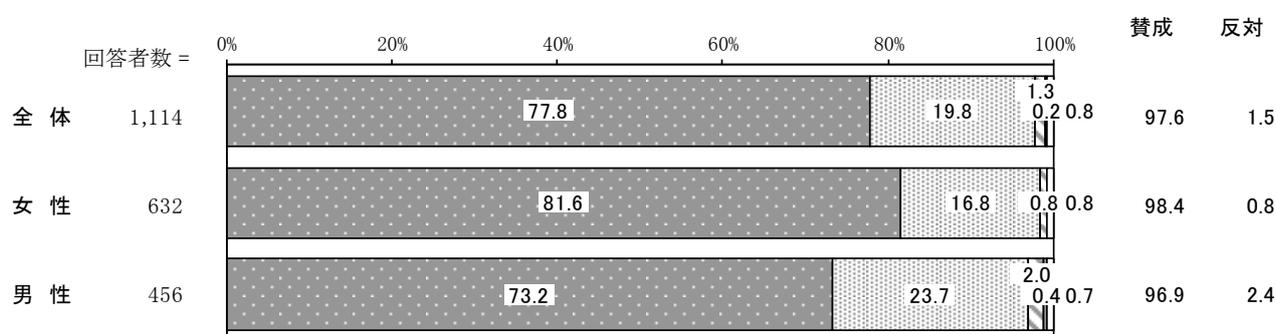
第2章 子育て、教育について

問4. あなたは、子どものしつけや教育についてどのような考え方をお持ちですか。次の(ア)、(イ)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び○印をつけてください。

(ア) 女の子も男の子も仕事を持ち、経済的に自立できるように育てる

「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた「賛成」の割合が97.6%、「どちらかと言えば反対」と「反対」を合わせた「反対」の割合が1.5%となっています。

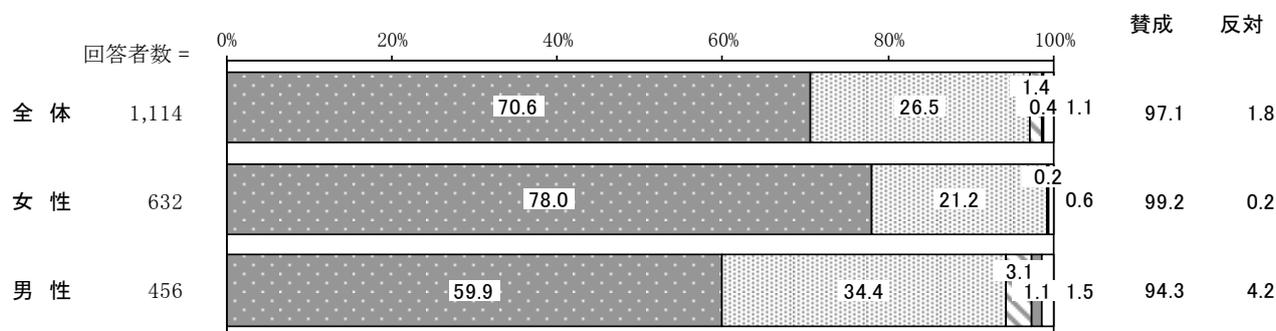
性別で見ると、男性に比べ、女性で「賛成」の割合が高くなっています。



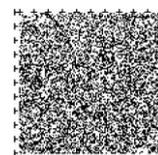
(イ) 女の子も男の子も炊事、掃除、洗濯など生活していくために必要な技術を身につけるように育てる

「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた「賛成」の割合が97.1%、「どちらかと言えば反対」と「反対」を合わせた「反対」の割合が1.8%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「賛成」の割合が高くなっています。



■ 賛成 ■ どちらかといえば賛成 ■ どちらかといえば反対 ■ 反対 □ 無回答



問5. これから、性別にかかわらず誰もが個性や能力を発揮できる社会にしていくために、あなたは、学校教育の場でどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

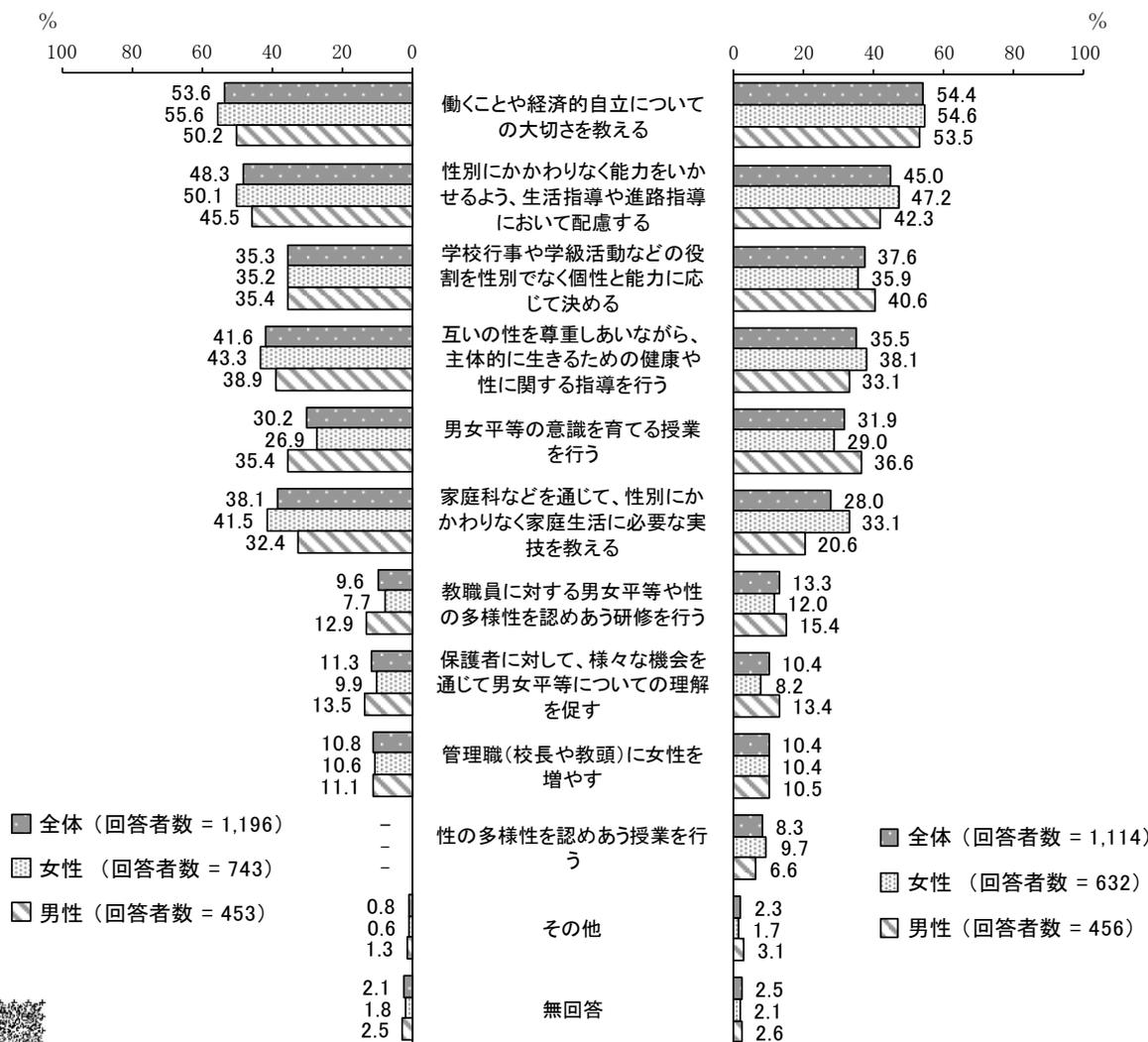
「働くことや経済的自立についての大切さを教える」の割合が54.4%と最も高く、次いで「性別にかかわらず能力をいかせるよう、生活指導や進路指導において配慮する」の割合が45.0%、「学校行事や学級活動などの役割を性別でなく個性と能力に応じて決める」の割合が37.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「互いの性を尊重しあいながら、主体的に生きるための健康や性に関する指導を行う」「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「男女平等の意識を育てる授業を行う」「保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等についての理解を促す」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男女とも「互いの性を尊重しあいながら、主体的に生きるための健康や性に関する指導を行う」「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」の割合が減少しています。

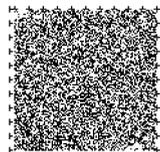
【久留米市（平成26年度調査）】

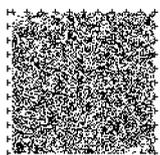
【久留米市（令和元年度調査）】



※「性の多様性を認めあう授業を行う」は令和元年度調査から新たに追加しました。

第3章 仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関する ことがらについて





第3章 仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関することごとらについて

問6. 【配偶者・パートナーと同居している方に】

あなたのご家庭では、次に上げるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。(ア)から(ケ)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

(ア) 生活費を得る

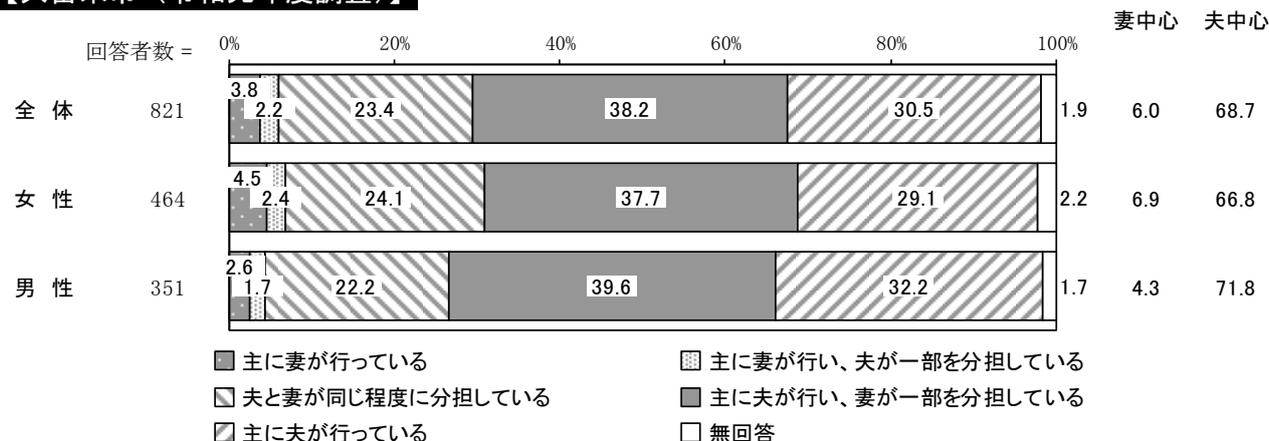
「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が38.2%と最も高く、次いで「主に夫が行っている」の割合が30.5%、「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が23.4%となっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

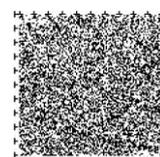
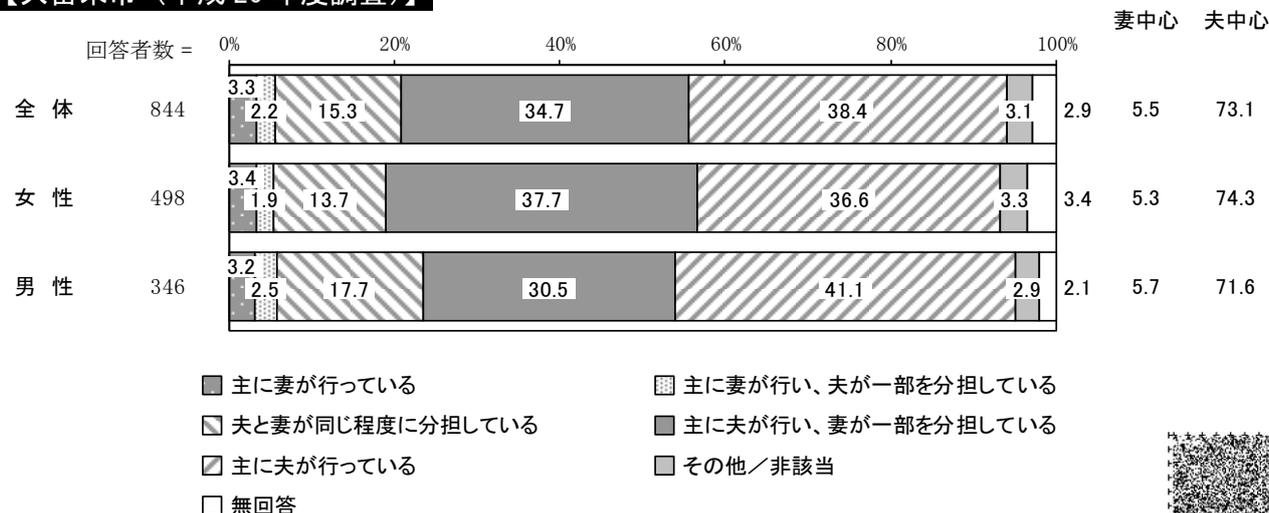
固定的性別役割分担意識別で見ると、「同感する」、「ある程度同感する」人で「主に夫が行っている」の割合が4割を超え高くなっています。一方、「あまり同感しない」、「同感しない」人で「主に夫が行っている」の割合が2割半ば以下と低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が、男性で「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



(イ) 炊事、掃除、洗濯などの家事をする

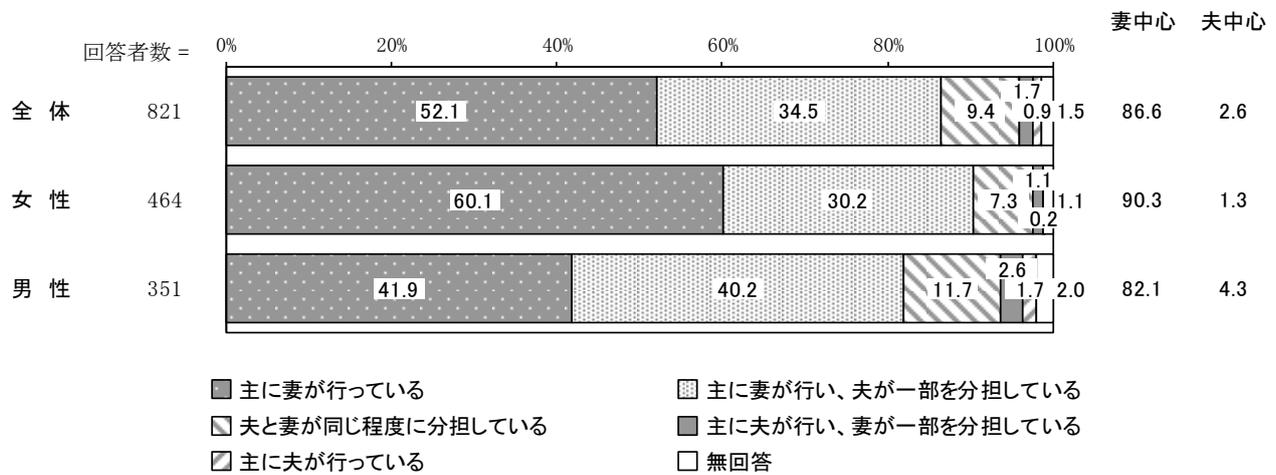
「主に妻が行っている」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が 34.5%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻が行っている」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が高くなっています。

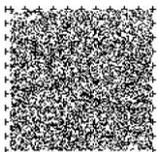
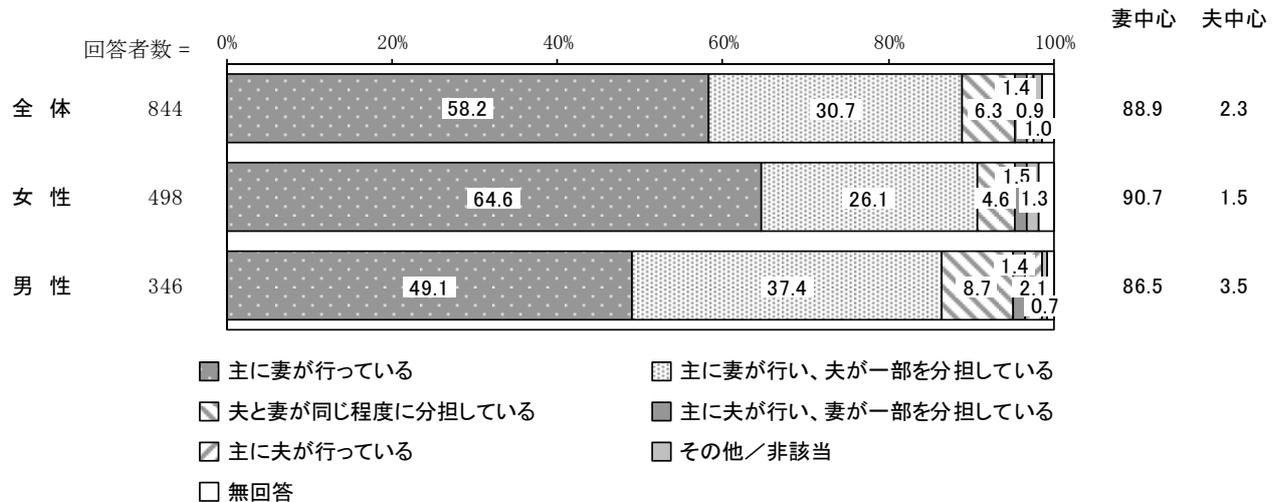
固定的性別役割分担意識別でみると、「同感する」、「ある程度同感する」人で「主に妻が行っている」の割合が6割を超え高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、全体、男性で「主に妻が行っている」の割合が減少しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



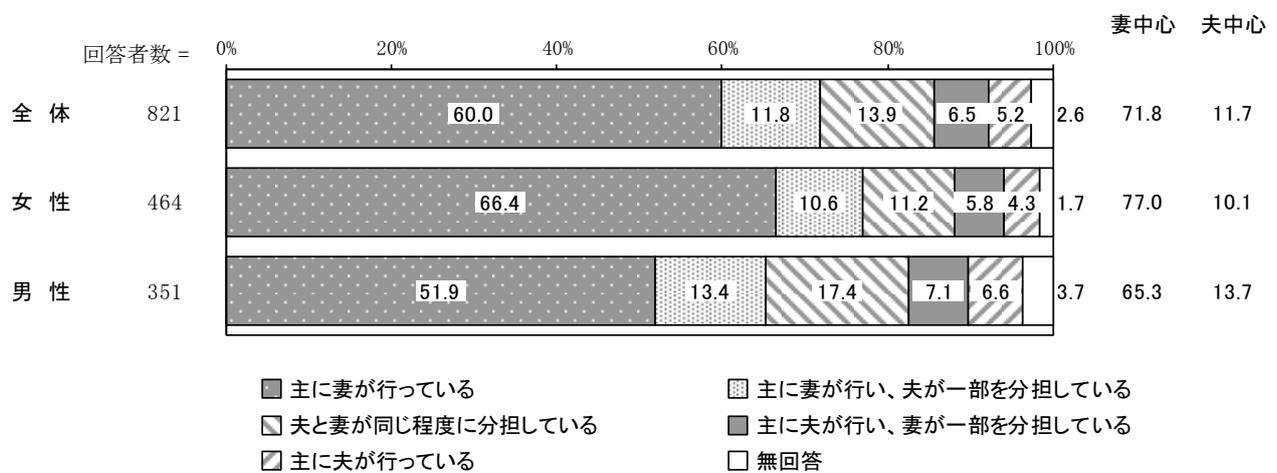
(ウ) 日々の家計を管理する

「主に妻が行っている」の割合が60.0%と最も高く、次いで「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が13.9%、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が11.8%となっています。

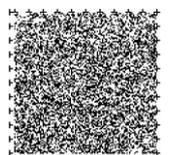
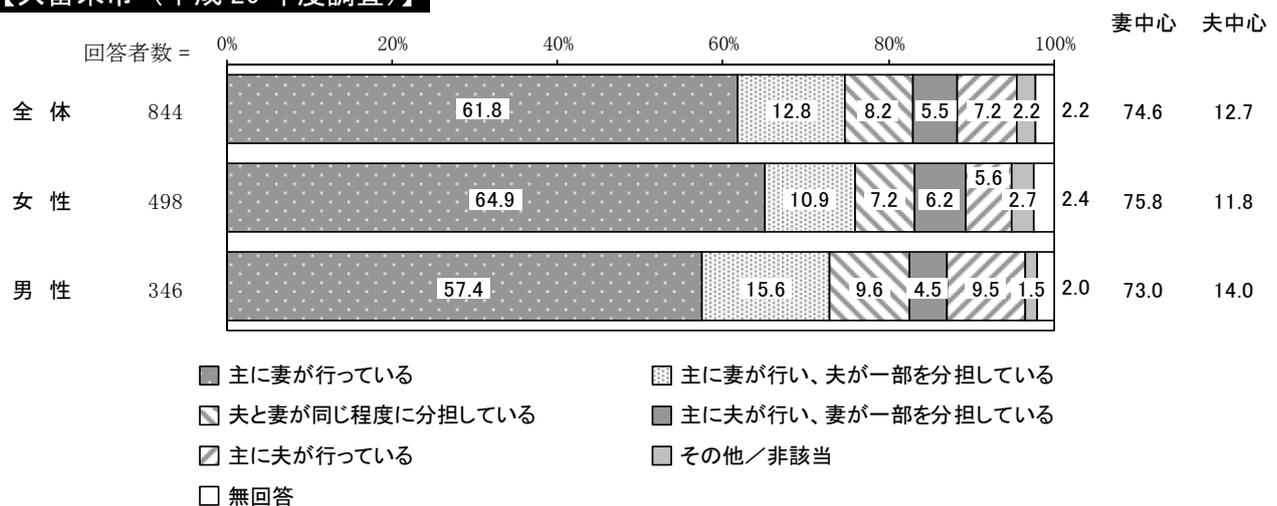
性別で見ると、男性に比べ、女性で「主に妻が行っている」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、男性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



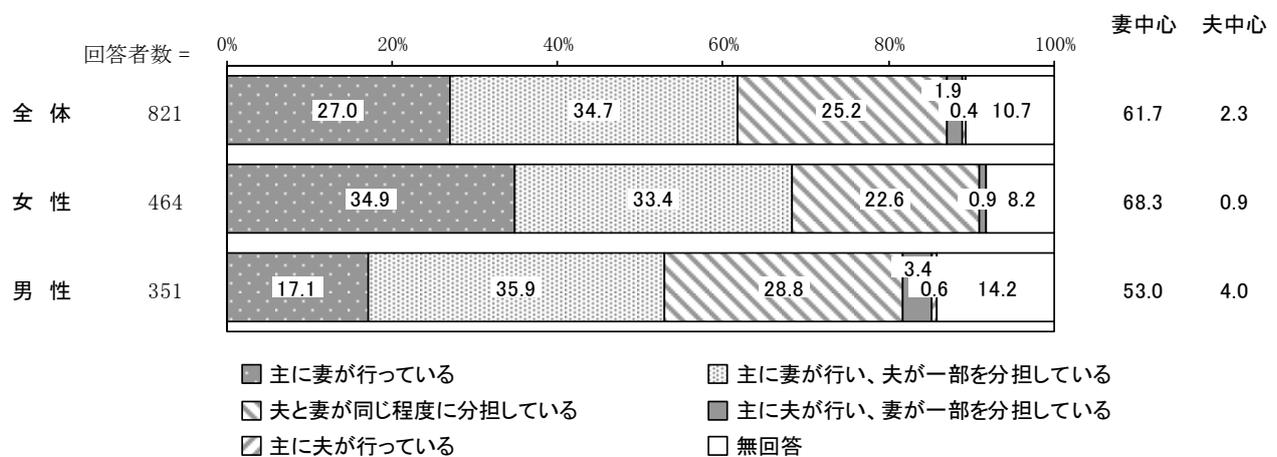
(エ) 育児、子どものしつけをする

「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が34.7%と最も高く、次いで「主に妻が行っている」の割合が27.0%、「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が25.2%となっています。

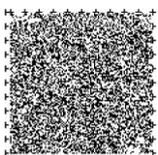
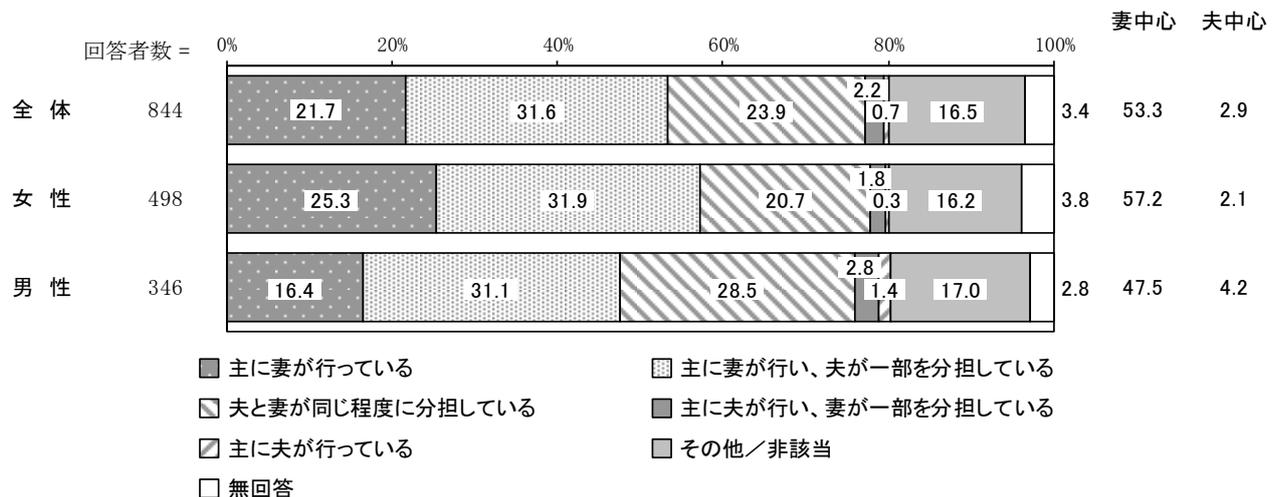
性別で見ると、男性に比べ、女性で「主に妻が行っている」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「主に妻が行っている」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



(オ) 親などの世話（介護）をする

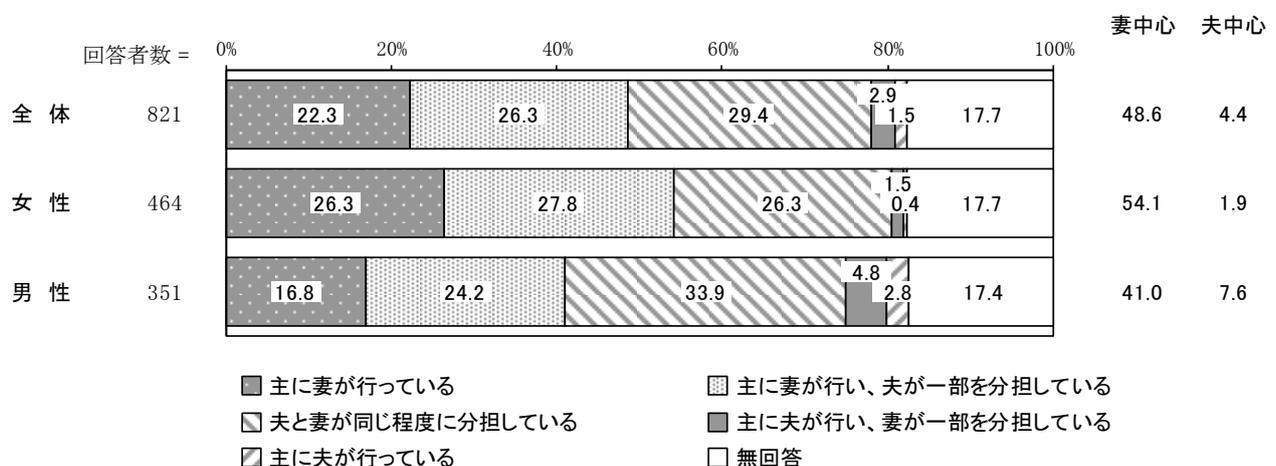
「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が29.4%と最も高く、次いで「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が26.3%、「主に妻が行っている」の割合が22.3%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「主に妻が行っている」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が高くなっています。

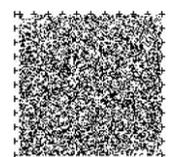
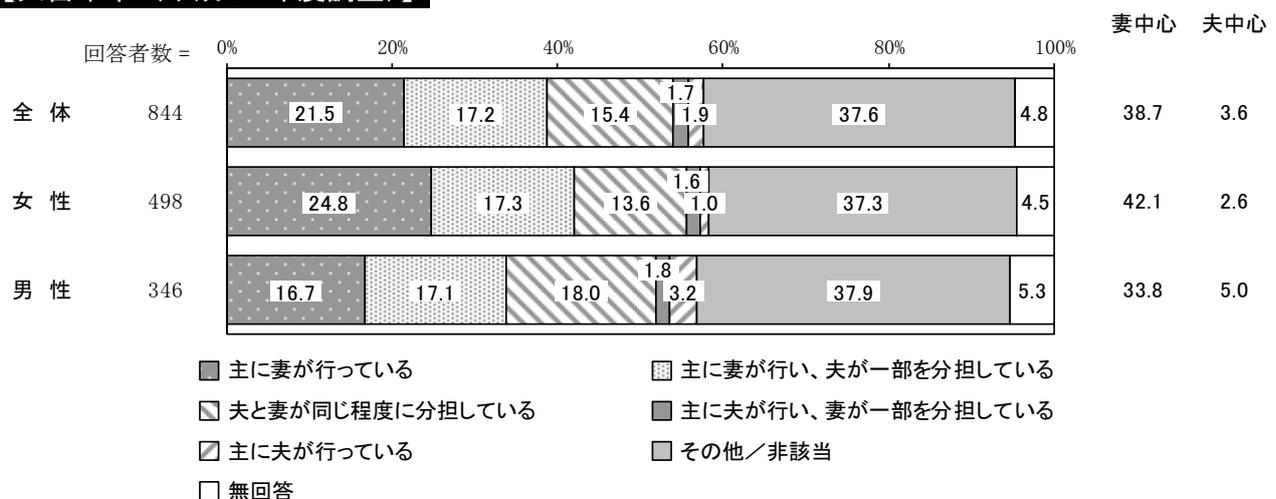
固定的性別役割分担意識別で見ると、「同感する」人を除き「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が最も高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男女ともに「主に妻が行い、夫が一部を分担している」「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



(カ) 自治会・町内会などの地域活動を行う

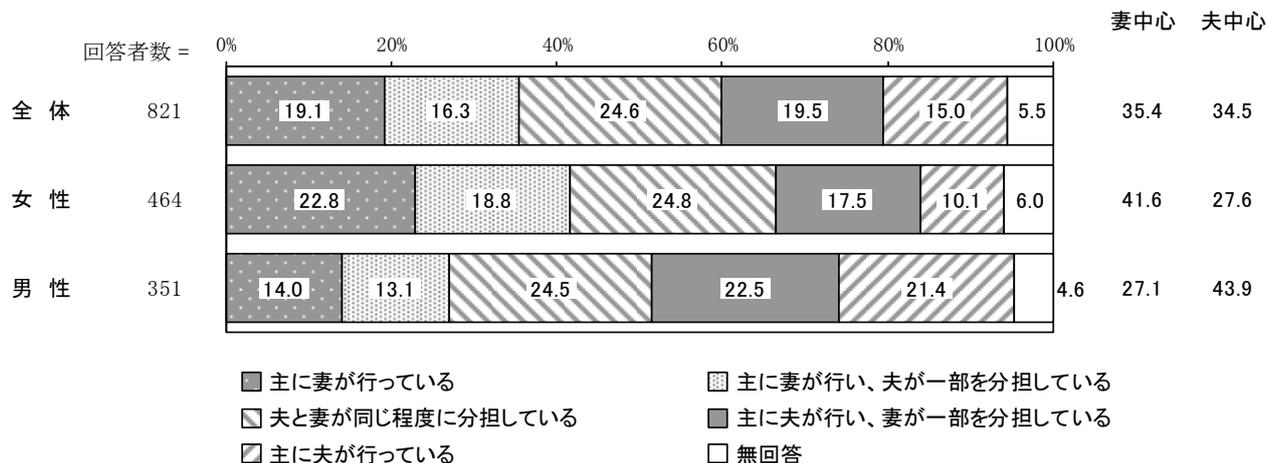
「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が24.6%と最も高く、次いで「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が19.5%、「主に妻が行っている」の割合が19.1%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「主に妻が行っている」「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「主に夫が行い、妻が一部を分担している」「主に夫が行っている」の割合が高くなっています。

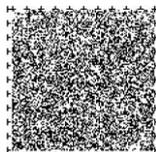
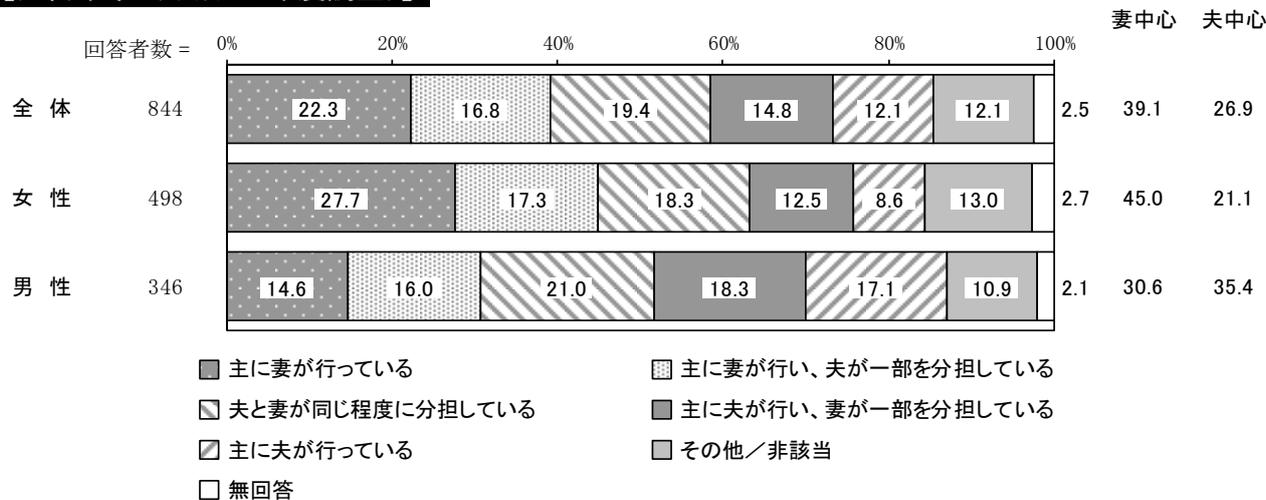
固定的性別役割分担意識別で見ると、「同感する」人で「主に妻が行っている」の割合が26.1%、「あまり同感しない」、「同感しない」人で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が2割半ばと高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



(キ) 保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する

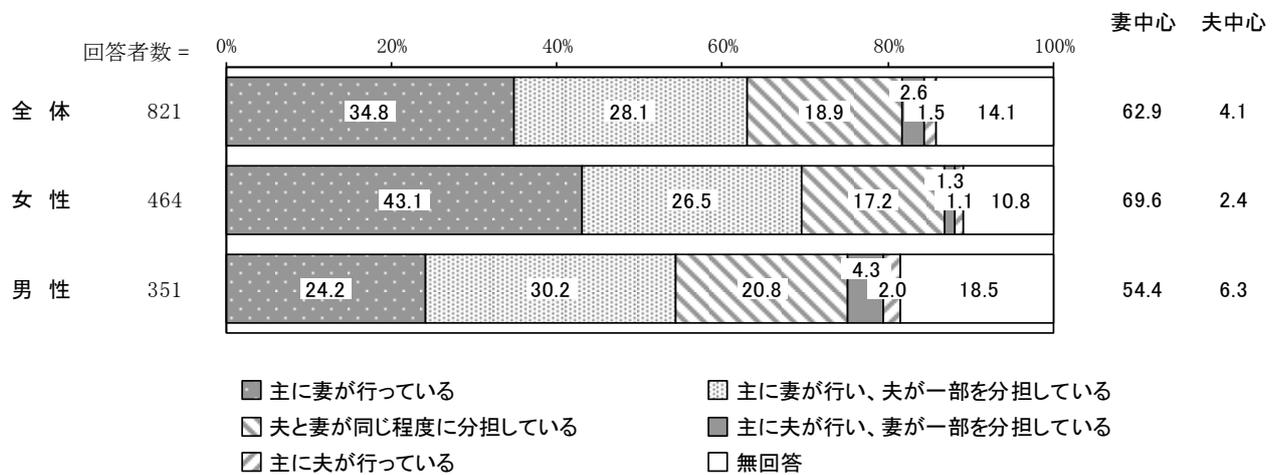
「主に妻が行っている」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が 28.1%、「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が 18.9%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「主に妻が行っている」の割合が高くなっています。

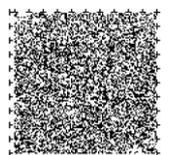
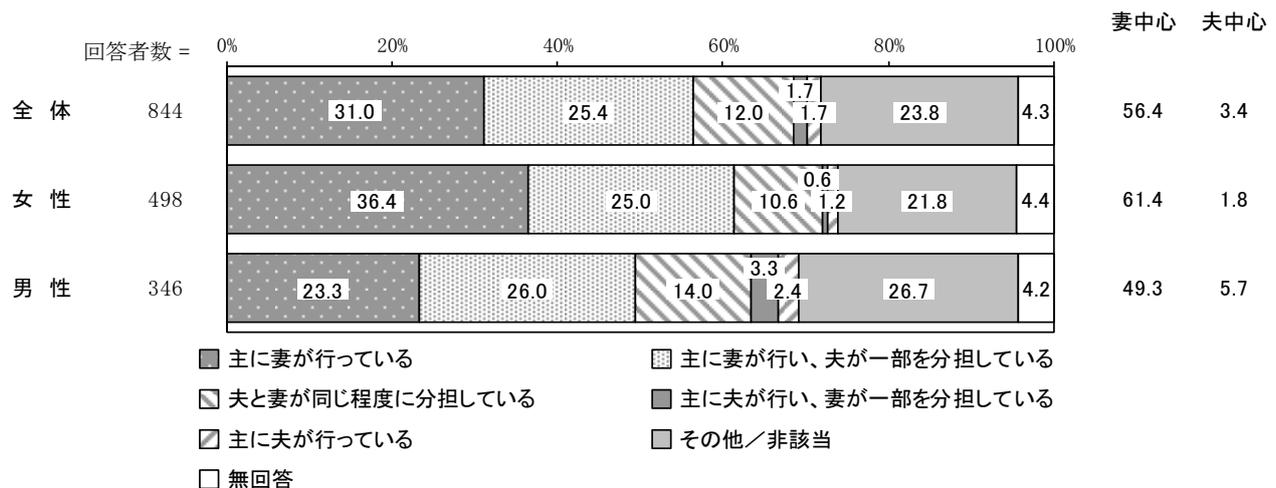
性・年代別で見ると、女性の 10 歳代から 50 歳代では年齢が高くなるにつれ「主に妻が行っている」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男女とも「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



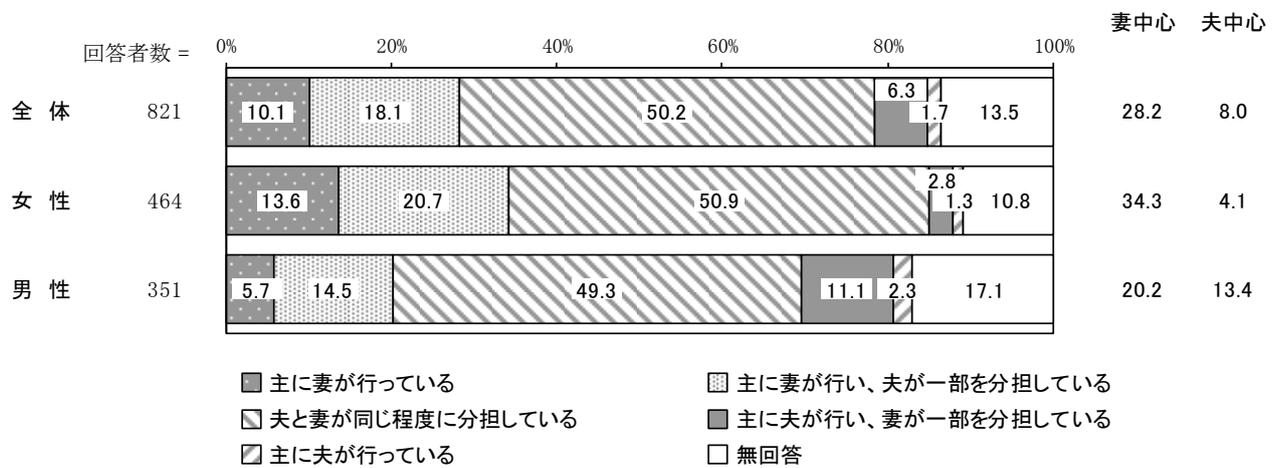
(ク) 子どもの教育方針や進学目標を決める

「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が50.2%と最も高く、次いで「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が18.1%、「主に妻が行っている」の割合が10.1%となっています。

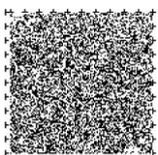
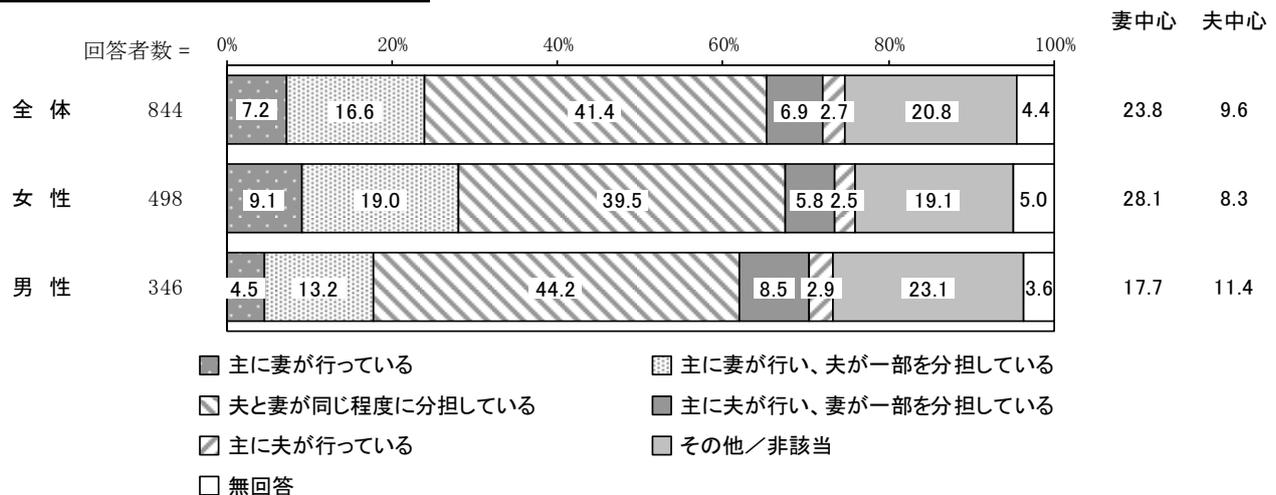
性別で見ると、男性に比べ、女性で「主に妻が行っている」「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男女ともに「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



(ケ) 高額の商品や土地・家屋の購入を決める

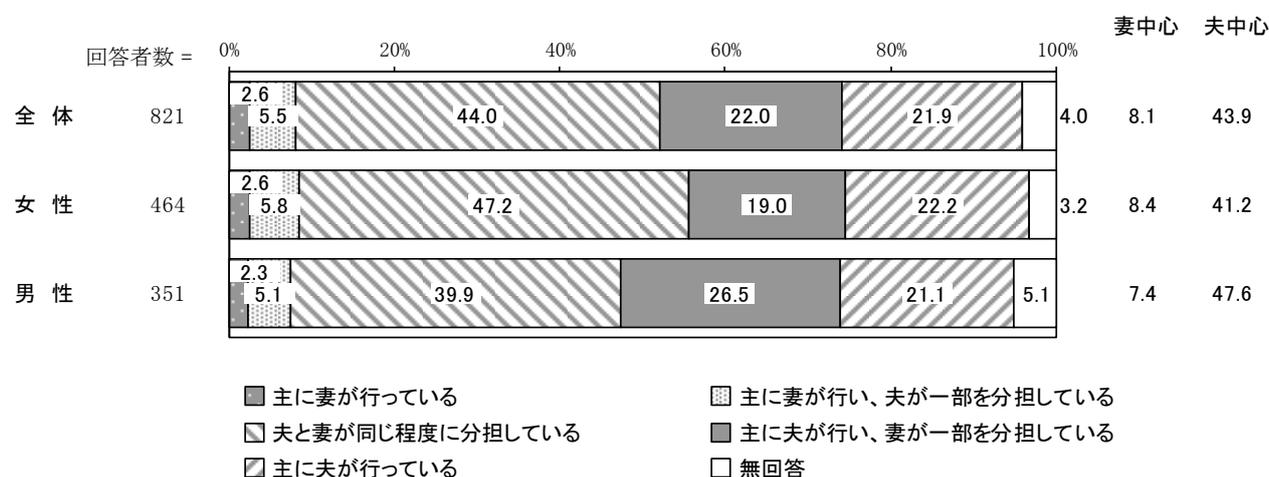
「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が44.0%と最も高く、次いで「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が22.0%、「主に夫が行っている」の割合が21.9%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が高くなっています。

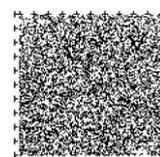
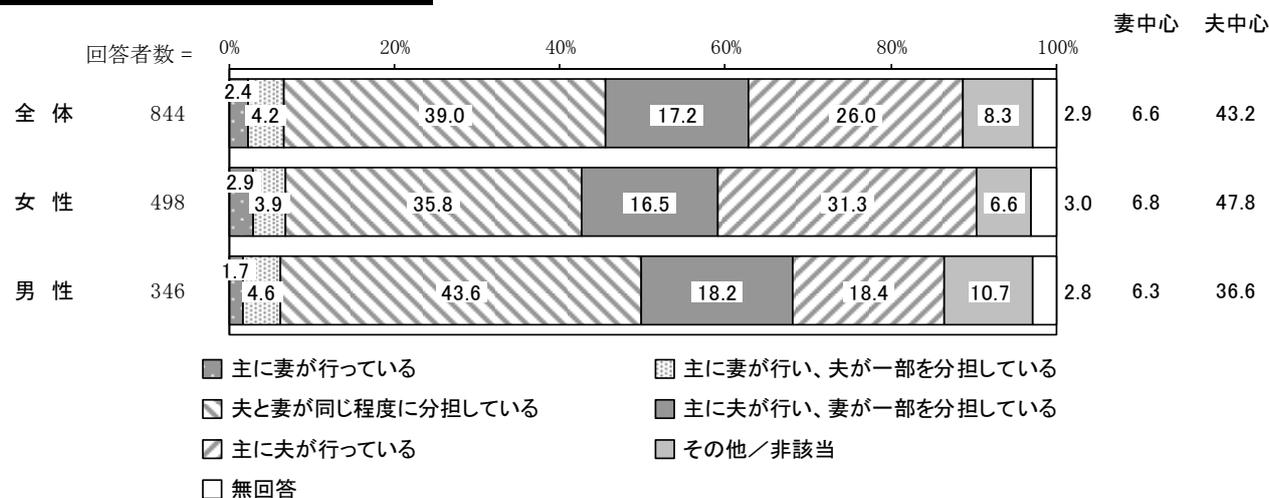
固定的性別役割分担意識別で見ると、役割分担意識に関わらず「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が、男性で「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



また、あなたが、問6の(ア)から(ケ)までの家庭内の仕事について、配偶者・パートナーの方にもっとしてほしいことはどれですか。主なものを2つまで選び下の枠の中にカタカタを記入してください。

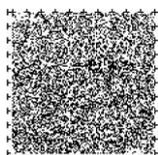
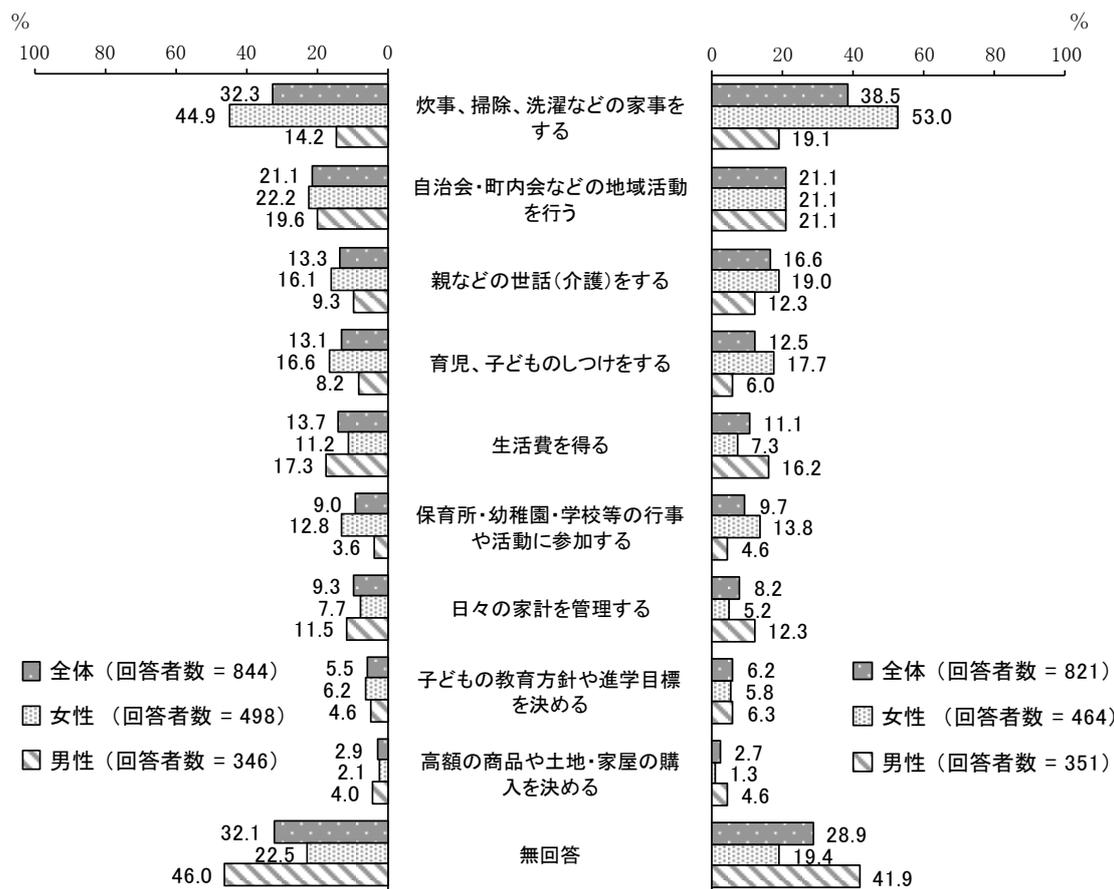
「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」の割合が38.5%と最も高く、次いで「自治会・町内会などの地域活動を行う」の割合が21.1%、「親などの世話(介護)をする」の割合が16.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」「育児、子どものしつけをする」「親などの世話(介護)をする」「保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「生活費を得る」「日々の家計を管理する」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」の割合が増加しています。

【久留米市(平成26年度調査)】

【久留米市(令和元年度調査)】



問7. あなたは、次にあげるような活動を平日に1日平均して何時間くらいしていますか（日曜・休日などは含めない）。（ア）から（カ）のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

（ア）炊事、掃除、洗濯などの時間

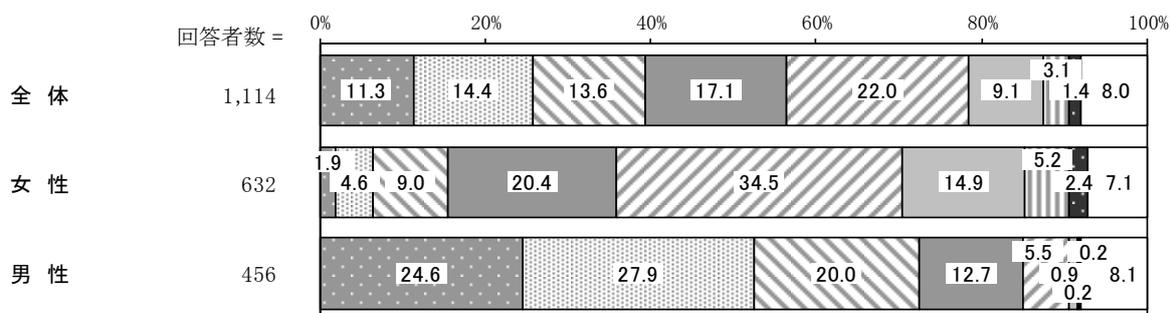
「2～4時間未満」の割合が22.0%と最も高く、次いで「1～2時間未満」の割合が17.1%、「30分未満」の割合が14.4%となっています。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「していない」「30分未満」「30分～1時間未満」の割合が高くなっています。

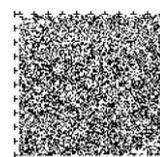
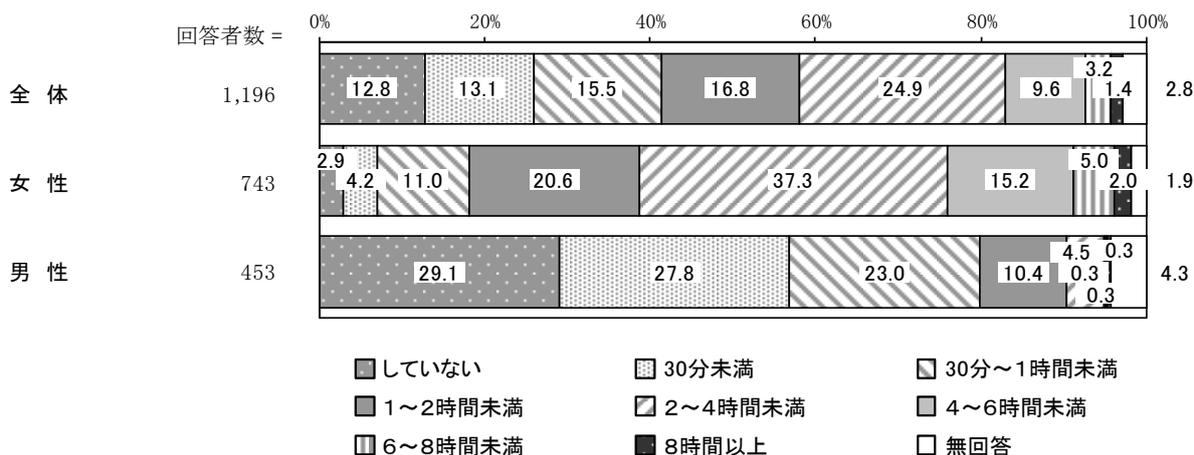
固定的性別役割分担意識別で見ると、男性の「同感する」人で「していない」の割合が40.9%と高くなっています。一方、女性の「同感する」人で「4時間以上」の割合が40.0%と高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



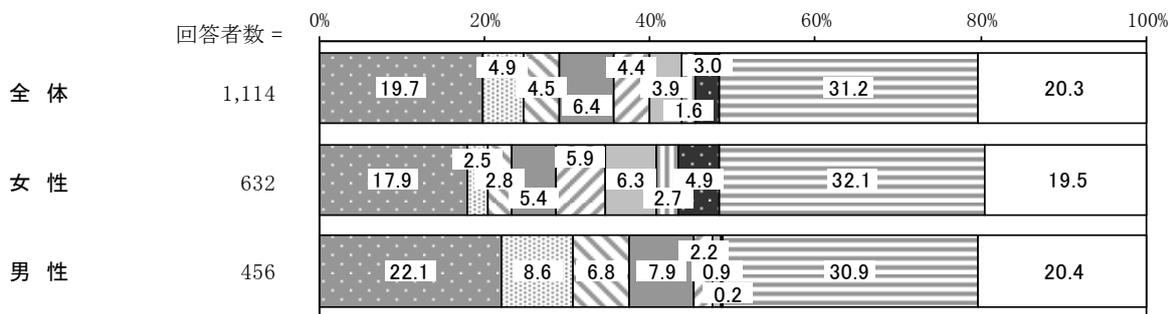
(イ) 育児などの時間

「対象者がいない」の割合が31.2%と最も高く、次いで「していない」の割合が19.7%となっています。

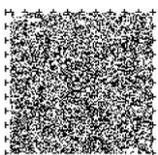
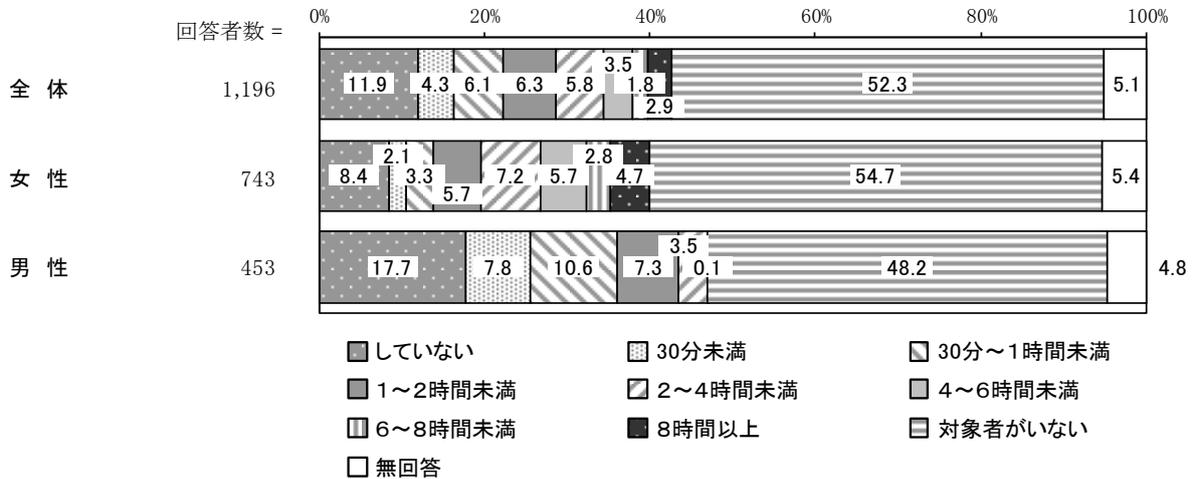
性別でみると、女性では「4～6時間未満」の割合が6.3%と最も高く、次いで「2～4時間未満」の割合が5.9%、「8時間以上」の割合が4.9%となっています。また、男性では「していない」「30分未満」の割合をあわせて約3割となっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「していない」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



(ウ) 介護などの時間

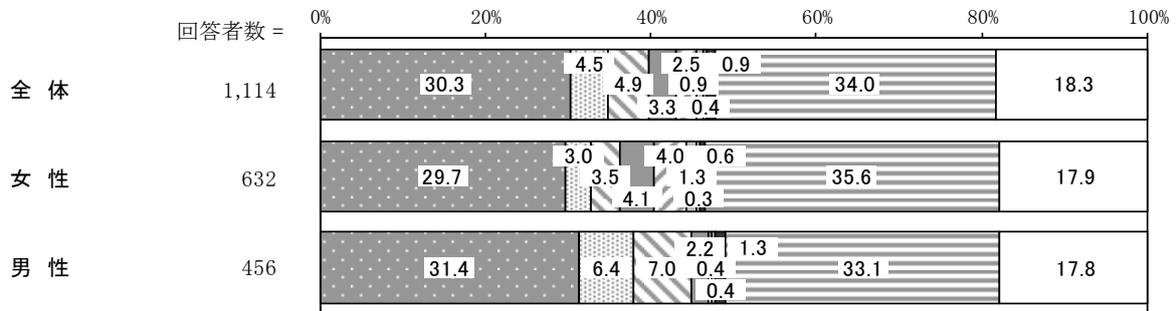
「対象者がいない」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「していない」の割合が 30.3%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

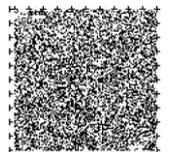
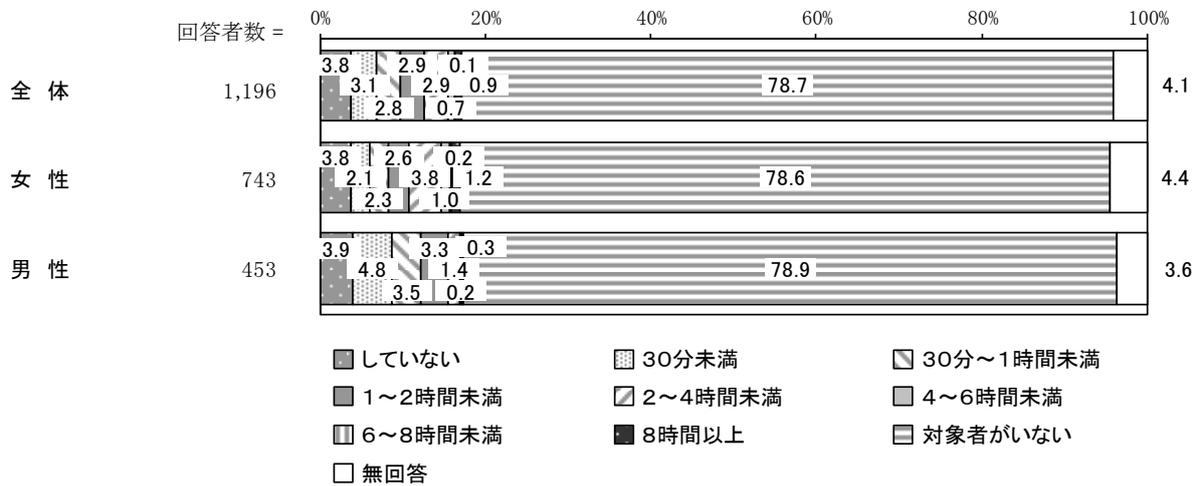
性・年代別でみると、女性の 50 歳代で「1～2 時間未満」の割合が 11.7%と高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、「対象者がいない」の割合が減少しています。また、男女とも「していない」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



(エ) 収入を得る仕事の時間(通勤時間を含む)

「8時間以上」の割合が34.9%と最も高く、次いで「していない」の割合が18.7%、「6～8時間未満」の割合が14.6%となっています。

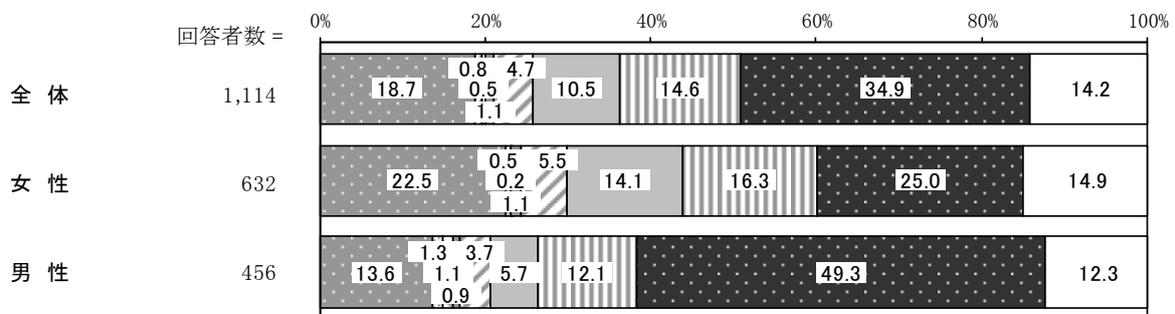
性別で見ると、男性に比べ、女性で「していない」「4～6時間未満」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「8時間以上」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、男性の30歳代から50歳代で「8時間以上」の割合が7割を超え高くなっており、同年代の女性と労働時間に差が生じています。

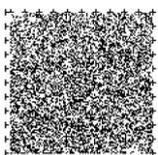
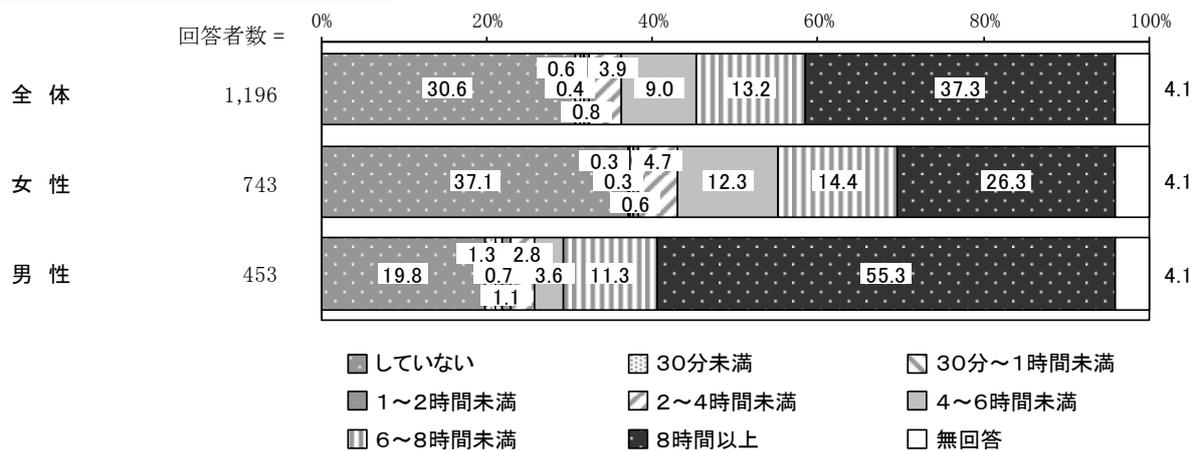
固定的性別役割分担意識別で見ると、女性の同感する人で「していない」の割合が40.0%、同感しない人で「8時間以上」の割合が31.5%と高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男女とも「していない」の割合が減少しています。

【久留米市(令和元年度調査)】



【久留米市(平成26年度調査)】



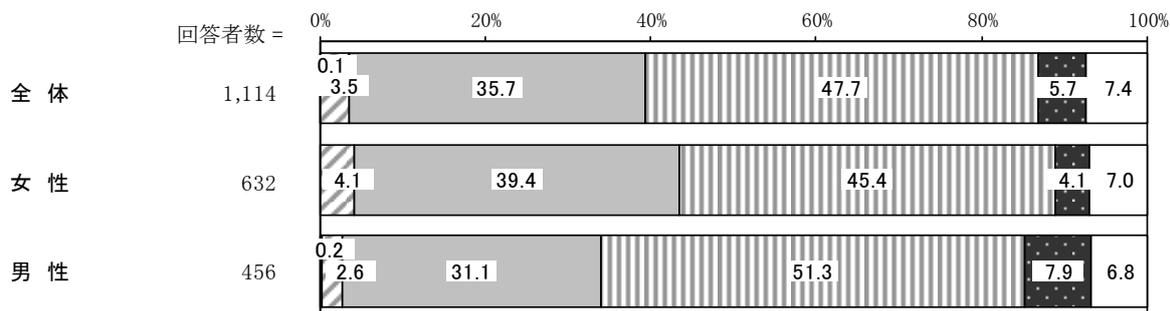
(オ) 睡眠時間

「6～8時間未満」の割合が47.7%と最も高く、次いで「4～6時間未満」の割合が35.7%となっています。

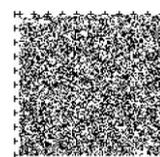
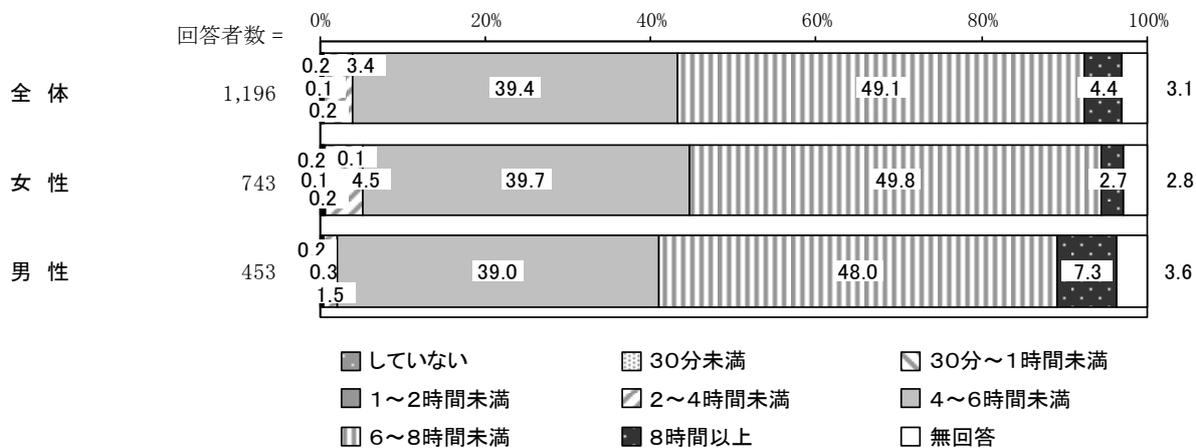
性別で見ると、男性に比べ、女性で「4～6時間未満」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「6～8時間未満」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男性で「4～6時間未満」の割合が減少しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



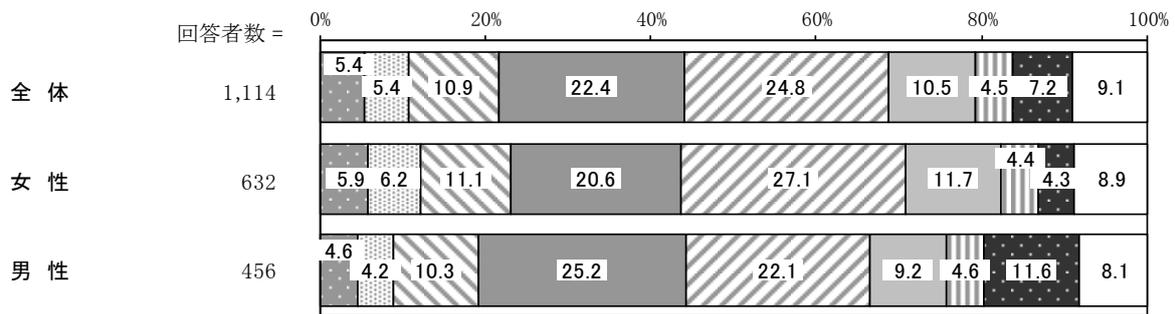
(カ) 自分が自由に使える時間（余暇・ボランティアなど）

「2～4時間未満」の割合が24.8%と最も高く、次いで「1～2時間未満」の割合が22.4%、「30分～1時間未満」の割合が10.9%となっています。

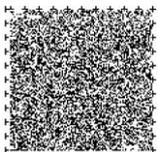
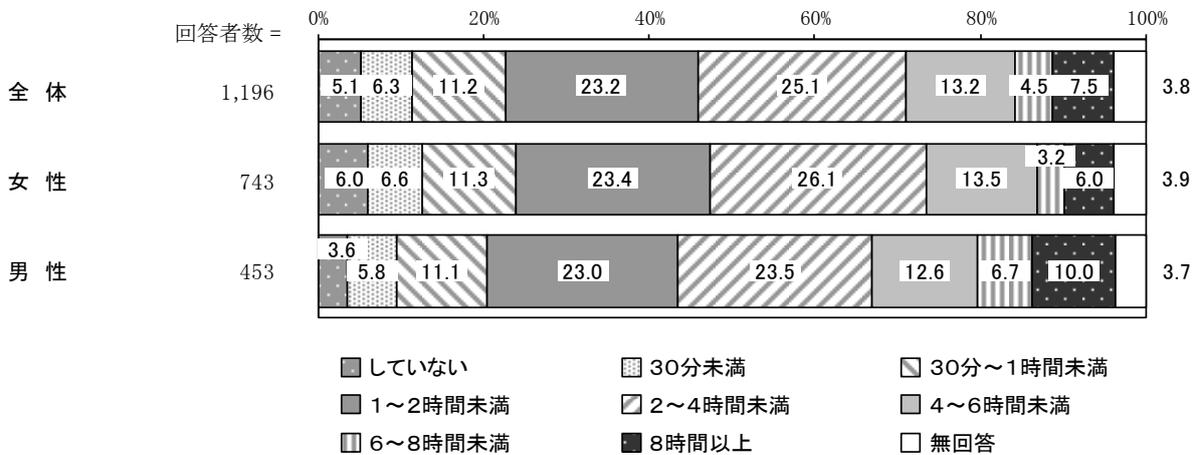
性別でみると、男性に比べ、女性で「2～4時間未満」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「8時間以上」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】

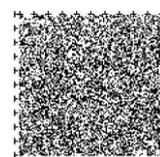
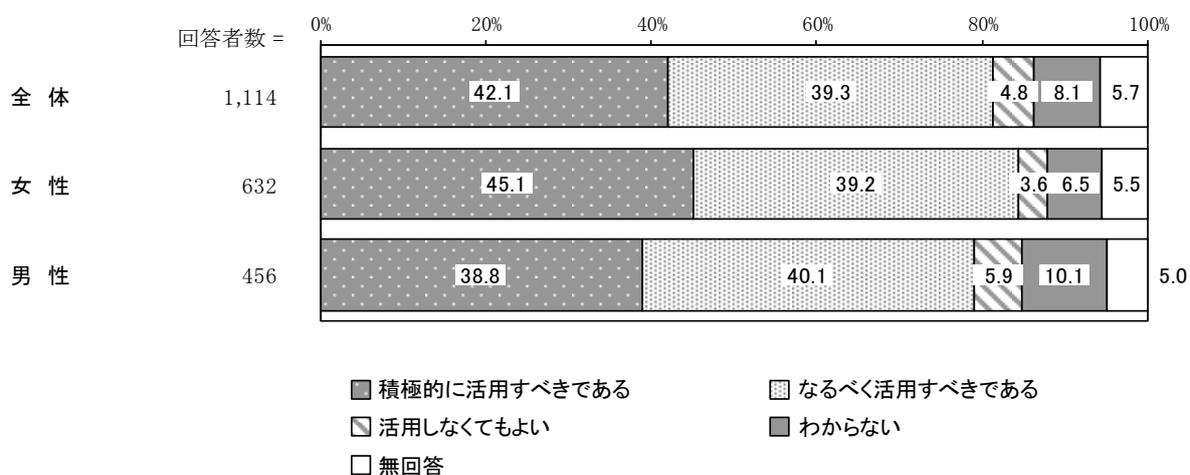


問8. 育児や家族の介護を行うために、法律に基づき育児休業・介護休業・子の看護休暇を取得できる制度があります。あなたは、男性がこの制度を活用することについて、どう思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「積極的に活用すべきである」の割合が42.1%と最も高く、次いで「なるべく活用すべきである」の割合が39.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「積極的に活用すべきである」の割合が高くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、役割分担意識に関わらず「積極的に活用すべきである」「なるべく活用すべきである」の割合が高くなっています。

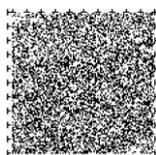
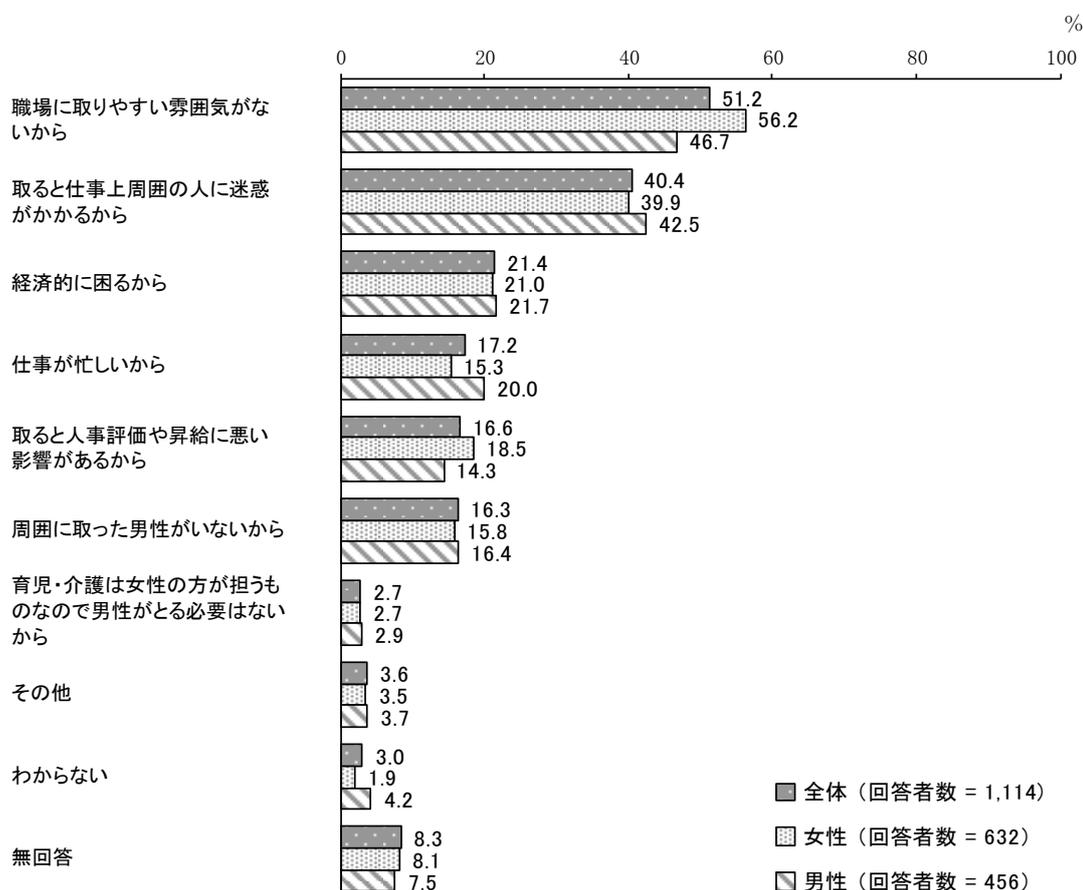


問9. 女性の育児休業取得率は83.2%であるのに対し、男性の育児休業取得率は5.14%（厚生労働省：平成29年度雇用均等基本調査）となっています。あなたは男性の9割以上が育児休業を取得しない（できない）理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合が51.2%と最も高く、次いで「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」の割合が40.4%、「経済的に困るから」の割合が21.4%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合が高くなっています。

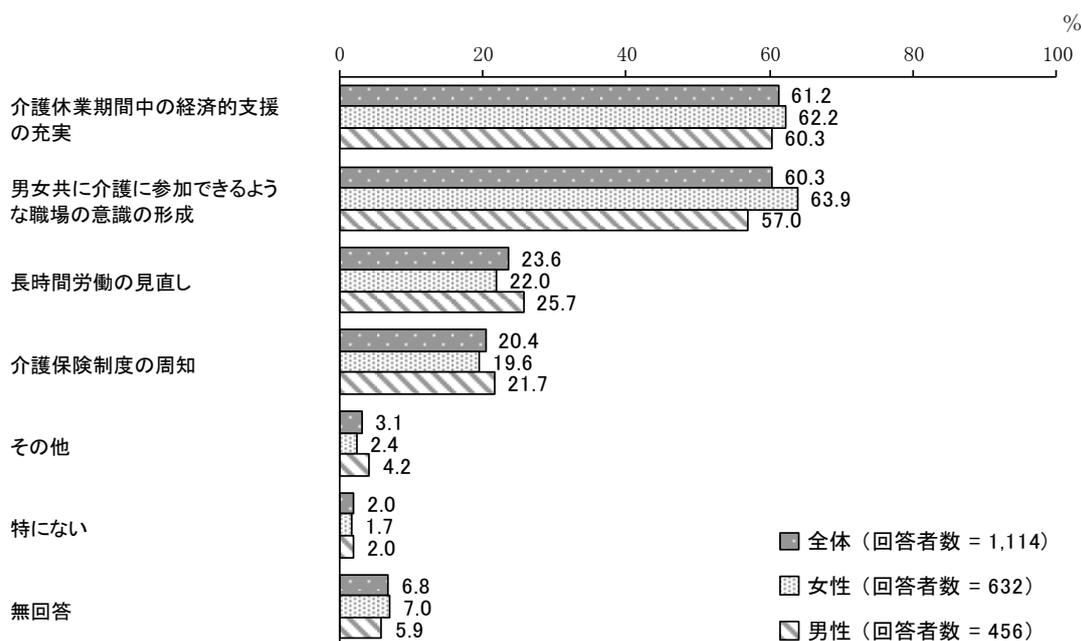
性別・年代別でみると、女性では全ての年代で「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合が高くなっています。一方、男性も女性同様「職場に取りやすい雰囲気がないから」の割合が総じて高い状況ですが、男性の40歳代・50歳代で「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」の割合が高くなっています。

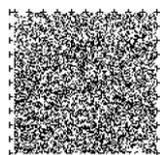


問 10. 男女がともに働き、介護と仕事を両立させていく環境を作るためにどのようなことが必要であると思いますか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

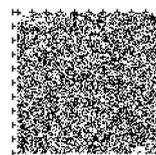
「介護休業期間中の経済的支援の充実」の割合が61.2%と最も高く、次いで「男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成」の割合が60.3%、「長時間労働の見直し」の割合が23.6%となっています。

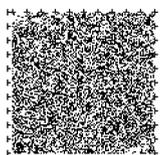
性別でみると、男性に比べ、女性で「男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成」の割合が高くなっています。





第4章 仕事について





第4章 仕事について

問 11. 現在、職種や勤務形態に関わらず、職業に就いている人にお尋ねします。
次にあげることがらの中で、現在のあなたの職場の女性にあてはまること
がありますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

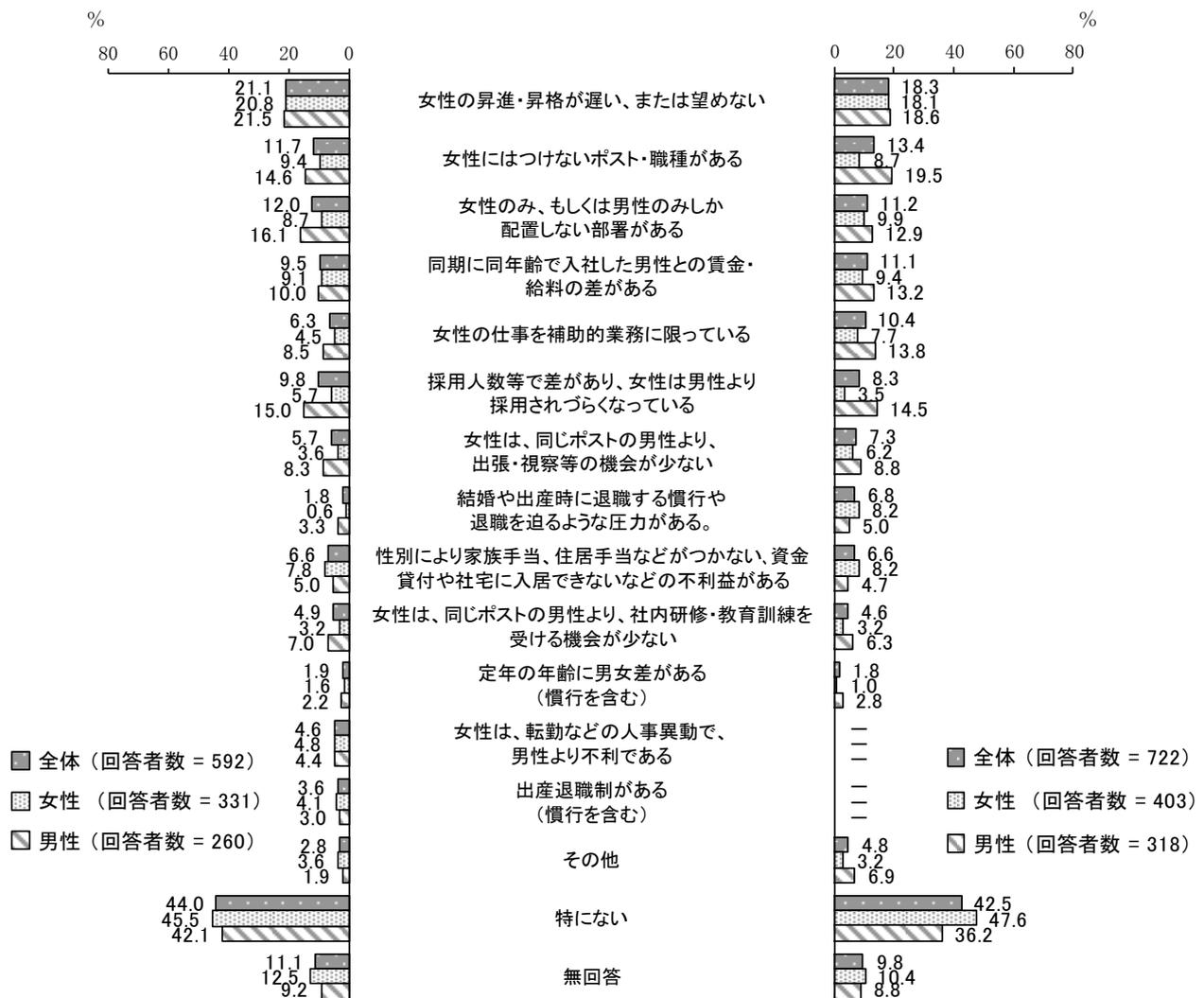
「特にない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」の割合が18.3%、「女性にはつけないポスト・職種がある」の割合が13.4%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「特にない」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「採用人数等で差があり、女性は男性より採用されづらくなっている」「女性の仕事を補助的業務に限っている」「女性にはつけないポスト・職種がある」の割合が高くなっています。

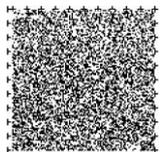
平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「結婚や出産時に退職する慣行や退職を迫るような圧力がある。」の割合が、男性で「女性の仕事を補助的業務に限っている」の割合が増加しています。

【久留米市（平成26年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】



※「女性は、転勤などの人事異動で、男性より不利である」「出産退職制がある（慣行を含む）」は令和元年度調査にはありませんでした。



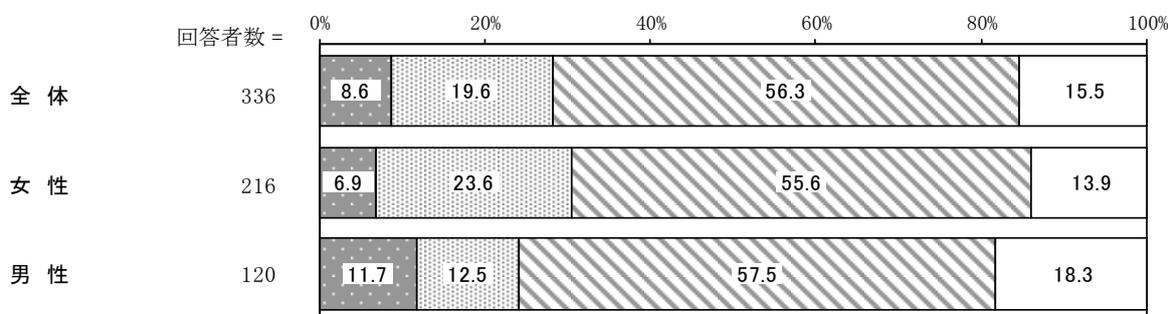
問 12. 現在、職業に就いていない人（家事に専念している主婦・主夫または無職等）にお尋ねします。
 あなたは今後、職業に就きたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「職業につくつもりはない」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「そのうち職業につくつもり」の割合が 19.6%となっています。

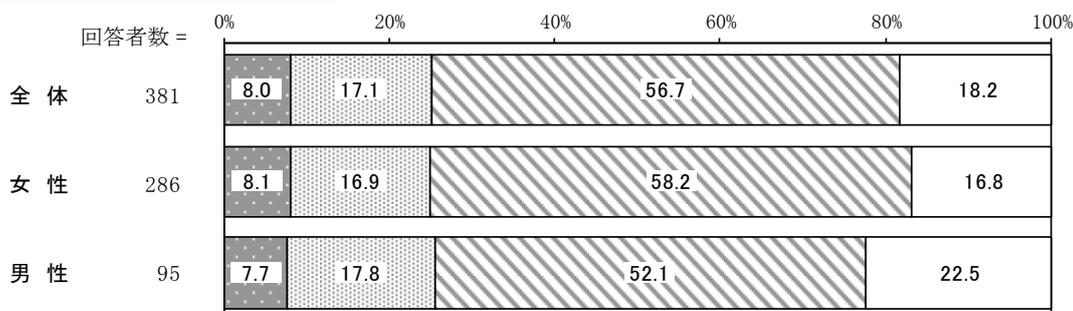
性別で見ると、男性に比べ、女性で「そのうち職業につくつもり」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、女性で「そのうち職業につくつもり」の割合が増加している一方、男性で「そのうち職業につくつもり」の割合が減少しています。

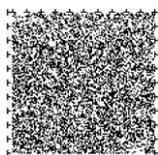
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ すぐにでも職業につきたい ■ そのうち職業につくつもり
 ■ 職業につくつもりはない □ 無回答



付問 1. 【問 12 で「すぐにでも職業につきたい」または「そのうち職業につくつもり」と答えた方に】

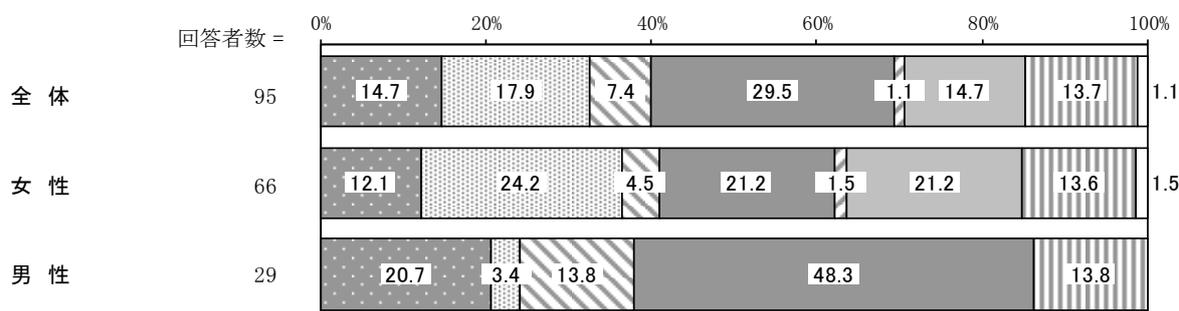
現在、職業についていない理由は何ですか。あてはまるものを 1 つ選び番号に〇印をつけてください。

「健康や体力の面で不安があるから」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」の割合が 17.9%、「仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから」、「今は、家事・育児・介護に専念したいから」の割合が 14.7%となっています。

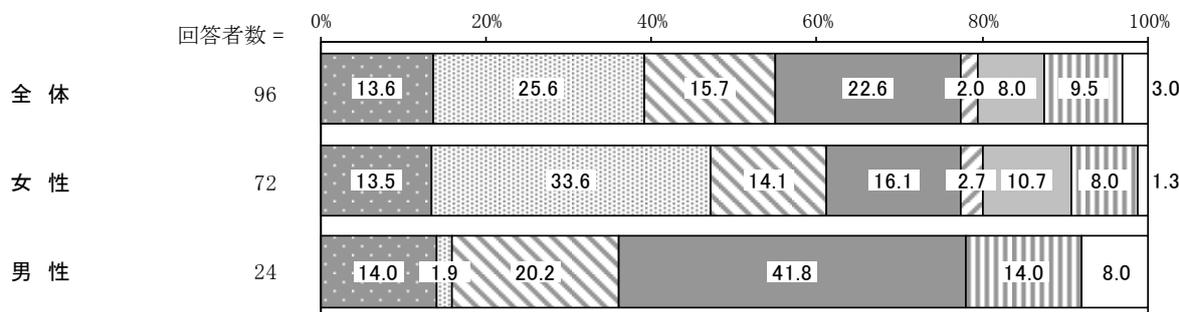
性別で見ると、男性に比べ、女性で「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」「今は、家事・育児・介護に専念したいから」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから」「働きたいが働く場所がないから」「健康や体力の面で不安があるから」の割合が高くなっています。また、男性で「今は、家事・育児・介護に専念したいから」はありませんでした。

平成 26 年度調査と比較すると、男女とも「健康や体力の面で不安があるから」の割合が増加し、「働きたいが働く場所がないから」の割合が減少しています。また、全体、女性で「今は、家事・育児・介護に専念したいから」の割合が、男性で「仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから」の割合が増加しています。

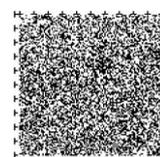
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



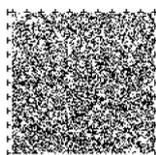
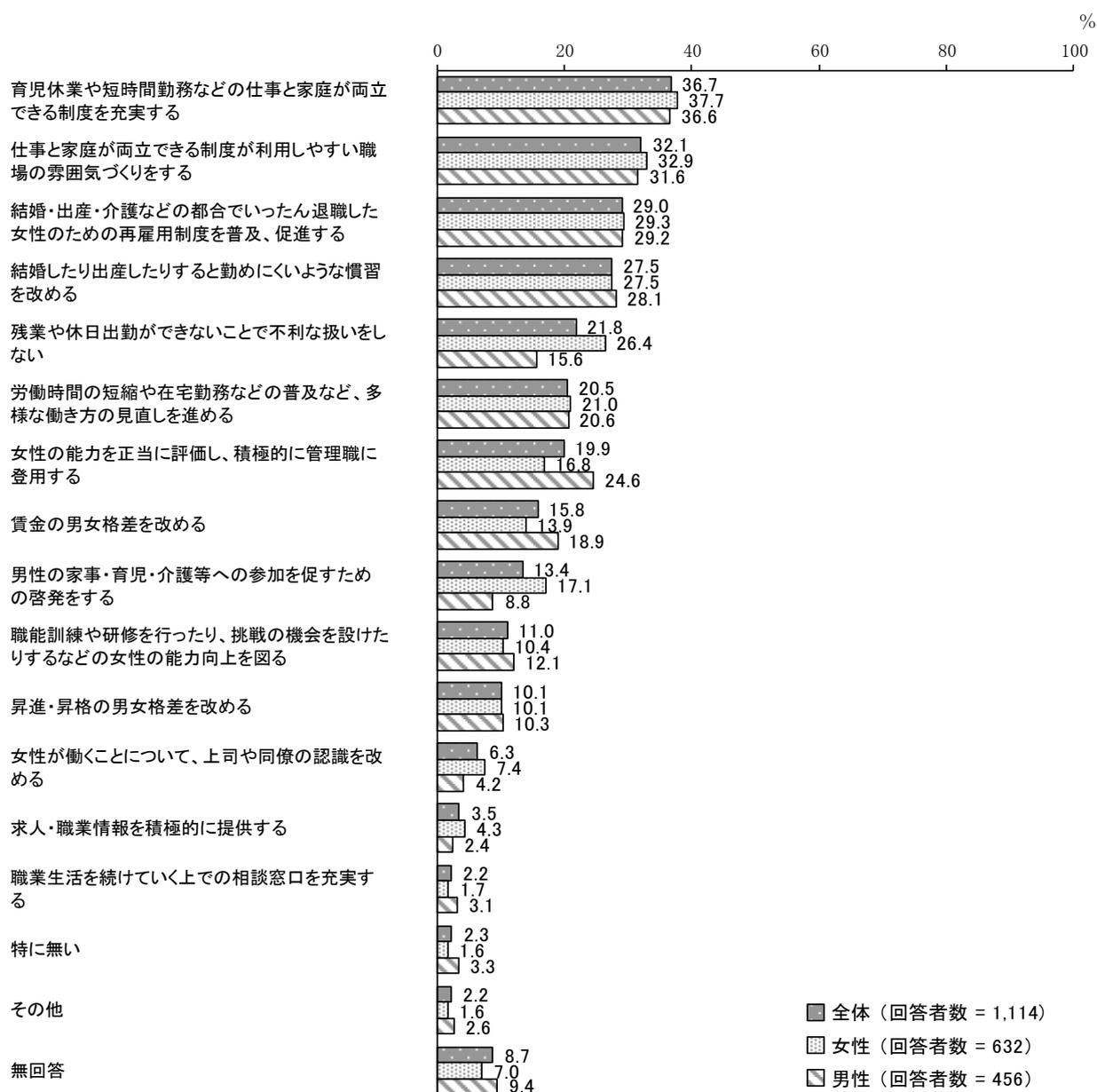
- 仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから
- 家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから
- 働きたいが働く場所がないから
- 健康や体力の面で不安があるから
- 家族が働くことを望まないから
- 今は、家事・育児・介護に専念したいから
- その他
- 無回答



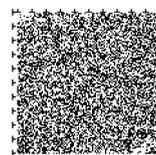
問 13. 女性が職業をもち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。
あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

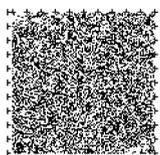
「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」の割合が36.7%と最も高く、次いで「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」の割合が32.1%、「結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する」の割合が29.0%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない」「男性の家事・育児・介護等への参加を促すための啓発をする」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「賃金の男女格差を改める」「女性の能力を正当に評価し、積極的に管理職に登用する」の割合が高くなっています。



第5章 社会活動などへの参加・ 参画について





第5章 社会活動などへの参加・参画について

問 14. ふだんの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の優先度についてお尋ねします。

(A) 希望と (B) 現実のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び番号に○印をつけてください。

(A) 希望

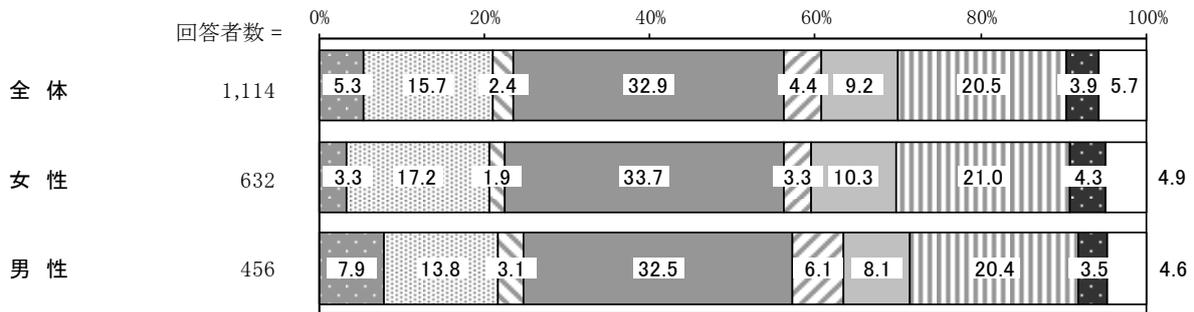
「仕事」と「家庭生活」をともに優先」の割合が32.9%と最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先」の割合が20.5%、「家庭生活」を優先」の割合が15.7%となっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

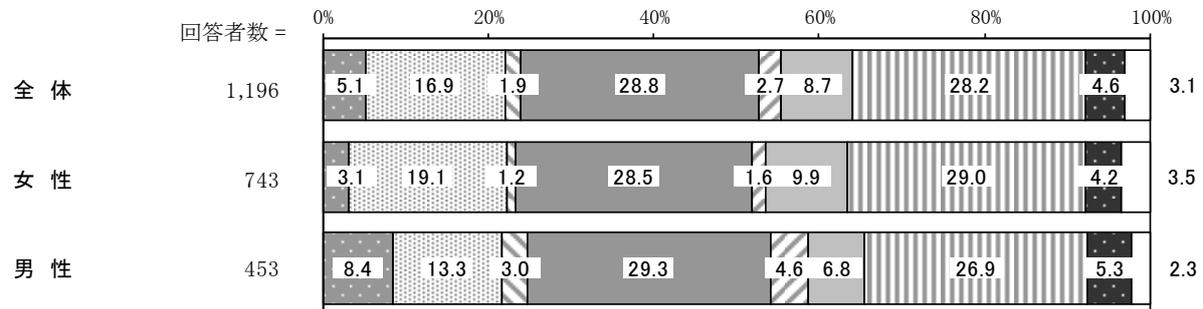
平成26年度調査と比較すると、男女とも「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先」の割合が減少しています。また、女性で「仕事」と「家庭生活」をともに優先」の割合が増加しています。

国調査と比較すると、国に比べ、男女とも「家庭生活」を優先」の割合が低く、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先」の割合が高くなっています。

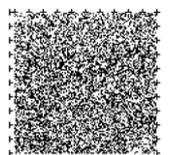
【久留米市（令和元年度調査）】



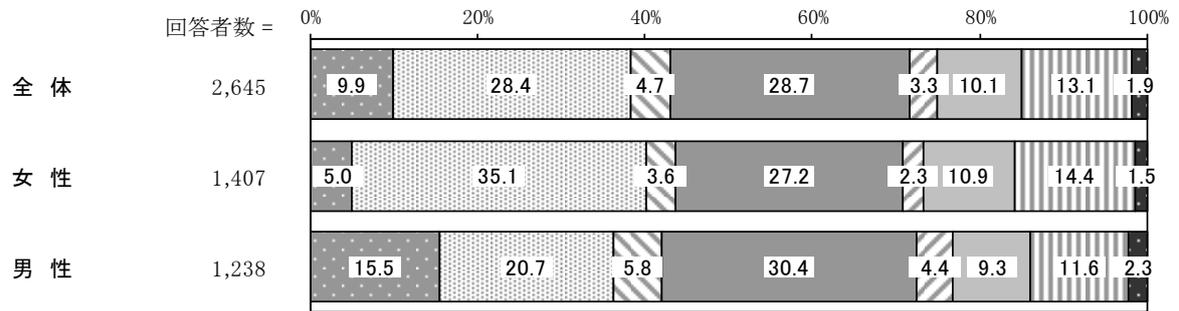
【久留米市（平成26年度調査）】



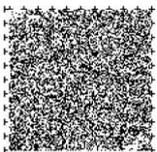
- 「仕事」を優先
- 「家庭生活」を優先
- 「地域・個人の生活」を優先
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先
- わからない
- 無回答



【国（令和元年度調査）】



- 「仕事」を優先
- 「家庭生活」を優先
- 「地域・個人の生活」を優先
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先
- わからない
- 無回答



(B) 現実

「仕事」を優先の割合が 38.3%と最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先の割合が 19.6%、「家庭生活」を優先の割合が 15.5%となっています。

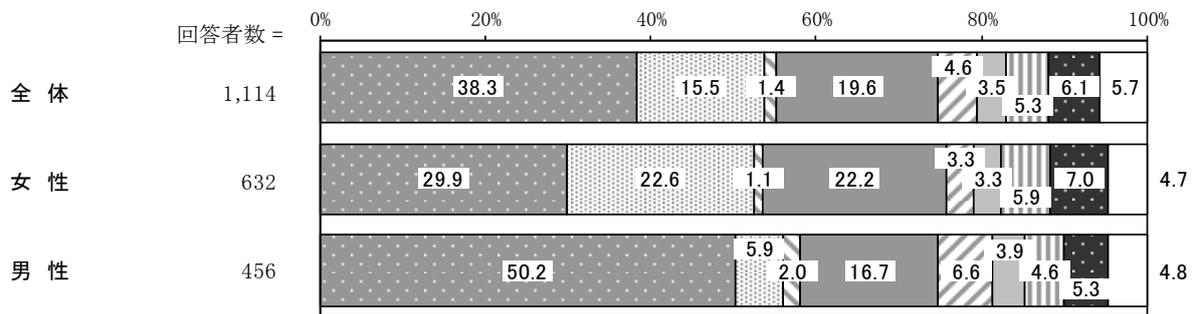
性別でみると、男性に比べ、女性で「家庭生活」を優先「仕事」と「家庭生活」をともに優先の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「仕事」を優先の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の 30 歳代、70 歳以上を除いた年代で「仕事を優先」の割合が高くなっています。また、男性の 30 歳代で 66.0%、50 歳代で 64.9%と「仕事を優先」の割合が高くなっています。また、女性の 10・20 歳代を除く年代で「家庭生活を優先」の割合が 2 割を超え高くなっています。一方、男性でのすべての年代で「家庭生活を優先」の割合が 1 割未満と低くなっています。

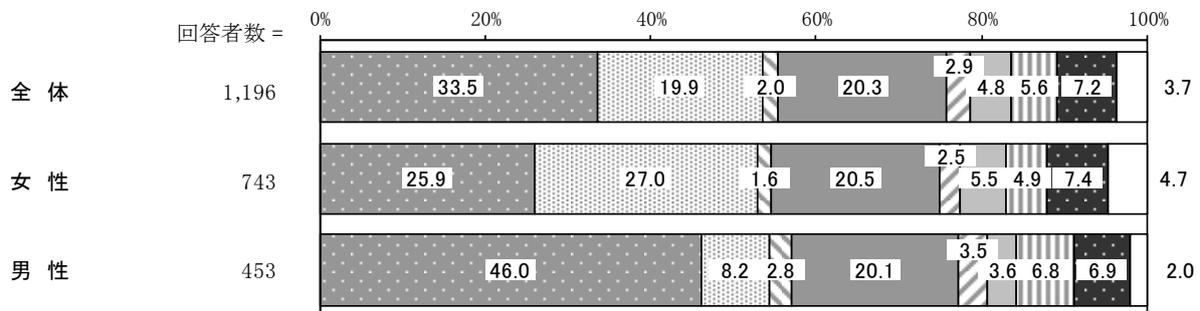
平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

国調査と比較すると、国に比べ、男女とも「仕事」を優先の割合が高く、「家庭生活」を優先の割合が低くなっています。

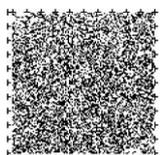
【久留米市（令和元年度調査）】



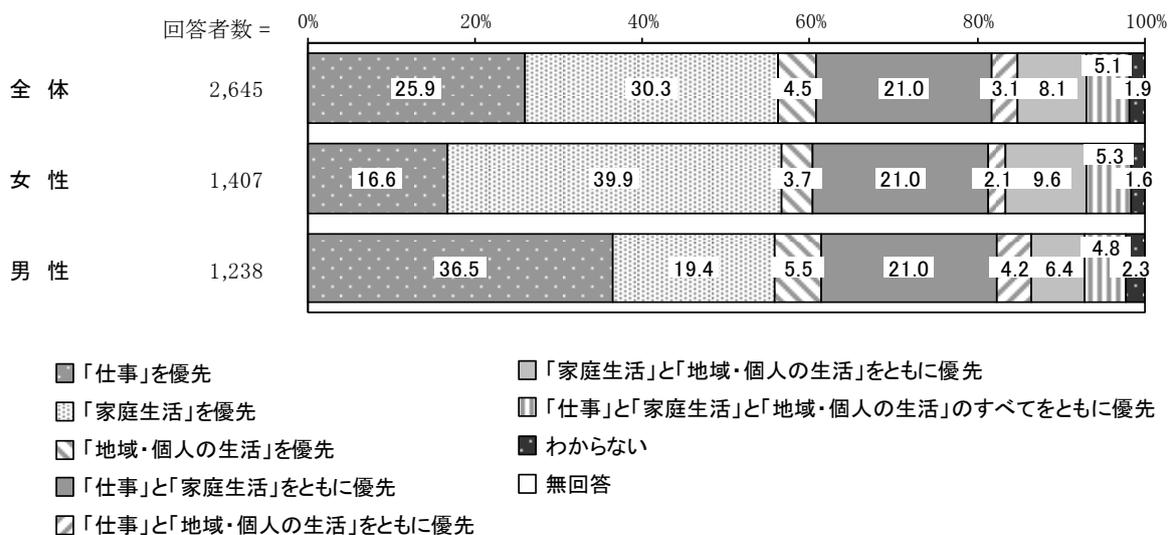
【久留米市（平成 26 年度調査）】



- 「仕事」を優先
- 「家庭生活」を優先
- 「地域・個人の生活」を優先
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先
- わからない
- 無回答



【国（令和元年度調査）】

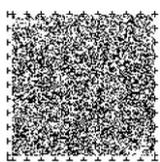
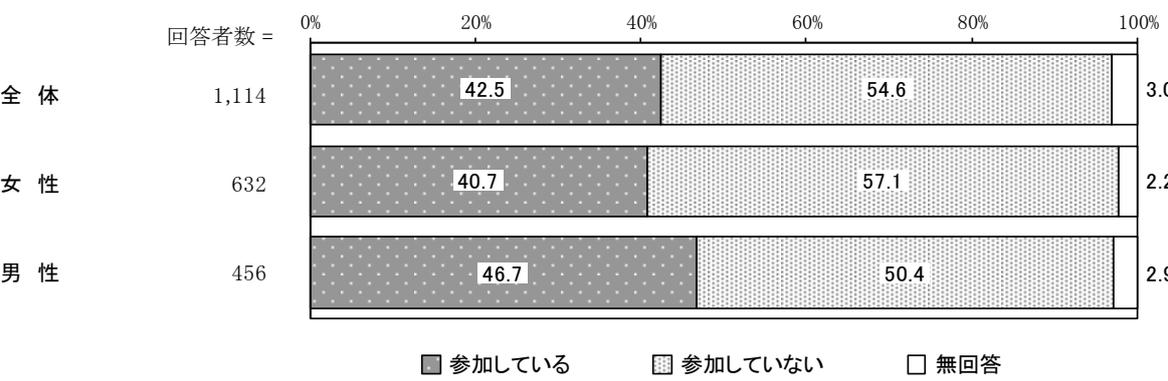


問 15. あなたは現在、自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動などの地域活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「参加している」の割合が42.5%、「参加していない」の割合が54.6%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「参加していない」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、男性の50歳以上で「参加している」の割合が5割を超え高くなっています。また、男女ともに10・20歳代で「参加していない」の割合が8割半ばを超え高くなっています。

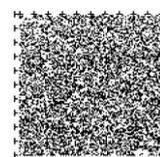
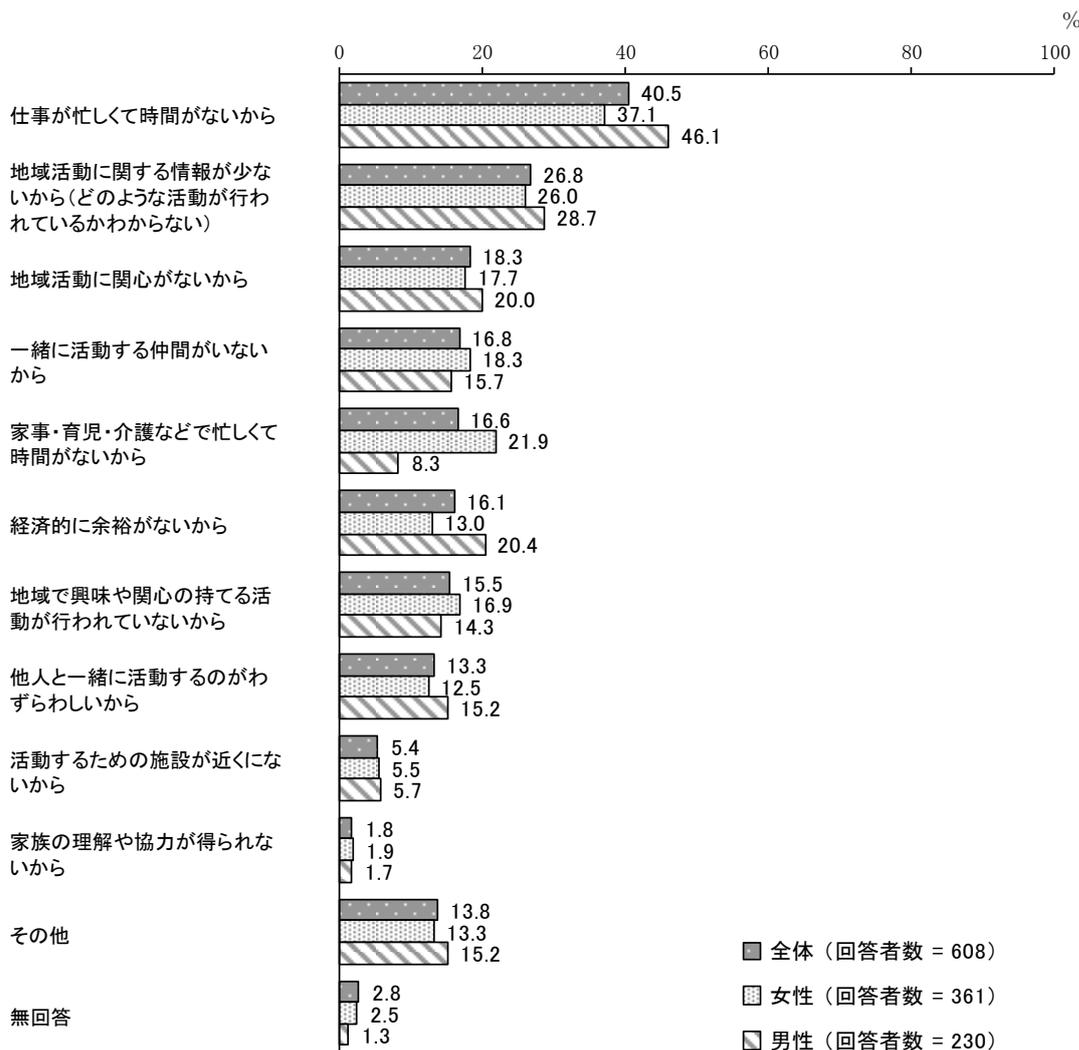


付問 1. 【問 15 で「参加していない」と答えた方に】

その理由はなんですか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

「仕事が忙しくて時間がないから」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「地域活動に関する情報が少ないから（どのような活動が行われているかわからない）」の割合が 26.8%、「地域活動に関心がないから」の割合が 18.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事・育児・介護などで忙しくて時間がないから」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「仕事が忙しくて時間がないから」「経済的に余裕がないから」の割合が高くなっています。



問 16. 地域活動（自治会・地区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動など）での男女の役割分担についてお尋ねします。

（１）現状：地域活動の現状について（ア）から（ク）のそれぞれにあてはまるものを１つずつ選び○印をつけてください。

（２）意識：今後はどうするべきだと思いますか。（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを１つずつ選び○印をつけてください。

（１）現状

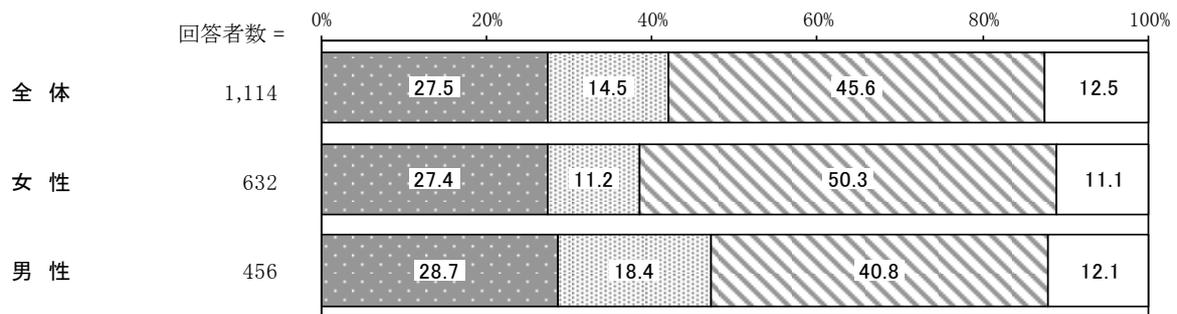
（ア）催し物の企画などは主に男性が決定している

「現状を知らない」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「そうしている」の割合が 27.5%、「そうしていない」の割合が 14.5%となっています。

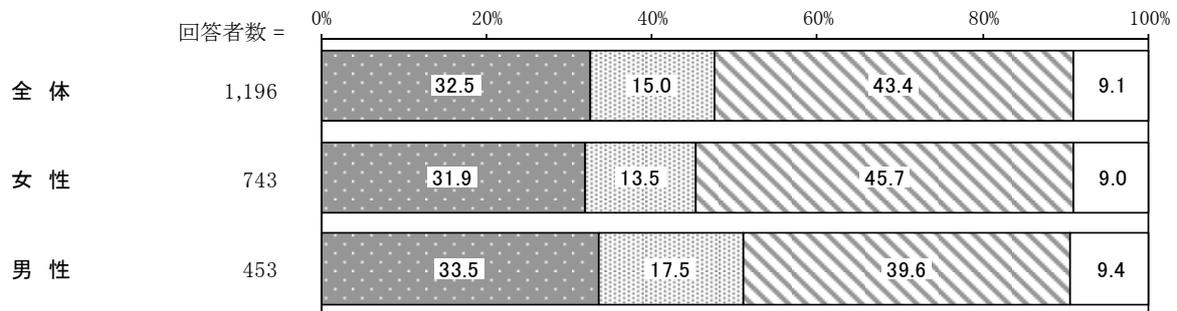
性別でみると、男性に比べ、女性で「現状を知らない」の割合が高く、「そうしていない」の割合が低くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、全体で「そうしている」の割合が減少しています。

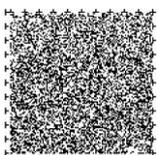
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



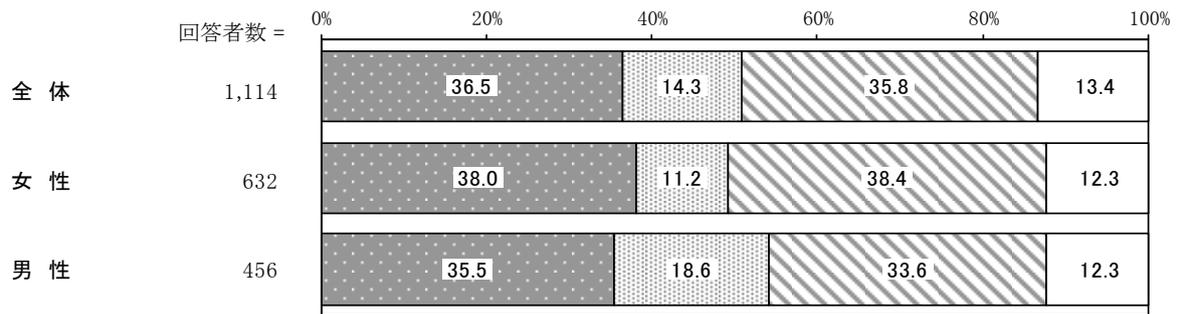
(イ) 地域活動は男性が取り仕切る

「そうしている」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「現状を知らない」の割合が 35.8%、「そうしていない」の割合が 14.3%となっています。

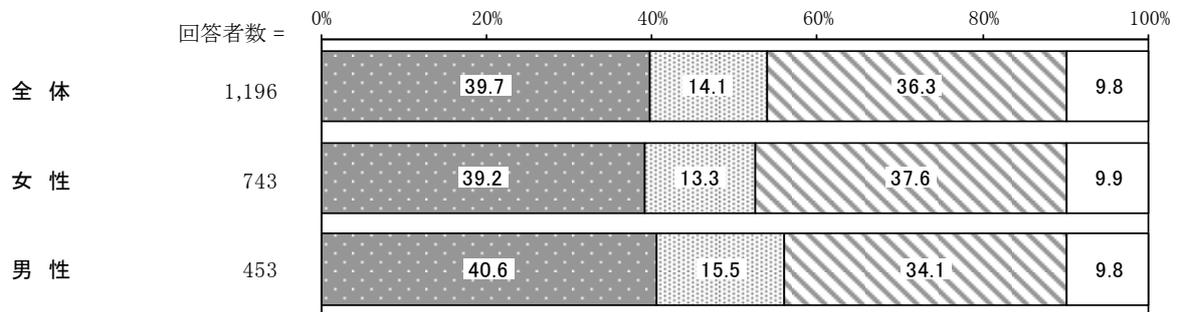
性別でみると、女性に比べ、男性で「そうしていない」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男性で「そうしている」の割合が減少しています。

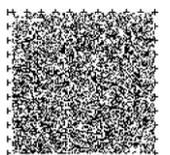
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



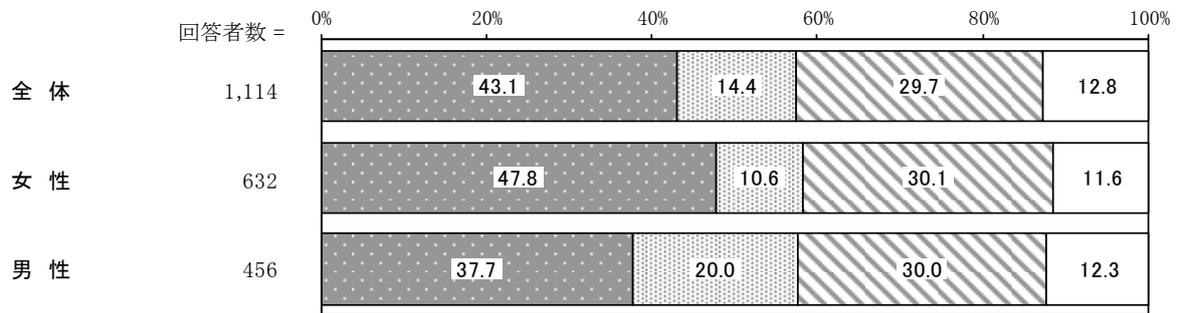
(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている

「そうしている」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「現状を知らない」の割合が 29.7%、「そうしていない」の割合が 14.4%となっています。

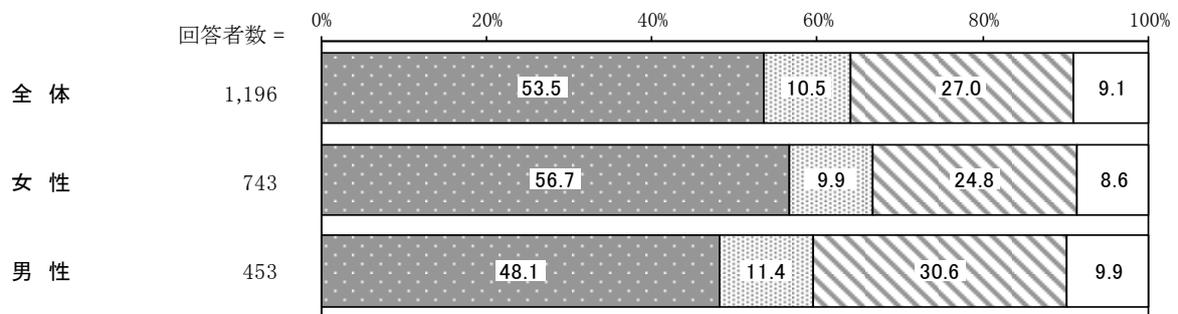
性別でみると、男性に比べ、女性で「そうしている」の割合が高く、「そうしていない」の割合が低くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男女とも「そうしている」の割合が減少しています。また、男性で「そうしていない」の割合が増加しています。

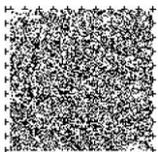
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



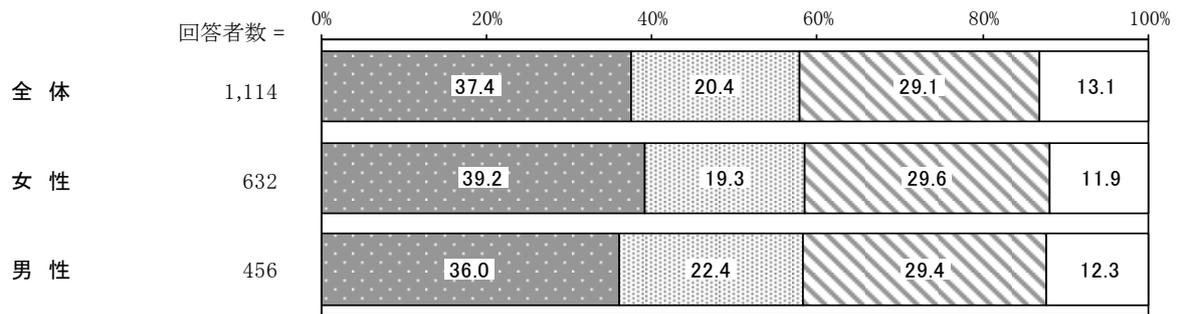
(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている

「そうしている」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「現状を知らない」の割合が 29.1%、「そうしていない」の割合が 20.4%となっています。

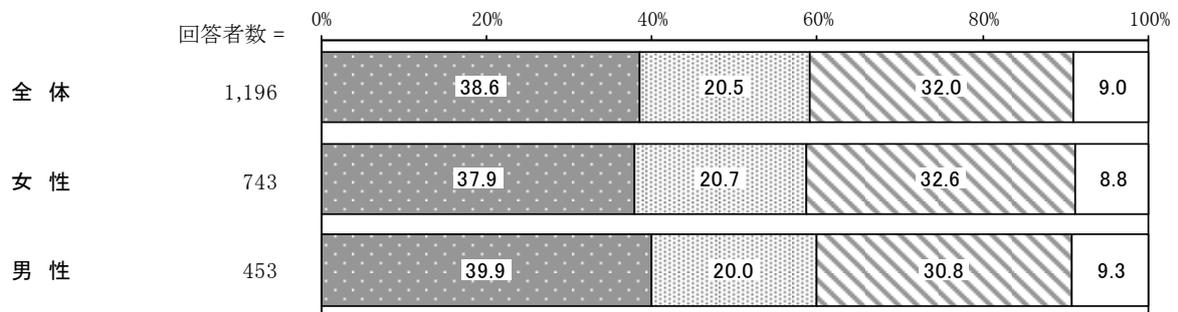
性別でみると、大きな差異はみられません。

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

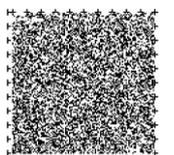
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



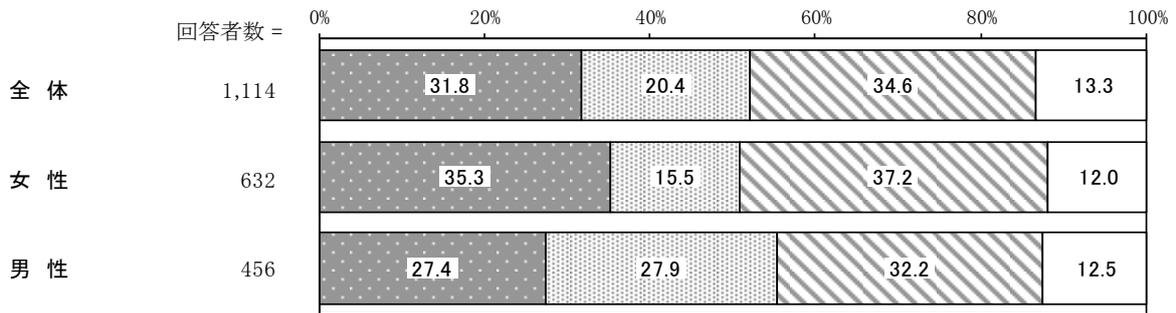
(オ) 地域での集会では男性が上座に座る

「現状を知らない」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「そうしている」の割合が 31.8%、「そうしていない」の割合が 20.4%となっています。

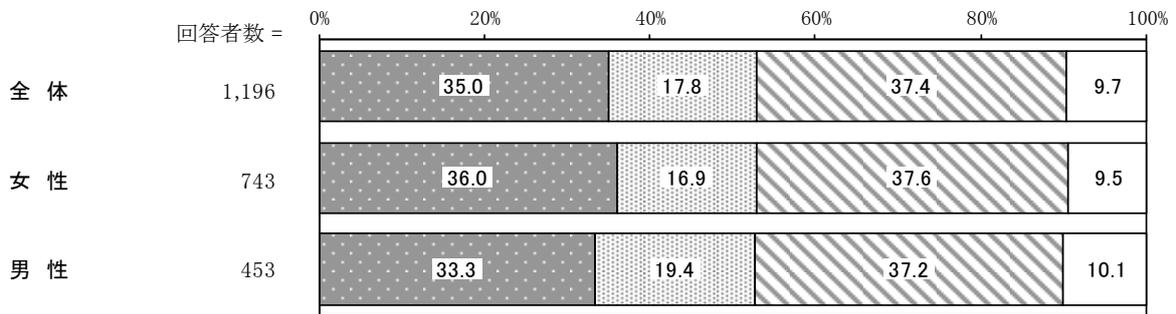
性別でみると、男性に比べ、女性で「そうしている」「現状を知らない」の割合が高く、「そうしていない」の割合が低くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男性で「そうしていない」が増加しています。

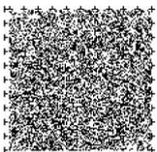
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



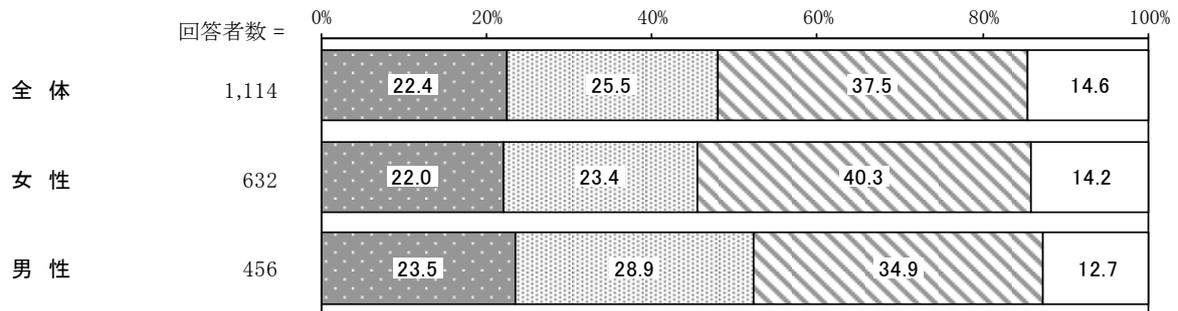
(カ) 女性の発言が少ない

「現状を知らない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「そうしていない」の割合が25.5%、「そうしている」の割合が22.4%となっています。

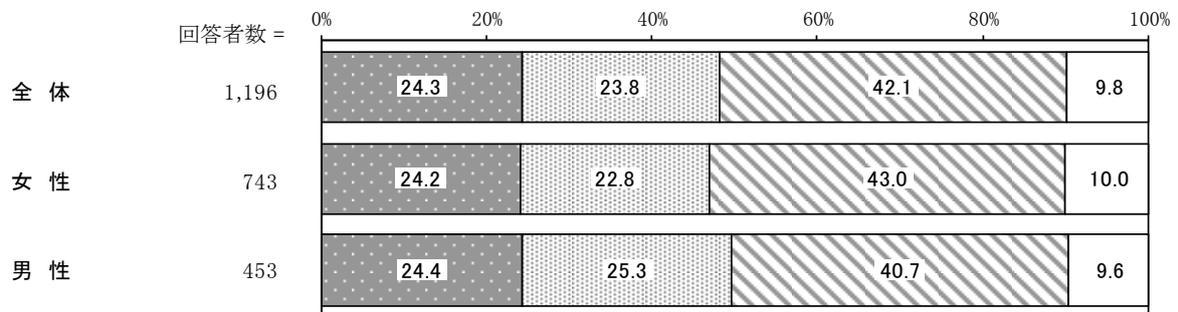
性別で見ると、男性に比べ、女性で「現状を知らない」の割合が高く、「そうしていない」の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男性で「現状を知らない」の割合が減少しています。

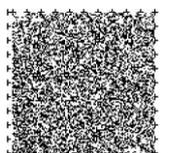
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



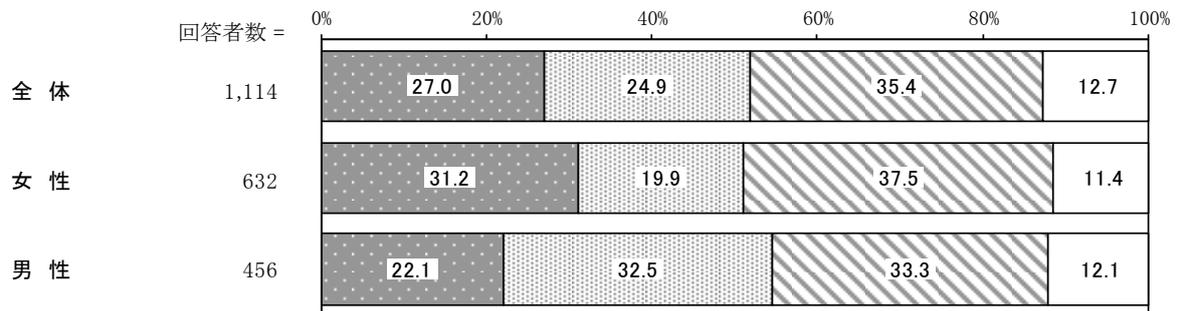
(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い

「現状を知らない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「そうしている」の割合が 27.0%、「そうしていない」の割合が 24.9%となっています。

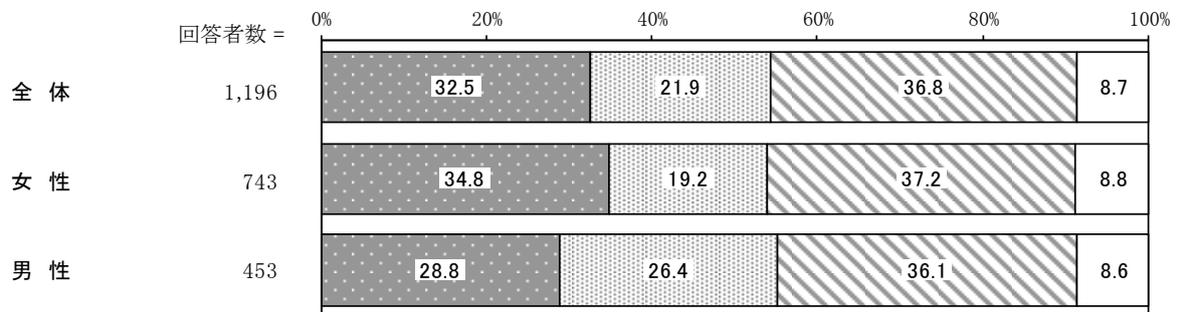
性別で見ると、男性に比べ、女性で「そうしている」の割合が高く、「そうしていない」の割合が低くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、全体、男性で「そうしている」の割合が減少しています。

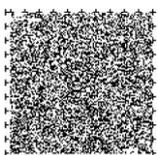
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



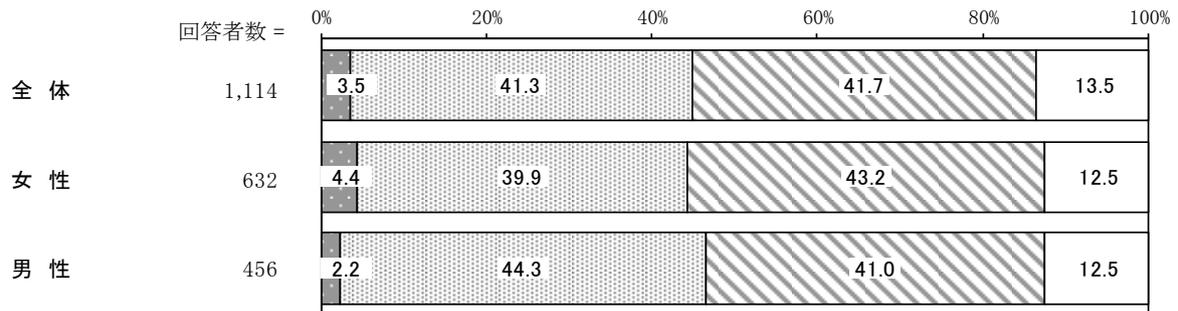
(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金がある

「現状を知らない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「そうしていない」の割合が41.3%となっています。

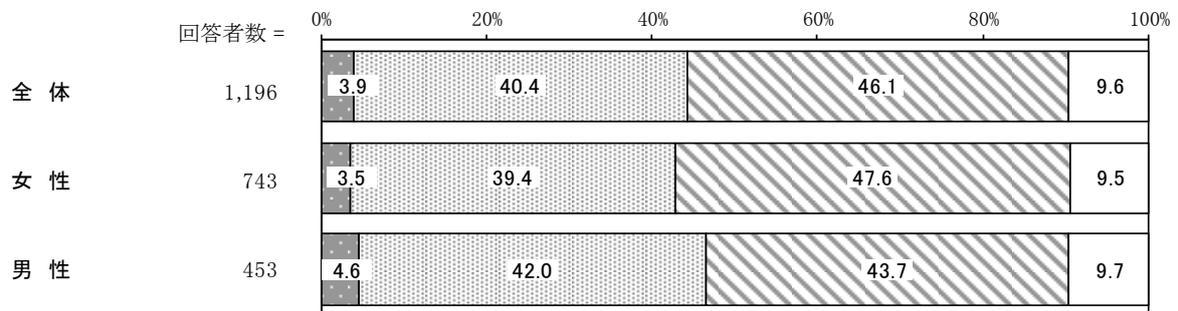
性別で見ると、大きな差異はみられません。

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

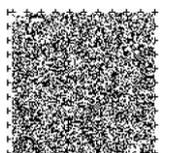
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



■ そうしている ▨ そうしていない ▩ 現状を知らない □ 無回答



(2) 意識

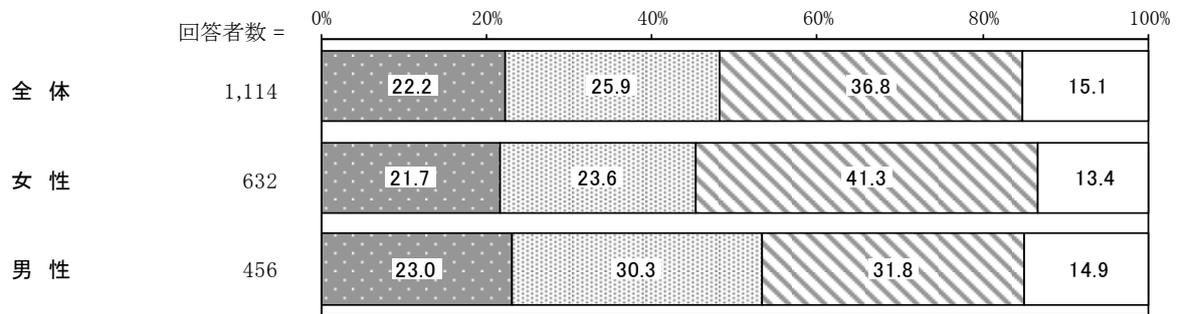
(ア) 催し物の企画などは主に男性が決定している

「わからない」の割合が36.8%と最も高く、次いで「改善すべき」の割合が25.9%、「現状のままがいい」の割合が22.2%となっています。

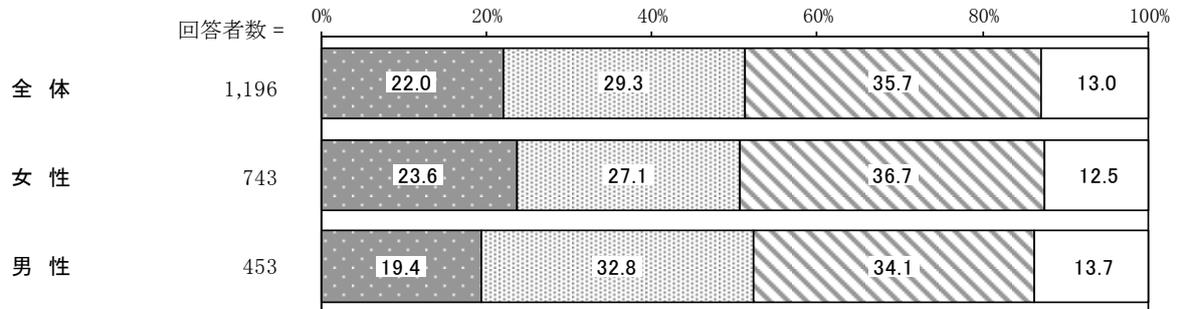
性別で見ると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高く、「改善すべき」の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

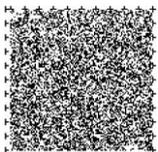
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



■ 現状のままがいい ■ 改善すべき ■ わからない □ 無回答



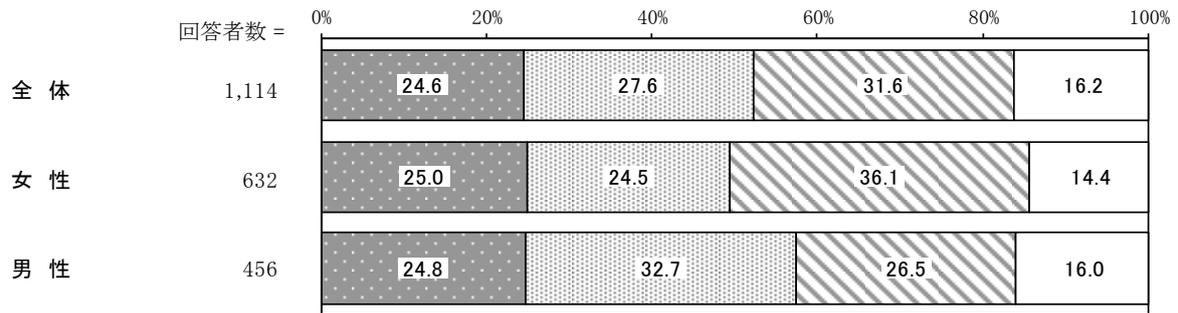
(イ) 地域活動は男性が取り仕切る

「わからない」の割合が31.6%と最も高く、次いで「改善すべき」の割合が27.6%、「現状のままでいい」の割合が24.6%となっています。

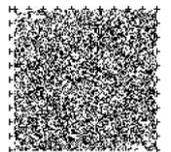
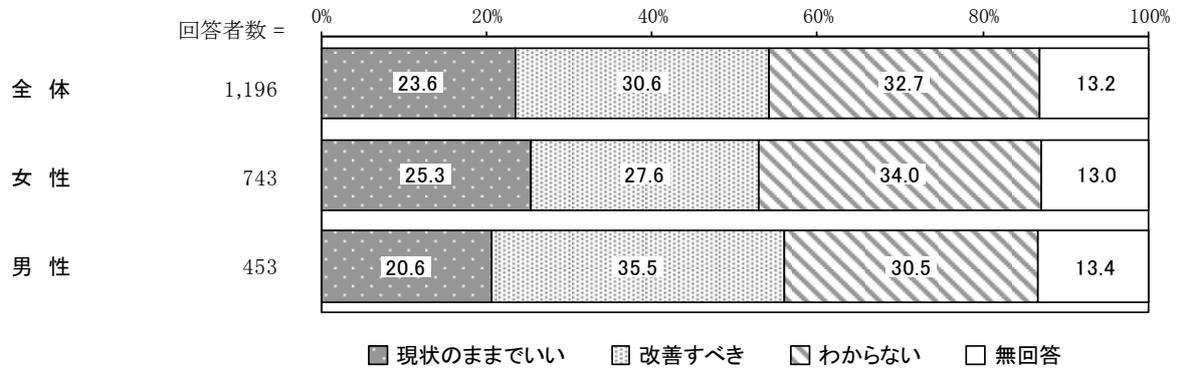
性別で見ると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高く、「改善すべき」の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



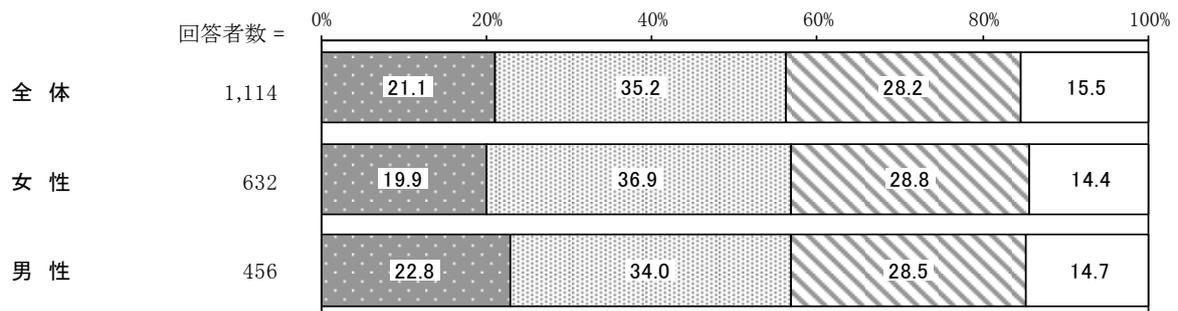
(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている

「改善すべき」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 28.2%、「現状のままでいい」の割合が 21.1%となっています。

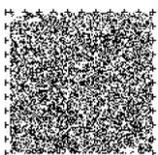
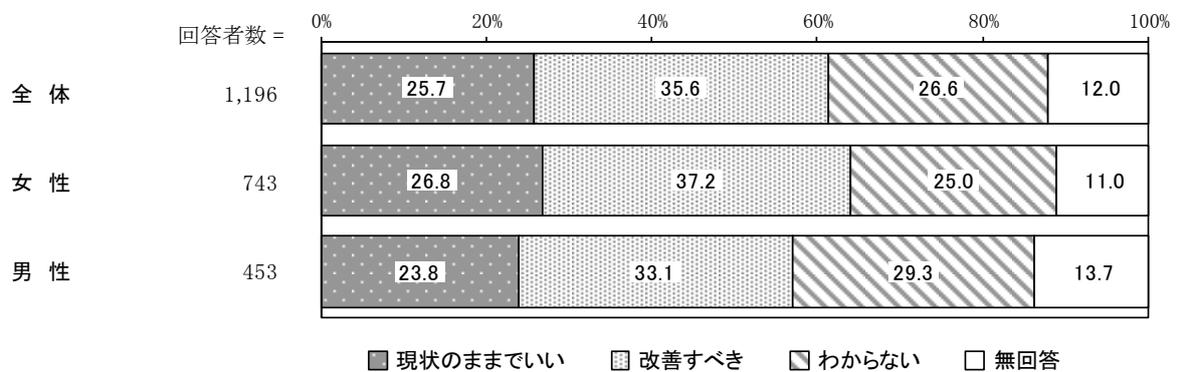
性別でみると、大きな差異はみられません。

平成 26 年度調査と比較すると、女性で「現状のままでいい」の割合が減少しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



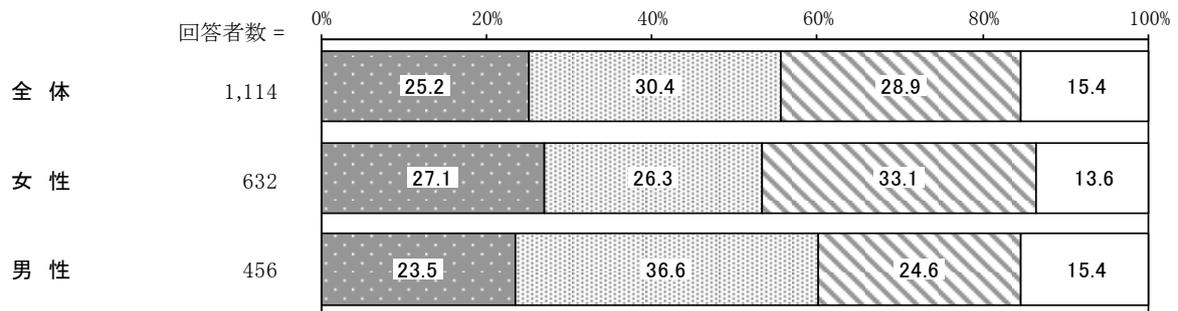
(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている

「改善すべき」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 28.9%、「現状のままでいい」の割合が 25.2%となっています。

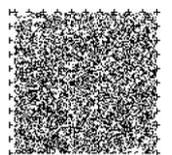
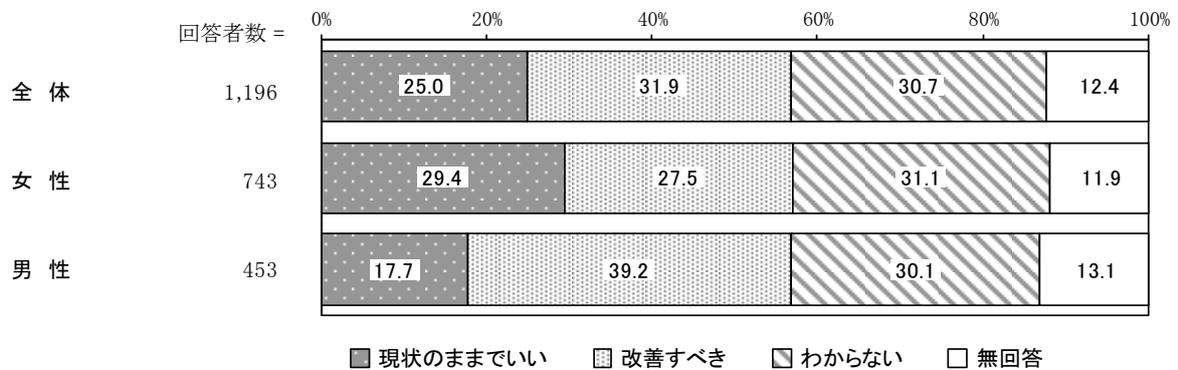
性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高く、「改善すべき」の割合が低くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男性で「現状のままでいい」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



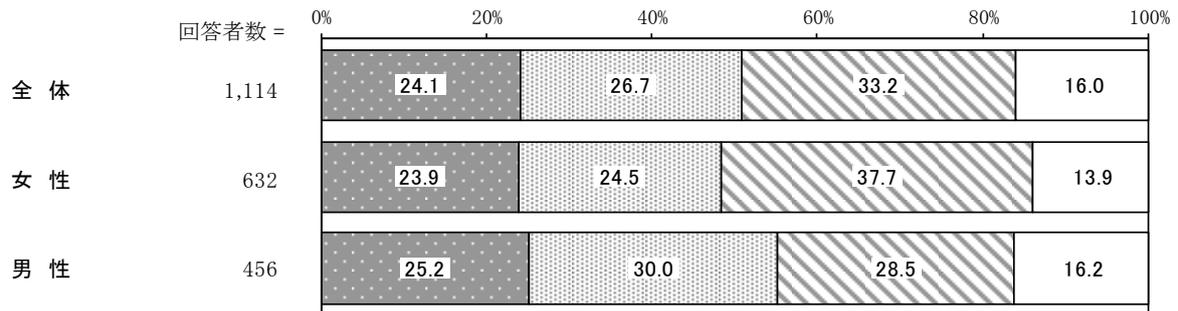
(オ) 地域での集会では男性が上座に座る

「わからない」の割合が33.2%と最も高く、次いで「改善すべき」の割合が26.7%、「現状のままがいい」の割合が24.1%となっています。

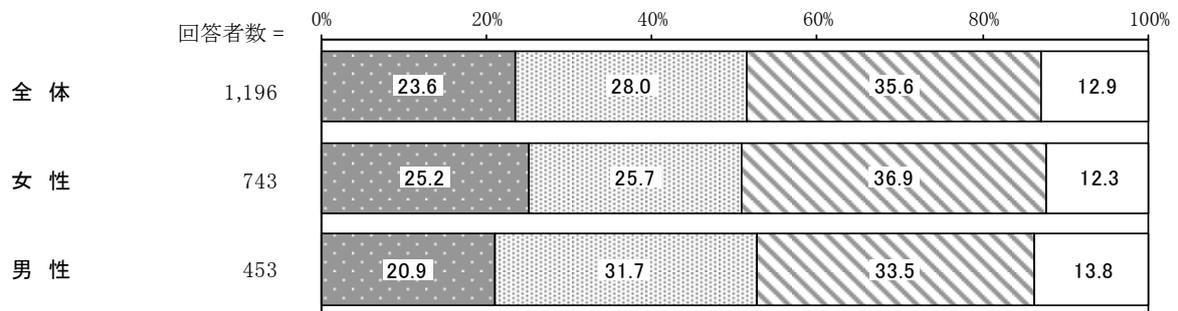
性別で見ると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高く、「改善すべき」の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男性で「わからない」の割合が減少しています。

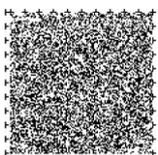
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



■ 現状のままがいい ■ 改善すべき ■ わからない □ 無回答



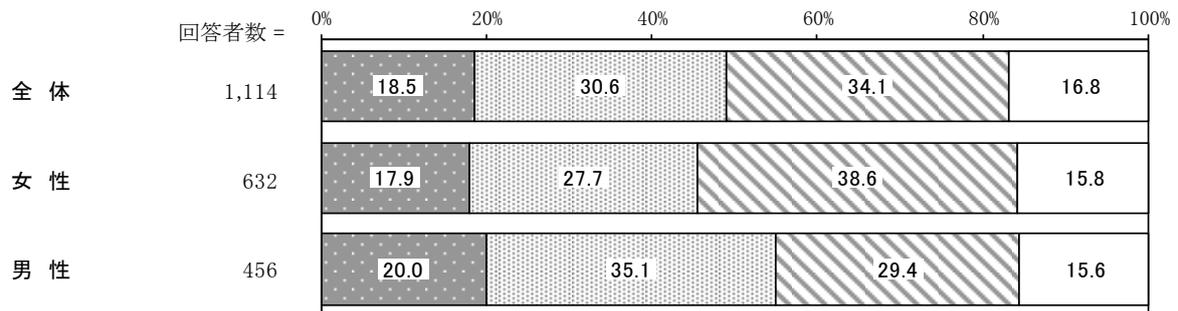
(カ) 女性の発言が少ない

「わからない」の割合が34.1%と最も高く、次いで「改善すべき」の割合が30.6%、「現状のままがいい」の割合が18.5%となっています。

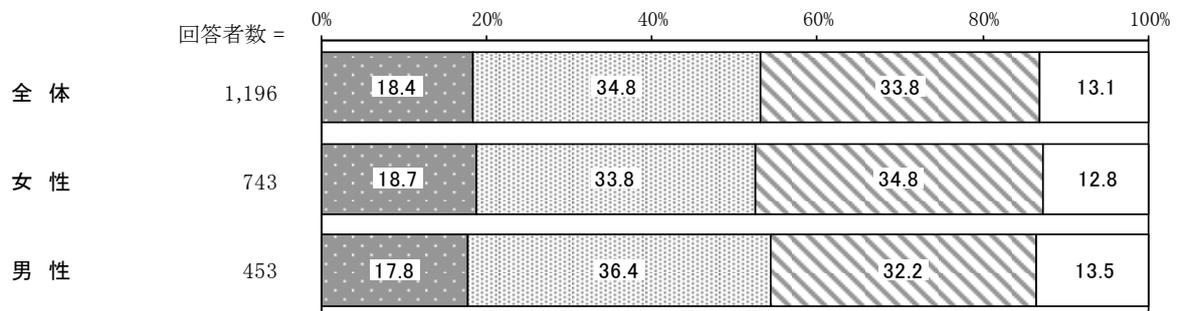
性別で見ると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高く、「改善すべき」の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、女性で「改善すべき」の割合が減少しています。

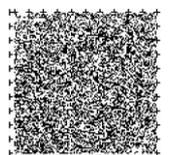
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



■ 現状のままがいい ■ 改善すべき ■ わからない □ 無回答



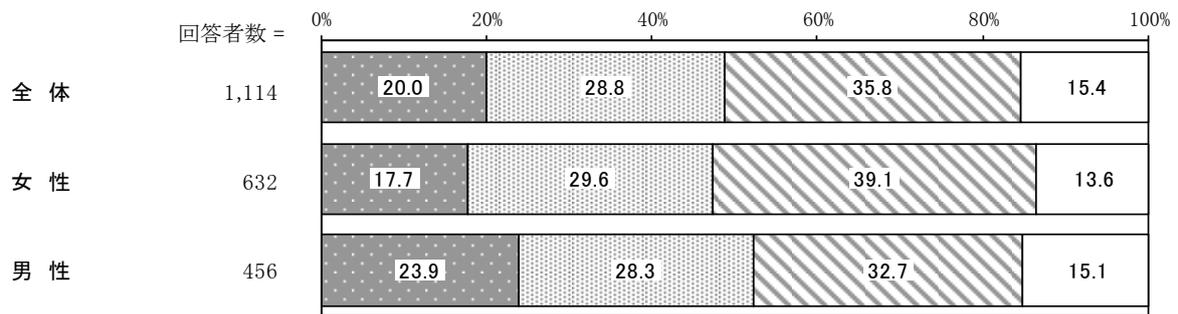
(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い

「わからない」の割合が35.8%と最も高く、次いで「改善すべき」の割合が28.8%、「現状のままがいい」の割合が20.0%となっています。

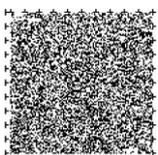
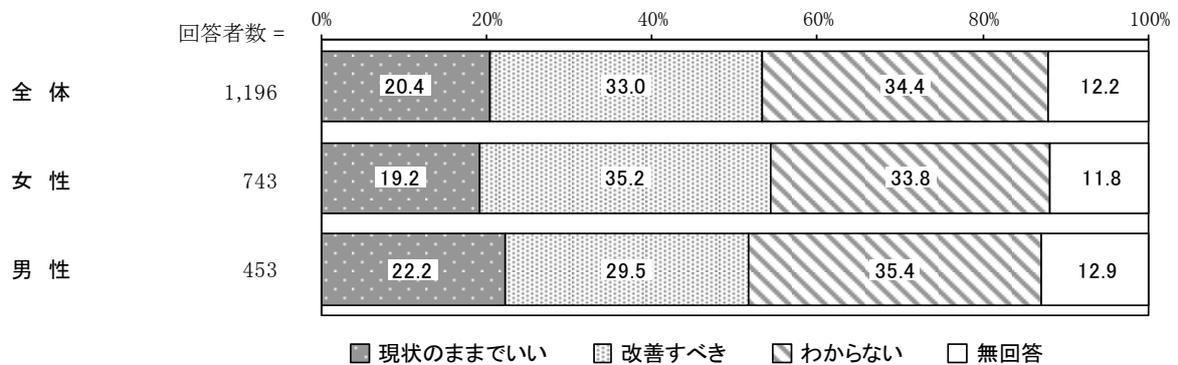
性別で見ると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高く、「現状のままがいい」の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、女性で「改善すべき」の割合が減少しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



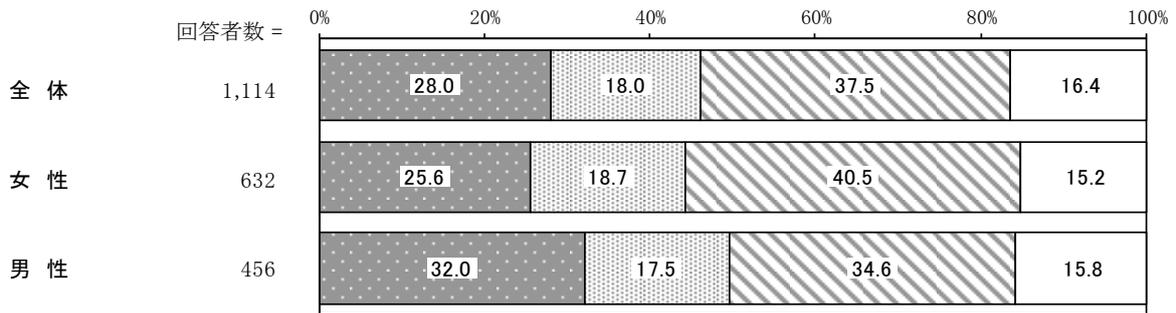
(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金がある

「わからない」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「現状のままでいい」の割合が 28.0%、「改善すべき」の割合が 18.0%となっています。

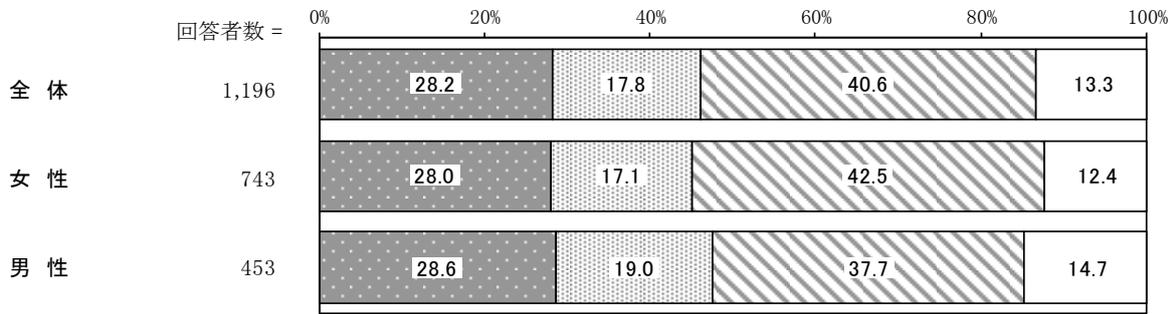
性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高く、「現状のままでいい」の割合が低くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

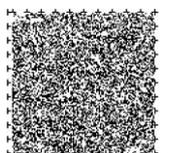
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ 現状のままでいい ■ 改善すべき ■ わからない □ 無回答



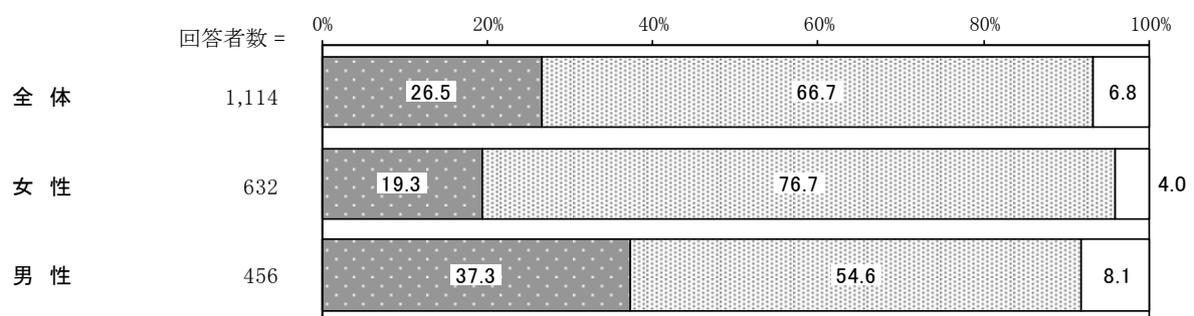
問 17. 自治会長や校区コミュニティ組織の会長、PTA会長などの地域の役職についてお尋ねします。女性の方は、もし、あなた自身が推薦されたら引き受けますか。男性の方は、妻などの身近な女性が推薦されたとしたら引き受けることをすすめますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「引き受ける（引き受けることをすすめる）」の割合が 26.5%、「断る（断ることをすすめる）」の割合が 66.7%となっています。

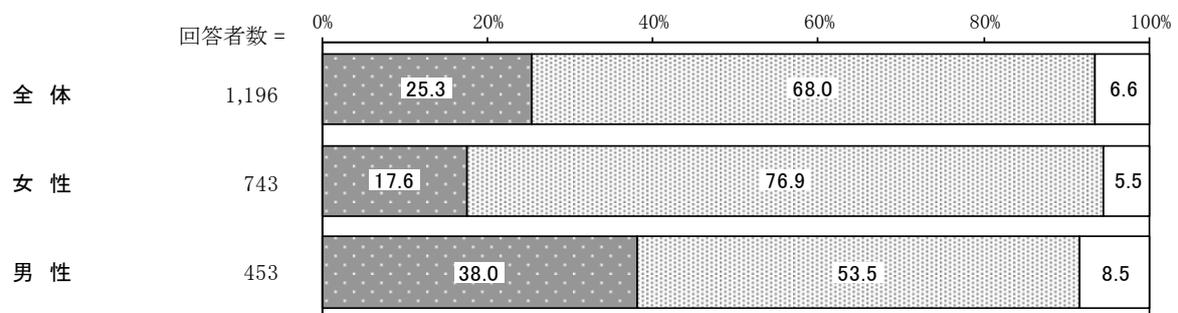
性別で見ると、男性に比べ、女性で「断る（断ることをすすめる）」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

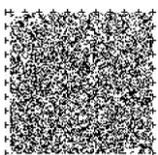
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ 引き受ける(引き受けることをすすめる) ■ 断る(断ることをすすめる) □ 無回答



付問 1. 【問 17 で 2. 「断る（断ることをすすめる）」と答えた方に】
その理由は何ですか。あてはまるものを 1 つ選び番号に○印をつけてください。

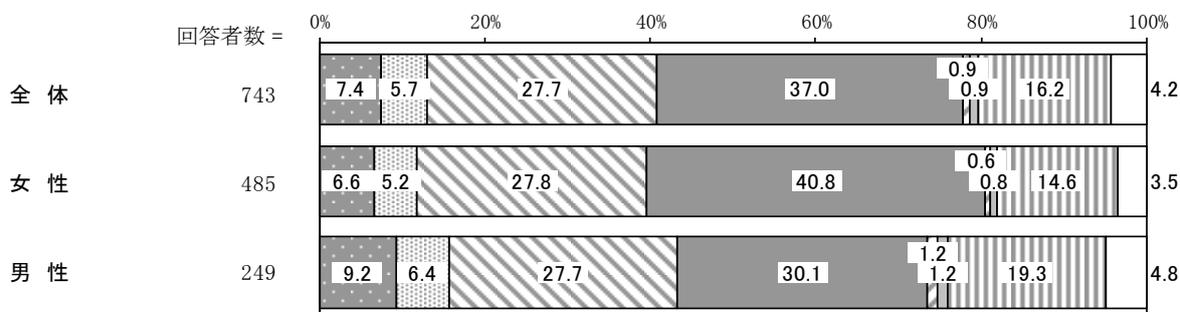
「役職につく知識や経験がないから」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「家事・育児や介護に支障がでるから」の割合が 27.7%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「役職につく知識や経験がないから」の割合が高くなっています。

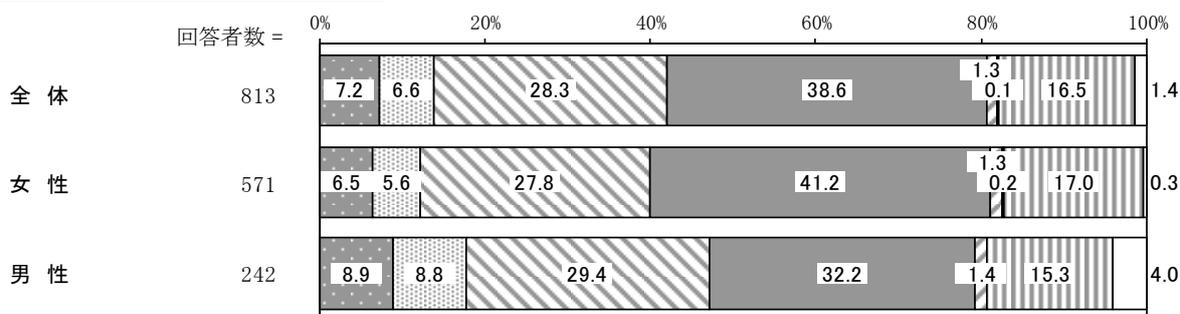
性・年代別で見ると、女性の 30 歳代、40 歳代、男性の 10・20 歳代から 50 歳代で「家事・育児や介護に支障がでるから」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

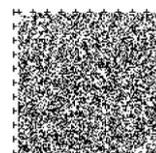
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



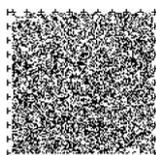
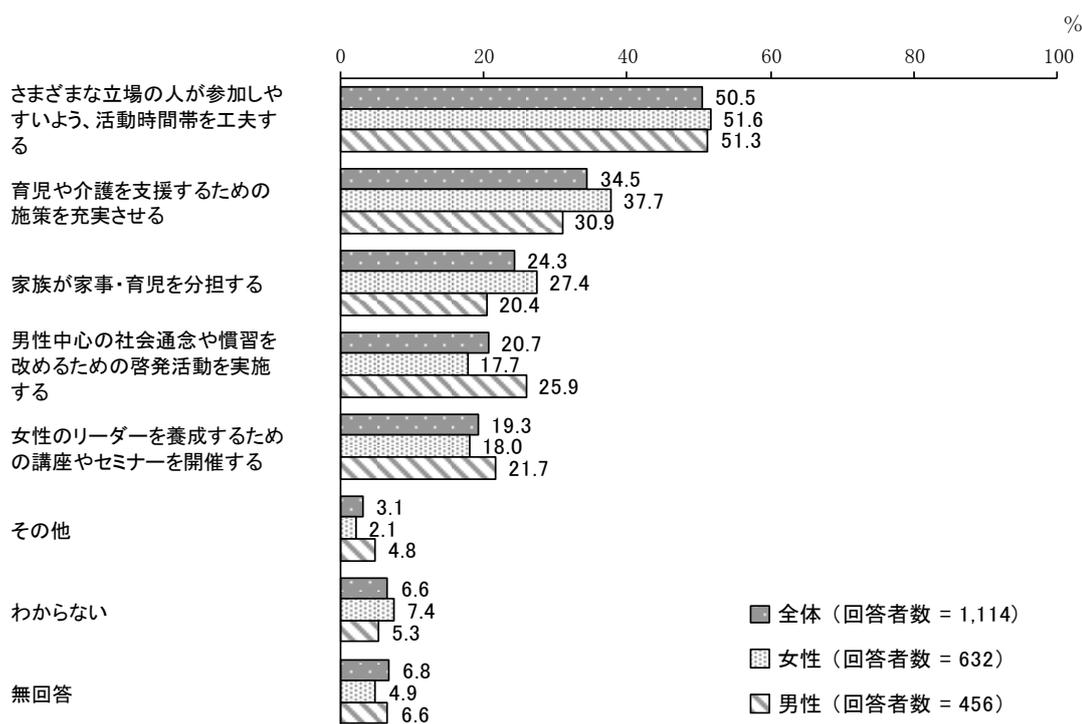
- 家族の協力が得られないから
- ▨ 女性が役職につくことを快く思わない社会通念があるから
- ▨ 家事・育児や介護に支障がでるから
- 役職につく知識や経験がないから
- ▨ 女性には向いていないから
- ▨ 世間体が変わるから
- ▨ その他
- 無回答



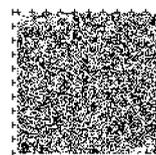
問 18. あなたは、地域活動における女性リーダーを増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

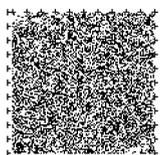
「さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する」の割合が50.5%と最も高く、次いで「育児や介護を支援するための施策を充実させる」の割合が34.5%、「家族が家事・育児を分担する」の割合が24.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「育児や介護を支援するための施策を充実させる」「家族が家事・育児を分担する」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「男性中心の社会通念や慣習を改めるための啓発活動を実施する」の割合が高くなっています。



第6章 人権侵害について





第6章 人権侵害について

問 19. あなたが女性への人権侵害と思うものはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

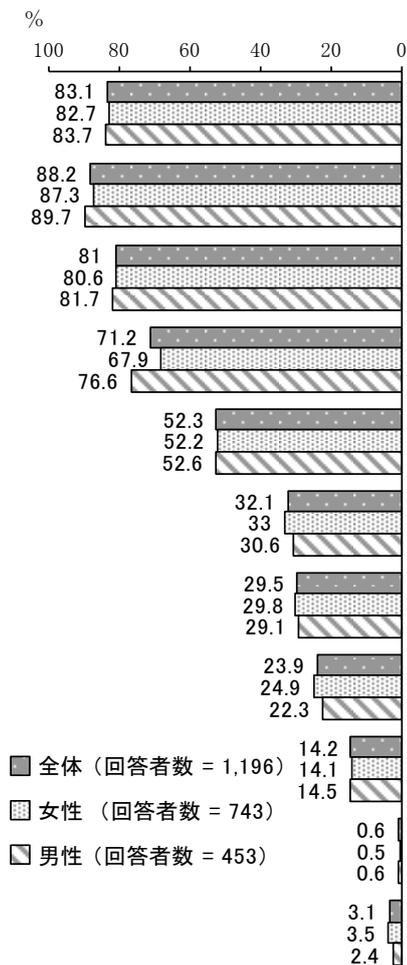
「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」の割合が79.4%と最も高く、次いで「痴漢や強制性交（レイプ）などの性犯罪」の割合が79.0%、「ドメスティック・バイオレンス：DV（夫・パートナーや恋人からの暴力）」の割合が73.2%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアにおける女性の性的描写」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「ストーカー行為（つきまとい行為）」の割合が高くなっています。

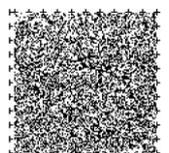
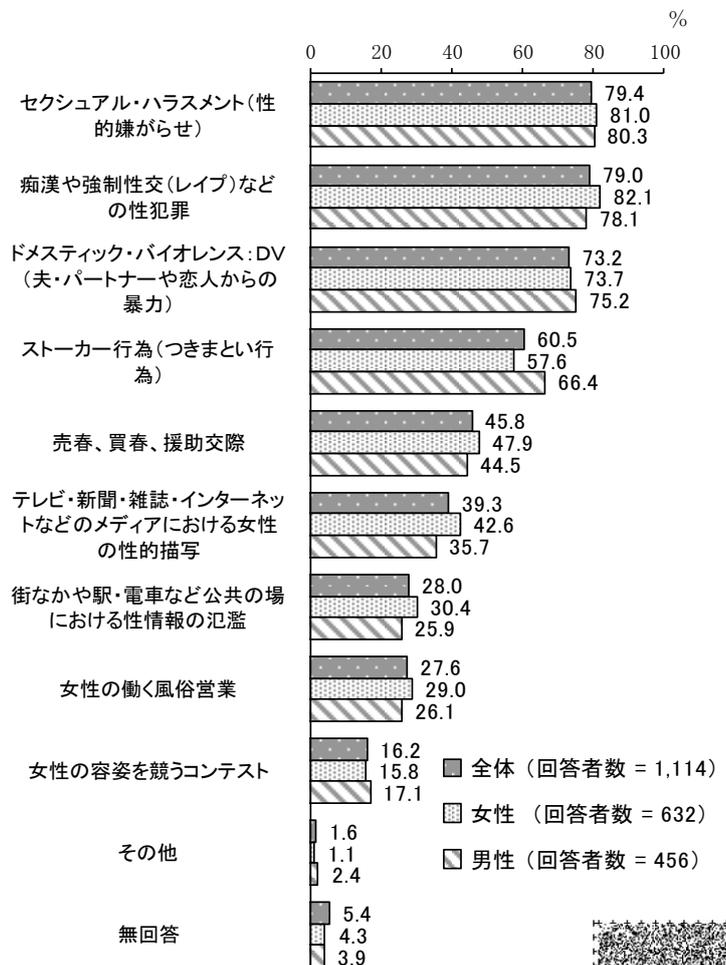
固定的性別役割分担意識別でみると、「同感する」人で「痴漢や強制性交などの性犯罪」「セクシュアル・ハラスメント」「ドメスティック・バイオレンス」「ストーカー行為」の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男女とも「痴漢や強制性交（レイプ）などの性犯罪」「ドメスティック・バイオレンス：DV（夫・パートナーや恋人からの暴力）」「ストーカー行為（つきまとい行為）」の割合が減少し、「テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアにおける女性の性的描写」の割合が増加しています。

【久留米市（平成26年度調査）】



【久留米市（令和元年度調査）】

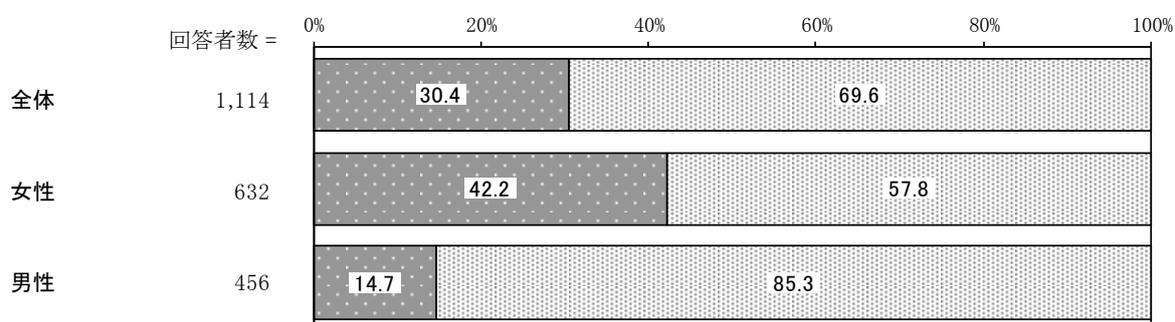


問 20. (1)、(2) のそれぞれについてあてはまるものすべて選び○印をつけてください。
 (1). (ア) から (コ) の中で、この5年間にあなた自身が受けた経験があるものはどれですか。経験があるものすべて選び○印をつけてください。
 (2). (ア) から (コ) の中で、あなたがセクシュアル・ハラスメント (セクハラ) に該当すると思うものはどれですか。あてはまるものをすべて選び○印をつけてください。

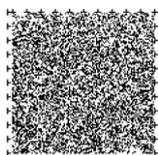
セクハラを受けた経験

「セクハラを受けたことがある人」の割合が 30.4%、「セクハラを受けたことがない人」の割合が 69.6%となっています。

性別でみると、女性で「セクハラを受けたことがある人」の割合が 42.2%、男性で「セクハラを受けたことがある人」の割合が 14.7%となっています。



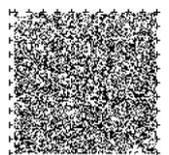
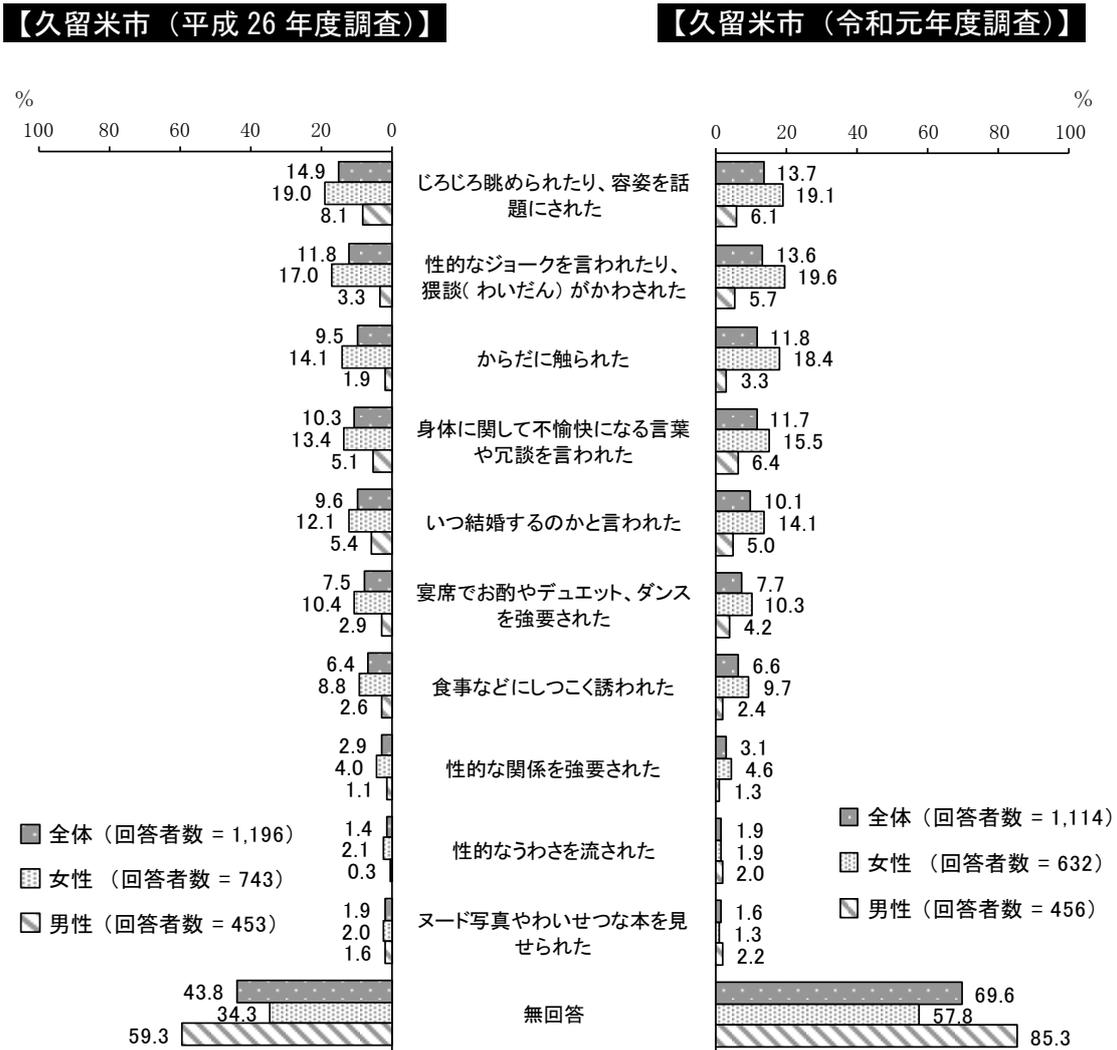
■ セクハラを受けたことがある人 ▨ セクハラを受けたことがない人 □ 無回答



(1) 経験がある

「じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた」の割合が13.7%と最も高く、次いで「性的なジョークを言われたり、猥談がかわされた」の割合が13.6%、「からだに触られた」の割合が11.8%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた」「からだに触られた」「食事などにしつこく誘われた」「性的なジョークを言われたり、猥談(わいだん)がかわされた」「身体に関して不愉快になる言葉や冗談を言われた」「宴席でお酌やデュエット、ダンスを強要された」「いつ結婚するのかわ言われた」の割合が高くなっています。



(2) セクハラだと思う

「性的な関係を強要された」の割合が62.5%と最も高く、次いで「からだに触られた」の割合が57.2%、「性的なうわさを流された」の割合が53.6%となっています。

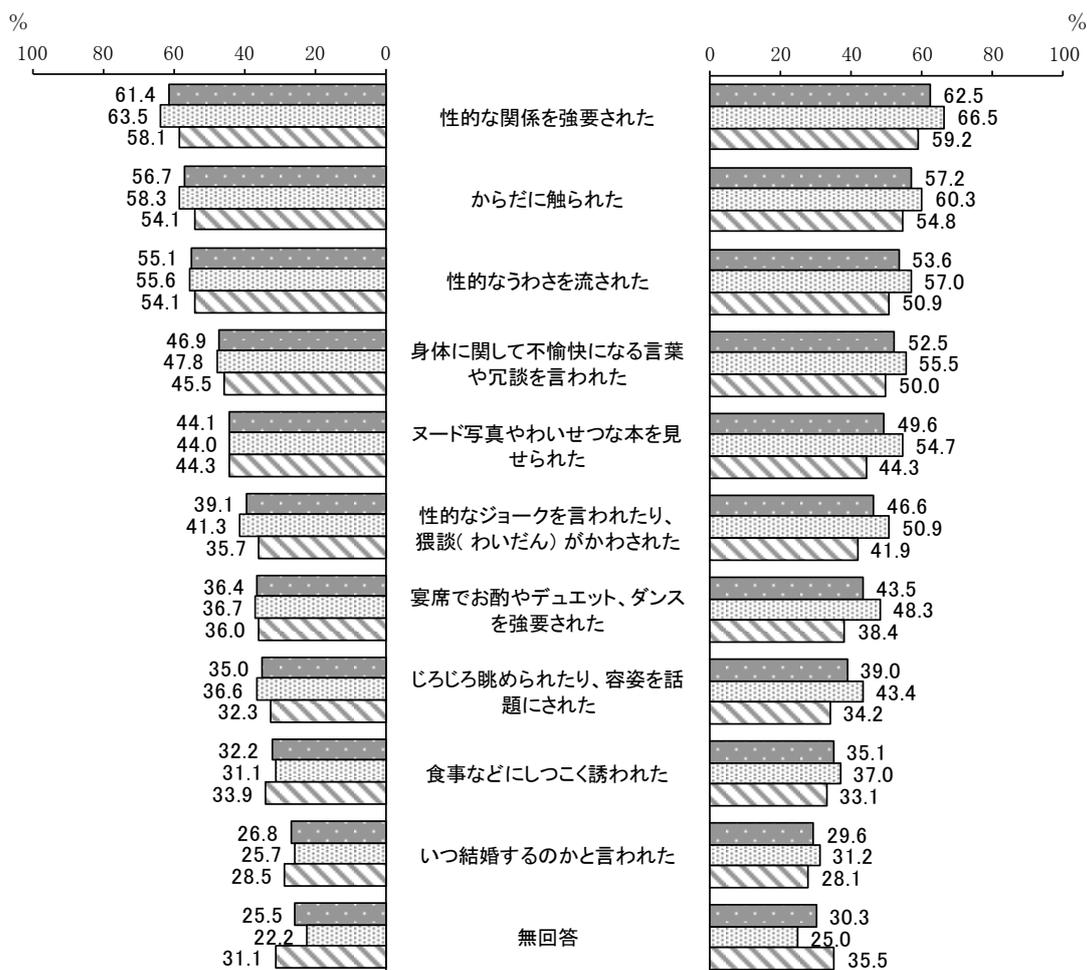
性別でみると、男性に比べ、女性で「じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた」「性的な関係を強要された」「からだに触られた」「性的なジョークを言われたり、猥談(わいだん)がかわされた」「身体に関して不愉快になる言葉や冗談を言われた」「ヌード写真やわいせつな本を見せられた」「性的なうわさを流された」「宴席でお酌やデュエット、ダンスを強要された」の割合が高くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「同感する」程度が強いほど各項目の割合が低くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男女とも「性的なジョークを言われたり、猥談がかわされた」の割合が増加しています。また、全体、女性で「じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた」「食事などにしつこく誘われた」「身体に関して不愉快になる言葉や冗談を言われた」「ヌード写真やわいせつな本を見せられた」「宴席でお酌やデュエット、ダンスを強要された」の割合が高くなっています。

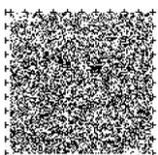
【久留米市（平成26年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】



■ 全体（回答者数 = 1,196）
 ■ 女性（回答者数 = 743）
 ■ 男性（回答者数 = 453）

■ 全体（回答者数 = 1,114）
 ■ 女性（回答者数 = 632）
 ■ 男性（回答者数 = 456）



付問 1. 【問 20（1）で「経験がある」と答えた方に】

その経験はどこで起きましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

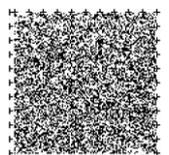
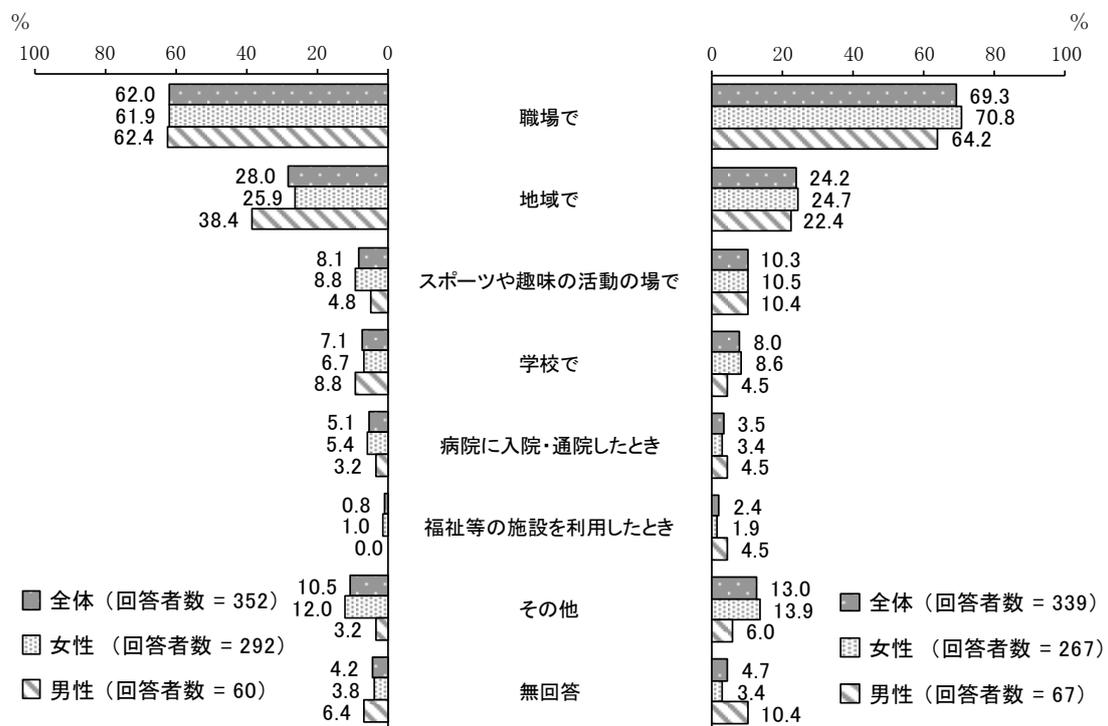
「職場で」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「地域で」の割合が 24.2%、「スポーツや趣味の活動の場で」の割合が 10.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「職場で」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男性で「地域で」の割合が減少しています。また、全体、女性で「職場で」の割合が増加しています。

【久留米市（平成 26 年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】



付問2. 【問20(1)で「経験がある」と答えた方に】

その後、あなたはどのような行動を取りましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

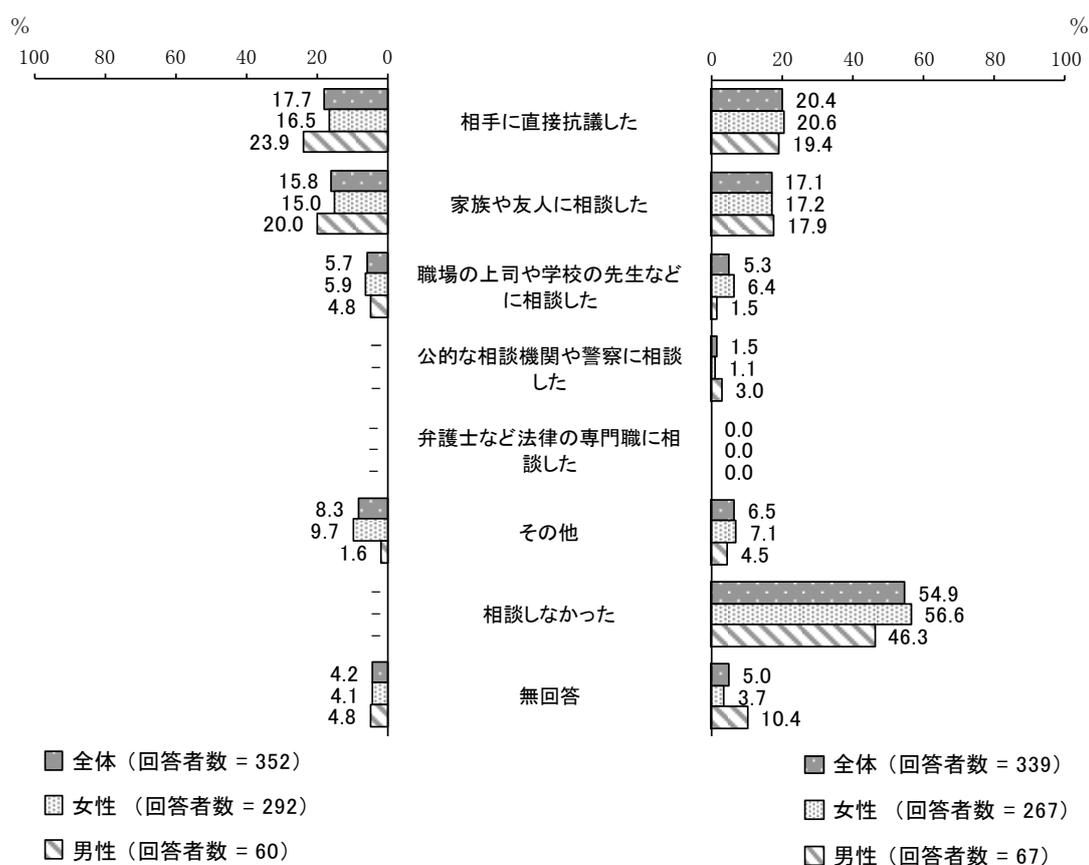
「相談しなかった」の割合が54.9%と最も高く、次いで「相手に直接抗議した」の割合が20.4%、「家族や友人に相談した」の割合が17.1%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「相談しなかった」の割合が高くなっています。

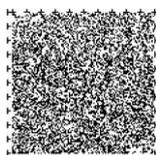
平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【久留米市（平成26年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】



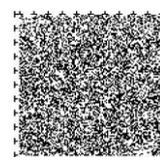
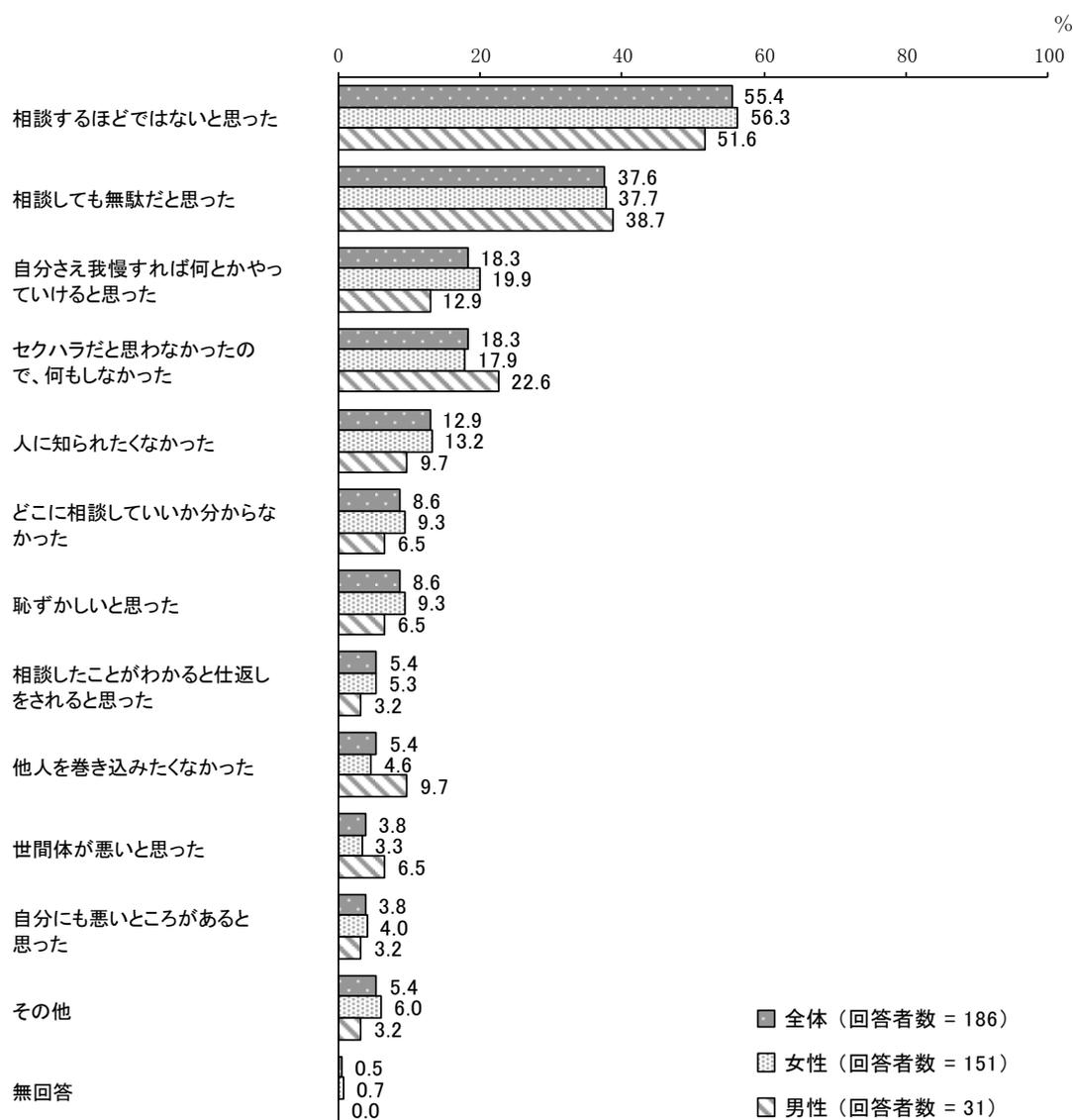
※「公的な相談機関や警察に相談した」「弁護士など法律の専門職に相談した」は平成26年度調査では「公的な相談機関や警察、弁護士などに相談した」という1つの選択肢でした。「相談しなかった」は令和元年度調査から新たに追加しました。



付問 2-1. 【付問 2 で「7. 相談しなかった」と答えた方に】
 相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

「相談するほどではないと思った」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」の割合が 37.6%、「自分さえ我慢すれば何とかやっていたらよかった」、「セクハラだと思わなかった」の割合が 18.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「自分さえ我慢すれば何とかやっていたらよかった」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「他人を巻き込みたくなかった」の割合が高くなっています。



問 21. 次のことが配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中も含む）や交際相手の間で行われた場合、暴力だと思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○印をつけてください。

(ア) 素手でたたく。殴る・蹴る・体を傷つける可能性のあるもので殴る

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が78.9%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が11.4%となっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

性・年代別で見ると、女性の70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が69.2%と最も低くなっています。

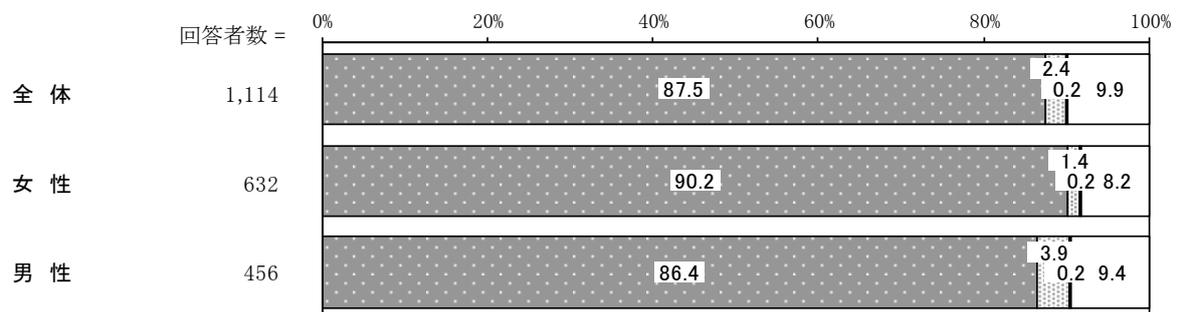


(イ) 首を絞める

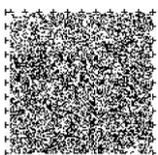
「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が87.5%と最も高くなっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

性・年代別で見ると、女性の70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が74.8%と最も低くなっています。



- どんな場合でも暴力にあたる
- ▨ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
- 暴力にはあたらない
- 無回答

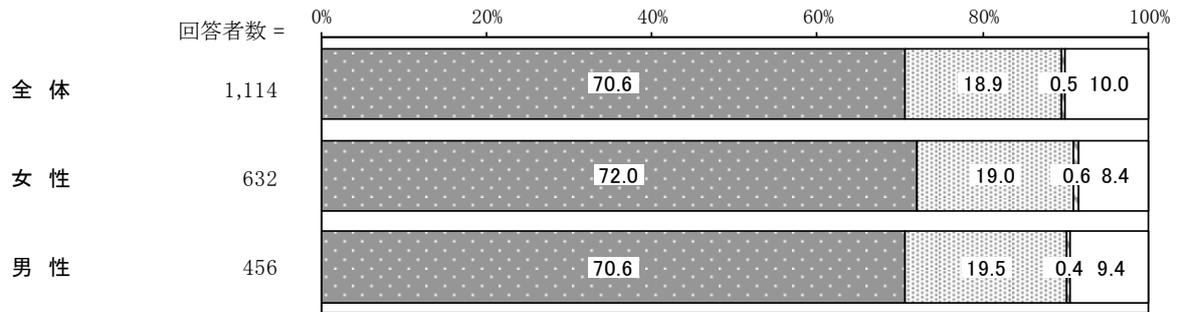


(ウ) 相手に向かって物を投げつける

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が70.6%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が18.9%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

性・年代別でみると、女性の70歳以上、男性の30歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が約6割と低くなっています。



(エ) 殴るふりやドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして脅す

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が58.8%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が28.7%となっています。

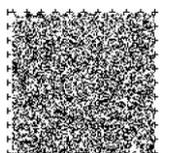
性別でみると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、男女ともに年代が高くなるにつれて「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が低くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、男女ともに「同感する」人ほど「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が低くなっています。



- どんな場合でも暴力にあたる
- ▨ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
- 暴力にはあたらない
- 無回答



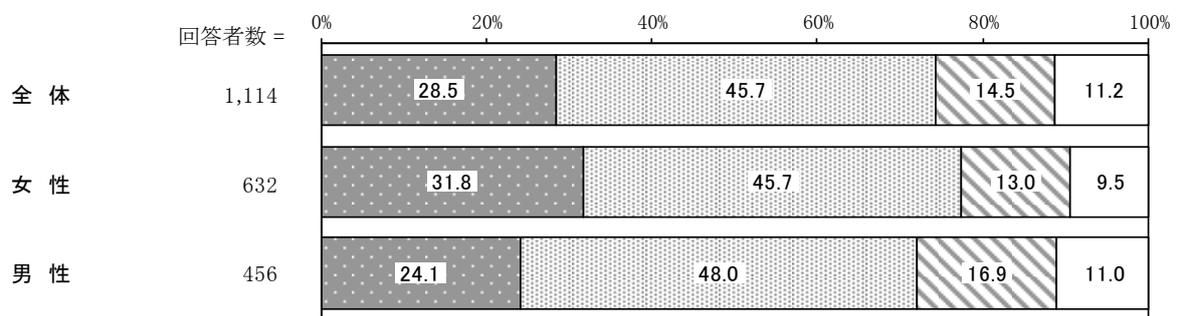
(オ) 何を言っても無視する

「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 28.5%、「暴力にはあたらない」の割合が 14.5%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の 70 歳以上、男性の 60 歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 1 割半ばと低くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、女性の「同感しない」人で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 41.1%と最も高くなっています。

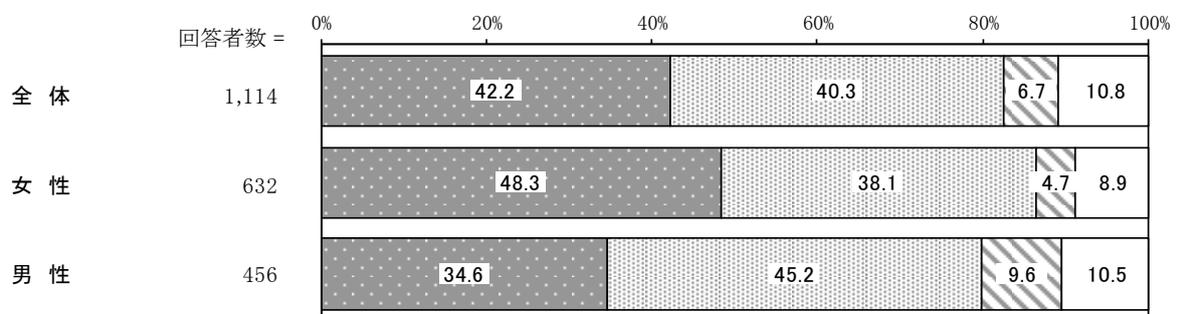


(カ) 大声で怒鳴る

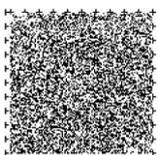
「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 40.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の 70 歳以上、男性の 60 歳以上で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が約 3 割と低くなっています。



- どんな場合でも暴力にあたる
- ▨ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
- ▤ 暴力にはあたらない
- 無回答



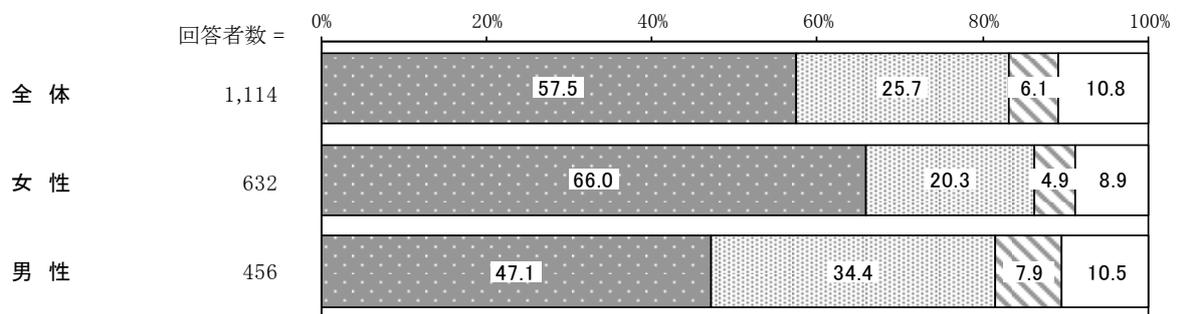
(キ) 「誰のおかげで生活できるんだ」、「甲斐性無し」などと言う

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 25.7%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の 10・20 歳代から 50 歳代で「どんな場合でも暴力に当たる」の割合が 7 割を超え高くなっています。一方、男性の 60 歳以上で「どんな場合でも暴力に当たる」の割合が約 4 割と低くなっています。

固定的性別役割分担意識別で見ると、男女ともに「同感する」人を除き「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。



(ク) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する

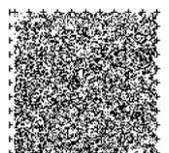
「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 14.5%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、男女ともに年代が高くなるにつれ「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が低くなっています。



- どんな場合でも暴力にあたる
- ▨ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
- ▤ 暴力にはあたらぬ
- 無回答



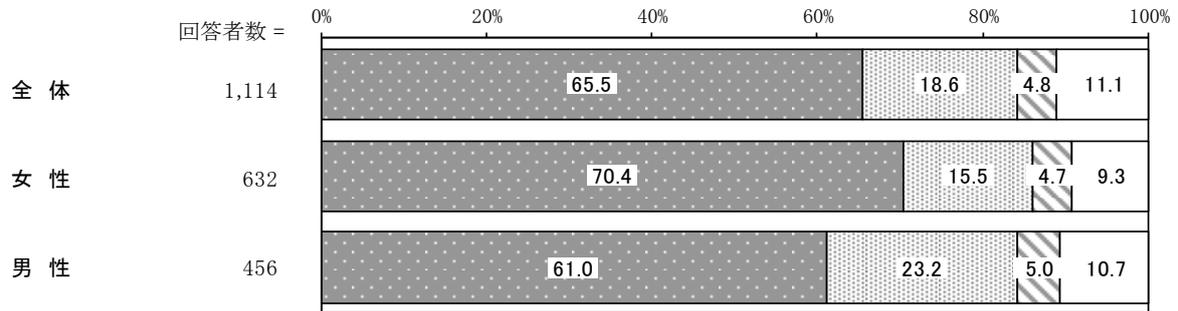
(ケ) 相手が嫌がっているのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が65.5%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が18.6%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、いずれの性・年代でも「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

固定的性別役割分担意識別で見ると、男性の「同感する」人を除き「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。



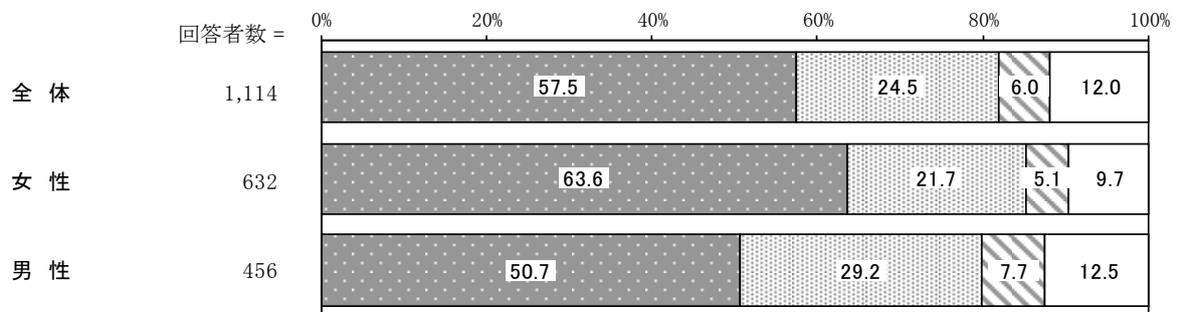
(コ) 避妊に協力しない

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が57.5%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が24.5%となっています。

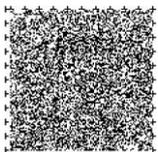
性別で見ると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、いずれの性・年代でも「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

固定的性別役割分担意識別で見ると、男性の「同感する」人を除き「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。



- どんな場合でも暴力にあたる
- ▨ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
- 暴力にはあたらない
- 無回答



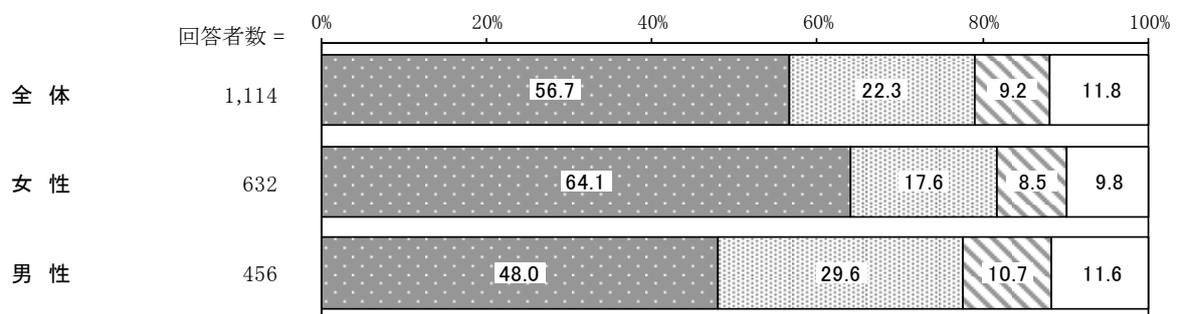
(サ) 生活費など必要なお金を渡さない

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 22.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、いずれの性・年代でも「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。一方、男性の 60 歳以上で「暴力にはあたらない」の割合が 1 割半ばと高くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、男女ともに「同感する」人を除き、「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

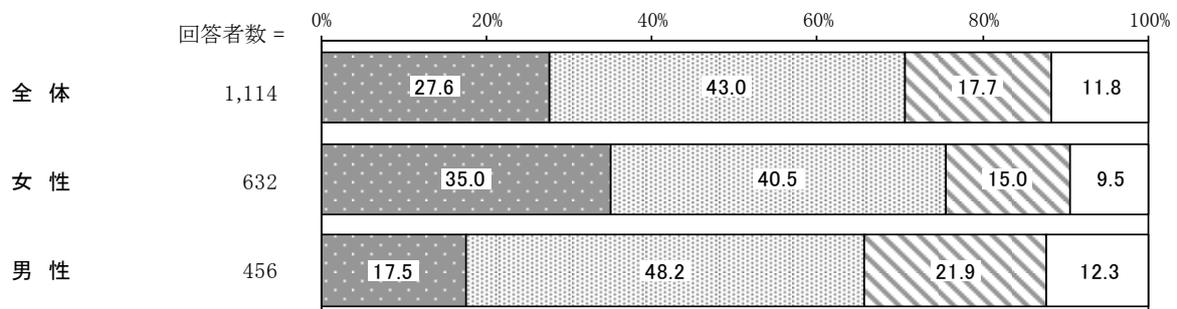


(シ) 生活費を必要以上に細かくチェックする

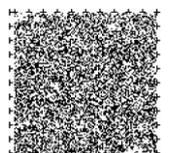
「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 27.6%、「暴力にはあたらない」の割合が 17.7%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」「暴力にはあたらない」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の 70 歳以上、男性の 40 歳代、60 歳以上で「暴力にはあたらない」の割合が 2 割を超え高くなっています。



- どんな場合でも暴力にあたる
- ▨ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
- ▧ 暴力にはあたらない
- 無回答



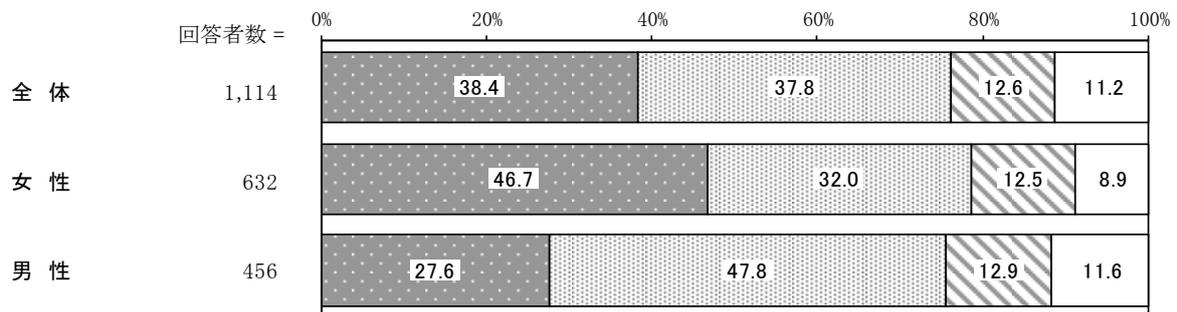
(ス) 身内や友達との付き合いや外出を制限する

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 37.8%、「暴力にはあたらない」の割合が 12.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の 70 歳以上、男性の 60 歳以上で「暴力にはあたらない」の割合が約 2 割と高くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、女性の「同感しない」人ほど「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。



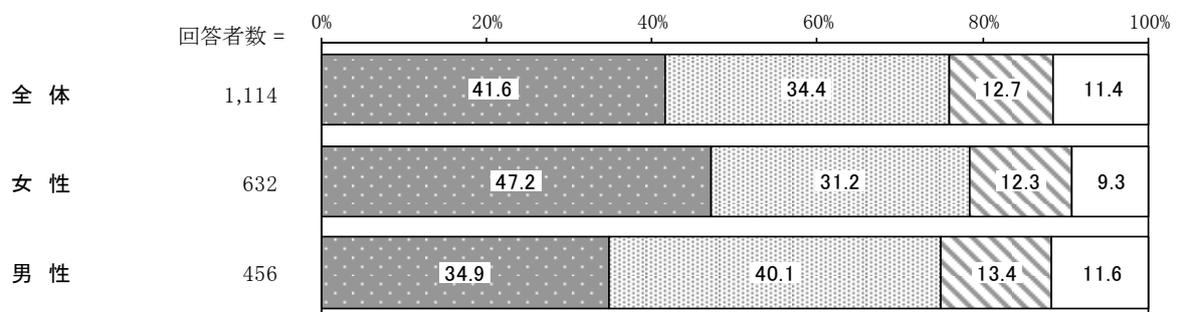
(セ) 携帯電話やメール等通信履歴をチェックする

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が 34.4%、「暴力にはあたらない」の割合が 12.7%となっています。

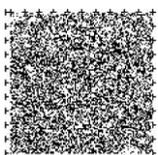
性別でみると、男性に比べ、女性で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、男女ともに 10・20 歳代、60 歳以上で「暴力にはあたらない」の割合が高くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、女性の「同感しない」人ほど「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。



- どんな場合でも暴力にあたる
- ▨ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
- ▧ 暴力にはあたらない
- 無回答

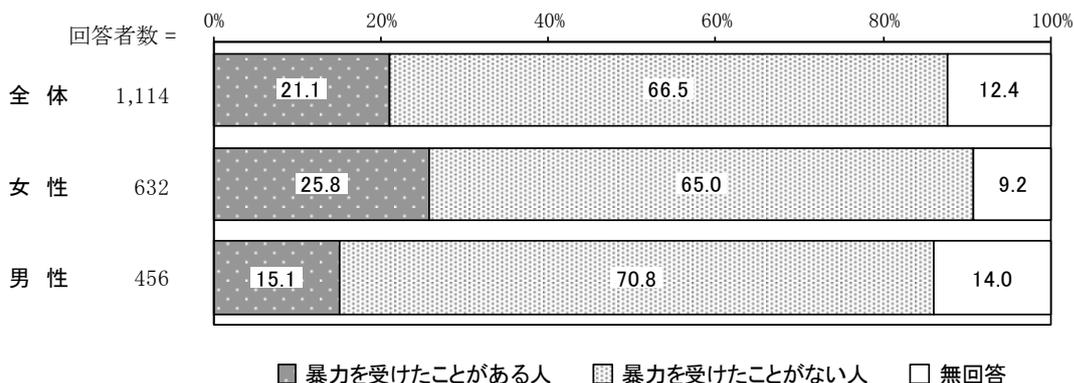


問 22. あなたは、この5年間に配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中も含む）や交際相手から下表のような暴力を受けたことがありますか。1から5において、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び○印をつけてください。

暴力を受けた経験

「暴力を受けたことがある人」の割合が21.1%、「暴力を受けたことがない人」の割合が66.5%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「暴力を受けたことがある人」の割合が高くなっています。

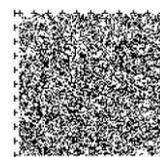
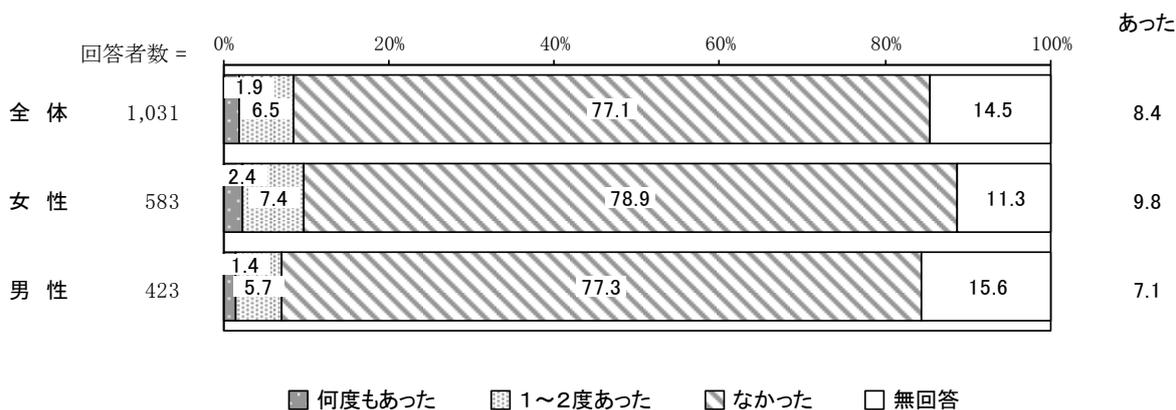


1. 身体的暴力

「なかった」の割合が77.1%と最も高くなっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

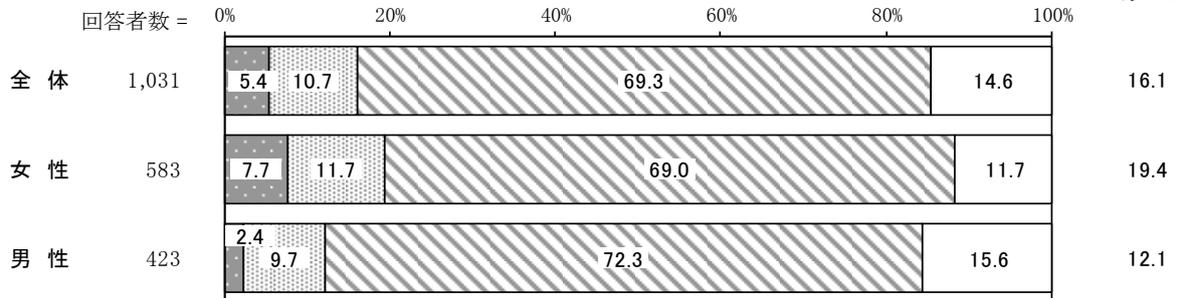
性・年代別でみると、女性の30歳代、男性の40歳代で「暴力を受けたことがある人」の割合が1割半ばと高くなっています。



2. 精神的暴力

「なかった」の割合が69.3%と最も高く、次いで「1～2度あった」の割合が10.7%となっています。

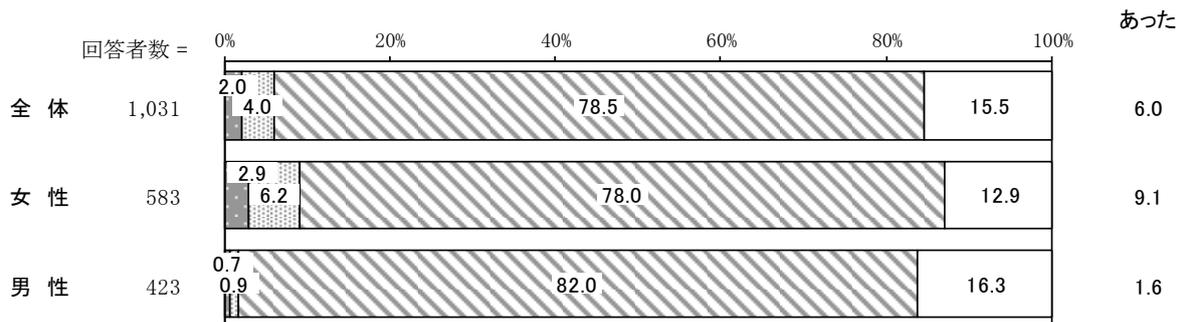
性別でみると、男性に比べ、女性で「何度もあった」の割合が高くなっています。



3. 性的暴力

「なかった」の割合が78.5%と最も高くなっています。

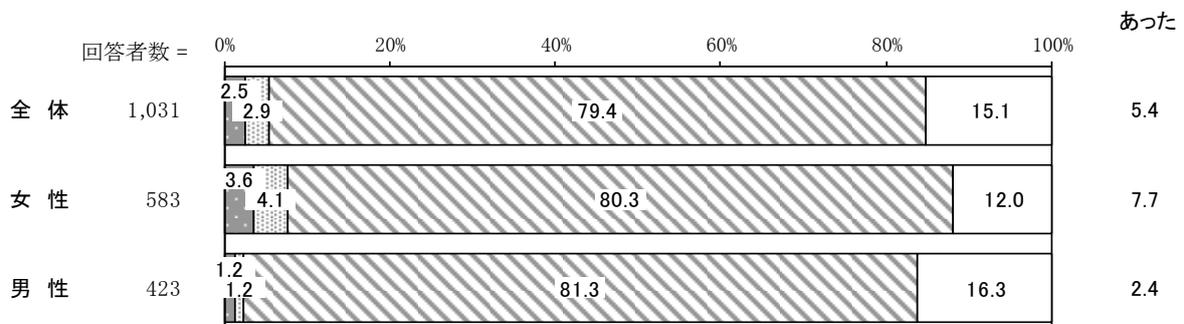
性別でみると、男性に比べ、女性で「1～2度あった」の割合が高くなっています。



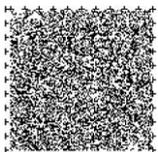
4. 経済的暴力

「なかった」の割合が79.4%と最も高くなっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。



■ 何どもあった ▨ 1～2度あった ▩ なかった □ 無回答

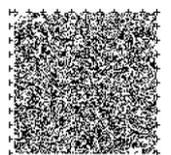
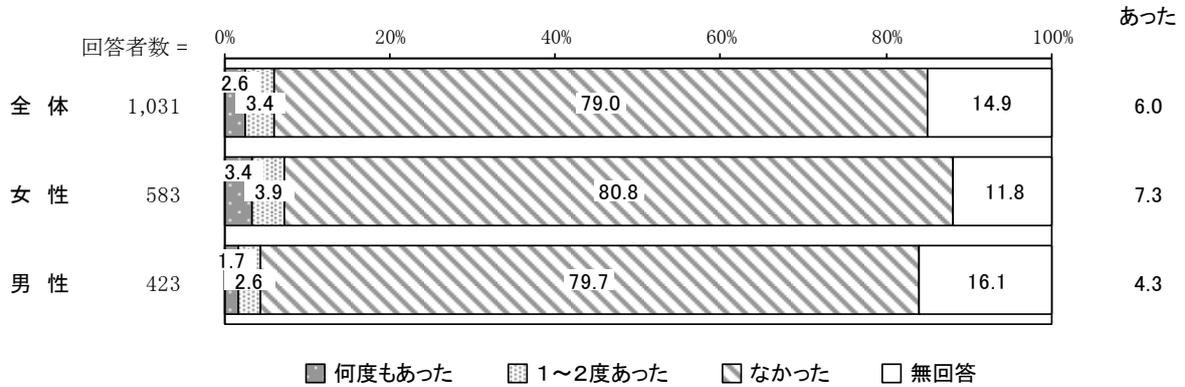


5. 社会的暴力

「なかった」の割合が79.0%と最も高くなっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

婚姻関係別でみると、離別で「何度もあった」の割合が高くなっています。



付問 1. 【問 22 で 1 から 5 のいずれかの暴力を受けたことがあると答えた】
 あなたはこれまでに、受けた行為について、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

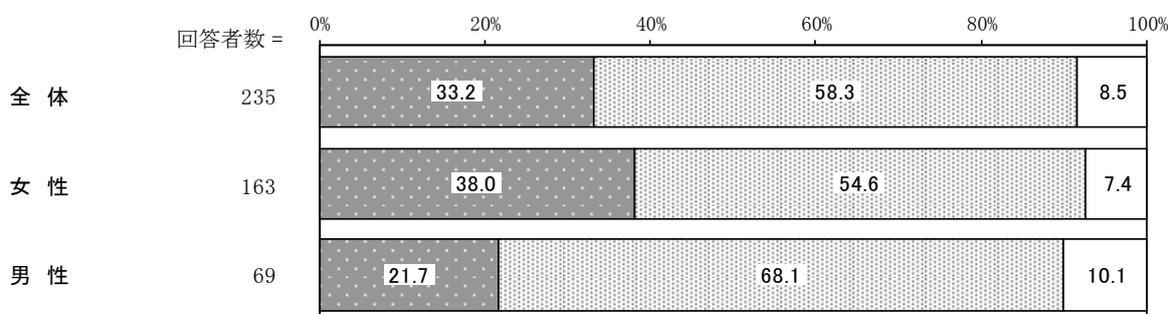
「相談した」の割合が 33.2%、「相談しなかった（できなかった）」の割合が 58.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「相談した」の割合が高くなっています。

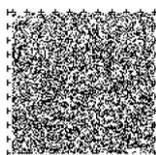
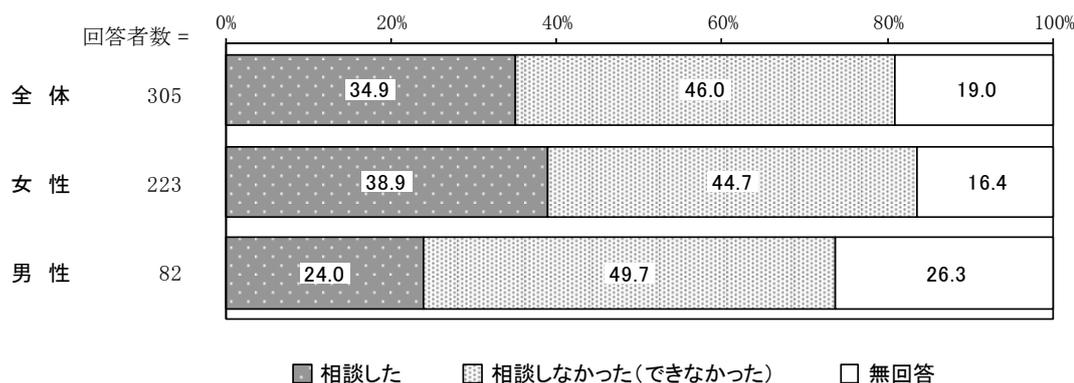
性・年代別でみると、男性の 40 歳代、50 歳代、70 歳以上で「相談しなかった（できなかった）」の割合が 7 割を超え高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男女とも「相談しなかった（できなかった）」の割合が増加しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



相談相手

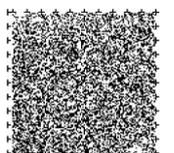
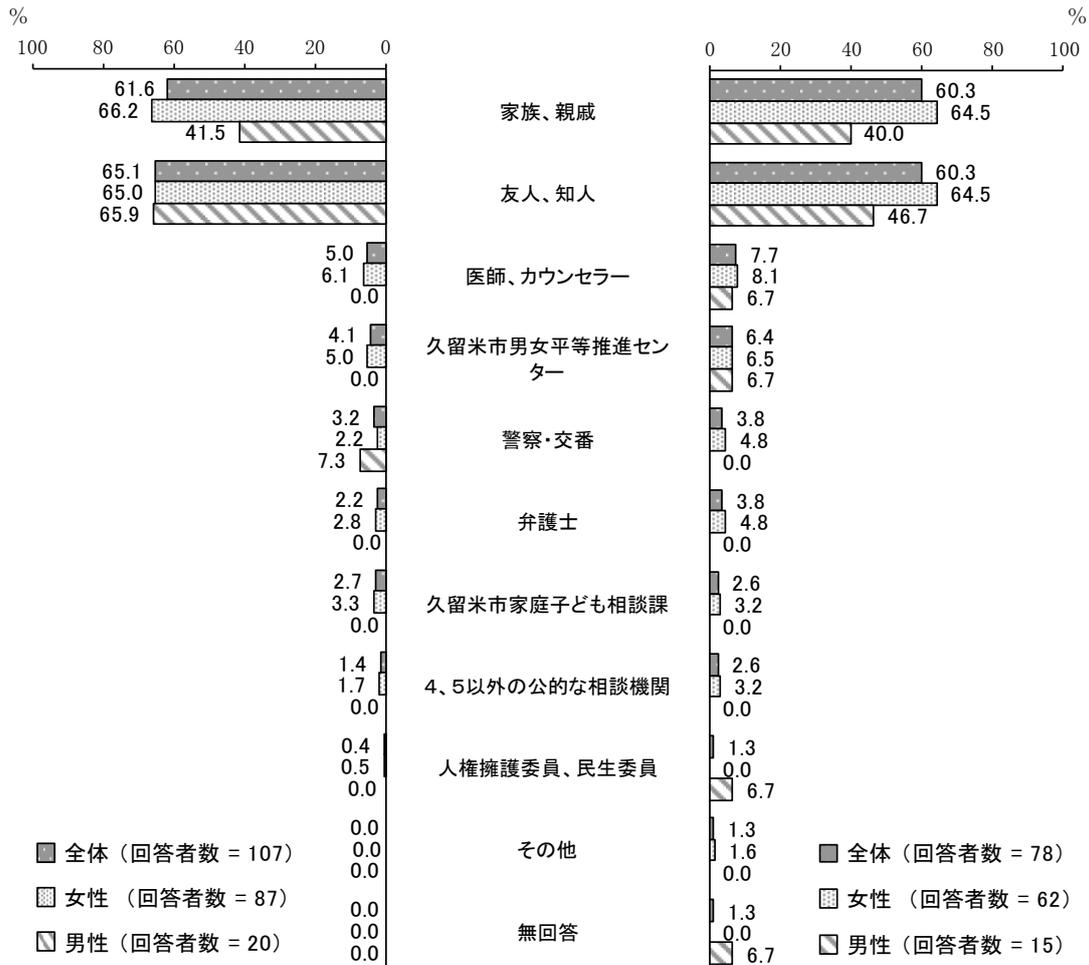
「家族、親戚」、「友人、知人」の割合が60.3%と最も高くなっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族、親戚」「友人、知人」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「人権擁護委員、民生委員」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男性で「友人、知人」の割合が減少しています。

【久留米市（平成26年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】



相談しなかった、できなかった理由

「相談するほどではないと思った」の割合が43.8%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」の割合が28.5%、「自分にも悪いところがあると思った」の割合が25.5%となっています。

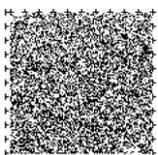
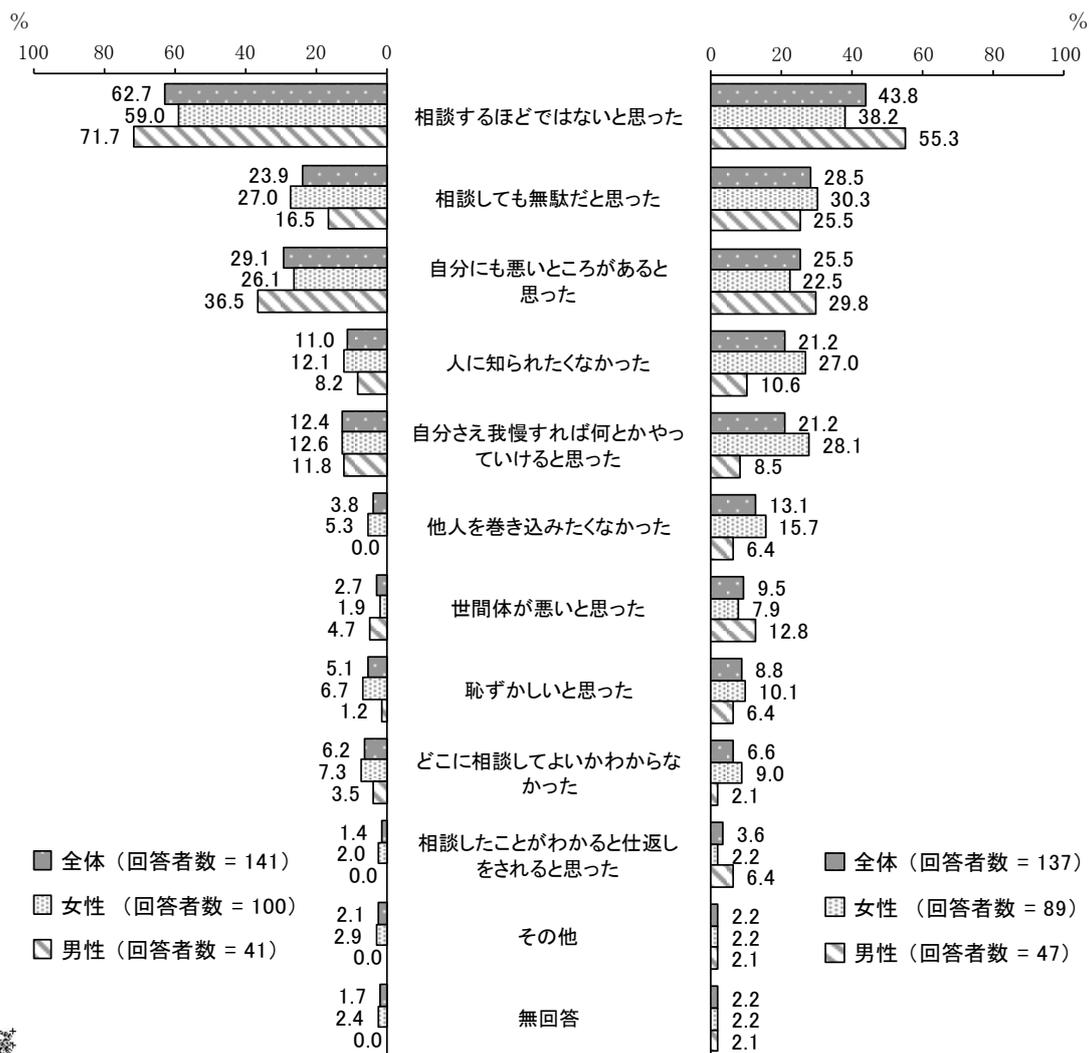
性別でみると、男性に比べ、女性で「どこに相談してよいかわからなかった」「人に知られたくなかった」「自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った」「他人を巻き込みたくなかった」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「自分にも悪いところがあると思った」「相談するほどではないと思った」の割合が高くなっています。

固定的性別役割分担意識別でみると、「同感する」、「ある程度同感する」人で「相談しても無駄だと思った」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、男女とも「世間体が悪いと思った」の割合が増加し、「相談するほどではないと思った」の割合が減少しています。

【久留米市（平成26年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】



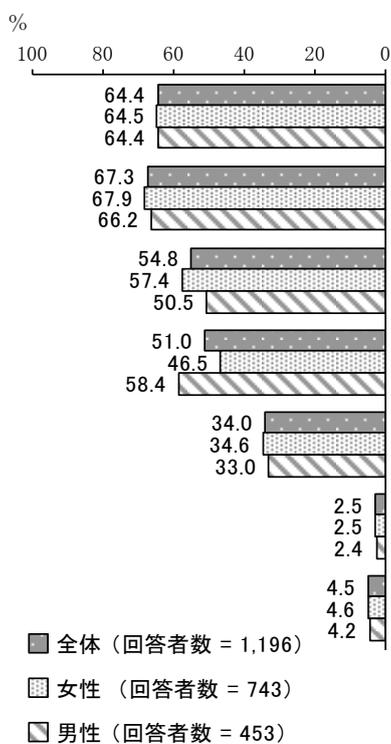
問 23 あなたは、女性に対する暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

「被害者を保護する体制を充実する」の割合が63.6%と最も高く、次いで「被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する」の割合が61.2%、「被害者が自立して生活できるように支援する」の割合が51.4%となっています。

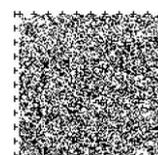
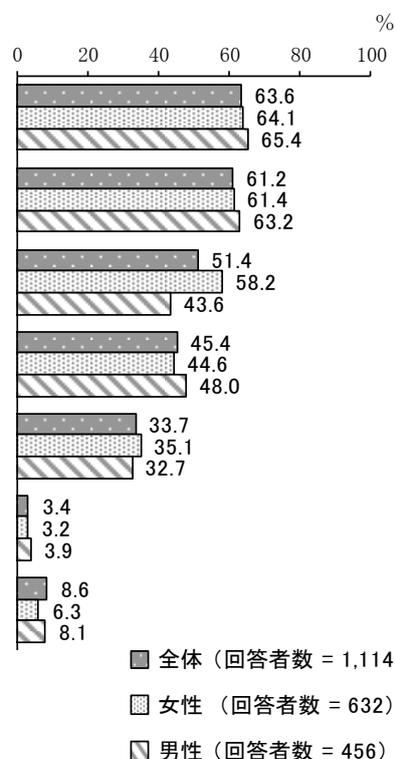
性別でみると、男性に比べ、女性で「被害者が自立して生活できるように支援する」の割合が高くなっています。

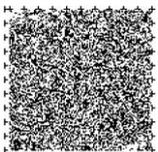
平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する」の割合が、全体、男性で「暴力防止のための教育・啓発を推進する」の割合が減少しています。

【久留米市（平成26年度調査）】

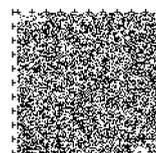


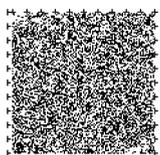
【久留米市（令和元年度調査）】





第7章 セクシュアル・マイノリティ (性的少数者) について





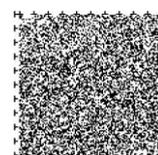
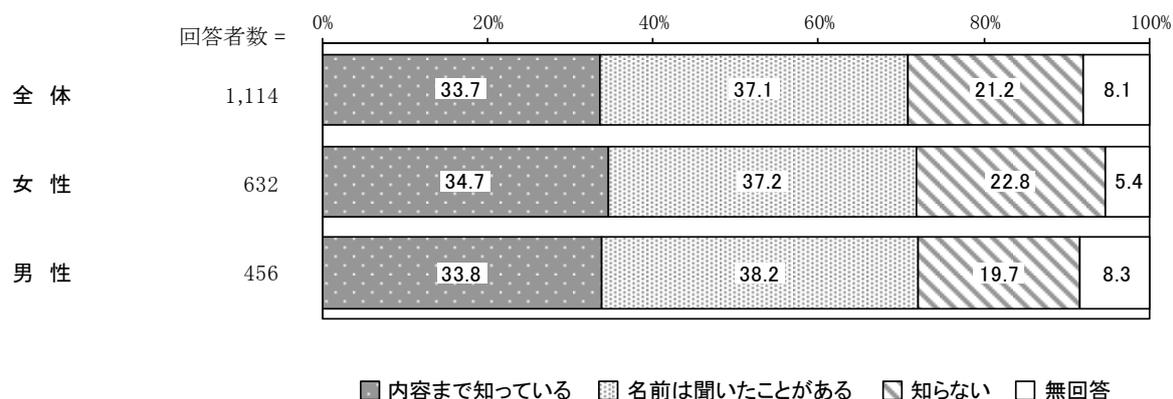
第7章 セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）について

問 24. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）を知っていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「名前は聞いたことがある」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「内容まで知っている」の割合が 33.7%、「知らない」の割合が 21.2%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

性・年代別でみると、男女ともに 70 歳以上で「内容まで知っている」の割合が、女性は 14.0%、男性は 22.9%と低くなっています。

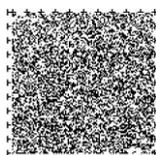
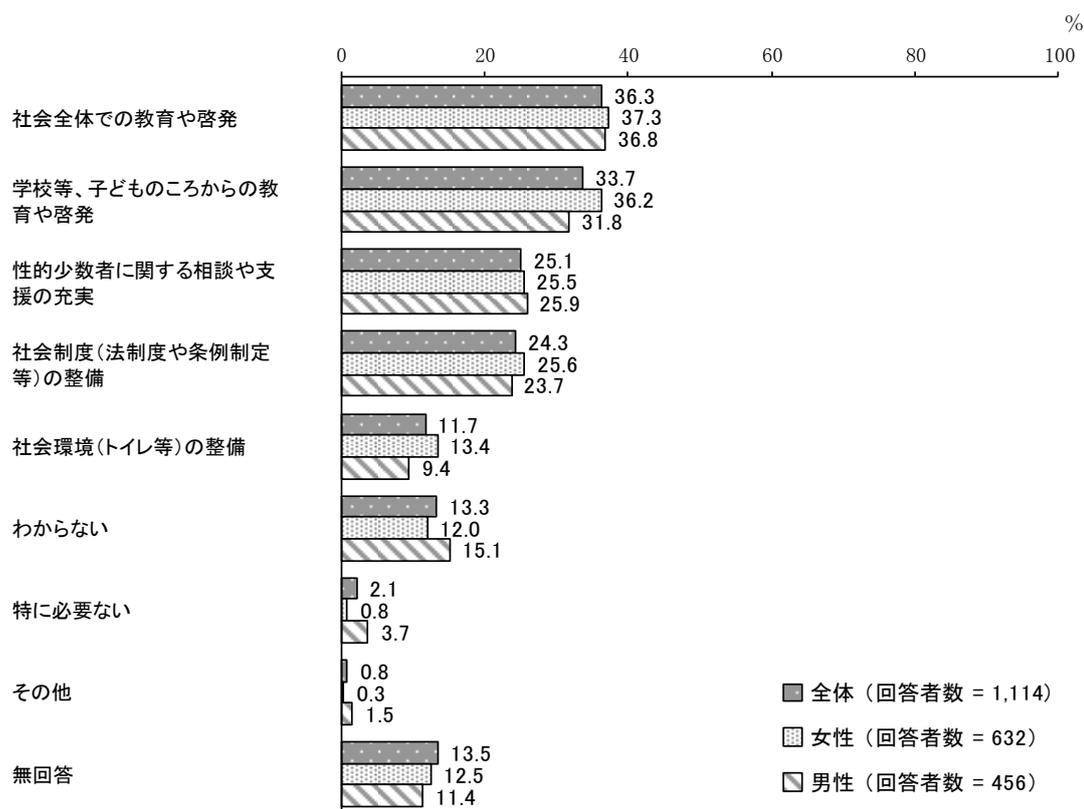


問 25. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

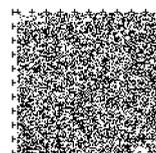
「社会全体での教育や啓発」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「学校等、子どものころからの教育や啓発」の割合が 33.7%、「性的少数者に関する相談や支援の充実」の割合が 25.1%となっています。

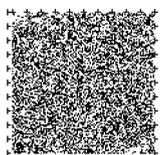
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、10・20 歳代から 40 歳代で「学校等、子どものころからの教育や啓発」の割合が、50 歳以上で「社会全体での教育や啓発」の割合が最も高くなっています。



第8章 男女平等、男女共同参画 などに関することについて





第8章 男女平等、男女共同参画などに関することについて

問 26. 次のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるのはどれですか。
 (ア) から (ク) のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

(ア) 男女共同参画社会基本法

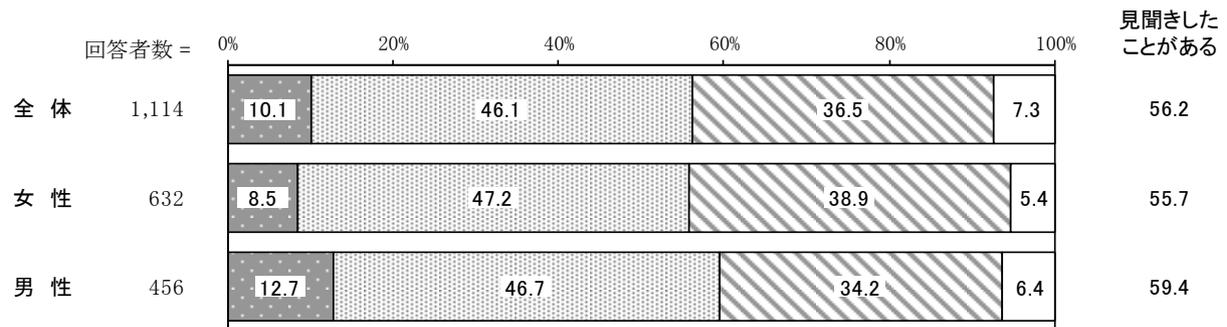
「名前は聞いたことがある」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 36.5%、「内容まで知っている」の割合が 10.1%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

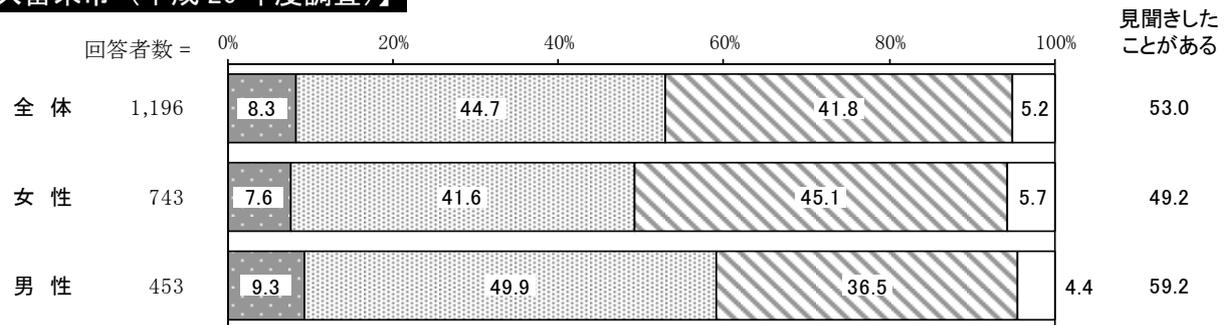
年代別でみると、10・20 歳代で「内容まで知っている」「名前は聞いたことがある」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、女性で「知らない」が減少し、「名前は聞いたことがある」の割合が増加しています。

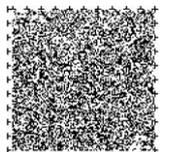
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ 内容まで知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない □ 無回答



(イ) ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）

「知らない」の割合が71.2%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が18.7%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「名前は聞いたことがある」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

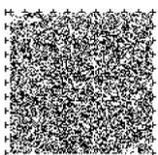
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】



■ 内容まで知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない □ 無回答



(ウ) 久留米市男女平等を進める条例

「知らない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 33.9%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、10・20 歳代で「知らない」の割合が 79.8%と高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、全体、男性で「知らない」の割合が減少しています。

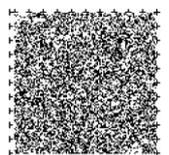
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ 内容まで知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない □ 無回答



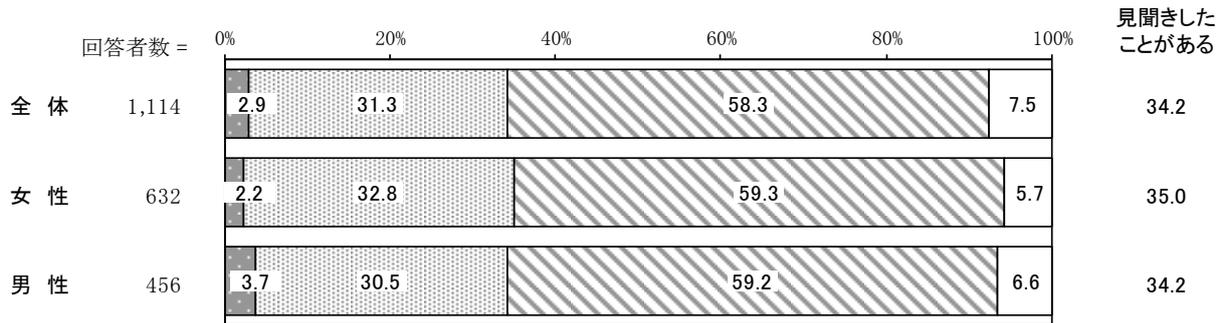
(エ) 久留米市男女共同参画行動計画

「知らない」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 31.3%となっています。

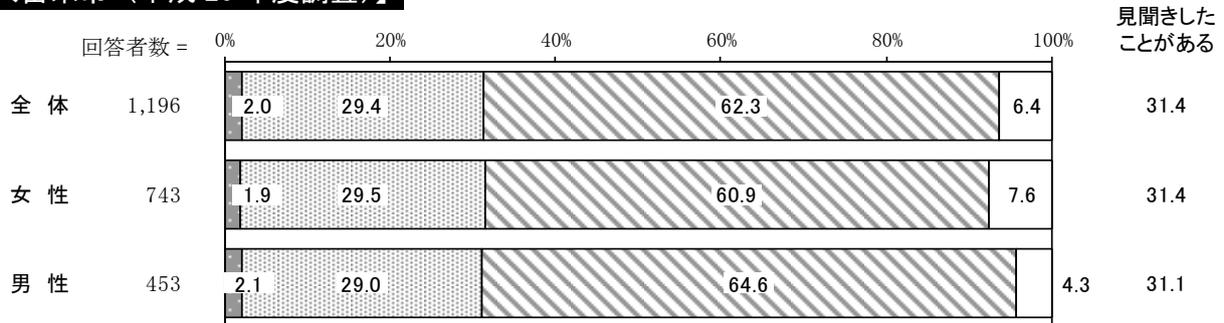
性別でみると、大きな差異はみられません。

平成 26 年度調査と比較すると、男性で「知らない」の割合が減少しています。

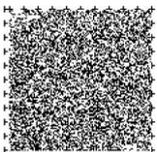
【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成 26 年度調査）】



■ 内容まで知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない □ 無回答



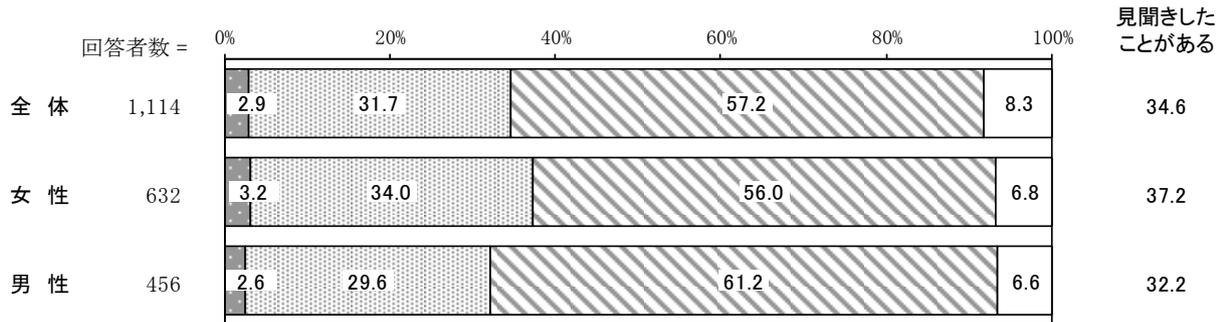
(オ) 男女平等推進委員

「知らない」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 31.7%となっています。

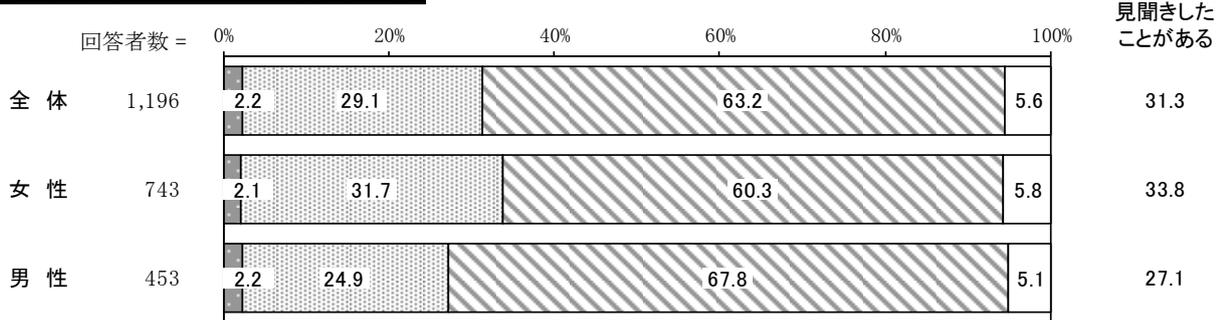
性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、男性で「知らない」の割合が減少しています。

【久留米市（令和元年度調査）】



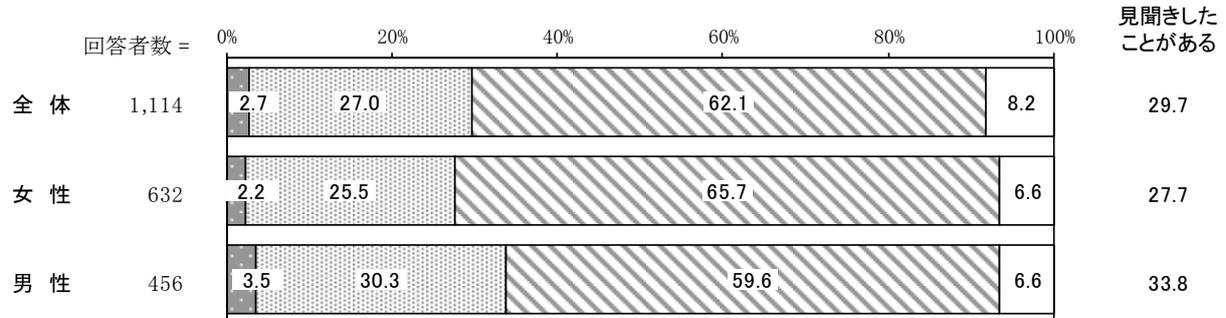
【久留米市（平成 26 年度調査）】



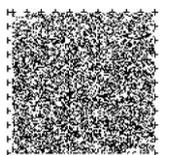
(カ) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）

「知らない」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 27.0%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



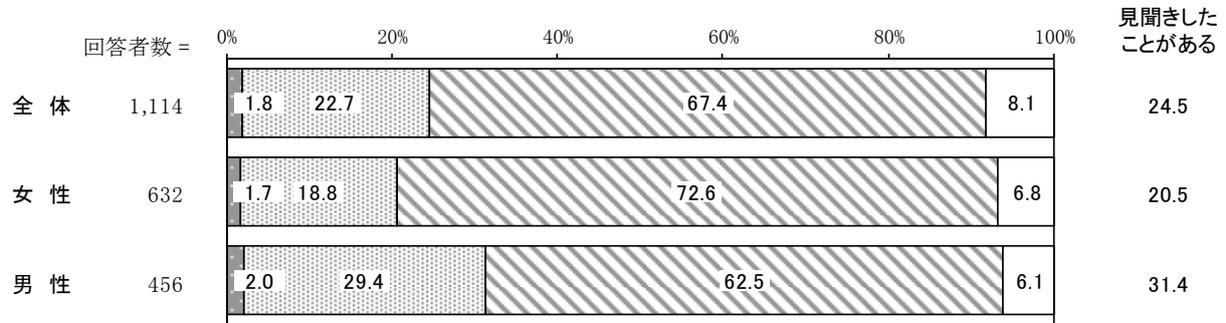
■ 内容まで知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない □ 無回答



(キ) 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

「知らない」の割合が67.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が22.7%となっています。

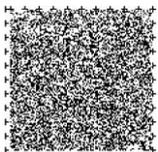
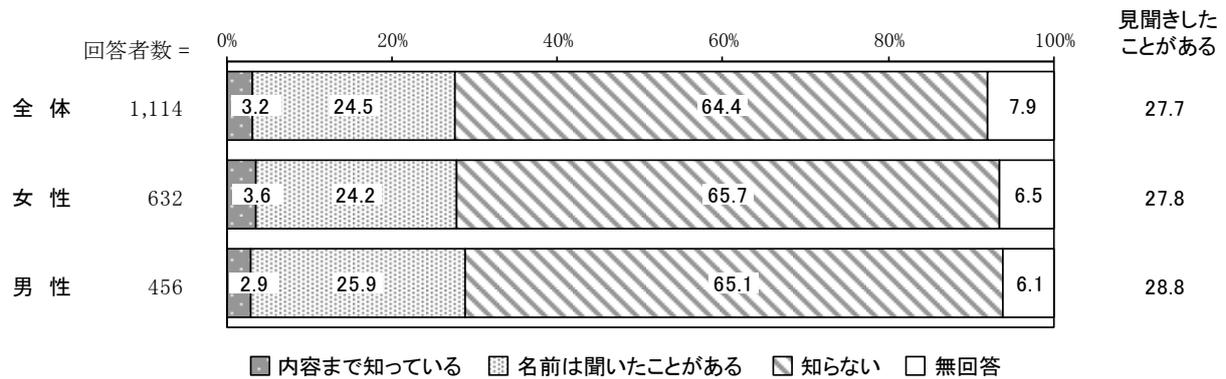
性別で見ると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「名前は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



(ク) パープルリボン（女性に対する暴力根絶の象徴）

「知らない」の割合が64.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が24.5%となっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。

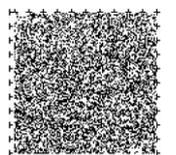
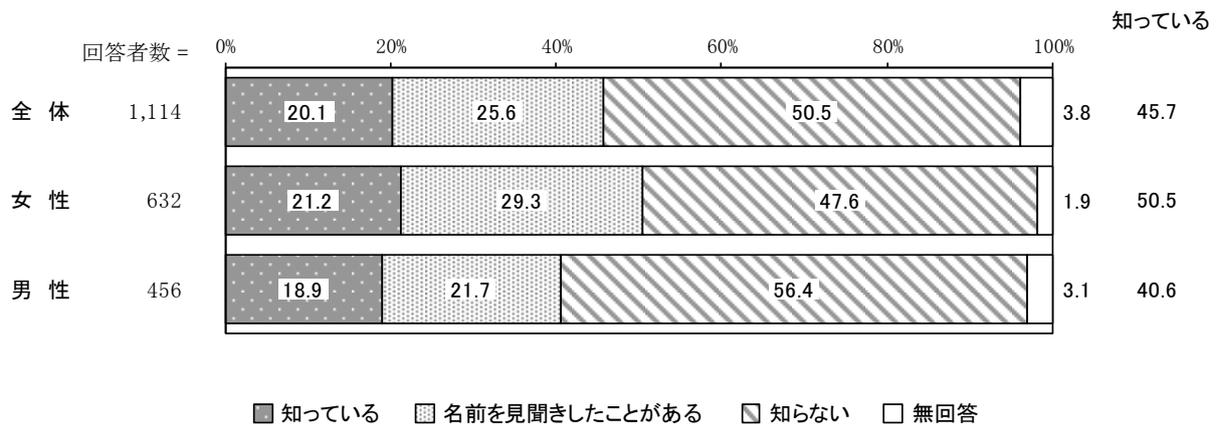


問 27. あなたは、久留米市の男女平等推進の拠点として男女平等に関する講座や相談などいろいろな事業を行っている「男女平等推進センター」（えーるピア久留米内）をご存知ですか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「知らない」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「名前を見聞きしたことがある」の割合が 25.6%、「知っている」の割合が 20.1%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「名前を見聞きしたことがある」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。

地域別でみると、南西部で「知っている」の割合が 31.6%と高くなっています。また、南東部で「知らない」の割合が 59.0%と高くなっています。



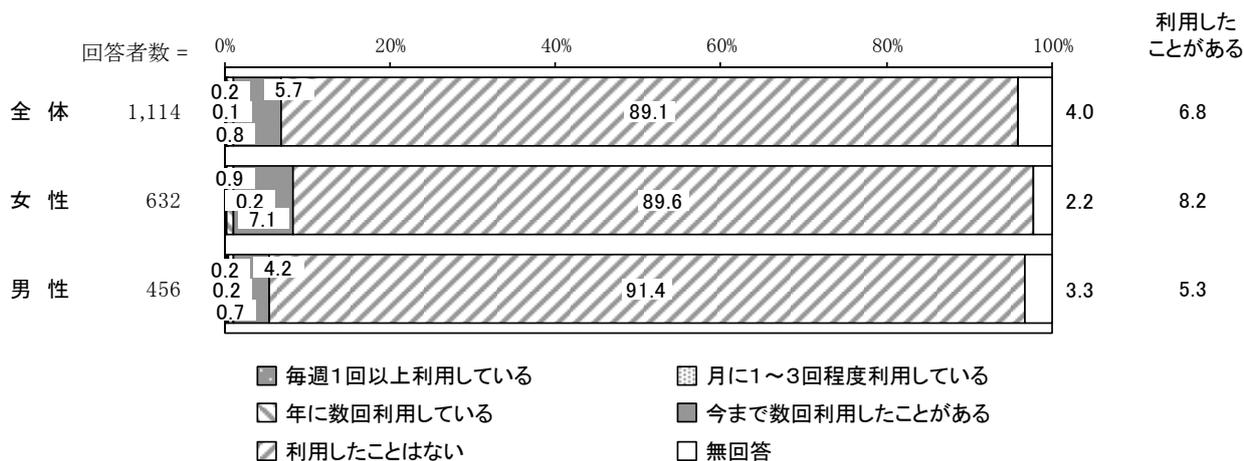
問 28. あなたは、これまでに男女平等推進センターを利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

「利用したことはない」の割合が89.1%と最も高くなっています。

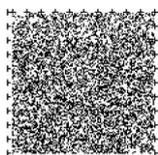
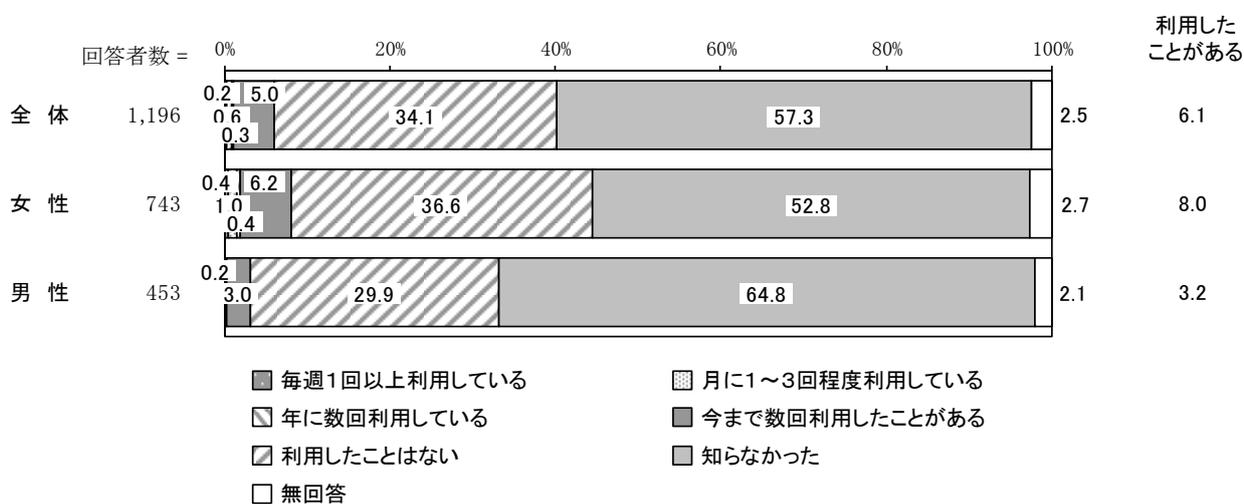
性別、年代別、地域別でも大きな差異は見られませんが、10・20歳代で「利用したことはない」の割合が95.5%と高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、利用したことがある人の割合に大きな変化はみられません。

【久留米市（令和元年度調査）】



【久留米市（平成26年度調査）】

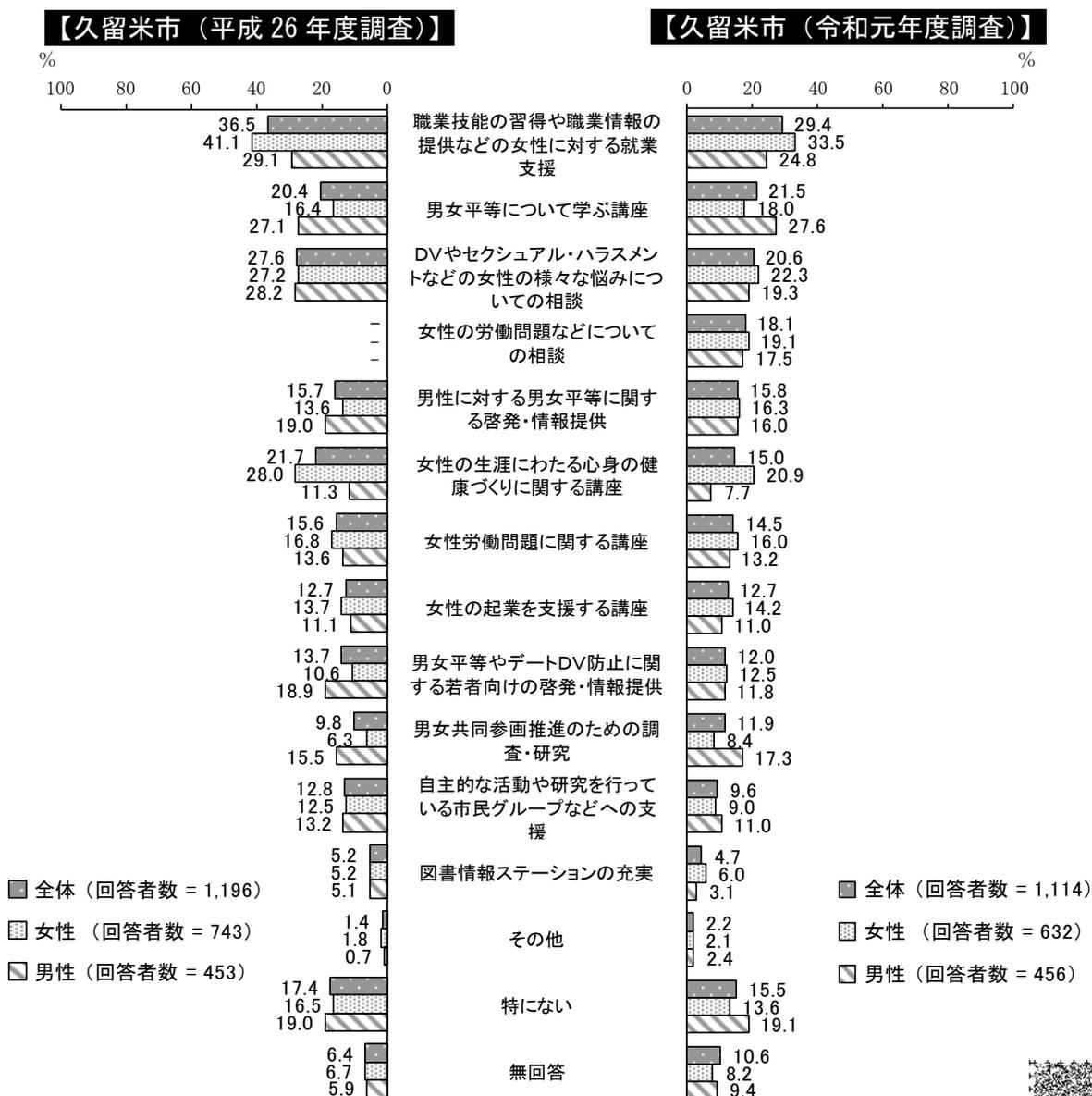


問 29. あなたは今後、男女平等推進センターでどのような事業を充実してほしいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

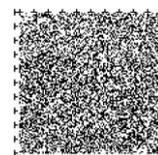
「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「男女平等について学ぶ講座」の割合が 21.5%、「DVやセクシュアル・ハラスメントなどの女性の様々な悩みについての相談」の割合が 20.6%となっています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」「女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「男女平等について学ぶ講座」「男女共同参画推進のための調査・研究」「特にない」の割合が高くなっています。

平成 26 年度調査と比較すると、全体、女性で「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」「女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座」の割合が、全体、男性で「DVやセクシュアル・ハラスメントなどの女性の様々な悩みについての相談」の割合が減少しています。



※「女性の労働問題などについての相談」は令和元年度調査から新たに追加しました。



問 30. あなたは、男女平等をより一層進めるために、市に対してどのような取り組みを望みますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」の割合が29.6%と最も高く、次いで「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」の割合が24.1%、「女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する」の割合が23.5%となっています。

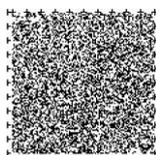
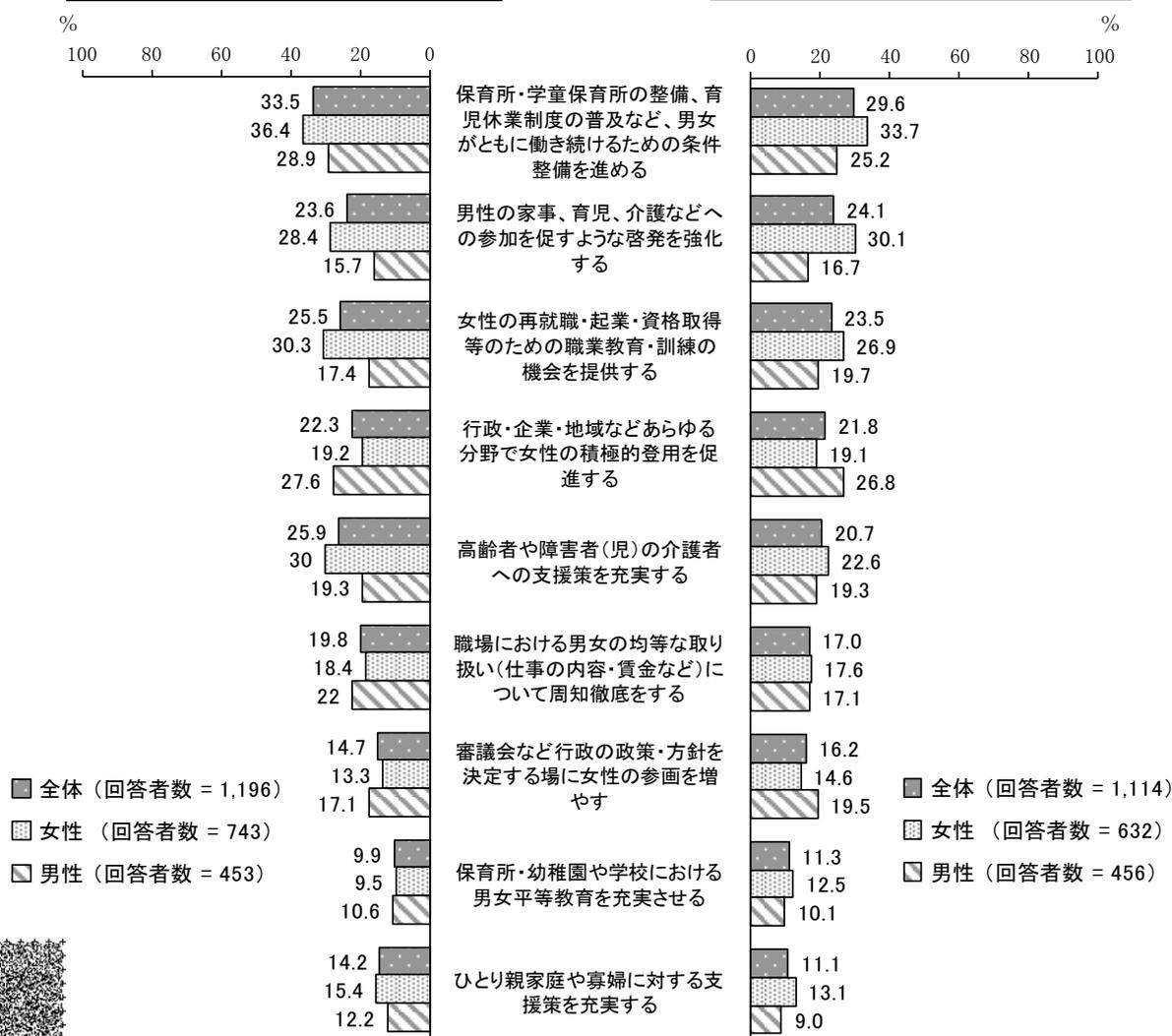
性別でみると、男性に比べ、女性で「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」「女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する」「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用を促進する」「各種団体の女性のリーダーを育成する」の割合が高くなっています。

地域別でみると、11地域のうち8地域で「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」の割合が高くなっています。

平成26年度調査と比較すると、全体、女性で「高齢者や障害者（児）の介護者への支援策を充実する」の割合が減少しています。

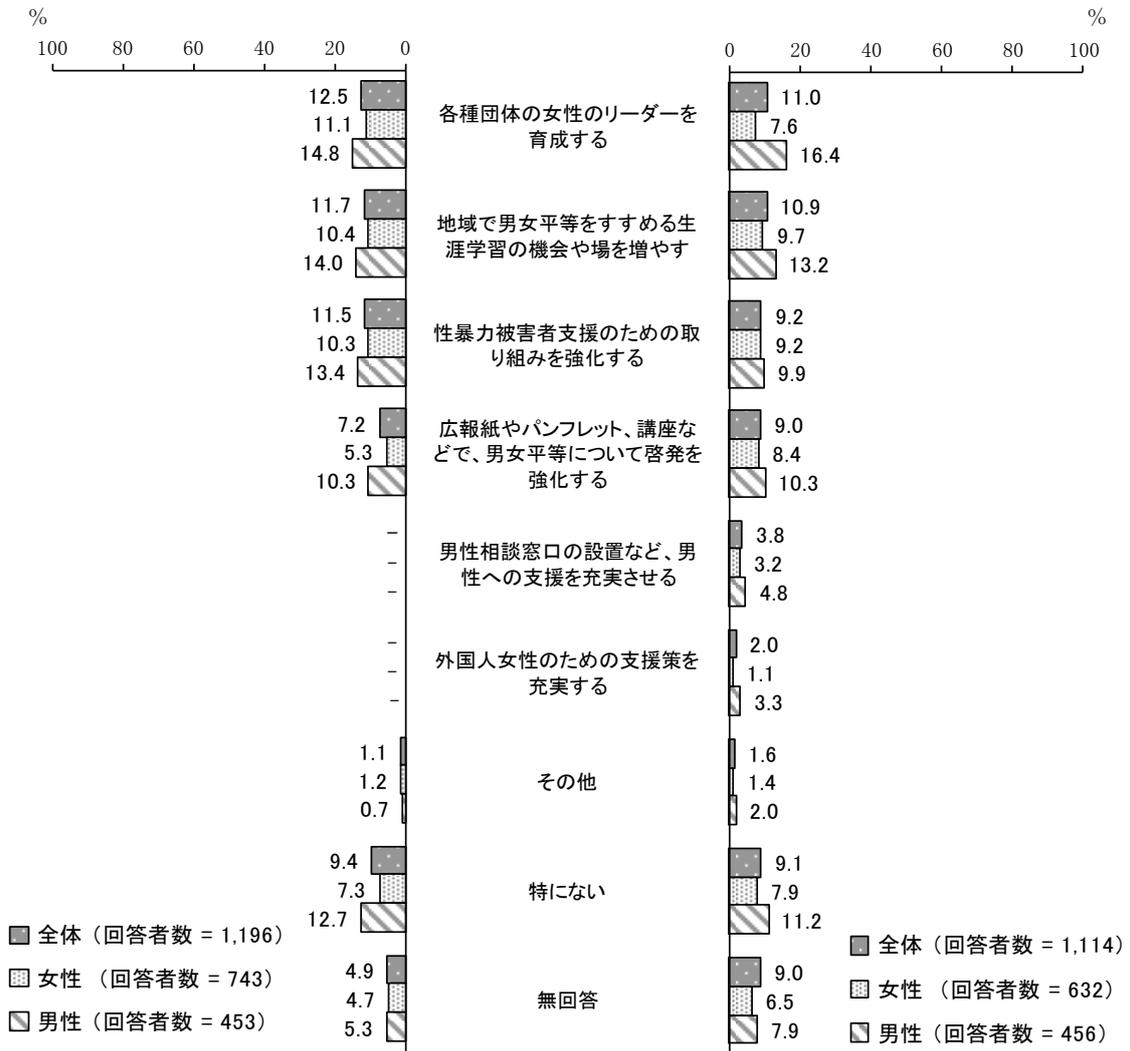
【久留米市（平成26年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】

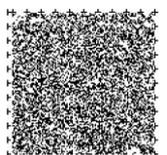


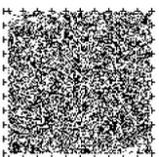
【久留米市（平成26年度調査）】

【久留米市（令和元年度調査）】

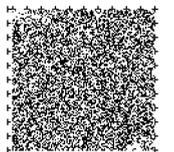


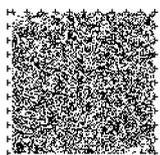
※「男性相談窓口の設置など、男性への支援を充実させる」「外国人女性のための支援策を充実する」は令和元年度調査から新たに追加しました





回答者属性

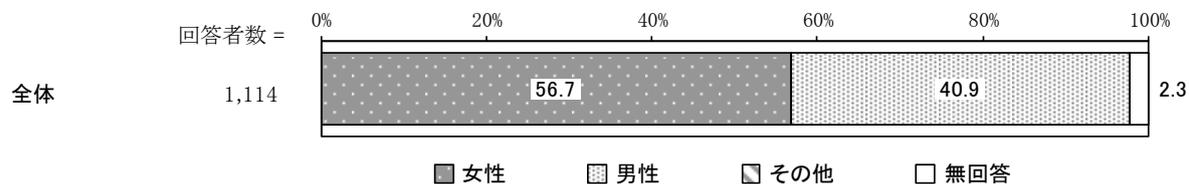




回答者属性

F 1. あなたの性別は、どれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

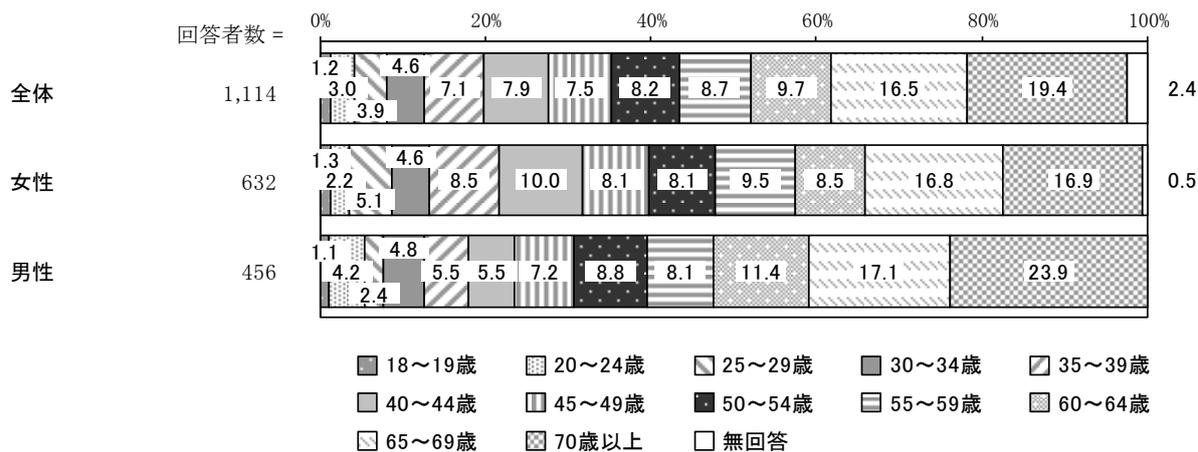
「女性」の割合が56.7%、「男性」の割合が40.9%となっています。



F 2. あなたの満年齢は、どれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「70歳以上」の割合が19.4%と最も高く、次いで「65～69歳」の割合が16.5%となっています。

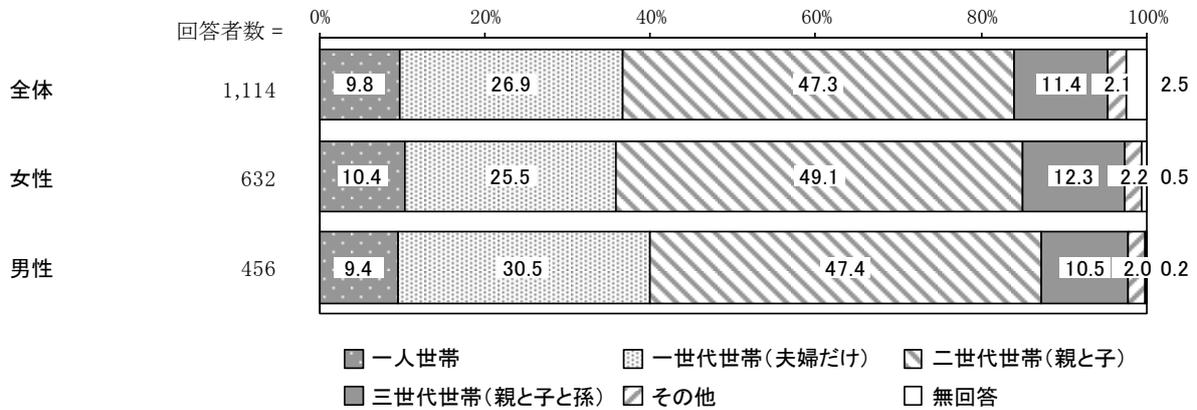
性別で見ると、女性に比べ、男性で「70歳以上」の割合が高くなっています。



F 3. あなたの現在の同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「二世世代世帯（親と子）」の割合が47.3%と最も高く、次いで「一世世代世帯（夫婦だけ）」の割合が26.9%、「三世世代世帯（親と子と孫）」の割合が11.4%となっています。

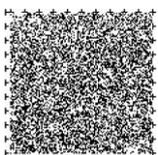
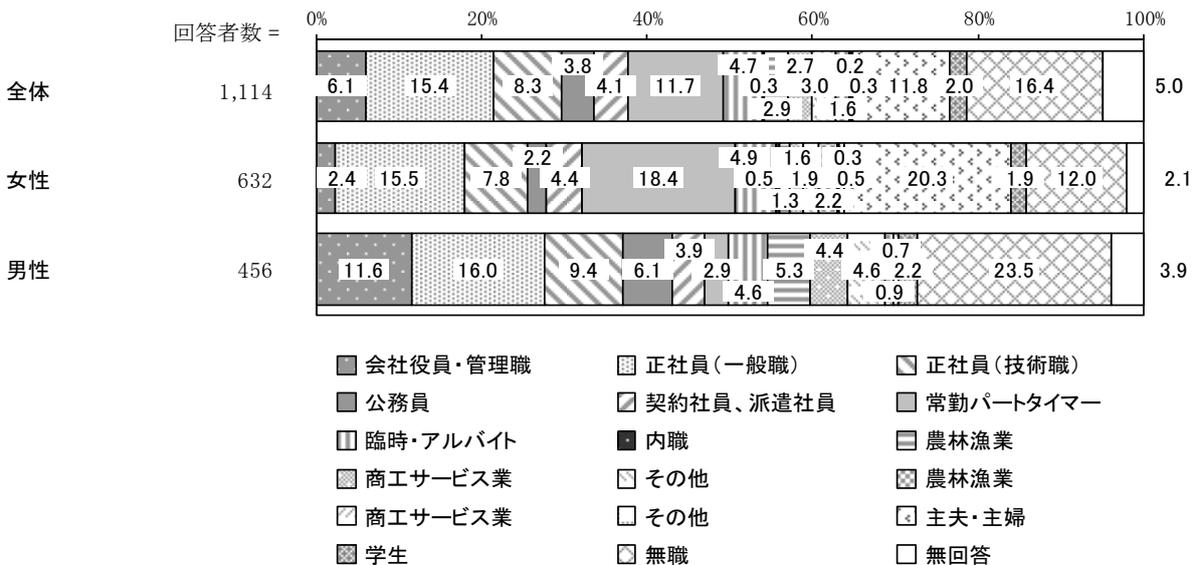
性別でみると、女性に比べ、男性で「一世世代世帯（夫婦だけ）」の割合が高くなっています。



F 4. あなたの職業はどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「無職」の割合が16.4%と最も高く、次いで「正社員（一般職）」の割合が15.4%、「主夫・主婦」の割合が11.8%となっています。

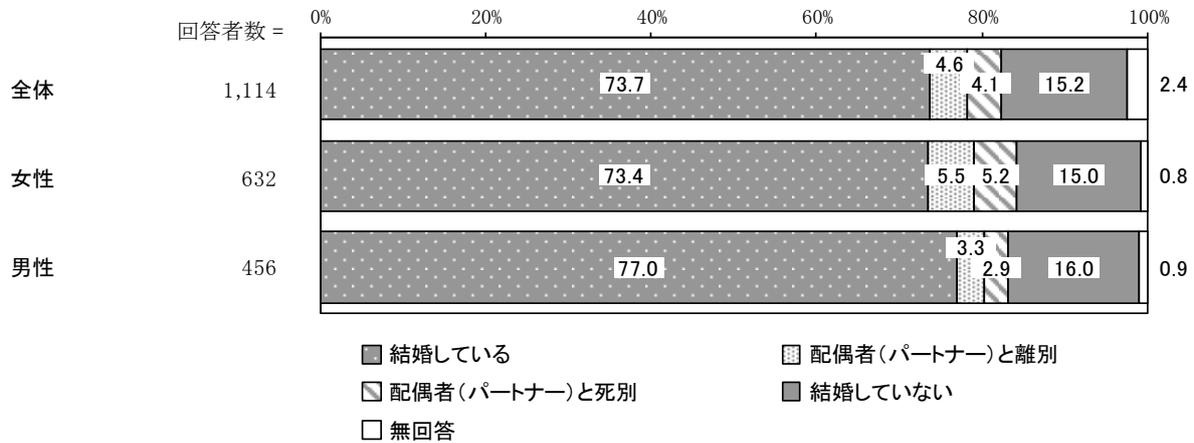
性別でみると、男性に比べ、女性で「常勤パートタイマー」「主夫・主婦」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「会社役員・管理職」「無職」の割合が高くなっています。



F 5. あなたは、現在結婚していますか（事実婚を含みます）。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「結婚している」の割合が73.7%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が15.2%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

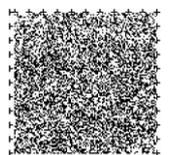
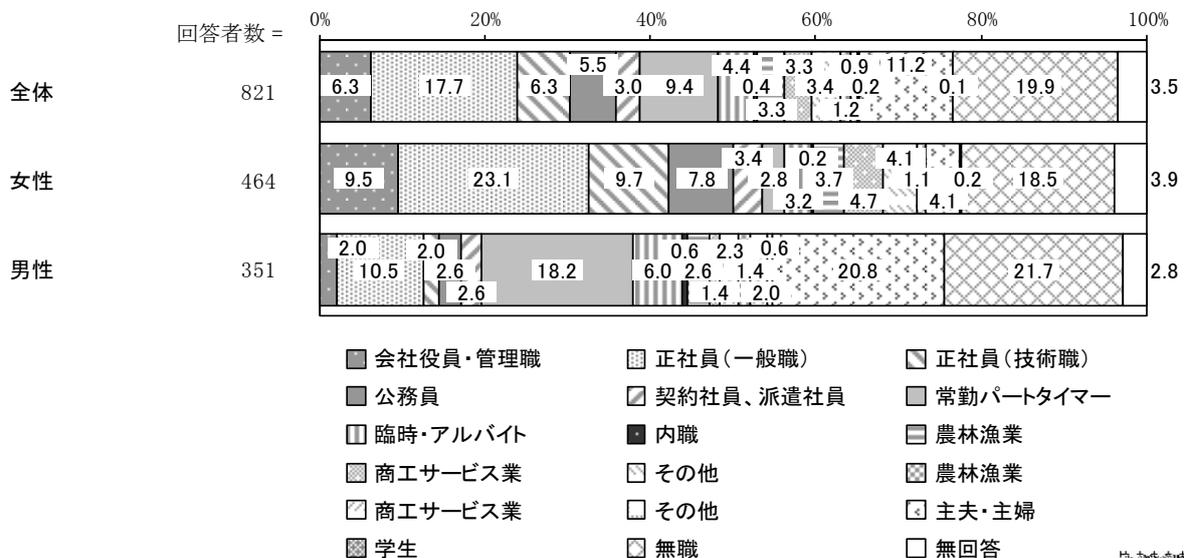


付問 1. 【F 5で1.「結婚している」と答えた方に】

あなたの配偶者・パートナー（夫・妻・恋人）の職業は、次のどれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「無職」の割合が19.9%と最も高く、次いで「正社員（一般職）」の割合が17.7%、「主夫・主婦」の割合が11.2%となっています。

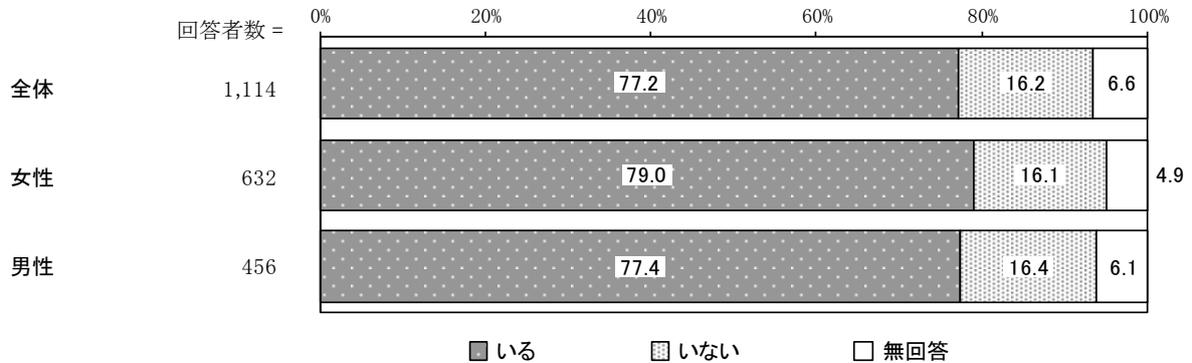
性別でみると、男性に比べ、女性で「会社役員・管理職」「正社員（一般職）」「正社員（技術職）」「公務員」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「常勤パートタイマー」「主夫・主婦」の割合が高くなっています。



F 6. あなたにはお子さんがいますか。(同居していない場合も含みます)。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「いる」の割合が77.2%、「いない」の割合が16.2%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

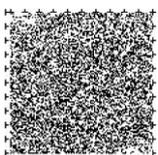
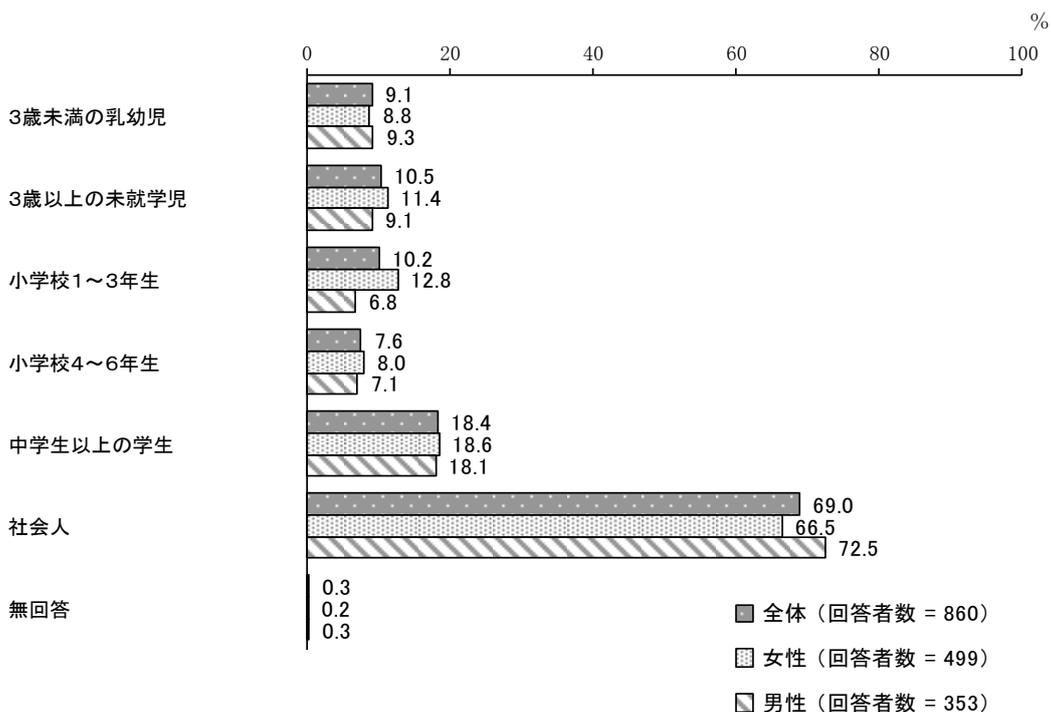


付問 1. 【F 6で1. 「いる」と答えた方に】

あなたのお子さんは、次のどれにあたりますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

「社会人」の割合が69.0%と最も高く、次いで「中学生以上の学生」の割合が18.4%、「3歳以上の未就学児」の割合が10.5%となっています。

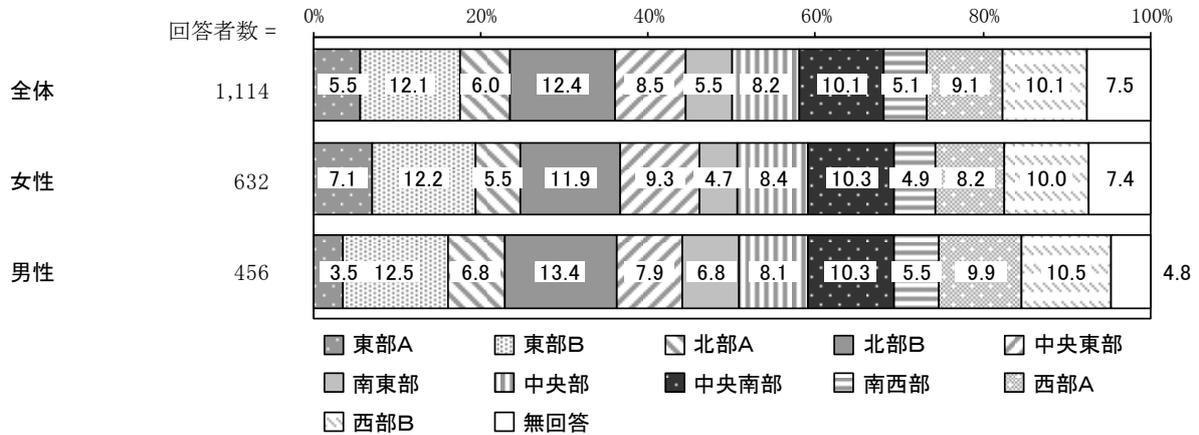
性別でみると、男性に比べ、女性で「小学校1～3年生」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「社会人」の割合が高くなっています。



F 7. お住まいの小学校区はどちらですか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

「北部B」の割合が12.4%と最も高く、次いで「東部B」の割合が12.1%、「中央南部」、「西部B」の割合が10.1%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

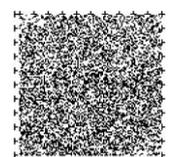
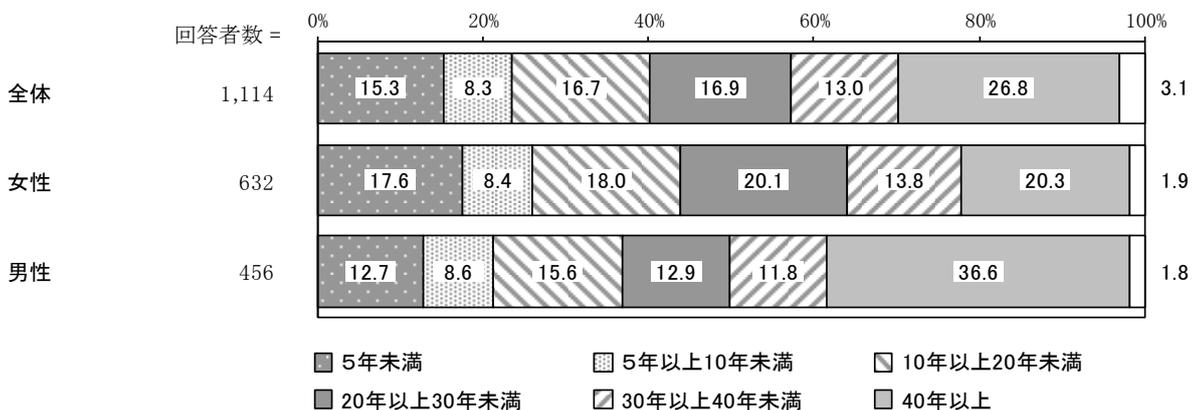


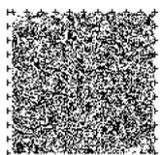
地域	校区
東部A	山川、山本、草野、善導寺、大橋
東部B	船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部A	小森野、合川、宮ノ陣
北部B	北野、弓削、大城、金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	鳥飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西部A	城島、下田、青木、江上、浮島
西部B	犬塚、三瀧、西牟田

F 8. 現在の地域に住んでから何年になりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。(通算でお答えください)

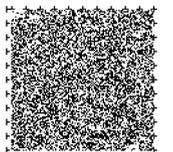
「40年以上」の割合が26.8%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」の割合が16.9%、「10年以上20年未満」の割合が16.7%となっています。

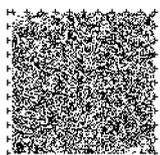
性別でみると、男性に比べ、女性で「20年以上30年未満」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「40年以上」の割合が高くなっています。





Ⅲ 総括と今後の展望



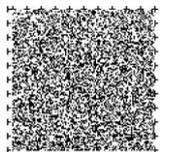


Ⅲ 総括と今後の展望

第1章 男女平等に関する考え方について

「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識については、『同感する』が31.2%に対し、『同感しない』が66.1%と、平成26年に実施した「久留米市男女平等に関する市民意識調査」（以下、前回調査という）に比べて『同感しない』が10ポイント以上増加している。令和元年に内閣府が実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」（以下、全国調査という）に比べ、久留米市では『同感しない』が約10ポイント高く、全国よりも固定的性別役割分担意識が低いことがわかる。固定的性別役割分担意識への賛否に関しては、一般的に女性よりも男性の方が『同感する』の割合が高くなる傾向があるが、前回調査と同様に久留米市では性別による差が比較的小さい。年代でみると、『同感する』は男女とも70歳以上で高く、また、女性の30代で他の年代より高くなっている。年齢の高い層では性別役割分担への支持は高い傾向がみられるが、子育てに関わる年代の女性でも支持の高い傾向がある。

男女の地位の平等感については、男女とも「社会の慣習・しきたり」「政治の場」「社会全体」の順で『男性優遇』が高くなっている。また、全ての分野で『男性優遇』は女性が男性を上回っており、最も差が大きいのは「法律や制度」で、女性は27ポイントも高い。男女平等に向けた法律や制度の改正が進められていると男性は認識しているが、女性は運用面で進んでいないと認識しているという傾向は依然として続く。例えば、平成30年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行されたが、平成31年の統一地方選挙で県や市の女性議員が増えたわけではない。「家庭生活」「地域活動・社会活動」も『男性優遇』は性別による差が大きく、身近な場における男女の認識の違いは依然として大きい。前回調査と比べると、「わからない」という選択肢を削除したために、今回調査では男女とも殆どの分野で無回答がやや増え、『男性優遇』が高くなっている。『男性優遇』の高い「社会の慣習・しきたり」「政治の場」では、女性の増加幅が大きい。また、これまでの調査では「学校教育」は『男性優遇』が最も低く、「わからない」が高く、学校に直接関わらない年代では回答しにくい分野だったが、今回調査では無回答よりも『男性優遇』の増加幅が大きい。平成30年の夏に大学の医学部入試における女性差別が大きく報道されており、その影響も考えられる。全国調査と比較すると、「地域活動・社会活動」「家庭」「社会の慣習・しきたり」「職場」の順で『男性優遇』が上回っており、生活に関わる場での不平等感はより強い。全国よりも固定的性別役割分担意識が解消されてきているため、現状に対する見方が厳しいとも考えられる。



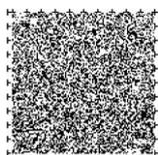
政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由は、「男性優位の組織運営になっているから」「家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強い」は男女とも5割を超えて高く、これまでの男性優遇の慣習が課題と認識されている。しかし、女性では「家事・育児や介護に支障がでるから」は男性より大きく上回り、当事者の立場では、家事・育児や介護への支障が大きな課題となっていることがわかる。

第2章 子育て、教育について

性別に関わらずに子どもを「経済的自立」「生活技術（家事）の習得」ができるように育てるという考え方への賛否を尋ねた。「男は仕事、女は家庭」という意識が、子育ての際にどのくらい解消されているかは、経済的自立は女の子に対する育て方、生活技術は男の子に対しての育て方に反映されることになる。

「経済的自立」は男女とも圧倒的に『賛成』が高いが、男性では「どちらかといえば賛成」が女性よりやや高い。「生活技術（家事）の習得」も『賛成』は9割を超えるが、男性では「どちらかといえば賛成」が女性より高く、「経済的自立」より高くなっている。また、男女とも「どちらかといえば賛成」が60歳以上で高くなっている。子どもの育て方における固定的性別役割分担意識の解消はかなり進んでいるが、女の子の経済的自立よりも男の子が生活自立できるような育て方についてやや消極的な傾向があり、女性より男性が、また、年齢の高い層でその傾向が強いことがわかる。

男女共同参画を進めていくために学校教育で重要なことについては、男女とも「働くことや経済的自立についての大切さを教える」が最も高く、前の設問と同じく経済的自立に向けた教育は重視されている。また、「性別にかかわらず能力をいかせるよう、生活指導や進路指導において配慮する」「学校行事や学級活動などの役割を性別でなく個性と能力に応じて決める」も男女とも高く、学校環境に固定的性別役割が組み込まれる、いわゆる「隠れたカリキュラム」の解消も重視されている。女性は、男性に比べると「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」の割合が高く、前の設問と同じく生活自立を目指す教育への必要性は女性の方が認識している。



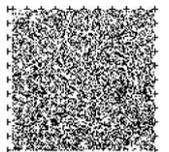
男女共同参画社会を実現するには女性が職業分野に参画するだけでなく男性の家庭参画が重要であり、家庭でも学校でも性別に関わらない教育が求められる。男の子の生活自立を目指した教育の重要性を認識できるよう、男性や高齢者層に対して啓発することも必要である。

第3章 仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関することさらに ついて

配偶者・パートナーと同居している方に家庭内での固定的性別役割分担の状況を尋ねた結果では、生活費の獲得については、性別の違いが小さく、全体で見ると「夫中心」は約3割で前回調査に比べて約8ポイント減少し、反対に「夫と妻が同じ程度に分担している」が約8ポイント増加し、また「主に夫が行い、妻が一部を分担している」もやや増加している。専業主婦の世帯は減少し、妻の生計維持の役割が大きくなっていることがわかる。

一方で、「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」「日々の家計を管理する」という家事に関する役割では『妻中心』が高く、前回調査から比べると女性ではほとんど変化していない。さらに、「育児、子どものしつけをする」「親などの世話（介護）をする」「保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する」のIL0156号条約でいう家族的責任は、女性では前回より『妻中心』が高くなっている。女性にとっては、生活費を獲得する役割は重くなったものの家事や家族的責任は軽減されていないと状況を認識しており、二重の負担感は重くなっていると推測される。これらの項目で男性は「主に妻が行い、夫が一部を分担している」と「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が女性より高い。男性は家事や家族的責任については夫が分担しているという認識が高く、女性と隔たりがある。配偶者・パートナーにしてほしい家庭内の仕事では、「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」を5割半ばの女性があげており、また前回調査よりも女性は約9ポイント増加しており、女性にとっては、夫の家事への参画への要望は高くなっている。

家庭内の意思決定に関する項目では、「夫と妻が同程度に分担」が「子どもの教育方針や進学目標を決める」で50.2%、「高額の商品や土地・家屋の購入を決める」で44.0%と比較的割合が高く、前回調査よりもやや高くなっている。家庭内の重要な問題についての意思決定においては、男女平等が進んできている傾向がみられる。



男性の育児休業・介護休業等の取得について、「積極的に活用すべきである」(42.1%)と「なるべく活用すべきである」(39.3%)を合わせて8割を超え、支持する人は多い。性別にみると、「積極的に活用すべきである」は、女性では年齢の低い層ほどが高く、10代から30代では5割半ばにのぼり、男性では40代以下の年齢層では4割半ばで高いが、50~60代の世代では3割半ばで、低くなっている。

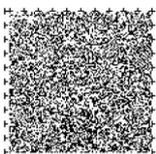
男性の育児休業取得がすすまない理由は、男女とも1位は「職場に取りやすい雰囲気がないから」が最も高いが、女性は男性より約10ポイント上回る。また、2位は「取ると仕事上周圍の人に迷惑がかかるから」で、特に40代以上で高くなっている。

性別に関わりなく介護と仕事を両立させる要件については、男女ともに「介護休業期間中の経済的支援の充実」「男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成」が6割を超えて圧倒的に高い。その他、男性の40代以下の年齢層で「長時間労働の見直し」の割合が高くなっていた。

以上のことより、「男性は仕事、女性は仕事も家庭も」という性別役割分担の状況が伺える。女性の負担感を軽減するために男性の家庭参画はより重要性が増しているが、男性の育児休業や介護休業の取得に対し、管理職世代の理解が不足している傾向が伺える。育児や介護の家族的責任と仕事との両立の壁として職場風土があげられているが、風土を改善する立場の管理職世代で男性の育児休業取得が進まない理由に「仕事上に迷惑がかかる」が高いのは問題といえる。年代の低い層では長時間労働の見直しを求めており、やはり、管理する立場での意識改革が求められる。残業時間の削減や男性の家庭参画促進を目指して、昨年「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」(働き方改革関連法)が施行された。この法律が適切に運用できるよう管理職を中心に事業所への啓発はより重要性を増している。

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度については、希望としては、「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が3割を超えて最も高く、前回調査と比べても、選択肢が一部異なるもののやや増加している。現実の優先度をみると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先」は女性では約2割、男性では1割半ばで、ワーク・ライフ・バランスの希望と現実には差がある。また、「仕事」を優先」は男性が約5割、女性は約3割で最も高くなっており、前回調査に比べると、男女とも増加している。女性では、家庭内の役割で「生活費を得る」が増加していたことから、仕事を優先している人が相関して増えていると推測される。男性の「仕事」を優先」の割合を前々回調査からの推移でみると、前回調査では仕事中心の生活が緩和されつつあったが、今回調査では元に戻っている。

働き方改革関連法に基づき、国においてはワーク・ライフ・バランスを推進する方向にある。市内の事業所等が実践的な取組みを促進できるよう行政の支援が重要となってきている。



第4章 仕事について

就業状況をみると、女性の63.7%、男性の68.8%が職業（収入のある仕事）についている。雇用形態では、「会社役員・管理職」が男性の11.6%に対し、女性は2.4%と低い。

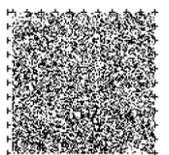
「正社員（一般職）」「正社員（技術職）」をあわせた『正社員』については、男性が25.4%、女性で23.3%と大きな差はみられない。

これらの雇用されている人に、現在の職場で女性に対する差別的な状況があるかを尋ねたところ、「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」が2割弱となっており、前回調査とほとんど同じで、依然として女性が昇進しにくい状況がうかがえる。その他にも「女性にはつけないポスト・職種がある」「女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署」も1割を超えている。「結婚や出産時に退職する慣行や退職を迫るような圧力がある」はいわゆるマタニティハラスメントで違法行為でもあり、全体で6.8%あるのは看過できない数値である。また、前回調査と同様に女性よりも男性の方が、ポスト・職種、賃金・給料、職務内容、採用において女性が差別的に扱われていると認識している。「特になし」は前回調査より男性がやや低くなっているが、依然として職場での性差別が残っている実態がある。

現在働いていない人のうち、就労希望がある人は全体の3割弱だが、子育て世代である30歳代から40歳代で8割以上の人々が就労希望を持っている。就労希望を持ちながら働いていない人の就労していない理由は、女性では「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」が2割半ばで最も高く、「今は、家事・育児・介護に専念したいから」も約2割あり、消極的であれ積極的であれ家族的責任を担うために就労していない状況の女性が約半数いる。

女性が職業をもち働き続けるために必要なことは、「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」「結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する」が上位3位にのぼっており、仕事と家庭との兼ね合いが大きな課題であることがわかる。特に30代では、「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」が高くなっている。「残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない」は、女性が男性よりも高く、男女とも性・年代別では30代が高くなっている。

女性が働き続けるために、仕事と家庭が両立できる制度の充実や、それを可能にする職場環境の整備、再雇用制度の充実等に向けて市内の事業所等に働きかける必要がある。



第5章 社会活動などへの参加・参画について

地域活動に参加している割合は、女性が40.7%、男性が46.7%となっている。

地域活動に参加していない人の理由では、男女とも1位は「仕事が忙しくて時間がないから」で、男性は4割半ばで女性より9ポイント高い。男女とも2位の「地域活動に関する情報が少ないから（どのような活動が行われているかわからない）」も男性が女性をやや上回っている。「家事・育児・介護などで忙しくて時間がないから」は女性が男性を約13ポイント上回り、女性の地域活動の参加については、家事・育児・介護が障壁となっていることがわかる。

地域活動における男女共同参画の推進状況をみると、前回調査と同様「催し物の企画などは主に男性が決定している」「地域活動は男性が取り仕切る」「地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている」「地域の役員はほとんど男性になっている」「地域での集会では男性が上座に座る」「自治委員（隣組長）などの登録は男性（夫）だが、会議の出席は女性（妻）が出ることが多い」などの項目において、「そうしている」が「そうしていない」を上回っており、固定的性別役割分担や「ものごとの決定や代表は男性」といった慣習が地域活動において依然として残っている。

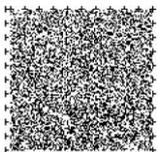
地域のさまざまな場面に性別にかかわらず、地域において、固定的性別役割分担の解消に向けた啓発を行い、意思決定過程に多様な意見が反映できるように働きかけていく必要がある。

女性が地域の役職につくことについて、女性には引き受けるか、男性には身近な女性が推薦された場合に引き受けることをすすめるかを尋ねた質問では、女性の8割弱、男性の5割強が「断る（断ることをすすめる）」と回答しており、前回調査と変化はみられない。

「断る（断ることをすすめる）」理由としては、男女とも40歳代までは「家事・育児や介護に支障がでるから」が高いが、50歳代以上では「役職につく知識や経験がないから」が高く、これらも前回調査と変化がみられない。

地域活動における女性リーダーを増やすために必要だと思うことについては、女性で「さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する」「育児や介護を支援するための施策を充実させる」「家族が家事・育児を分担する」の割合が高くなっている。

女性の地域活動の参画促進に向けては、参加しやすい時間帯を工夫、育児・介護の支援の充実、家族の理解や協力等の家庭生活と社会活動の両立を可能とするような支援の検討、女性が地域活動を担っていけるような女性リーダーの育成に向けた施策を展開することが必要である。



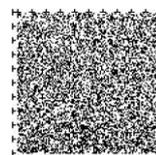
第6章 人権侵害について

女性への人権侵害にあたる9項目について、人権侵害と思うものを尋ねたところ「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」「痴漢や強制性交（レイプ）などの性犯罪」が約8割、「ドメスティック・バイオレンス：DV（夫・パートナーや恋人からの暴力）」が7割を超え、上位3項目となった。「街なかや駅・電車など公共の場における性情報の氾濫」「女性の働く風俗営業」「女性の容姿を競うコンテスト」の回答率は3割以下と低い。前回調査と比べて、上位の5項目では比率が減少し、下位の項目の殆どがやや増加している。また、女性の70代では、ほとんどの項目で他の年齢層より低くなっている。女性の年齢の低い層では「売春、買春、援助交際」「女性の働く風俗営業」「テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアにおける女性の性的描写」など、性の商品化に関する項目で回答率が低くなっており、これは前回調査と同様の傾向である。また、女性で固定的性別役割分担意識に肯定的な人ほど回答率は高くなる傾向がある。女性への人権侵害は、実際には年齢に関わりなく生じている。年齢の低い層では、メディアリテラシーを身につける啓発が必要である。また、固定的性別役割分担意識の解消は、女性への人権侵害についての認識を高めることが示唆されたことから、今後も、さらなる意識啓発と周知の徹底が必要である。

5年間でセクシュアル・ハラスメントを受けた経験について10項目で尋ねたところ、女性では「じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた」「からだに触られた」「性的なジョークを言われたり、猥談(わいだん)がかわされた」「身体に関して不愉快になる言葉や冗談を言われた」「いつ結婚するのかと言われた」が15%を超える上位の項目で、特に、女性の年齢の低い層で高い傾向にある。男性では30代で経験率が高く、特に「性的なジョークを言われたり、猥談(わいだん)がかわされた」「いつ結婚するのかと言われた」の被害が高い。セクシュアル・ハラスメントを受けた場合は、「職場で」の割合が約7割、「地域で」の割合が2割半ばとなっており、職場や地域の被害が多くみられるが、前回調査と比べると男性の地域での割合が減少し、女性の職場が増加している。

また、セクシュアル・ハラスメントを受けた場合の対処方法として、「相談しなかった」が5割半ばとなっている。相談しなかった理由としては、男女とも1位は「相談するほどではないと思った」が5割を超え、2位は「相談しても無駄だと思った」が4割弱で、女性は「自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った」が約2割と高くなっている。

これらの10項目をセクシュアル・ハラスメントに当たると認識しているのは、男性より女性の方が、年齢が高い層より低い層の方が、また、固定的性別役割分担意識の低い人の方が、多くの項目について認識が高い。認識が低い場合には、無意識にセクシュアル・ハラスメントの加害行為をしてしまったり、受け手の不快な思いに気づかず行為を繰り返したり、相談を受けても不適切な対応で、二次加害をしてしまうことも多い。男性も被害を受けることも含め、ジェンダー平等に関して幅広い年代に対して、啓発や情報提供を行っていく必要がある。



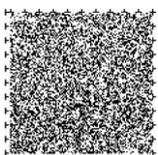
最も被害が多く発生している、職場については、セクシュアル・ハラスメントの啓発や相談体制の充実を働きかけていく必要がある。また、地域においては、人権擁護委員等の地域の人材や各種相談機関の周知を行い、被害を受けた人が相談しやすい環境を整えることが必要である。

パートナー（夫・妻・恋人）からの暴力（DV）である14項目について、暴力と認識しているかを尋ねたところ、身体的暴力である「首を絞める」が約9割、「素手でたたく。殴る・蹴る・体を傷つける可能性のあるもので殴る」が約8割と高く、精神的暴力である「無視する」、経済的暴力である「生活費を必要以上に細かくチェックする」の2項目は3割を切り、低い項目となった。また、全ての項目で女性が男性を上回り、男性では外出の制限や携帯電話やメールのチェックなどの社会的暴力の比率が低かった。実際の暴力の経験を探ねたところ、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力、ほとんどの項目では、女性の方が「何度もあった」とする割合が高くなっており、女性の被害経験が多くなっているが、身体的暴力、社会的暴力などでは男女差がほとんどない。

DVを受けた経験がある人のうち、誰かに相談した人は女性で4割弱、男性で2割強となっており、半数以上はだれにも相談しなかった（できなかった）と回答している。どこに相談してよいかわからなかった人は女性で約1割みられた。また、相談先も「友人、知人」「家族、親戚」がほとんどであり、公的機関への相談は前回調査からは微増している。

女性に対する暴力をなくすための対策としては、前回調査と大きな変化がなく、「被害者を保護する体制を充実する」「被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する」が6割を超えて高く、「被害者が自立して生活できるように支援する」の割合が女性で約6割と高くなっている。

窓口に関する情報の周知とともに、相談された個人が二次加害をしたり、相談を受けたことで危険な目にあったりしないよう、DVに関する啓発を市民全体に行い、被害者が安心して相談し、保護できる環境を地域全体で整えていくことが重要である。また、被害者が、相談から、保護、自立支援まで切れ目なく支援する体制が求められる。

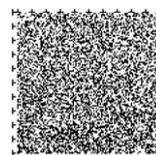


第7章 セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）について

セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）という言葉についての認知度は各年代共通して、男女とも「内容まで知っている」人は3割半ばにとどまるが、「名前は聞いたことがある」を含むと7割を超えて高い。但し、70代以上で認知度が低い。

セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権を守るために対策として、男女とも「社会全体での教育や啓発」、「学校等、子どもたちからの教育や啓発」が3割半ばで高い「性的少数者に関する相談や支援の充実」「社会制度（法制度や条例制定等）の整備」が2割半ばで続く。「特に必要ない」は低く、何らかの対策が必要であるという認識は高い。

セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）については、マスメディアで取り上げられることが増えており、言葉の認知は高くなっているが、内容への理解はまだ不足しているといえる。理解を深めるため、学校教育、社会教育の場で教育・啓発をすすめる必要がある。また、人権侵害時に適切な対応がとれるよう、相談や支援の充実を図る必要がある。



第8章 男女平等、男女共同参画などに関することについて

男女共同参画推進に関する用語や市の取り組みについての認知では、「男女共同参画社会基本法」「久留米市男女平等を進める条例」「久留米市男女共同参画行動計画」「男女平等推進委員」が前回調査よりやや認知度を伸ばしたものの、その伸びはわずかとなっている。

「男女共同参画社会基本法」以外の項目では「知らない」とする人が約5割から9割近くに達しており、認知が広がっているとは言い難い。

「男女共同参画社会基本法」については、前回調査同様に、20歳代での認知度が8割を超えて高いが、それ以外の項目、特に久留米市の取り組みに関する項目では年齢が低い層ほど認知度が低くなる傾向がみられる。

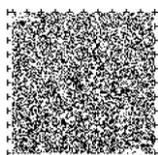
また、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」については、男性に比べ女性で認知度が低く、女性の20歳代から40歳代でも認知度が2割半ばから3割半ば程度となっており、女性自身の認知度が低い。

久留米市男女平等推進センターの認知についても、前回調査同様に、年齢の低い層で認知度が低い傾向がみられ、若い世代に市の取り組みが周知されていない状況がうかがえる。

久留米市男女平等推進センターに求めることは、「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」「男女平等について学ぶ講座」「DVやセクシュアル・ハラスメントなどの女性のさまざまな悩みについての相談」が2割程度となっている。

女性の30歳代から50歳代で「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」の再就職支援に関わることが高く、女性の10歳代から40歳代で「DVやセクシュアル・ハラスメントなどの女性のさまざまな悩みについての相談」が高くなっている。男性では、各年代共通して「男女平等について学ぶ講座」を求めている。

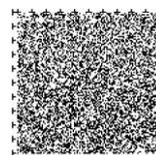
年齢に即した市民のニーズを把握して久留米市男女平等推進センターの事業内容を工夫し、充実を図る必要がある。また、事業等の周知については、労働、福祉、人権、コミュニティなど市民のニーズに応じて情報が伝わりやすい庁内関係課と連携することが求められる。

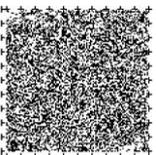


男女共同参画社会実現のために市に望む施策としては、「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」「女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する」など、育児や介護への支援、男性の家庭参加促進、再就職支援が上位にあがっている。

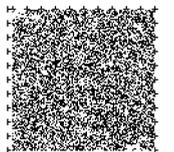
性別で見ると、上記の3つの項目で女性が男性より大幅に高くなっており、一方男性は「行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用を促進する」「各種団体の女性のリーダーを育成する」など、「女性の登用」や「人材育成」に関する項目がやや高くなっている。

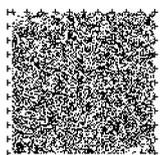
「女性の活躍の推進」が近年特に強調されており、それらを受け、男性では、女性の登用や人材育成に関する意識が高くなっていることが伺える。しかし、当事者である女性では、家事や育児、介護と仕事とが両立するための社会制度が充実されることが重要とされており、これらが実現しないと女性の登用は難しいといえる。





IV 集計表



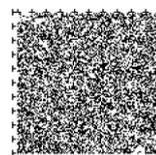


IV 集計表

第1章 男女平等に関する考え方について

問1. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどのように思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	-	12	23	19	-
		100.0	-	22.2	42.6	35.2	-
	30歳代	83	1	25	26	29	2
		100.0	1.2	30.1	31.3	34.9	2.4
	40歳代	114	3	27	43	40	1
		100.0	2.6	23.7	37.7	35.1	0.9
	50歳代	111	-	27	40	41	3
		100.0	-	24.3	36.0	36.9	2.7
	60歳代	160	-	42	50	63	5
		100.0	-	26.3	31.3	39.4	3.1
	70歳代	107	5	37	35	26	4
		100.0	4.7	34.6	32.7	24.3	3.7
	男性 10・20歳代	35	1	8	13	13	-
		100.0	2.9	22.9	37.1	37.1	-
30歳代		47	1	11	22	11	2
		100.0	2.1	23.4	46.8	23.4	4.3
40歳代		58	1	19	16	20	2
		100.0	1.7	32.8	27.6	34.5	3.4
50歳代		77	5	23	28	19	2
	100.0	6.5	29.9	36.4	24.7	2.6	
60歳代	130	8	30	48	41	3	
	100.0	6.2	23.1	36.9	31.5	2.3	
70歳代	109	6	41	27	32	3	
	100.0	5.5	37.6	24.8	29.4	2.8	



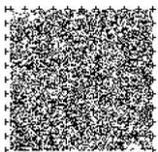
問2. あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (ア) から (ク) のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び
 ○印をつけてください。

(ア) 家庭生活では

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	1	9	14	23	7	-
		100.0	1.9	16.7	25.9	42.6	13.0	-
	30歳代	83	4	11	5	43	17	3
		100.0	4.8	13.3	6.0	51.8	20.5	3.6
	40歳代	114	2	10	26	46	30	-
		100.0	1.8	8.8	22.8	40.4	26.3	-
	50歳代	111	3	11	10	54	31	2
		100.0	2.7	9.9	9.0	48.6	27.9	1.8
	60歳代	160	7	9	24	76	43	1
		100.0	4.4	5.6	15.0	47.5	26.9	0.6
	70歳代	107	2	13	20	45	20	7
		100.0	1.9	12.1	18.7	42.1	18.7	6.5
	男性 10・20歳代	35	-	10	12	10	3	-
			100.0	-	28.6	34.3	28.6	8.6
30歳代		47	2	9	17	16	2	1
		100.0	4.3	19.1	36.2	34.0	4.3	2.1
40歳代		58	5	7	21	18	4	3
		100.0	8.6	12.1	36.2	31.0	6.9	5.2
50歳代		77	1	13	15	41	6	1
		100.0	1.3	16.9	19.5	53.2	7.8	1.3
60歳代		130	6	14	45	55	7	3
		100.0	4.6	10.8	34.6	42.3	5.4	2.3
70歳代		109	5	12	35	49	5	3
		100.0	4.6	11.0	32.1	45.0	4.6	2.8

(イ) 職場では

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	1	5	10	26	11	1
		100.0	1.9	9.3	18.5	48.1	20.4	1.9
	30歳代	83	-	8	21	37	14	3
		100.0	-	9.6	25.3	44.6	16.9	3.6
	40歳代	114	2	10	26	50	26	-
		100.0	1.8	8.8	22.8	43.9	22.8	-
	50歳代	111	2	6	21	55	27	-
		100.0	1.8	5.4	18.9	49.5	24.3	-
	60歳代	160	2	10	21	68	52	7
		100.0	1.3	6.3	13.1	42.5	32.5	4.4
	70歳代	107	-	5	15	47	24	16
		100.0	-	4.7	14.0	43.9	22.4	15.0
	男性 10・20歳代	35	3	5	7	13	6	1
			100.0	8.6	14.3	20.0	37.1	17.1
30歳代		47	2	7	11	23	3	1
		100.0	4.3	14.9	23.4	48.9	6.4	2.1
40歳代		58	1	7	16	23	10	1
		100.0	1.7	12.1	27.6	39.7	17.2	1.7
50歳代		77	2	14	21	34	5	1
		100.0	2.6	18.2	27.3	44.2	6.5	1.3
60歳代		130	3	11	29	64	19	4
		100.0	2.3	8.5	22.3	49.2	14.6	3.1
70歳代		109	1	6	21	55	17	9
		100.0	0.9	5.5	19.3	50.5	15.6	8.3

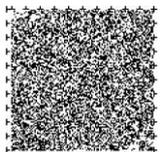


(ウ) 学校教育の場では

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	-	4	40	8	2	-
		100.0	-	7.4	74.1	14.8	3.7	-
	30歳代	83	-	2	59	13	2	7
		100.0	-	2.4	71.1	15.7	2.4	8.4
	40歳代	114	1	5	71	25	8	4
		100.0	0.9	4.4	62.3	21.9	7.0	3.5
	50歳代	111	-	4	71	25	6	5
		100.0	-	3.6	64.0	22.5	5.4	4.5
	60歳代	160	1	6	97	35	9	12
		100.0	0.6	3.8	60.6	21.9	5.6	7.5
	70歳代	107	-	1	64	21	1	20
		100.0	-	0.9	59.8	19.6	0.9	18.7
	男性 10・20歳代	35	2	5	25	3	-	-
		100.0	5.7	14.3	71.4	8.6	-	-
30歳代	47	1	4	35	5	-	2	
	100.0	2.1	8.5	74.5	10.6	-	4.3	
40歳代	58	1	3	39	9	2	4	
	100.0	1.7	5.2	67.2	15.5	3.4	6.9	
50歳代	77	-	6	57	9	1	4	
	100.0	-	7.8	74.0	11.7	1.3	5.2	
60歳代	130	3	10	84	23	2	8	
	100.0	2.3	7.7	64.6	17.7	1.5	6.2	
70歳代	109	-	8	66	23	2	10	
	100.0	-	7.3	60.6	21.1	1.8	9.2	

(エ) 地域活動・社会活動の場では

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	-	4	21	21	7	1
		100.0	-	7.4	38.9	38.9	13.0	1.9
	30歳代	83	-	5	30	35	9	4
		100.0	-	6.0	36.1	42.2	10.8	4.8
	40歳代	114	1	6	42	45	19	1
		100.0	0.9	5.3	36.8	39.5	16.7	0.9
	50歳代	111	-	11	29	53	14	4
		100.0	-	9.9	26.1	47.7	12.6	3.6
	60歳代	160	3	12	30	81	30	4
		100.0	1.9	7.5	18.8	50.6	18.8	2.5
	70歳代	107	-	6	19	54	18	10
		100.0	-	5.6	17.8	50.5	16.8	9.3
	男性 10・20歳代	35	1	4	16	12	1	1
		100.0	2.9	11.4	45.7	34.3	2.9	2.9
30歳代	47	1	7	24	11	2	2	
	100.0	2.1	14.9	51.1	23.4	4.3	4.3	
40歳代	58	-	2	28	20	4	4	
	100.0	-	3.4	48.3	34.5	6.9	6.9	
50歳代	77	-	7	34	32	2	2	
	100.0	-	9.1	44.2	41.6	2.6	2.6	
60歳代	130	3	14	55	48	5	5	
	100.0	2.3	10.8	42.3	36.9	3.8	3.8	
70歳代	109	1	6	33	60	7	2	
	100.0	0.9	5.5	30.3	55.0	6.4	1.8	

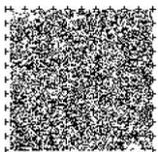


(オ) 政治の場では

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・年 代 別	女性 10・20歳代	54	-	-	6	28	20	-
		100.0	-	-	11.1	51.9	37.0	-
	30歳代	83	-	-	5	36	39	3
		100.0	-	-	6.0	43.4	47.0	3.6
	40歳代	114	-	3	8	41	60	2
		100.0	-	2.6	7.0	36.0	52.6	1.8
	50歳代	111	-	3	9	40	57	2
		100.0	-	2.7	8.1	36.0	51.4	1.8
	60歳代	160	-	2	11	50	88	9
		100.0	-	1.3	6.9	31.3	55.0	5.6
	70歳代	107	-	1	13	34	48	11
		100.0	-	0.9	12.1	31.8	44.9	10.3
	男性 10・20歳代	35	-	-	8	16	11	-
		100.0	-	-	22.9	45.7	31.4	-
47		1	1	12	26	6	1	
100.0		2.1	2.1	25.5	55.3	12.8	2.1	
58		-	1	5	27	21	4	
100.0		-	1.7	8.6	46.6	36.2	6.9	
77		1	-	17	39	19	1	
100.0	1.3	-	22.1	50.6	24.7	1.3		
60歳代	130	1	6	19	60	40	4	
	100.0	0.8	4.6	14.6	46.2	30.8	3.1	
70歳代	109	1	1	18	44	40	5	
	100.0	0.9	0.9	16.5	40.4	36.7	4.6	

(カ) 法律や制度のうえでは

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・年 代 別	女性 10・20歳代	54	-	6	22	17	9	-
		100.0	-	11.1	40.7	31.5	16.7	-
	30歳代	83	-	2	22	39	16	4
		100.0	-	2.4	26.5	47.0	19.3	4.8
	40歳代	114	1	6	36	48	22	1
		100.0	0.9	5.3	31.6	42.1	19.3	0.9
	50歳代	111	1	4	38	45	22	1
		100.0	0.9	3.6	34.2	40.5	19.8	0.9
	60歳代	160	-	5	42	63	45	5
		100.0	-	3.1	26.3	39.4	28.1	3.1
	70歳代	107	-	2	38	41	12	14
		100.0	-	1.9	35.5	38.3	11.2	13.1
	男性 10・20歳代	35	2	7	17	5	4	-
		100.0	5.7	20.0	48.6	14.3	11.4	-
47		1	5	27	11	2	1	
100.0		2.1	10.6	57.4	23.4	4.3	2.1	
58		1	6	27	14	4	6	
100.0		1.7	10.3	46.6	24.1	6.9	10.3	
77		2	8	36	28	3	-	
100.0	2.6	10.4	46.8	36.4	3.9	-		
60歳代	130	4	11	63	36	10	6	
	100.0	3.1	8.5	48.5	27.7	7.7	4.6	
70歳代	109	1	6	61	31	4	6	
	100.0	0.9	5.5	56.0	28.4	3.7	5.5	

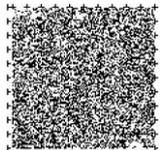


(キ) 社会の慣習・しきたりなどでは

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	-	2	8	26	18	-
		100.0	-	3.7	14.8	48.1	33.3	-
	30歳代	83	-	1	7	41	31	3
		100.0	-	1.2	8.4	49.4	37.3	3.6
	40歳代	114	1	7	8	52	45	1
		100.0	0.9	6.1	7.0	45.6	39.5	0.9
	50歳代	111	-	2	11	48	48	2
		100.0	-	1.8	9.9	43.2	43.2	1.8
	60歳代	160	-	2	10	64	82	2
		100.0	-	1.3	6.3	40.0	51.3	1.3
	70歳代	107	-	4	8	54	33	8
		100.0	-	3.7	7.5	50.5	30.8	7.5
	男性 10・20歳代	35	3	4	6	13	9	-
		100.0	8.6	11.4	17.1	37.1	25.7	-
30歳代	47	-	3	13	25	5	1	
	100.0	-	6.4	27.7	53.2	10.6	2.1	
40歳代	58	-	2	3	35	14	4	
	100.0	-	3.4	5.2	60.3	24.1	6.9	
50歳代	77	-	3	11	48	13	2	
	100.0	-	3.9	14.3	62.3	16.9	2.6	
60歳代	130	4	3	13	75	30	5	
	100.0	3.1	2.3	10.0	57.7	23.1	3.8	
70歳代	109	-	2	15	60	27	5	
	100.0	-	1.8	13.8	55.0	24.8	4.6	

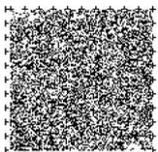
(ク) 社会全体では

上段:実数 下段:%		全 体	女性の方が優 遇されている	どちらかといえ ば女性の方が 優遇されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が 優遇されている	男性の方が優 遇されている	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	1	3	10	29	11	-
		100.0	1.9	5.6	18.5	53.7	20.4	-
	30歳代	83	-	4	5	51	19	4
		100.0	-	4.8	6.0	61.4	22.9	4.8
	40歳代	114	2	7	9	71	24	1
		100.0	1.8	6.1	7.9	62.3	21.1	0.9
	50歳代	111	-	3	12	71	24	1
		100.0	-	2.7	10.8	64.0	21.6	0.9
	60歳代	160	3	5	9	90	50	3
		100.0	1.9	3.1	5.6	56.3	31.3	1.9
	70歳代	107	-	1	6	72	19	9
		100.0	-	0.9	5.6	67.3	17.8	8.4
	男性 10・20歳代	35	1	8	6	16	4	-
		100.0	2.9	22.9	17.1	45.7	11.4	-
30歳代	47	1	8	15	21	1	1	
	100.0	2.1	17.0	31.9	44.7	2.1	2.1	
40歳代	58	-	5	5	35	9	4	
	100.0	-	8.6	8.6	60.3	15.5	6.9	
50歳代	77	1	6	18	47	4	1	
	100.0	1.3	7.8	23.4	61.0	5.2	1.3	
60歳代	130	5	4	19	84	14	4	
	100.0	3.8	3.1	14.6	64.6	10.8	3.1	
70歳代	109	1	4	16	76	10	2	
	100.0	0.9	3.7	14.7	69.7	9.2	1.8	



問3. 政治、行政、企業、地域などにおいて、政策・方針決定の過程に女性が進出して
いない理由は何だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつ
けてください。

上段:実数 下段:%		全 体	男性優位の組織運営にな っているから	家庭、職場、地域など で、男女で役割を分ける 意識が強いから	女性をリーダーとして育 成されている社会風土が	家族の支援・協力が得ら れないから	家事・育児や介護に支障 がでるから	女性の能力開発の機会が 不十分だから	女性の積極性が十分でな いから	その他	無 回 答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	34	31	24	13	30	10	7	-	-
		100.0	63.0	57.4	44.4	24.1	55.6	18.5	13.0	-	-
	30歳代	83	45	42	39	26	54	12	6	3	1
		100.0	54.2	50.6	47.0	31.3	65.1	14.5	7.2	3.6	1.2
	40歳代	114	67	50	57	44	67	10	16	1	-
		100.0	58.8	43.9	50.0	38.6	58.8	8.8	14.0	0.9	-
	50歳代	111	73	63	51	39	64	12	9	2	1
		100.0	65.8	56.8	45.9	35.1	57.7	10.8	8.1	1.8	0.9
	60歳代	160	100	85	77	56	83	26	33	1	2
		100.0	62.5	53.1	48.1	35.0	51.9	16.3	20.6	0.6	1.3
	70歳代	107	43	58	48	23	59	22	24	-	8
		100.0	40.2	54.2	44.9	21.5	55.1	20.6	22.4	-	7.5
	男性 10・20歳代	35	18	21	19	3	15	5	7	2	-
		100.0	51.4	60.0	54.3	8.6	42.9	14.3	20.0	5.7	-
30歳代	47	21	24	21	18	18	6	3	5	1	
	100.0	44.7	51.1	44.7	38.3	38.3	12.8	6.4	10.6	2.1	
40歳代	58	33	28	37	16	29	7	15	1	-	
	100.0	56.9	48.3	63.8	27.6	50.0	12.1	25.9	1.7	-	
50歳代	77	39	42	39	23	31	15	18	3	1	
	100.0	50.6	54.5	50.6	29.9	40.3	19.5	23.4	3.9	1.3	
60歳代	130	70	69	65	34	47	22	33	4	7	
	100.0	53.8	53.1	50.0	26.2	36.2	16.9	25.4	3.1	5.4	
70歳代	109	56	62	61	19	56	24	26	2	2	
	100.0	51.4	56.9	56.0	17.4	51.4	22.0	23.9	1.8	1.8	



第2章 子育て、教育について

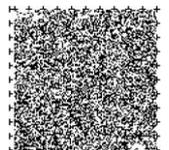
問4. あなたは、子どものしつけや教育についてどのような考え方をお持ちですか。次の(ア)、(イ)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び○印をつけてください。

(ア) 女の子も男の子も仕事をもち、経済的に自立できるように育てる

上段:実数 下段:%		全 体	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	無回答
性・ 年代別	女性 10・20歳代	54	47	7	-	-	-
		100.0	87.0	13.0	-	-	-
	30歳代	83	74	8	-	-	1
		100.0	89.2	9.6	-	-	1.2
	40歳代	114	98	16	-	-	-
		100.0	86.0	14.0	-	-	-
	50歳代	111	94	17	-	-	-
		100.0	84.7	15.3	-	-	-
	60歳代	160	126	33	1	-	-
		100.0	78.8	20.6	0.6	-	-
	70歳代	107	74	25	4	-	4
		100.0	69.2	23.4	3.7	-	3.7
	男性 10・20歳代	35	29	5	1	-	-
		100.0	82.9	14.3	2.9	-	-
30歳代		47	35	12	-	-	-
		100.0	74.5	25.5	-	-	-
40歳代		58	42	13	3	-	-
		100.0	72.4	22.4	5.2	-	-
50歳代		77	56	20	1	-	-
		100.0	72.7	26.0	1.3	-	-
60歳代	130	99	27	1	2	1	
	100.0	76.2	20.8	0.8	1.5	0.8	
70歳代	109	73	31	3	-	2	
	100.0	67.0	28.4	2.8	-	1.8	

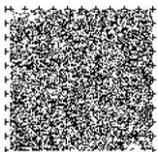
(イ) 女の子も男の子も炊事、掃除、洗濯など生活していくために必要な技術を身につけるように育てる

上段:実数 下段:%		全 体	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	無回答
性・ 年代別	女性 10・20歳代	54	49	5	-	-	-
		100.0	90.7	9.3	-	-	-
	30歳代	83	73	8	1	-	1
		100.0	88.0	9.6	1.2	-	1.2
	40歳代	114	93	21	-	-	-
		100.0	81.6	18.4	-	-	-
	50歳代	111	94	17	-	-	-
		100.0	84.7	15.3	-	-	-
	60歳代	160	119	41	-	-	-
		100.0	74.4	25.6	-	-	-
	70歳代	107	62	42	-	-	3
		100.0	57.9	39.3	-	-	2.8
	男性 10・20歳代	35	23	11	1	-	-
		100.0	65.7	31.4	2.9	-	-
30歳代		47	34	12	1	-	-
		100.0	72.3	25.5	2.1	-	-
40歳代		58	41	13	2	1	1
		100.0	70.7	22.4	3.4	1.7	1.7
50歳代		77	55	20	1	1	-
		100.0	71.4	26.0	1.3	1.3	-
60歳代	130	73	50	3	2	2	
	100.0	56.2	38.5	2.3	1.5	1.5	
70歳代	109	47	51	6	1	4	
	100.0	43.1	46.8	5.5	0.9	3.7	



問5. これから、性別にかかわらず誰もが個性や能力を発揮できる社会にしていくために、あなたは、学校教育の場でどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%	全体	男女平等の意識を育てる授業を行う	互いの性を尊重しあいながら、主体的に生きるための健康や性に関する指導を行う	働くことや経済的自立についての大切さを教える	家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える	学校行事や学級活動などを性別でなく個性と能力に応じた決める	性の多様性を認めあう授業を行う	性別にかかわらず能力をいかせるよう、生活指導や進路指導において配慮する	保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等についての理解を促す	管理職（校長や教頭）に女性を増やす	多様性を認めあう研修を行う	その他	無回答	
														1
女性 10・20歳代	54	12	25	19	22	21	11	24	2	10	9	1	-	
	100.0	22.2	46.3	35.2	40.7	38.9	20.4	44.4	3.7	18.5	16.7	1.9	-	
30歳代	83	21	42	40	32	23	11	29	5	12	8	2	3	
	100.0	25.3	50.6	48.2	38.6	27.7	13.3	34.9	6.0	14.5	9.6	2.4	3.6	
40歳代	114	27	48	63	44	35	18	36	8	17	14	1	3	
	100.0	23.7	42.1	55.3	38.6	30.7	15.8	31.6	7.0	14.9	12.3	0.9	2.6	
50歳代	111	33	32	56	38	44	16	54	10	11	14	3	2	
	100.0	29.7	28.8	50.5	34.2	39.6	14.4	48.6	9.0	9.9	12.6	2.7	1.8	
60歳代	160	49	61	97	44	70	4	85	17	14	20	2	2	
	100.0	30.6	38.1	60.6	27.5	43.8	2.5	53.1	10.6	8.8	12.5	1.3	1.3	
70歳代	107	40	32	68	29	33	1	68	10	2	10	2	3	
	100.0	37.4	29.9	63.6	27.1	30.8	0.9	63.6	9.3	1.9	9.3	1.9	2.8	
男性 10・20歳代	35	15	17	16	4	12	1	13	3	5	4	1	-	
	100.0	42.9	48.6	45.7	11.4	34.3	2.9	37.1	8.6	14.3	11.4	2.9	-	
30歳代	47	17	14	28	11	14	3	17	4	9	10	5	-	
	100.0	36.2	29.8	59.6	23.4	29.8	6.4	36.2	8.5	19.1	21.3	10.6	-	
40歳代	58	22	19	29	13	21	5	26	7	10	9	2	1	
	100.0	37.9	32.8	50.0	22.4	36.2	8.6	44.8	12.1	17.2	15.5	3.4	1.7	
50歳代	77	22	27	43	23	32	11	31	7	3	8	2	1	
	100.0	28.6	35.1	55.8	29.9	41.6	14.3	40.3	9.1	3.9	10.4	2.6	1.3	
60歳代	130	44	46	71	27	56	4	54	25	8	20	1	5	
	100.0	33.8	35.4	54.6	20.8	43.1	3.1	41.5	19.2	6.2	15.4	0.8	3.8	
70歳代	109	47	28	57	16	50	6	52	15	13	19	3	5	
	100.0	43.1	25.7	52.3	14.7	45.9	5.5	47.7	13.8	11.9	17.4	2.8	4.6	

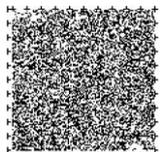


第3章 仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関することごとらについて

問6. あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。(ア)から(ケ)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

(ア) 生活費を得る

上段:実数 下段:%		全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	19 100.0	- -	- -	8 42.1	6 31.6	5 26.3	- -	
	30歳代	66 100.0	3 4.5	- -	21 31.8	21 31.8	21 31.8	- -	
	40歳代	90 100.0	1 1.1	3 3.3	18 20.0	38 42.2	28 31.1	2 2.2	
	50歳代	83 100.0	4 4.8	3 3.6	18 21.7	32 38.6	26 31.3	- -	
	60歳代	133 100.0	9 6.8	4 3.0	33 24.8	51 38.3	34 25.6	2 1.5	
	70歳代	72 100.0	4 5.6	1 1.4	14 19.4	27 37.5	21 29.2	5 6.9	
	男性 10・20歳代	8 100.0	- -	- -	2 25.0	4 50.0	2 25.0	- -	
	30歳代	30 100.0	- -	- -	8 26.7	13 43.3	9 30.0	- -	
	40歳代	36 100.0	1 2.8	1 2.8	5 13.9	14 38.9	15 41.7	- -	
	50歳代	64 100.0	1 1.6	- -	7 10.9	30 46.9	24 37.5	2 3.1	
	60歳代	116 100.0	3 2.6	2 1.7	33 28.4	37 31.9	40 34.5	1 0.9	
	70歳代	97 100.0	4 4.1	3 3.1	23 23.7	41 42.3	23 23.7	3 3.1	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	23 100.0	2 8.7	- -	2 8.7	8 34.8	11 47.8	- -
		ある程度同感する	243 100.0	6 2.5	2 0.8	41 16.9	84 34.6	102 42.0	8 3.3
あまり同感しない		280 100.0	6 2.1	8 2.9	72 25.7	120 42.9	71 25.4	3 1.1	
同感しない		253 100.0	17 6.7	7 2.8	72 28.5	96 37.9	58 22.9	3 1.2	

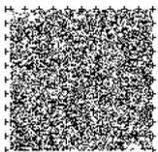


(イ) 炊事、掃除、洗濯などの家事をする

上段:実数 下段:%		全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・ 年代別	女性 10・20歳代	19 100.0	7 36.8	7 36.8	5 26.3	- -	- -	- -	
	30歳代	66 100.0	38 57.6	24 36.4	4 6.1	- -	- -	- -	
	40歳代	90 100.0	48 53.3	31 34.4	6 6.7	2 2.2	1 1.1	2 2.2	
	50歳代	83 100.0	58 69.9	22 26.5	2 2.4	1 1.2	- -	- -	
	60歳代	133 100.0	79 59.4	40 30.1	10 7.5	2 1.5	- -	2 1.5	
	70歳代	72 100.0	48 66.7	16 22.2	7 9.7	- -	- -	1 1.4	
	男性 10・20歳代	8 100.0	2 25.0	6 75.0	- -	- -	- -	- -	
	30歳代	30 100.0	7 23.3	16 53.3	6 20.0	1 3.3	- -	- -	
	40歳代	36 100.0	16 44.4	12 33.3	5 13.9	2 5.6	- -	1 2.8	
	50歳代	64 100.0	32 50.0	24 37.5	3 4.7	2 3.1	1 1.6	2 3.1	
	60歳代	116 100.0	47 40.5	50 43.1	13 11.2	2 1.7	2 1.7	2 1.7	
	70歳代	97 100.0	43 44.3	33 34.0	14 14.4	2 2.1	3 3.1	2 2.1	
	固 定 的 性 別 役 割	同感する	23 100.0	18 78.3	2 8.7	2 8.7	1 4.3	- -	- -
		ある程度同感する	243 100.0	146 60.1	66 27.2	18 7.4	3 1.2	5 2.1	5 2.1
あまり同感しない		280 100.0	140 50.0	109 38.9	24 8.6	1 0.4	1 0.4	5 1.8	
同感しない		253 100.0	114 45.1	97 38.3	33 13.0	8 3.2	- -	1 0.4	

(ウ) 日々の家計を管理する

上段:実数 下段:%		全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・ 年代別	女性 10・20歳代	19 100.0	10 52.6	3 15.8	5 26.3	1 5.3	- -	- -	
	30歳代	66 100.0	37 56.1	11 16.7	10 15.2	4 6.1	4 6.1	- -	
	40歳代	90 100.0	65 72.2	8 8.9	8 8.9	5 5.6	2 2.2	2 2.2	
	50歳代	83 100.0	58 69.9	8 9.6	8 9.6	4 4.8	5 6.0	- -	
	60歳代	133 100.0	85 63.9	12 9.0	12 12.8	12 9.0	4 3.0	3 2.3	
	70歳代	72 100.0	52 72.2	7 9.7	4 5.6	1 1.4	5 6.9	3 4.2	
	男性 10・20歳代	8 100.0	6 75.0	1 12.5	- -	- -	- -	1 12.5	
	30歳代	30 100.0	14 46.7	3 10.0	9 30.0	3 10.0	1 3.3	- -	
	40歳代	36 100.0	20 55.6	8 22.2	4 11.1	3 8.3	- -	1 2.8	
	50歳代	64 100.0	30 46.9	11 17.2	9 14.1	3 4.7	8 12.5	3 4.7	
	60歳代	116 100.0	60 51.7	15 12.9	20 17.2	9 7.8	6 5.2	6 5.2	
	70歳代	97 100.0	52 53.6	9 9.3	19 19.6	7 7.2	7 7.2	3 3.1	
	固 定 的 性 別 役 割	同感する	23 100.0	14 60.9	3 13.0	3 13.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3
		ある程度同感する	243 100.0	143 58.8	30 12.3	26 10.7	18 7.4	19 7.8	7 2.9
あまり同感しない		280 100.0	167 59.6	39 13.9	40 14.3	15 5.4	10 3.6	9 3.2	
同感しない		253 100.0	155 61.3	24 9.5	42 16.6	19 7.5	11 4.3	2 0.8	

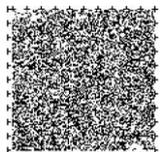


(エ) 育児、子どものしつけをする

上段:実数 下段:%	全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・ 年代別	女性 10・20歳代	19	3	6	6	-	-	4
		100.0	15.8	31.6	31.6	-	-	21.1
	30歳代	66	18	27	16	1	-	4
		100.0	27.3	40.9	24.2	1.5	-	6.1
	40歳代	90	35	30	20	-	-	5
		100.0	38.9	33.3	22.2	-	-	5.6
	50歳代	83	38	29	13	-	-	3
		100.0	45.8	34.9	15.7	-	-	3.6
	60歳代	133	48	43	34	2	-	6
		100.0	36.1	32.3	25.6	1.5	-	4.5
	70歳代	72	20	20	16	1	-	15
		100.0	27.8	27.8	22.2	1.4	-	20.8
	男性 10・20歳代	8	-	5	2	-	-	1
		100.0	-	62.5	25.0	-	-	12.5
30歳代		30	5	11	9	-	1	4
		100.0	16.7	36.7	30.0	-	3.3	13.3
40歳代		36	3	13	13	1	-	6
		100.0	8.3	36.1	36.1	2.8	-	16.7
50歳代		64	14	21	17	5	-	7
	100.0	21.9	32.8	26.6	7.8	-	10.9	
60歳代	116	22	43	35	5	-	11	
	100.0	19.0	37.1	30.2	4.3	-	9.5	
70歳代	97	16	33	25	1	1	21	
	100.0	16.5	34.0	25.8	1.0	1.0	21.6	
固 定 的 分 担 意 識 的 性 別 役 割	同感する	23	7	4	8	1	-	3
		100.0	30.4	17.4	34.8	4.3	-	13.0
	ある程度同感する	243	65	84	54	5	1	34
		100.0	26.7	34.6	22.2	2.1	0.4	14.0
	あまり同感しない	280	67	106	71	5	1	30
100.0		23.9	37.9	25.4	1.8	0.4	10.7	
同感しない	253	78	84	70	4	1	16	
	100.0	30.8	33.2	27.7	1.6	0.4	6.3	

(オ) 親などの世話（介護）をする

上段:実数 下段:%	全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・ 年代別	女性 10・20歳代	19	1	4	10	1	-	3
		100.0	5.3	21.1	52.6	5.3	-	15.8
	30歳代	66	8	14	28	1	-	15
		100.0	12.1	21.2	42.4	1.5	-	22.7
	40歳代	90	19	23	34	-	-	14
		100.0	21.1	25.6	37.8	-	-	15.6
	50歳代	83	27	32	17	1	1	5
		100.0	32.5	38.6	20.5	1.2	1.2	6.0
	60歳代	133	47	38	26	4	1	17
		100.0	35.3	28.6	19.5	3.0	0.8	12.8
	70歳代	72	20	18	7	-	-	27
		100.0	27.8	25.0	9.7	-	-	37.5
	男性 10・20歳代	8	-	1	6	-	-	1
		100.0	-	12.5	75.0	-	-	12.5
30歳代		30	5	4	17	-	-	4
		100.0	16.7	13.3	56.7	-	-	13.3
40歳代		36	5	3	19	2	-	7
		100.0	13.9	8.3	52.8	5.6	-	19.4
50歳代		64	9	14	29	2	1	9
	100.0	14.1	21.9	45.3	3.1	1.6	14.1	
60歳代	116	24	33	30	8	6	15	
	100.0	20.7	28.4	25.9	6.9	5.2	12.9	
70歳代	97	16	30	18	5	3	25	
	100.0	16.5	30.9	18.6	5.2	3.1	25.8	
固 定 的 分 担 意 識 的 性 別 役 割	同感する	23	7	5	6	1	1	3
		100.0	30.4	21.7	26.1	4.3	4.3	13.0
	ある程度同感する	243	55	64	65	3	3	53
		100.0	22.6	26.3	26.7	1.2	1.2	21.8
	あまり同感しない	280	58	77	84	9	4	48
100.0		20.7	27.5	30.0	3.2	1.4	17.1	
同感しない	253	60	64	83	9	3	34	
	100.0	23.7	25.3	32.8	3.6	1.2	13.4	

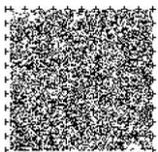


(カ) 自治会・町内会などの地域活動を行う

上段:実数 下段:%		全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答		
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	19 100.0	2 10.5	2 10.5	11 57.9	- -	2 10.5	2 10.5		
	30歳代	66 100.0	12 18.2	13 19.7	21 31.8	6 9.1	6 9.1	8 12.1		
	40歳代	90 100.0	27 30.0	27 30.0	19 21.1	24 26.7	11 12.2	3 3.3	6 6.7	
	50歳代	83 100.0	29 34.9	29 34.9	19 22.9	17 20.5	11 13.3	6 7.2	1 1.2	
	60歳代	133 100.0	25 18.8	25 18.8	26 19.5	30 22.6	33 24.8	15 11.3	4 3.0	
	70歳代	72 100.0	11 15.3	11 15.3	8 11.1	12 16.7	19 26.4	15 20.8	7 9.7	
	男性 10・20歳代	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 50.0	4 50.0	1 12.5	- -	1 12.5	
	30歳代	30 100.0	6 20.0	6 20.0	3 10.0	15 50.0	2 6.7	2 6.7	2 6.7	
	40歳代	36 100.0	7 19.4	7 19.4	6 16.7	7 19.4	7 19.4	5 13.9	4 11.1	
	50歳代	64 100.0	12 18.8	12 18.8	10 15.6	19 29.7	9 14.1	12 18.8	2 3.1	
	60歳代	116 100.0	10 8.6	10 8.6	17 14.7	21 18.1	35 30.2	29 25.0	4 3.4	
	70歳代	97 100.0	13 13.4	13 13.4	9 9.3	20 20.6	25 25.8	27 27.8	3 3.1	
	固 定 的 分 担 意 識 の 性 別 役 割	同感する	23 100.0	6 26.1	6 26.1	5 21.7	4 17.4	2 8.7	6 26.1	- -
		ある程度同感する	243 100.0	47 19.3	47 19.3	41 16.9	51 21.0	52 21.4	39 16.0	13 5.3
あまり同感しない		280 100.0	50 17.9	50 17.9	47 16.8	72 25.7	55 19.6	37 13.2	19 6.8	
同感しない		253 100.0	50 19.8	50 19.8	36 14.2	71 28.1	48 19.0	37 14.6	11 4.3	

(キ) 保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する

上段:実数 下段:%		全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	19 100.0	2 10.5	3 15.8	9 47.4	- -	- -	5 26.3	
	30歳代	66 100.0	23 34.8	28 42.4	9 13.6	1 1.5	- -	5 7.6	
	40歳代	90 100.0	45 50.0	20 22.2	19 21.1	1 1.1	- -	5 5.6	
	50歳代	83 100.0	48 57.8	20 24.1	12 14.5	- -	- -	3 3.6	
	60歳代	133 100.0	53 39.8	39 29.3	21 15.8	3 2.3	1 0.8	16 12.0	
	70歳代	72 100.0	29 40.3	13 18.1	10 13.9	1 1.4	4 5.6	15 20.8	
	男性 10・20歳代	8 100.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	- -	- -	1 12.5	
	30歳代	30 100.0	7 23.3	8 26.7	12 40.0	- -	- -	3 10.0	
	40歳代	36 100.0	11 30.6	14 38.9	6 16.7	- -	- -	5 13.9	
	50歳代	64 100.0	20 31.3	19 29.7	13 20.3	2 3.1	1 1.6	9 14.1	
	60歳代	116 100.0	21 18.1	37 31.9	26 22.4	10 8.6	3 2.6	19 16.4	
	70歳代	97 100.0	25 25.8	26 26.8	12 12.4	3 3.1	3 3.1	28 28.9	
	固 定 的 分 担 意 識 の 性 別 役 割	同感する	23 100.0	7 30.4	9 39.1	1 4.3	1 4.3	3 13.0	2 8.7
		ある程度同感する	243 100.0	82 33.7	71 29.2	48 19.8	3 1.2	1 0.4	38 15.6
あまり同感しない		280 100.0	83 29.6	85 30.4	57 20.4	6 2.1	5 1.8	44 15.7	
同感しない		253 100.0	107 42.3	61 24.1	44 17.4	11 4.3	3 1.2	27 10.7	

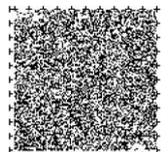


(ク) 子どもの教育方針や進学目標を決める

上段:実数 下段:%		全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	19 100.0	- -	2 10.5	12 63.2	- -	- -	5 26.3	
	30歳代	66 100.0	10 15.2	10 15.2	40 60.6	2 3.0	- -	4 6.1	
	40歳代	90 100.0	16 17.8	26 28.9	40 44.4	2 2.2	2 2.2	4 4.4	
	50歳代	83 100.0	15 18.1	21 25.3	41 49.4	2 2.4	1 1.2	3 3.6	
	60歳代	133 100.0	16 12.0	26 19.5	67 50.4	7 5.3	1 0.8	16 12.0	
	70歳代	72 100.0	6 8.3	11 15.3	35 48.6	- -	2 2.8	18 25.0	
	男性 10・20歳代	8 100.0	- -	2 25.0	5 62.5	- -	- -	1 12.5	
	30歳代	30 100.0	2 6.7	4 13.3	19 63.3	- -	- -	5 16.7	
	40歳代	36 100.0	2 5.6	8 22.2	19 52.8	- -	1 2.8	6 16.7	
	50歳代	64 100.0	6 9.4	9 14.1	35 54.7	6 9.4	- -	8 12.5	
	60歳代	116 100.0	6 5.2	17 14.7	54 46.6	21 18.1	2 1.7	16 13.8	
	70歳代	97 100.0	4 4.1	11 11.3	41 42.3	12 12.4	5 5.2	24 24.7	
	固定的性別役割 分担意識	同感する	23 100.0	2 8.7	2 8.7	12 52.2	2 8.7	2 8.7	3 13.0
		ある程度同感する	243 100.0	20 8.2	40 16.5	128 52.7	14 5.8	2 0.8	39 16.0
あまり同感しない		280 100.0	26 9.3	48 17.1	138 49.3	22 7.9	4 1.4	42 15.0	
同感しない		253 100.0	32 12.6	56 22.1	126 49.8	12 4.7	6 2.4	21 8.3	

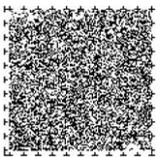
(ケ) 高額の商品や土地・家屋の購入を決める

上段:実数 下段:%		全 体	主に妻が行って いる	主に妻が行い、 夫が一部を分 担している	夫と妻が同じ程 度に分担してい る	主に夫が行い、 妻が一部を分 担している	主に夫が行って いる	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	19 100.0	1 5.3	- -	11 57.9	2 10.5	4 21.1	1 5.3	
	30歳代	66 100.0	2 3.0	6 9.1	33 50.0	14 21.2	11 16.7	- -	
	40歳代	90 100.0	1 1.1	10 11.1	42 46.7	21 23.3	12 13.3	4 4.4	
	50歳代	83 100.0	1 1.2	1 1.2	44 53.0	18 21.7	19 22.9	- -	
	60歳代	133 100.0	6 4.5	8 6.0	59 44.4	24 18.0	34 25.6	2 1.5	
	70歳代	72 100.0	1 1.4	2 2.8	30 41.7	9 12.5	23 31.9	7 9.7	
	男性 10・20歳代	8 100.0	- -	1 12.5	6 75.0	- -	- -	1 12.5	
	30歳代	30 100.0	- -	2 6.7	16 53.3	8 26.7	3 10.0	1 3.3	
	40歳代	36 100.0	- -	2 5.6	15 41.7	10 27.8	7 19.4	2 5.6	
	50歳代	64 100.0	2 3.1	4 6.3	19 29.7	23 35.9	13 20.3	3 4.7	
	60歳代	116 100.0	4 3.4	5 4.3	51 44.0	24 20.7	28 24.1	4 3.4	
	70歳代	97 100.0	2 2.1	4 4.1	33 34.0	28 28.9	23 23.7	7 7.2	
	固定的性別役割 分担意識	同感する	23 100.0	- -	3 13.0	6 26.1	4 17.4	9 39.1	1 4.3
		ある程度同感する	243 100.0	5 2.1	11 4.5	90 37.0	56 23.0	64 26.3	17 7.0
あまり同感しない		280 100.0	6 2.1	14 5.0	126 45.0	72 25.7	55 19.6	7 2.5	
同感しない		253 100.0	9 3.6	16 6.3	130 51.4	45 17.8	48 19.0	5 2.0	



問6. また、あなたが、問6の(ア)から(ケ)までの家庭内の仕事について、配偶者・パートナーの方にもっとしてほしいことはどれですか。主なものを2つまで選び下の枠の中にカタカナを記入してください。

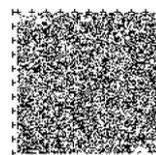
上段:実数 下段:%	全 体	生活費を得る	炊事、掃除、洗濯などの家事をする	日々の家計を管理する	育児、子どものしつけをする	親などの世話(介護)をする	自治会・町内会などの地域活動を行う	保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する	子どもの教育方針や進学目標を決める	高額の商品や土地・家屋の購入を決める	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	19	3	9	3	9	1	3	2	1	-	1
		100.0	15.8	47.4	15.8	47.4	5.3	15.8	10.5	5.3	-	5.3
	30歳代	66	3	41	3	23	5	9	22	3	1	6
		100.0	4.5	62.1	4.5	34.8	7.6	13.6	33.3	4.5	1.5	9.1
	40歳代	90	11	46	3	26	9	16	14	8	1	14
		100.0	12.2	51.1	3.3	28.9	10.0	17.8	15.6	8.9	1.1	15.6
	50歳代	83	5	49	2	4	27	21	5	3	2	18
		100.0	6.0	59.0	2.4	4.8	32.5	25.3	6.0	3.6	2.4	21.7
	60歳代	133	9	72	7	12	32	32	17	7	2	26
		100.0	6.8	54.1	5.3	9.0	24.1	24.1	12.8	5.3	1.5	19.5
	70歳代	72	3	29	6	8	14	17	4	5	-	24
		100.0	4.2	40.3	8.3	11.1	19.4	23.6	5.6	6.9	-	33.3
	男性 10・20歳代	8	3	1	1	-	-	1	1	-	1	2
		100.0	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	-	12.5	25.0
30歳代		30	6	3	6	2	1	-	-	2	5	15
		100.0	20.0	10.0	20.0	6.7	3.3	-	-	6.7	16.7	50.0
40歳代		36	9	8	3	4	5	6	1	2	-	13
		100.0	25.0	22.2	8.3	11.1	13.9	16.7	2.8	5.6	-	36.1
50歳代	64	11	15	10	4	4	14	4	1	3	27	
	100.0	17.2	23.4	15.6	6.3	6.3	21.9	6.3	1.6	4.7	42.2	
60歳代	116	18	18	16	5	19	29	6	10	4	48	
	100.0	15.5	15.5	13.8	4.3	16.4	25.0	5.2	8.6	3.4	41.4	
70歳代	97	10	22	7	6	14	24	4	7	3	42	
	100.0	10.3	22.7	7.2	6.2	14.4	24.7	4.1	7.2	3.1	43.3	
固定的性別役割	同感する	23	3	7	4	3	2	2	1	1	-	11
		100.0	13.0	30.4	17.4	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3	-	47.8
	ある程度同感する	243	26	84	16	27	45	54	23	16	6	74
		100.0	10.7	34.6	6.6	11.1	18.5	22.2	9.5	6.6	2.5	30.5
	あまり同感しない	280	32	111	32	40	39	61	26	18	11	72
100.0		11.4	39.6	11.4	14.3	13.9	21.8	9.3	6.4	3.9	25.7	
同感しない	253	27	109	14	31	48	52	29	14	5	70	
	100.0	10.7	43.1	5.5	12.3	19.0	20.6	11.5	5.5	2.0	27.7	



問7. あなたは、次にあげるような活動を平日に1日平均して何時間くらいしていますか（日曜・休日などは含めない）。（ア）から（カ）のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

（ア）炊事、掃除、洗濯などの時間

上段:実数 下段:%		全 体	していない	30分未満	30分～1 時間未満	1～2時間 未満	2～4時間 未満	4～6時間 未満	6～8時間 未満	8時間以上	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	6	9	9	12	9	-	-	-	9
		100.0	11.1	16.7	16.7	22.2	16.7	-	-	-	16.7
	30歳代	83	-	4	8	13	31	12	5	4	6
		100.0	-	4.8	9.6	15.7	37.3	14.5	6.0	4.8	7.2
	40歳代	114	2	7	7	16	45	19	8	5	5
		100.0	1.8	6.1	6.1	14.0	39.5	16.7	7.0	4.4	4.4
	50歳代	111	1	2	9	25	42	22	3	2	5
		100.0	0.9	1.8	8.1	22.5	37.8	19.8	2.7	1.8	4.5
	60歳代	160	2	5	12	37	51	28	11	2	12
		100.0	1.3	3.1	7.5	23.1	31.9	17.5	6.9	1.3	7.5
	70歳代	107	1	2	12	23	40	13	6	2	8
		100.0	0.9	1.9	11.2	21.5	37.4	12.1	5.6	1.9	7.5
	男性 10・20歳代	35	7	8	4	5	2	-	-	-	9
		100.0	20.0	22.9	11.4	14.3	5.7	-	-	-	25.7
30歳代	47	10	13	12	4	2	-	-	1	5	
	100.0	21.3	27.7	25.5	8.5	4.3	-	-	2.1	10.6	
40歳代	58	10	21	11	7	4	1	-	-	4	
	100.0	17.2	36.2	19.0	12.1	6.9	1.7	-	-	6.9	
50歳代	77	26	26	13	8	1	-	-	-	3	
	100.0	33.8	33.8	16.9	10.4	1.3	-	-	-	3.9	
60歳代	130	32	33	27	20	7	2	-	-	9	
	100.0	24.6	25.4	20.8	15.4	5.4	1.5	-	-	6.9	
70歳代	109	27	26	24	14	9	1	1	-	7	
	100.0	24.8	23.9	22.0	12.8	8.3	0.9	0.9	-	6.4	
固定的性別役割 分担意識	同感する	35	9	6	5	5	4	2	1	1	2
		100.0	25.7	17.1	14.3	14.3	11.4	5.7	2.9	2.9	5.7
	ある程度同感する	313	40	54	40	39	70	28	14	4	24
		100.0	12.8	17.3	12.8	12.5	22.4	8.9	4.5	1.3	7.7
	あまり同感しない	377	42	51	53	76	82	23	10	7	33
100.0		11.1	13.5	14.1	20.2	21.8	6.1	2.7	1.9	8.8	
同感しない	360	35	43	50	69	84	41	7	4	27	
	100.0	9.7	11.9	13.9	19.2	23.3	11.4	1.9	1.1	7.5	

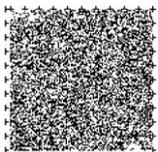


(イ) 育児などの時間

上段:実数 下段:%		全体	していない	30分未満	30分~1時間未満	1~2時間未満	2~4時間未満	4~6時間未満	6~8時間未満	8時間以上	対象者がいない	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	16 29.6	-	1	1	1	3	-	4	18	10	
	30歳代	83 100.0	2 2.4	1	5	9	7	12	9	19	11	8	
	40歳代	114 100.0	14 12.3	9	10	14	16	16	7	7	13	8	
	50歳代	111 100.0	22 19.8	4	1	5	4	2	-	-	58	15	
	60歳代	160 100.0	38 23.8	2	1	3	6	3	1	1	68	37	
	70歳代	107 100.0	21 19.6	-	-	2	3	4	-	-	32	45	
	男性 10・20歳代	35 100.0	5 14.3	-	2	2	3	1	-	-	10	12	
	30歳代	47 100.0	8 17.0	4	3	11	3	2	-	-	9	7	
	40歳代	58 100.0	10 17.2	7	8	12	1	1	-	-	13	6	
	50歳代	77 100.0	20 26.0	13	6	4	1	-	-	-	23	10	
	60歳代	130 100.0	31 23.8	12	7	5	1	-	1	-	49	24	
	70歳代	109 100.0	27 24.8	3	5	2	1	-	-	-	37	34	
	固定的性別役割 分担意識	同感する	35 100.0	7 20.0	4	1	5	-	1	-	1	9	7
		ある程度同感する	313 100.0	64 20.4	15	10	19	14	11	4	11	96	69
あまり同感しない		377 100.0	68 18.0	20	19	20	18	16	8	11	119	78	
同感しない		360 100.0	80 22.2	13	18	24	17	16	6	9	114	63	
				3.6	5.0	6.7	4.7	4.4	1.7	2.5	31.7	17.5	

(ウ) 介護などの時間

上段:実数 下段:%		全体	していない	30分未満	30分~1時間未満	1~2時間未満	2~4時間未満	4~6時間未満	6~8時間未満	8時間以上	対象者がいない	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	17 31.5	3	2	-	-	-	-	-	21	11	
	30歳代	83 100.0	33 39.8	2	1	2	-	1	-	-	36	8	
	40歳代	114 100.0	56 49.1	1	2	4	4	-	-	1	35	11	
	50歳代	111 100.0	26 23.4	4	6	13	4	3	1	-	42	12	
	60歳代	160 100.0	37 23.1	7	9	6	11	2	1	3	57	27	
	70歳代	107 100.0	19 17.8	2	2	1	6	2	-	-	31	44	
	男性 10・20歳代	35 100.0	11 31.4	1	-	-	-	-	-	-	11	12	
	30歳代	47 100.0	19 40.4	-	1	-	-	-	-	1	19	7	
	40歳代	58 100.0	23 39.7	2	4	-	-	-	-	1	22	6	
	50歳代	77 100.0	25 32.5	15	3	1	-	1	-	1	23	8	
	60歳代	130 100.0	36 27.7	7	15	5	2	1	-	2	44	18	
	70歳代	109 100.0	29 26.6	4	9	4	-	-	-	1	32	30	
	固定的性別役割 分担意識	同感する	35 100.0	13 37.1	2	4	-	-	-	1	-	10	5
		ある程度同感する	313 100.0	85 27.2	13	19	12	11	3	1	-	104	65
あまり同感しない		377 100.0	106 28.1	20	16	12	7	4	1	4	136	71	
同感しない		360 100.0	127 35.3	14	15	12	10	3	1	3	119	56	
				3.9	4.2	3.3	2.8	0.8	0.3	0.8	33.1	15.6	

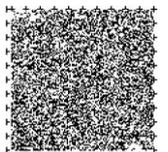


(エ) 収入を得る仕事の時間(通勤時間を含む)

上段:実数 下段:%		全 体	していない	30分未満	30分~1 時間未満	1~2時間 未満	2~4時間 未満	4~6時間 未満	6~8時間 未満	8時間以上	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	11	-	-	1	1	3	5	23	10
		100.0	20.4	-	-	1.9	1.9	5.6	9.3	42.6	18.5
	30歳代	83	23	-	-	-	2	11	11	29	7
		100.0	27.7	-	-	-	2.4	13.3	13.3	34.9	8.4
	40歳代	114	14	1	-	1	11	18	22	40	7
		100.0	12.3	0.9	-	0.9	9.6	15.8	19.3	35.1	6.1
	50歳代	111	14	1	-	2	7	17	20	43	7
		100.0	12.6	0.9	-	1.8	6.3	15.3	18.0	38.7	6.3
	60歳代	160	42	-	1	2	7	28	38	19	23
		100.0	26.3	-	0.6	1.3	4.4	17.5	23.8	11.9	14.4
	70歳代	107	38	-	-	1	7	11	7	3	40
		100.0	35.5	-	-	0.9	6.5	10.3	6.5	2.8	37.4
	男性 10・20歳代	35	2	-	-	1	2	2	4	14	10
		100.0	5.7	-	-	2.9	5.7	5.7	11.4	40.0	28.6
30歳代		47	2	1	1	-	-	-	1	36	6
		100.0	4.3	2.1	2.1	-	-	-	2.1	76.6	12.8
40歳代		58	3	-	-	-	2	2	5	42	4
		100.0	5.2	-	-	-	3.4	3.4	8.6	72.4	6.9
50歳代	77	3	2	1	-	-	-	7	61	3	
	100.0	3.9	2.6	1.3	-	-	-	9.1	79.2	3.9	
60歳代	130	17	2	1	-	7	14	26	53	10	
	100.0	13.1	1.5	0.8	-	5.4	10.8	20.0	40.8	7.7	
70歳代	109	35	1	2	3	6	8	12	19	23	
	100.0	32.1	0.9	1.8	2.8	5.5	7.3	11.0	17.4	21.1	
固定的性別役割 分担意識	同感する	35	8	-	-	-	-	7	2	14	4
	100.0	22.9	-	-	-	-	-	20.0	5.7	40.0	11.4
	ある程度同感する	313	68	3	3	3	19	37	35	100	45
	100.0	21.7	1.0	1.0	1.0	6.1	11.8	11.2	31.9	14.4	
	あまり同感しない	377	68	3	-	4	13	36	61	136	56
100.0	18.0	0.8	-	1.1	3.4	9.5	16.2	36.1	14.9		
同感しない	360	59	1	3	5	20	35	60	134	43	
100.0	16.4	0.3	0.8	1.4	5.6	9.7	16.7	37.2	11.9		

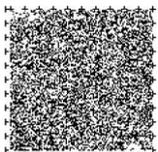
(オ) 睡眠時間

上段:実数 下段:%		全 体	していない	30分未満	30分~1 時間未満	1~2時間 未満	2~4時間 未満	4~6時間 未満	6~8時間 未満	8時間以上	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54	-	-	-	-	-	14	29	2	9	
		100.0	-	-	-	-	-	25.9	53.7	3.7	16.7	
	30歳代	83	-	-	-	-	5	28	38	5	7	
		100.0	-	-	-	-	6.0	33.7	45.8	6.0	8.4	
	40歳代	114	-	-	-	-	10	46	47	5	6	
		100.0	-	-	-	-	8.8	40.4	41.2	4.4	5.3	
	50歳代	111	-	-	-	-	6	64	35	1	5	
		100.0	-	-	-	-	5.4	57.7	31.5	0.9	4.5	
	60歳代	160	-	-	-	-	4	62	81	7	6	
		100.0	-	-	-	-	2.5	38.8	50.6	4.4	3.8	
	70歳代	107	-	-	-	-	1	33	56	6	11	
		100.0	-	-	-	-	0.9	30.8	52.3	5.6	10.3	
	男性 10・20歳代	35	-	-	-	-	-	-	8	17	1	9
		100.0	-	-	-	-	-	-	22.9	48.6	2.9	25.7
30歳代		47	-	-	-	-	4	17	20	2	4	
		100.0	-	-	-	-	8.5	36.2	42.6	4.3	8.5	
40歳代		58	-	-	-	-	2	24	23	5	4	
		100.0	-	-	-	-	3.4	41.4	39.7	8.6	6.9	
50歳代	77	-	-	-	-	2	33	36	4	2		
	100.0	-	-	-	-	2.6	42.9	46.8	5.2	2.6		
60歳代	130	-	-	-	-	2	39	72	12	5		
	100.0	-	-	-	-	1.5	30.0	55.4	9.2	3.8		
70歳代	109	1	-	-	-	2	21	66	12	7		
	100.0	0.9	-	-	-	1.8	19.3	60.6	11.0	6.4		
固定的性別役割 分担意識	同感する	35	-	-	-	-	4	7	19	1	4	
	100.0	-	-	-	-	-	11.4	20.0	54.3	2.9	11.4	
	ある程度同感する	313	1	-	-	-	10	106	158	15	23	
	100.0	0.3	-	-	-	-	3.2	33.9	50.5	4.8	7.3	
	あまり同感しない	377	-	-	-	-	10	148	172	20	27	
100.0	-	-	-	-	-	2.7	39.3	45.6	5.3	7.2		
同感しない	360	-	-	-	-	14	123	172	25	26		
100.0	-	-	-	-	-	3.9	34.2	47.8	6.9	7.2		



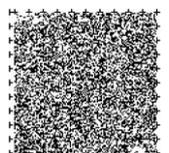
(カ) 自分が自由に使える時間（余暇・ボランティアなど）

上段:実数 下段:%		全 体	していない	30分未満	30分~1 時間未満	1~2時間 未満	2~4時間 未満	4~6時間 未満	6~8時間 未満	8時間以 上	無回答
性・ 年代別	女性 10・20歳代	54	1	1	6	11	14	7	3	1	10
		100.0	1.9	1.9	11.1	20.4	25.9	13.0	5.6	1.9	18.5
	30歳代	83	7	12	13	25	11	4	1	4	6
		100.0	8.4	14.5	15.7	30.1	13.3	4.8	1.2	4.8	7.2
	40歳代	114	10	10	19	32	26	7	1	3	6
		100.0	8.8	8.8	16.7	28.1	22.8	6.1	0.9	2.6	5.3
	50歳代	111	3	10	13	22	36	13	4	3	7
		100.0	2.7	9.0	11.7	19.8	32.4	11.7	3.6	2.7	6.3
	60歳代	160	11	6	17	22	55	24	9	8	8
		100.0	6.9	3.8	10.6	13.8	34.4	15.0	5.6	5.0	5.0
	70歳代	107	5	-	2	18	27	18	10	8	19
		100.0	4.7	-	1.9	16.8	25.2	16.8	9.3	7.5	17.8
	男性 10・20歳代	35	1	1	1	9	5	2	3	3	10
		100.0	2.9	2.9	2.9	25.7	14.3	5.7	8.6	8.6	28.6
30歳代	47	3	3	11	15	6	3	2	-	4	
	100.0	6.4	6.4	23.4	31.9	12.8	6.4	4.3	-	8.5	
40歳代	58	4	6	9	21	7	4	-	3	4	
	100.0	6.9	10.3	15.5	36.2	12.1	6.9	-	5.2	6.9	
50歳代	77	2	4	13	27	21	5	3	-	2	
	100.0	2.6	5.2	16.9	35.1	27.3	6.5	3.9	-	2.6	
60歳代	130	5	3	8	28	37	19	7	18	5	
	100.0	3.8	2.3	6.2	21.5	28.5	14.6	5.4	13.8	3.8	
70歳代	109	6	2	5	15	25	9	6	29	12	
	100.0	5.5	1.8	4.6	13.8	22.9	8.3	5.5	26.6	11.0	
固 定 的 性 別 役 割	同感する	35	2	-	5	8	8	3	-	4	5
		100.0	5.7	-	14.3	22.9	22.9	8.6	-	11.4	14.3
	ある程度同感する	313	15	16	27	77	79	34	14	26	25
		100.0	4.8	5.1	8.6	24.6	25.2	10.9	4.5	8.3	8.0
あまり同感しない	377	16	14	51	84	91	37	22	23	39	
	100.0	4.2	3.7	13.5	22.3	24.1	9.8	5.8	6.1	10.3	
同感しない	360	23	30	35	75	93	37	13	26	28	
	100.0	6.4	8.3	9.7	20.8	25.8	10.3	3.6	7.2	7.8	



問8. 育児や家族の介護を行うために、法律に基づき育児休業・介護休業・子の看護休暇を取得できる制度があります。あなたは、男性がこの制度を活用することについて、どう思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	積極的に活用 すべきである	なるべく活用す べきである	活用しなくても よい	わからない	無回答
性・ 年代別	女性 10・20歳代	54	30	14	-	2	8
		100.0	55.6	25.9	-	3.7	14.8
	30歳代	83	46	24	5	2	6
		100.0	55.4	28.9	6.0	2.4	7.2
	40歳代	114	53	40	8	7	6
		100.0	46.5	35.1	7.0	6.1	5.3
	50歳代	111	54	43	4	5	5
		100.0	48.6	38.7	3.6	4.5	4.5
	60歳代	160	69	68	2	17	4
		100.0	43.1	42.5	1.3	10.6	2.5
	70歳代	107	31	58	4	8	6
		100.0	29.0	54.2	3.7	7.5	5.6
	男性 10・20歳代	35	17	10	-	1	7
		100.0	48.6	28.6	-	2.9	20.0
30歳代		47	21	20	-	2	4
		100.0	44.7	42.6	-	4.3	8.5
40歳代		58	26	22	4	3	3
		100.0	44.8	37.9	6.9	5.2	5.2
50歳代		77	29	28	6	12	2
	100.0	37.7	36.4	7.8	15.6	2.6	
60歳代	130	46	55	11	16	2	
	100.0	35.4	42.3	8.5	12.3	1.5	
70歳代	109	38	48	6	12	5	
	100.0	34.9	44.0	5.5	11.0	4.6	
固 定 的 性 別 役 割 担 意 識	同感する	35	14	10	6	3	2
		100.0	40.0	28.6	17.1	8.6	5.7
	ある程度同感する	313	104	137	25	31	16
		100.0	33.2	43.8	8.0	9.9	5.1
	あまり同感しない	377	149	165	9	28	26
100.0		39.5	43.8	2.4	7.4	6.9	
同感しない	360	189	116	13	23	19	
	100.0	52.5	32.2	3.6	6.4	5.3	

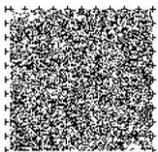


問9. 女性の育児休業取得率は83.2%であるのに対し、男性の育児休業取得率は5.14%（厚生労働省：平成29年度雇用均等基本調査）となっています。あなたは男性の9割以上が育児休業等を取得しない（できない）理由は何だと思えますか。あなたの考えに近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

性・年代別	上段:実数 下段:%	全体	周囲に取った男性がいな いから	職場に取りやすい雰囲気 がないから	仕事が忙しいから	取ると仕事上周囲の人に 迷惑がかかるから	取ると人事評価や昇給に 悪い影響があるから	経済的に困るから	育児・介護は女性の方が 必要はないから	その他	わからない	無回答	
女性	10・20歳代	54 100.0	10 18.5	30 55.6	3 5.6	14 25.9	12 22.2	9 16.7	1 1.9	2 3.7	1 1.9	11 20.4	
	30歳代	83 100.0	16 19.3	49 59.0	14 16.9	27 32.5	17 20.5	18 21.7	4 4.8	1 1.2	-	9 10.8	
	40歳代	114 100.0	17 14.9	65 57.0	21 18.4	47 41.2	21 18.4	28 24.6	4 3.5	4 3.5	-	6 5.3	
	50歳代	111 100.0	21 18.9	58 52.3	16 14.4	45 40.5	20 18.0	27 24.3	-	8 7.2	1 0.9	10 9.0	
	60歳代	160 100.0	23 14.4	98 61.3	22 13.8	76 47.5	33 20.6	31 19.4	3 1.9	6 3.8	4 2.5	6 3.8	
	70歳代	107 100.0	13 12.1	54 50.5	21 19.6	43 40.2	12 11.2	19 17.8	5 4.7	1 0.9	6 5.6	8 7.5	
	男性	10・20歳代	35 100.0	6 17.1	18 51.4	3 8.6	12 34.3	5 14.3	3 8.6	-	-	2 5.7	8 22.9
		30歳代	47 100.0	10 21.3	21 44.7	8 17.0	17 36.2	10 21.3	15 31.9	-	4 8.5	-	4 8.5
		40歳代	58 100.0	11 19.0	24 41.4	12 20.7	26 44.8	6 10.3	13 22.4	2 3.4	3 5.2	1 1.7	5 8.6
		50歳代	77 100.0	14 18.2	34 44.2	17 22.1	36 46.8	8 10.4	27 35.1	2 2.6	1 1.3	-	5 6.5
		60歳代	130 100.0	19 14.6	65 50.0	26 20.0	58 44.6	21 16.2	27 20.8	6 4.6	6 4.6	6 4.6	3 2.3
		70歳代	109 100.0	15 13.8	51 46.8	25 22.9	45 41.3	15 13.8	14 12.8	3 2.8	3 2.8	10 9.2	9 8.3

問10. 男女がともに働き、介護と仕事を両立させていく環境を作るためにどのようなことが必要であると思えますか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

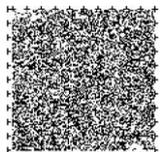
性・年代別	上段:実数 下段:%	全体	男女共に介護 に参加できる ような職場の 意識の形成	介護休業期間 中の経済的支 援の充実	長時間労働の 見直し	介護保険制度 の周知	その他	特にな	無回答	
女性	10・20歳代	54 100.0	28 51.9	30 55.6	16 29.6	6 11.1	2 3.7	1 1.9	9 16.7	
	30歳代	83 100.0	50 60.2	53 63.9	23 27.7	13 15.7	3 3.6	-	6 7.2	
	40歳代	114 100.0	75 65.8	70 61.4	28 24.6	18 15.8	4 3.5	1 0.9	7 6.1	
	50歳代	111 100.0	69 62.2	84 75.7	17 15.3	21 18.9	4 3.6	2 1.8	5 4.5	
	60歳代	160 100.0	117 73.1	96 60.0	33 20.6	37 23.1	2 1.3	4 2.5	5 3.1	
	70歳代	107 100.0	62 57.9	58 54.2	22 20.6	28 26.2	-	3 2.8	12 11.2	
	男性	10・20歳代	35 100.0	16 45.7	12 34.3	14 40.0	5 14.3	-	1 2.9	8 22.9
		30歳代	47 100.0	27 57.4	27 57.4	15 31.9	6 12.8	3 6.4	-	3 6.4
		40歳代	58 100.0	29 50.0	35 60.3	21 36.2	15 25.9	2 3.4	-	4 6.9
		50歳代	77 100.0	50 64.9	54 70.1	19 24.7	12 15.6	3 3.9	-	3 3.9
		60歳代	130 100.0	74 56.9	76 58.5	28 21.5	36 27.7	9 6.9	5 3.8	4 3.1
		70歳代	109 100.0	64 58.7	71 65.1	20 18.3	25 22.9	2 1.8	3 2.8	5 4.6



第4章 仕事について

問 11. 現在、職種や勤務形態に関わらず、職業に就いている人にお尋ねします。
 次にあげることがらの中で、現在のあなたの職場の女性にあてはまること
 がありますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

性・年代別	上段:実数 下段:%	全 体	採用人数等 より採用され づらくなっ ている	女性 の昇進・昇 格が遅い、 または望 めない	同期に同 年齢で入社 した男性と の賃金・給料 の差がある	女性の仕 事を補助的 業務に限っ ている	女性のみ、 もしくは男 性のみしか 配置しない 部署がある	女性には つけないポ スト・職種 がある	女性には つけないポ スト・職種 がない	女性に は、同じポ ストの男性 より、社内 研修・教育 訓練を受け る機会が少 ない	女性に は、同じポ ストの男性 より、出張 ・視察等の 機会が少な い	定年の年 齢に男女差 がある(慣行 を含む)	結婚や出 産時に退職 する慣行や 退職を迫る ような圧力 がある	性別によ り家族手当 、住居手当 などにつか ない、資金 貸付や住宅 に入居でき ないなどの 不利益があ る	その他	特にな い	無回 答
			女性 10・20歳代	36 100.0	-	5	3	1	7	2	1	2	-	4	1	-	20
30歳代	65 100.0	2	12	7	7	6	7	4	6	-	9	8	2	27	3		
40歳代	98 100.0	3.1	18.5	10.8	10.8	9.2	10.8	6.2	9.2	-	13.8	12.3	3.1	41.5	4.6		
50歳代	91 100.0	5	18	3	7	10	10	2	5	1	6	10	1	52	6		
60歳代	90 100.0	2	18	10	4	7	7	3	9	1	5	7	5	44	9		
70歳代	21 100.0	2	5	1	1	2	1	1	-	2	1	-	2	8	6		
男性 10・20歳代	23 100.0	3	3	2	1	5	5	-	1	-	-	-	-	13	-		
30歳代	43 100.0	9	7	3	6	6	4	1	2	1	4	1	7	15	2		
40歳代	55 100.0	20.9	16.3	7.0	14.0	14.0	9.3	2.3	4.7	2.3	9.3	2.3	16.3	34.9	4.7		
50歳代	67 100.0	10	9	10	6	8	15	6	8	-	4	2	4	30	4		
60歳代	92 100.0	10.9	23.9	16.3	15.2	12.0	21.7	8.7	10.9	3.3	4.3	5.4	4.3	31.5	10.9		
70歳代	38 100.0	5	7	6	7	3	9	3	5	3	2	3	2	7	9		

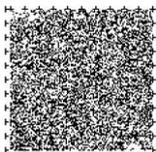


問 12. 現在、職業に就いていない人（家事に専念している主婦・主夫または無職等）にお尋ねします。
 あなたは今後、職業に就きたいと思いませんか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	すぐにも職業 につきたい	そのうち職業に つくつもり	職業につくつも りはない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	17 100.0	3 17.6	9 52.9	-	5 29.4	
	30歳代	17 100.0	2 11.8	15 88.2	-	-	
	40歳代	16 100.0	2 12.5	11 68.8	3 18.8	-	
	50歳代	18 100.0	1 5.6	7 38.9	9 50.0	1 5.6	
	60歳代	66 100.0	2 3.0	7 10.6	49 74.2	8 12.1	
	70歳代	82 100.0	5 6.1	2 2.4	59 72.0	16 19.5	
	男性 10・20歳代	12 100.0	3 25.0	-	-	-	9 75.0
	30歳代	3 100.0	-	2 66.7	-	-	1 33.3
	40歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	50歳代	8 100.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0	-	-
	60歳代	31 100.0	1 3.2	6 19.4	20 64.5	4 12.9	-
	70歳代	64 100.0	6 9.4	3 4.7	47 73.4	8 12.5	-

付問 1. 【問 12 で 1 または 2 と 答 えた 方 に】
 現在、職業についていない理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

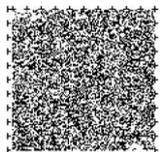
上段:実数 下段:%		全 体	な い 勤 務 条 件 が あ ら ず の 理 由 が あ る の か ら	勤 務 時 間 が あ ら ず の 理 由 が あ る の か ら	仕 事 内 容 が あ ら ず の 理 由 が あ る の か ら	家 事 ・ 育 児 ・ 担 い の 役 を あ ら ず の 理 由 が あ る の か ら	目 を 自 分 が 担 い な い の 理 由 が あ る の か ら	な い 勤 務 場 所 が あ ら ず の 理 由 が あ る の か ら	働 き たい が 働 く 場 所 が あ ら ず の 理 由 が あ る の か ら	が 健 康 や 体 力 の 面 で 不 安 が あ る の か ら	な い 家 族 が 働 く こ と を 望 ま ない の 理 由 が あ る の か ら	護 今 は 、 家 事 ・ 育 児 ・ 介 護 に 専 念 し た い の 理 由 が あ る の か ら	そ の 他	無 回 答
性・年 代別	女性 10・20歳代	12 100.0	-	-	1 8.3	-	-	-	1 8.3	-	-	3 25.0	7 58.3	-
	30歳代	17 100.0	-	-	6 35.3	-	-	-	2 11.8	-	-	8 47.1	1 5.9	-
	40歳代	13 100.0	1 7.7	1 7.7	6 46.2	-	-	-	4 30.8	-	-	2 15.4	-	-
	50歳代	8 100.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	-	-	-	2 25.0	1 12.5	-	-	-	1 12.5
	60歳代	9 100.0	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 33.3	-	3 33.3	-	-	1 11.1	1 11.1
	70歳代	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	2 28.6	-	2 28.6	-	-	-	-
	男性 10・20歳代	3 100.0	2 66.7	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3
	30歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-
	40歳代	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0
	50歳代	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	-	-	-	3 50.0	-	-	-	-	-
	60歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	3 42.9	3 42.9	-	3 42.9	-	-	-	2 28.6
	70歳代	9 100.0	-	-	-	-	3 33.3	6 66.7	-	6 66.7	-	-	-	-



問 13. 女性が職業をもち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。
 あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

性・年代別	上段:実数 下段:%	全 体	賃金の男女格差を改める	昇進・昇格の男女格差を改める	向上を図る	職能訓練や研修を行ったり、挑戦の機会を設けた	用し、積極的に管理職に評価	ないこととで不利な扱いをしない	残業や休日出勤ができない	習を改める	結婚したり出産したりすると動めにくいような慣	育児休業や短時間勤務などの仕事を充実する	るな働き方の見直しを進める	労働時間の短縮や在宅勤務などの普及など、多様な	仕事と家庭が両立できる		
																54	10
女性	10・20歳代	54	10	8	3	7	12	18	23	17	17	17	17	17	17	17	
		100.0	18.5	14.8	5.6	13.0	22.2	33.3	42.6	31.5	31.5	31.5	31.5	31.5	31.5	31.5	
	30歳代	83	12	13	4	9	27	24	44	14	30	30	30	30	30	30	
		100.0	14.5	15.7	4.8	10.8	32.5	28.9	53.0	16.9	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1	
	40歳代	114	18	15	11	17	29	31	44	31	40	40	40	40	40	40	
		100.0	15.8	13.2	9.6	14.9	25.4	27.2	38.6	27.2	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	
	50歳代	111	9	7	13	18	26	37	41	25	37	37	37	37	37	37	
		100.0	8.1	6.3	11.7	16.2	23.4	33.3	36.9	22.5	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	
	60歳代	160	19	16	21	38	45	41	60	28	52	52	52	52	52	52	
		100.0	11.9	10.0	13.1	23.8	28.1	25.6	37.5	17.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	
	70歳代	107	19	5	14	17	27	23	26	17	31	31	31	31	31	31	
		100.0	17.8	4.7	13.1	15.9	25.2	21.5	24.3	15.9	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	
	男性	10・20歳代	35	5	8	1	8	5	9	8	6	8	8	8	8	8	8
			100.0	14.3	22.9	2.9	22.9	14.3	25.7	22.9	17.1	22.9	22.9	22.9	22.9	22.9	22.9
30歳代		47	9	3	6	13	12	12	19	8	12	12	12	12	12	12	
		100.0	19.1	6.4	12.8	27.7	25.5	25.5	40.4	17.0	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	
40歳代		58	13	7	6	15	9	21	17	10	18	18	18	18	18	18	
		100.0	22.4	12.1	10.3	25.9	15.5	36.2	29.3	17.2	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	
50歳代		77	8	1	7	15	13	23	33	22	33	33	33	33	33	33	
		100.0	10.4	1.3	9.1	19.5	16.9	29.9	42.9	28.6	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	
60歳代		130	26	14	16	37	12	33	49	20	41	41	41	41	41	41	
		100.0	20.0	10.8	12.3	28.5	9.2	25.4	37.7	15.4	31.5	31.5	31.5	31.5	31.5	31.5	
70歳代	109	25	14	19	24	20	30	41	28	32	32	32	32	32	32		
	100.0	22.9	12.8	17.4	22.0	18.3	27.5	37.6	25.7	29.4	29.4	29.4	29.4	29.4	29.4		

性・年代別	上段:実数 下段:%	改める女性 が働くこと の認識を 向上させる	男性の家事・育児 の参加を促すための 啓発をする	結婚・出産・介護などの 女性の再雇用制などの 普及、促進する	結婚・出産・介護などの 女性の再雇用制などの 普及、促進する	求人・職業情報を積極的に 提供する	職業生活の充実を促す ための相談窓口を充実 させる	特に無い	その他	無回答	
											3
女性	10・20歳代	3	15	9	2	-	-	-	1	3	
		5.6	27.8	16.7	3.7	-	-	-	1.9	5.6	
	30歳代	5	14	18	1	-	-	-	3	5	
		6.0	16.9	21.7	1.2	-	-	-	3.6	6.0	
	40歳代	10	21	28	5	3	1	2	3	3	
		8.8	18.4	24.6	4.4	2.6	0.9	1.8	2.6	2.6	
	50歳代	4	20	35	2	2	2	3	10	10	
		3.6	18.0	31.5	1.8	1.8	1.8	2.7	9.0	9.0	
	60歳代	16	25	51	11	4	3	-	11	11	
		10.0	15.6	31.9	6.9	2.5	1.9	-	6.9	6.9	
	70歳代	9	12	44	6	2	4	1	11	11	
		8.4	11.2	41.1	5.6	1.9	3.7	0.9	10.3	10.3	
	男性	10・20歳代	2	3	7	-	-	4	-	6	6
			5.7	8.6	20.0	-	-	11.4	-	17.1	17.1
30歳代		4	3	10	2	1	-	3	5	5	
		8.5	6.4	21.3	4.3	2.1	-	6.4	10.6	10.6	
40歳代		1	11	13	1	4	1	-	7	7	
		1.7	19.0	22.4	1.7	6.9	1.7	-	12.1	12.1	
50歳代		4	5	23	3	2	2	4	4	4	
		5.2	6.5	29.9	3.9	2.6	2.6	5.2	5.2	5.2	
60歳代		6	10	48	4	3	5	4	12	12	
		4.6	7.7	36.9	3.1	2.3	3.8	3.1	9.2	9.2	
70歳代	2	8	32	1	4	3	1	9	9		
	1.8	7.3	29.4	0.9	3.7	2.8	0.9	8.3	8.3		



第5章 社会活動などへの参加・参画について

問 14. ふだんの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の優先度についてお尋ねします。

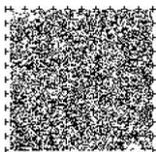
(A) 希望と (B) 現実のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び番号に○印をつけてください。 ※現在、職業についていない方は、考えをお答えください。

(A) 希望

上段:実数 下段:%		全 体	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	優先 「地域・個人の生活」を	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	先 個人 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	わからない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	2 3.7	6 11.1	4 7.4	21 38.9	1 1.9	5 9.3	12 22.2	1 1.9	2 3.7		
	30歳代	83 100.0	- -	22 26.5	1 1.2	26 31.3	3 3.6	11 13.3	18 21.7	1 1.2	1 1.2		
	40歳代	114 100.0	7 6.1	28 24.6	1 0.9	41 36.0	3 2.6	5 4.4	24 21.1	3 2.6	2 1.8		
	50歳代	111 100.0	5 4.5	12 10.8	1 0.9	38 34.2	3 2.7	12 10.8	28 25.2	6 5.4	6 5.4		
	60歳代	160 100.0	2 1.3	28 17.5	1 0.6	59 36.9	7 4.4	14 8.8	33 20.6	8 5.0	8 5.0		
	70歳代	107 100.0	5 4.7	12 11.2	4 3.7	28 26.2	4 3.7	17 15.9	17 15.9	8 7.5	12 11.2		
	男性 10・20歳代	35 100.0	- -	7 20.0	2 5.7	6 17.1	3 8.6	5 14.3	10 28.6	1 2.9	1 2.9		
	30歳代	47 100.0	3 6.4	8 17.0	2 4.3	20 42.6	- -	3 6.4	7 14.9	1 2.1	3 6.4		
	40歳代	58 100.0	5 8.6	8 13.8	2 3.4	21 36.2	- -	4 6.9	11 19.0	4 6.9	3 5.2		
	50歳代	77 100.0	5 6.5	12 15.6	2 2.6	25 32.5	2 2.6	4 5.2	26 33.8	- -	1 1.3		
	60歳代	130 100.0	10 7.7	18 13.8	3 2.3	43 33.1	9 6.9	11 8.5	25 19.2	5 3.8	6 4.6		
	70歳代	109 100.0	13 11.9	10 9.2	3 2.8	33 30.3	14 12.8	10 9.2	14 12.8	5 4.6	7 6.4		

(B) 現実

上段:実数 下段:%		全 体	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	優先 「地域・個人の生活」を	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	先 個人 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	の「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	わからない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	19 35.2	5 9.3	- -	14 25.9	2 3.7	1 1.9	4 7.4	7 13.0	2 3.7		
	30歳代	83 100.0	22 26.5	27 32.5	- -	24 28.9	3 3.6	- -	2 2.4	3 3.6	2 2.4		
	40歳代	114 100.0	41 36.0	27 23.7	1 0.9	27 23.7	1 0.9	1 0.9	6 5.3	6 5.3	4 3.5		
	50歳代	111 100.0	40 36.0	24 21.6	- -	29 26.1	6 5.4	1 0.9	5 4.5	4 3.6	2 1.8		
	60歳代	160 100.0	48 30.0	33 20.6	3 1.9	31 19.4	3 1.9	9 5.6	14 8.8	12 7.5	7 4.4		
	70歳代	107 100.0	19 17.8	25 23.4	3 2.8	14 13.1	6 5.6	9 8.4	6 5.6	12 11.2	13 12.1		
	男性 10・20歳代	35 100.0	17 48.6	1 2.9	2 5.7	5 14.3	4 11.4	- -	1 2.9	3 8.6	2 5.7		
	30歳代	47 100.0	31 66.0	2 4.3	- -	9 19.1	2 4.3	- -	- -	2 4.3	1 2.1		
	40歳代	58 100.0	33 56.9	3 5.2	- -	10 17.2	4 6.9	- -	- -	5 8.6	3 5.2		
	50歳代	77 100.0	50 64.9	5 6.5	- -	8 10.4	4 5.2	1 1.3	6 7.8	2 2.6	1 1.3		
	60歳代	130 100.0	60 46.2	7 5.4	1 0.8	27 20.8	10 7.7	5 3.8	7 5.4	6 4.6	7 5.4		
	70歳代	109 100.0	38 34.9	9 8.3	6 5.5	17 15.6	6 5.5	12 11.0	7 6.4	6 5.5	8 7.3		



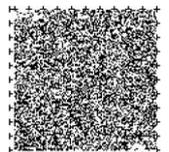
問 15. あなたは現在、自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動などの地域活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	参加している	参加していない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	6	47	1
		100.0	11.1	87.0	1.9
	30歳代	83	34	48	1
		100.0	41.0	57.8	1.2
	40歳代	114	54	60	-
		100.0	47.4	52.6	-
	50歳代	111	51	57	3
		100.0	45.9	51.4	2.7
	60歳代	160	61	96	3
		100.0	38.1	60.0	1.9
	70歳代	107	50	51	6
		100.0	46.7	47.7	5.6
	男性 10・20歳代	35	4	31	-
		100.0	11.4	88.6	-
30歳代	47	16	30	1	
	100.0	34.0	63.8	2.1	
40歳代	58	22	36	-	
	100.0	37.9	62.1	-	
50歳代	77	42	33	2	
	100.0	54.5	42.9	2.6	
60歳代	130	74	52	4	
	100.0	56.9	40.0	3.1	
70歳代	109	55	48	6	
	100.0	50.5	44.0	5.5	

付問 1. 【問 15 で「参加していない」と答えた方に】

その理由はなんですか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	ないから活動するための施設が近くに	地域活動に関心がないから	地域で興味や関心を持って活動が行われていないから	地域活動に関する情報が少なからず(どのかわからない活動が行)	仕事で忙しくて時間が足りないから	家事・育児・介護などで忙しくて時間がないから	経済的に余裕がないから	家族の理解や協力が得られないから	一緒に活動する仲間がいないから	人と一緒に活動するのがわずらわしいから	その他	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	47	3	15	7	17	12	7	4	-	12	5	5	-
		100.0	6.4	31.9	14.9	36.2	25.5	14.9	8.5	-	25.5	10.6	10.6	-
	30歳代	48	2	11	4	20	21	20	5	2	7	6	4	1
		100.0	4.2	22.9	8.3	41.7	43.8	41.7	10.4	4.2	14.6	12.5	8.3	2.1
	40歳代	60	3	10	11	13	28	16	4	1	8	9	7	1
		100.0	5.0	16.7	18.3	21.7	46.7	26.7	6.7	1.7	13.3	15.0	11.7	1.7
	50歳代	57	1	5	10	11	30	16	10	-	10	1	8	3
		100.0	1.8	8.8	17.5	19.3	52.6	28.1	17.5	-	17.5	1.8	14.0	5.3
	60歳代	96	8	18	22	21	33	16	17	-	21	17	13	-
		100.0	8.3	18.8	22.9	21.9	34.4	16.7	17.7	-	21.9	17.7	13.5	-
	70歳代	51	3	4	7	11	9	4	7	4	8	7	11	4
		100.0	5.9	7.8	13.7	21.6	17.6	7.8	13.7	7.8	15.7	13.7	21.6	7.8
	男性 10・20歳代	31	4	9	3	6	16	3	6	-	10	2	4	-
		100.0	12.9	29.0	9.7	19.4	51.6	9.7	19.4	-	32.3	6.5	12.9	-
30歳代	30	2	6	4	7	19	6	3	1	5	6	3	1	
	100.0	6.7	20.0	13.3	23.3	63.3	20.0	10.0	3.3	16.7	20.0	10.0	3.3	
40歳代	36	2	10	6	15	21	5	10	-	3	5	4	-	
	100.0	5.6	27.8	16.7	41.7	58.3	13.9	27.8	-	8.3	13.9	11.1	-	
50歳代	33	1	5	6	11	17	2	7	1	4	3	5	1	
	100.0	3.0	15.2	18.2	33.3	51.5	6.1	21.2	3.0	12.1	9.1	15.2	3.0	
60歳代	52	2	8	6	16	23	3	9	1	9	9	8	-	
	100.0	3.8	15.4	11.5	30.8	44.2	5.8	17.3	1.9	17.3	17.3	15.4	-	
70歳代	48	2	8	8	11	10	-	12	1	5	10	11	1	
	100.0	4.2	16.7	16.7	22.9	20.8	-	25.0	2.1	10.4	20.8	22.9	2.1	



問 16. 地域活動（自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動など）での男女の役割分担についてお尋ねします。

（１）現状：地域活動の現状について（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを１つずつ選び○印をつけてください。

（２）意識：今後はどうすべきだと思いますか。（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを１つずつ選び○印をつけてください。

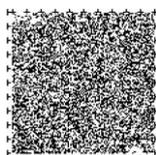
（１）現状

（ア）催し物の企画などは主に男性が決定している

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	3	1	48	2
		100.0	5.6	1.9	88.9	3.7
	30歳代	83	10	10	56	7
		100.0	12.0	12.0	67.5	8.4
	40歳代	114	27	16	64	7
		100.0	23.7	14.0	56.1	6.1
	50歳代	111	32	15	56	8
		100.0	28.8	13.5	50.5	7.2
	60歳代	160	69	15	55	21
		100.0	43.1	9.4	34.4	13.1
	70歳代	107	32	14	37	24
		100.0	29.9	13.1	34.6	22.4
	男性 10・20歳代	35	5	1	23	6
		100.0	14.3	2.9	65.7	17.1
30歳代		47	3	7	33	4
		100.0	6.4	14.9	70.2	8.5
40歳代		58	7	10	31	10
		100.0	12.1	17.2	53.4	17.2
50歳代		77	26	15	31	5
	100.0	33.8	19.5	40.3	6.5	
60歳代	130	50	27	40	13	
	100.0	38.5	20.8	30.8	10.0	
70歳代	109	40	24	28	17	
	100.0	36.7	22.0	25.7	15.6	

（イ）地域活動は男性が取り仕切る

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	7	2	43	2
		100.0	13.0	3.7	79.6	3.7
	30歳代	83	20	13	43	7
		100.0	24.1	15.7	51.8	8.4
	40歳代	114	48	11	47	8
		100.0	42.1	9.6	41.2	7.0
	50歳代	111	46	13	43	9
		100.0	41.4	11.7	38.7	8.1
	60歳代	160	79	17	42	22
		100.0	49.4	10.6	26.3	13.8
	70歳代	107	39	15	24	29
		100.0	36.4	14.0	22.4	27.1
	男性 10・20歳代	35	6	2	21	6
		100.0	17.1	5.7	60.0	17.1
30歳代		47	9	8	26	4
		100.0	19.1	17.0	55.3	8.5
40歳代		58	15	7	26	10
		100.0	25.9	12.1	44.8	17.2
50歳代		77	26	19	27	5
	100.0	33.8	24.7	35.1	6.5	
60歳代	130	59	31	28	12	
	100.0	45.4	23.8	21.5	9.2	
70歳代	109	47	18	25	19	
	100.0	43.1	16.5	22.9	17.4	

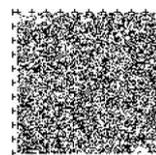


(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	16 29.6	1 1.9	35 64.8	2 3.7
	30歳代	83 100.0	38 45.8	5 6.0	33 39.8	7 8.4
	40歳代	114 100.0	60 52.6	9 7.9	39 34.2	6 5.3
	50歳代	111 100.0	64 57.7	10 9.0	27 24.3	10 9.0
	60歳代	160 100.0	82 51.3	24 15.0	39 24.4	15 9.4
	70歳代	107 100.0	41 38.3	18 16.8	16 15.0	32 29.9
	男性 10・20歳代	35 100.0	8 22.9	1 2.9	20 57.1	6 17.1
	30歳代	47 100.0	16 34.0	3 6.4	24 51.1	4 8.5
	40歳代	58 100.0	18 31.0	8 13.8	21 36.2	11 19.0
	50歳代	77 100.0	29 37.7	17 22.1	26 33.8	5 6.5
	60歳代	130 100.0	53 40.8	38 29.2	27 20.8	12 9.2
	70歳代	109 100.0	48 44.0	24 22.0	19 17.4	18 16.5

(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	8 14.8	5 9.3	39 72.2	2 3.7
	30歳代	83 100.0	23 27.7	16 19.3	37 44.6	7 8.4
	40歳代	114 100.0	44 38.6	22 19.3	41 36.0	7 6.1
	50歳代	111 100.0	50 45.0	20 18.0	31 27.9	10 9.0
	60歳代	160 100.0	77 48.1	35 21.9	29 18.1	19 11.9
	70歳代	107 100.0	46 43.0	23 21.5	9 8.4	29 27.1
	男性 10・20歳代	35 100.0	6 17.1	2 5.7	21 60.0	6 17.1
	30歳代	47 100.0	13 27.7	7 14.9	23 48.9	4 8.5
	40歳代	58 100.0	16 27.6	7 12.1	24 41.4	11 19.0
	50歳代	77 100.0	30 39.0	19 24.7	23 29.9	5 6.5
	60歳代	130 100.0	54 41.5	40 30.8	24 18.5	12 9.2
	70歳代	109 100.0	45 41.3	27 24.8	19 17.4	18 16.5

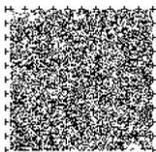


(オ) 地域での集会では男性が上座に座る

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	7	1	43	3
		100.0	13.0	1.9	79.6	5.6
	30歳代	83	18	14	44	7
		100.0	21.7	16.9	53.0	8.4
	40歳代	114	36	16	55	7
		100.0	31.6	14.0	48.2	6.1
	50歳代	111	52	12	38	9
		100.0	46.8	10.8	34.2	8.1
	60歳代	160	67	38	36	19
		100.0	41.9	23.8	22.5	11.9
	70歳代	107	43	17	17	30
		100.0	40.2	15.9	15.9	28.0
	男性 10・20歳代	35	5	2	22	6
		100.0	14.3	5.7	62.9	17.1
30歳代	47	5	9	29	4	
	100.0	10.6	19.1	61.7	8.5	
40歳代	58	12	9	26	11	
	100.0	20.7	15.5	44.8	19.0	
50歳代	77	28	18	26	5	
	100.0	36.4	23.4	33.8	6.5	
60歳代	130	42	50	25	13	
	100.0	32.3	38.5	19.2	10.0	
70歳代	109	33	39	19	18	
	100.0	30.3	35.8	17.4	16.5	

(カ) 女性の発言が少ない

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	2	5	45	2
		100.0	3.7	9.3	83.3	3.7
	30歳代	83	3	23	49	8
		100.0	3.6	27.7	59.0	9.6
	40歳代	114	22	25	59	8
		100.0	19.3	21.9	51.8	7.0
	50歳代	111	37	28	37	9
		100.0	33.3	25.2	33.3	8.1
	60歳代	160	47	46	43	24
		100.0	29.4	28.8	26.9	15.0
	70歳代	107	28	21	20	38
		100.0	26.2	19.6	18.7	35.5
	男性 10・20歳代	35	3	3	23	6
		100.0	8.6	8.6	65.7	17.1
30歳代	47	6	11	26	4	
	100.0	12.8	23.4	55.3	8.5	
40歳代	58	6	13	28	11	
	100.0	10.3	22.4	48.3	19.0	
50歳代	77	18	25	29	5	
	100.0	23.4	32.5	37.7	6.5	
60歳代	130	40	48	29	13	
	100.0	30.8	36.9	22.3	10.0	
70歳代	109	34	32	24	19	
	100.0	31.2	29.4	22.0	17.4	

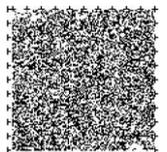


(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	6 11.1	2 3.7	43 79.6	3 5.6
	30歳代	83 100.0	16 19.3	12 14.5	48 57.8	7 8.4
	40歳代	114 100.0	32 28.1	16 14.0	60 52.6	6 5.3
	50歳代	111 100.0	47 42.3	21 18.9	36 32.4	7 6.3
	60歳代	160 100.0	56 35.0	55 34.4	32 20.0	17 10.6
	70歳代	107 100.0	40 37.4	20 18.7	16 15.0	31 29.0
	男性 10・20歳代	35 100.0	4 11.4	2 5.7	23 65.7	6 17.1
	30歳代	47 100.0	5 10.6	10 21.3	28 59.6	4 8.5
	40歳代	58 100.0	6 10.3	16 27.6	25 43.1	11 19.0
	50歳代	77 100.0	20 26.0	26 33.8	27 35.1	4 5.2
	60歳代	130 100.0	33 25.4	55 42.3	29 22.3	13 10.0
	70歳代	109 100.0	33 30.3	39 35.8	20 18.3	17 15.6

(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金がある

上段:実数 下段:%		全 体	そうしている	そうしていない	現状を知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	1 1.9	6 11.1	45 83.3	2 3.7
	30歳代	83 100.0	1 1.2	23 27.7	52 62.7	7 8.4
	40歳代	114 100.0	6 5.3	35 30.7	66 57.9	7 6.1
	50歳代	111 100.0	5 4.5	54 48.6	44 39.6	8 7.2
	60歳代	160 100.0	9 5.6	87 54.4	42 26.3	22 13.8
	70歳代	107 100.0	6 5.6	46 43.0	23 21.5	32 29.9
	男性 10・20歳代	35 100.0	-	2 5.7	27 77.1	6 17.1
	30歳代	47 100.0	-	11 23.4	32 68.1	4 8.5
	40歳代	58 100.0	-	14 24.1	33 56.9	11 19.0
	50歳代	77 100.0	2 2.6	37 48.1	33 42.9	5 6.5
	60歳代	130 100.0	6 4.6	78 60.0	34 26.2	12 9.2
	70歳代	109 100.0	2 1.8	60 55.0	28 25.7	19 17.4



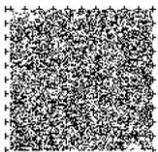
(2) 意識

(ア) 催し物の企画などは主に男性が決定している

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでいい	改善すべき	わからない	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	3 5.6	9 16.7	38 70.4	4 7.4	
	30歳代	83 100.0	15 18.1	16 19.3	41 49.4	11 13.3	
	40歳代	114 100.0	21 18.4	30 26.3	54 47.4	9 7.9	
	50歳代	111 100.0	25 22.5	33 29.7	45 40.5	8 7.2	
	60歳代	160 100.0	49 30.6	41 25.6	48 30.0	22 13.8	
	70歳代	107 100.0	24 22.4	20 18.7	33 30.8	30 28.0	
	男性 10・20歳代	35 100.0	2 5.7	5 14.3	21 60.0	7 20.0	
	30歳代	47 100.0	7 14.9	10 21.3	25 53.2	5 10.6	
	40歳代	58 100.0	10 17.2	12 20.7	25 43.1	11 19.0	
	50歳代	77 100.0	19 24.7	25 32.5	25 32.5	8 10.4	
	60歳代	130 100.0	36 27.7	47 36.2	29 22.3	18 13.8	
	70歳代	109 100.0	31 28.4	39 35.8	20 18.3	19 17.4	
	現 状	そうしている	306 100.0	103 33.7	168 54.9	31 10.1	4 1.3
		そうしていない	161 100.0	112 69.6	30 18.6	9 5.6	10 6.2
現状を知らない		508 100.0	31 6.1	89 17.5	369 72.6	19 3.7	

(イ) 地域活動は男性が取り仕切る

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでいい	改善すべき	わからない	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	5 9.3	11 20.4	35 64.8	3 5.6	
	30歳代	83 100.0	22 26.5	14 16.9	36 43.4	11 13.3	
	40歳代	114 100.0	22 19.3	33 28.9	48 42.1	11 9.6	
	50歳代	111 100.0	33 29.7	33 29.7	36 32.4	9 8.1	
	60歳代	160 100.0	51 31.9	41 25.6	46 28.8	22 13.8	
	70歳代	107 100.0	25 23.4	23 21.5	25 23.4	34 31.8	
	男性 10・20歳代	35 100.0	3 8.6	5 14.3	20 57.1	7 20.0	
	30歳代	47 100.0	8 17.0	12 25.5	22 46.8	5 10.6	
	40歳代	58 100.0	8 13.8	15 25.9	23 39.7	12 20.7	
	50歳代	77 100.0	20 26.0	27 35.1	20 26.0	10 13.0	
	60歳代	130 100.0	38 29.2	55 42.3	20 15.4	17 13.1	
	70歳代	109 100.0	36 33.0	35 32.1	16 14.7	22 20.2	
	現 状	そうしている	407 100.0	145 35.6	203 49.9	49 12.0	10 2.5
		そうしていない	159 100.0	103 64.8	31 19.5	16 10.1	9 5.7
現状を知らない		399 100.0	23 5.8	72 18.0	285 71.4	19 4.8	

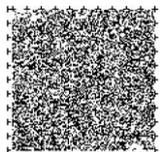


(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでいい	改善すべき	わからない	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	2 3.7	22 40.7	27 50.0	3 5.6	
	30歳代	83 100.0	12 14.5	29 34.9	31 37.3	11 13.3	
	40歳代	114 100.0	21 18.4	44 38.6	40 35.1	9 7.9	
	50歳代	111 100.0	27 24.3	46 41.4	29 26.1	9 8.1	
	60歳代	160 100.0	37 23.1	61 38.1	40 25.0	22 13.8	
	70歳代	107 100.0	27 25.2	31 29.0	13 12.1	36 33.6	
	男性 10・20歳代	35 100.0	6 17.1	4 11.4	18 51.4	7 20.0	
	30歳代	47 100.0	3 6.4	16 34.0	23 48.9	5 10.6	
	40歳代	58 100.0	11 19.0	16 27.6	20 34.5	11 19.0	
	50歳代	77 100.0	21 27.3	30 39.0	19 24.7	7 9.1	
	60歳代	130 100.0	34 26.2	56 43.1	24 18.5	16 12.3	
	70歳代	109 100.0	29 26.6	33 30.3	26 23.9	21 19.3	
	現 状	そうしている	480 100.0	118 24.6	291 60.6	60 12.5	11 2.3
		そうしていない	160 100.0	108 67.5	31 19.4	12 7.5	9 5.6
現状を知らない		331 100.0	8 2.4	69 20.8	240 72.5	14 4.2	

(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでいい	改善すべき	わからない	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	6 11.1	10 18.5	34 63.0	4 7.4	
	30歳代	83 100.0	16 19.3	22 26.5	35 42.2	10 12.0	
	40歳代	114 100.0	31 27.2	29 25.4	45 39.5	9 7.9	
	50歳代	111 100.0	29 26.1	34 30.6	38 34.2	10 9.0	
	60歳代	160 100.0	53 33.1	51 31.9	36 22.5	20 12.5	
	70歳代	107 100.0	36 33.6	20 18.7	19 17.8	32 29.9	
	男性 10・20歳代	35 100.0	3 8.6	6 17.1	19 54.3	7 20.0	
	30歳代	47 100.0	8 17.0	13 27.7	21 44.7	5 10.6	
	40歳代	58 100.0	8 13.8	17 29.3	22 37.9	11 19.0	
	50歳代	77 100.0	24 31.2	26 33.8	19 24.7	8 10.4	
	60歳代	130 100.0	35 26.9	60 46.2	19 14.6	16 12.3	
	70歳代	109 100.0	29 26.6	45 41.3	12 11.0	23 21.1	
	現 状	そうしている	417 100.0	125 30.0	226 54.2	59 14.1	7 1.7
		そうしていない	227 100.0	146 64.3	50 22.0	20 8.8	11 4.8
現状を知らない		324 100.0	8 2.5	60 18.5	240 74.1	16 4.9	

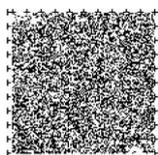


(オ) 地域での集会では男性が上座に座る

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでい い	改善すべき	わからない	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	3	12	34	5
		100.0	5.6	22.2	63.0	9.3
	30歳代	83	12	21	39	11
		100.0	14.5	25.3	47.0	13.3
	40歳代	114	24	27	54	9
		100.0	21.1	23.7	47.4	7.9
	50歳代	111	30	31	42	8
		100.0	27.0	27.9	37.8	7.2
	60歳代	160	50	39	49	22
		100.0	31.3	24.4	30.6	13.8
	70歳代	107	32	24	19	32
		100.0	29.9	22.4	17.8	29.9
	男性 10・20歳代	35	3	6	19	7
		100.0	8.6	17.1	54.3	20.0
30歳代	47	6	13	23	5	
	100.0	12.8	27.7	48.9	10.6	
40歳代	58	10	12	24	12	
	100.0	17.2	20.7	41.4	20.7	
50歳代	77	23	23	22	9	
	100.0	29.9	29.9	28.6	11.7	
60歳代	130	40	49	23	18	
	100.0	30.8	37.7	17.7	13.8	
70歳代	109	33	34	19	23	
	100.0	30.3	31.2	17.4	21.1	
現 状	そうしている	354	105	186	55	8
	100.0	29.7	52.5	15.5	2.3	
	227	156	37	23	11	
100.0	68.7	16.3	10.1	4.8		
385	7	74	288	16		
100.0	1.8	19.2	74.8	4.2		

(カ) 女性の発言が少ない

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでい い	改善すべき	わからない	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	5	9	36	4
		100.0	9.3	16.7	66.7	7.4
	30歳代	83	13	15	44	11
		100.0	15.7	18.1	53.0	13.3
	40歳代	114	22	26	55	11
		100.0	19.3	22.8	48.2	9.6
	50歳代	111	22	40	40	9
		100.0	19.8	36.0	36.0	8.1
	60歳代	160	33	54	47	26
		100.0	20.6	33.8	29.4	16.3
	70歳代	107	18	30	21	38
		100.0	16.8	28.0	19.6	35.5
	男性 10・20歳代	35	2	4	22	7
		100.0	5.7	11.4	62.9	20.0
30歳代	47	6	14	22	5	
	100.0	12.8	29.8	46.8	10.6	
40歳代	58	8	16	22	12	
	100.0	13.8	27.6	37.9	20.7	
50歳代	77	21	26	22	8	
	100.0	27.3	33.8	28.6	10.4	
60歳代	130	30	57	26	17	
	100.0	23.1	43.8	20.0	13.1	
70歳代	109	24	43	20	22	
	100.0	22.0	39.4	18.3	20.2	
現 状	そうしている	249	24	195	29	1
	100.0	9.6	78.3	11.6	0.4	
	284	173	63	33	15	
100.0	60.9	22.2	11.6	5.3		
418	8	82	312	16		
100.0	1.9	19.6	74.6	3.8		

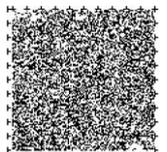


(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでい い	改善すべき	わからない	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	-	11	38	5
		100.0	-	20.4	70.4	9.3
	30歳代	83	10	21	41	11
		100.0	12.0	25.3	49.4	13.3
	40歳代	114	17	31	58	8
		100.0	14.9	27.2	50.9	7.0
	50歳代	111	19	43	41	8
		100.0	17.1	38.7	36.9	7.2
	60歳代	160	41	54	42	23
		100.0	25.6	33.8	26.3	14.4
	70歳代	107	25	27	25	30
		100.0	23.4	25.2	23.4	28.0
	男性 10・20歳代	35	3	4	21	7
		100.0	8.6	11.4	60.0	20.0
30歳代	47	5	9	27	6	
	100.0	10.6	19.1	57.4	12.8	
40歳代	58	9	13	24	12	
	100.0	15.5	22.4	41.4	20.7	
50歳代	77	22	23	26	6	
	100.0	28.6	29.9	33.8	7.8	
60歳代	130	34	49	30	17	
	100.0	26.2	37.7	23.1	13.1	
70歳代	109	36	31	21	21	
	100.0	33.0	28.4	19.3	19.3	
現 状	そうしている	301	56	192	46	7
	100.0	18.6	63.8	15.3	2.3	
	277	158	62	41	16	
100.0	57.0	22.4	14.8	5.8		
394	9	65	308	12		
100.0	2.3	16.5	78.2	3.0		

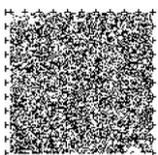
(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金がある

上段:実数 下段:%		全 体	現状のままでい い	改善すべき	わからない	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54	4	9	37	4
		100.0	7.4	16.7	68.5	7.4
	30歳代	83	14	16	42	11
		100.0	16.9	19.3	50.6	13.3
	40歳代	114	23	18	63	10
		100.0	20.2	15.8	55.3	8.8
	50歳代	111	38	21	42	10
		100.0	34.2	18.9	37.8	9.0
	60歳代	160	51	36	47	26
		100.0	31.9	22.5	29.4	16.3
	70歳代	107	31	17	25	34
		100.0	29.0	15.9	23.4	31.8
	男性 10・20歳代	35	1	3	24	7
		100.0	2.9	8.6	68.6	20.0
30歳代	47	7	9	26	5	
	100.0	14.9	19.1	55.3	10.6	
40歳代	58	9	11	26	12	
	100.0	15.5	19.0	44.8	20.7	
50歳代	77	31	12	26	8	
	100.0	40.3	15.6	33.8	10.4	
60歳代	130	57	24	31	18	
	100.0	43.8	18.5	23.8	13.8	
70歳代	109	41	21	25	22	
	100.0	37.6	19.3	22.9	20.2	
現 状	そうしている	39	8	29	1	1
	100.0	20.5	74.4	2.6	2.6	
	460	299	76	64	21	
100.0	65.0	16.5	13.9	4.6		
465	5	95	349	16		
100.0	1.1	20.4	75.1	3.4		



問 17. 自治会長や校区コミュニティ組織の会長、PTA会長などの地域の役職についてお尋ねします。女性の方は、もし、あなた自身が推薦されたら引き受けますか。男性の方は、妻などの身近な女性が推薦されたとしたら引き受けることをすすめますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	引き受ける(引 き受けることを すすめる)	断る(断ることを すすめる)	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	9	43	2
		100.0	16.7	79.6	3.7
	30歳代	83	16	61	6
		100.0	19.3	73.5	7.2
	40歳代	114	19	94	1
		100.0	16.7	82.5	0.9
	50歳代	111	20	90	1
		100.0	18.0	81.1	0.9
	60歳代	160	32	125	3
		100.0	20.0	78.1	1.9
	70歳代	107	25	70	12
		100.0	23.4	65.4	11.2
	男性 10・20歳代	35	12	19	4
		100.0	34.3	54.3	11.4
30歳代	47	11	32	4	
	100.0	23.4	68.1	8.5	
40歳代	58	20	34	4	
	100.0	34.5	58.6	6.9	
50歳代	77	28	44	5	
	100.0	36.4	57.1	6.5	
60歳代	130	57	61	12	
	100.0	43.8	46.9	9.2	
70歳代	109	42	59	8	
	100.0	38.5	54.1	7.3	
固 定 的 性 別 役 割 担 意 識	同感する	35	11	22	2
		100.0	31.4	62.9	5.7
	ある程度同感する	313	80	211	22
		100.0	25.6	67.4	7.0
あまり同感しない	377	95	255	27	
	100.0	25.2	67.6	7.2	
同感しない	360	103	235	22	
	100.0	28.6	65.3	6.1	

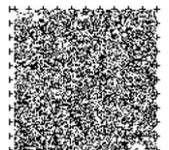


付問1. 【問17で2.「断る（断ることをすすめる）」と答えた方に】
その理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	家族の協力が得られないから	女性が役職につくことを快く思わない社会通念があるから	家事・育児や介護に支障がでるから	役職につく知識や経験がないから	女性には向いていないから	世間体が変わるから	その他	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	43	1	1	13	18	1	-	8	1
		100.0	2.3	2.3	30.2	41.9	2.3	-	18.6	2.3
	30歳代	61	2	1	36	12	-	1	8	1
		100.0	3.3	1.6	59.0	19.7	-	1.6	13.1	1.6
	40歳代	94	9	4	33	29	1	1	15	2
		100.0	9.6	4.3	35.1	30.9	1.1	1.1	16.0	2.1
	50歳代	90	8	4	24	35	1	-	14	4
		100.0	8.9	4.4	26.7	38.9	1.1	-	15.6	4.4
	60歳代	125	9	12	19	59	-	-	22	4
		100.0	7.2	9.6	15.2	47.2	-	-	17.6	3.2
	70歳代	70	3	3	10	43	-	2	4	5
		100.0	4.3	4.3	14.3	61.4	-	2.9	5.7	7.1
	男性 10・20歳代	19	-	3	10	1	-	-	4	1
		100.0	-	15.8	52.6	5.3	-	-	21.1	5.3
30歳代	32	2	2	13	3	-	1	11	-	
	100.0	6.3	6.3	40.6	9.4	-	3.1	34.4	-	
40歳代	34	2	1	14	8	1	1	5	2	
	100.0	5.9	2.9	41.2	23.5	2.9	2.9	14.7	5.9	
50歳代	44	7	4	16	9	-	-	4	4	
	100.0	15.9	9.1	36.4	20.5	-	-	9.1	9.1	
60歳代	61	8	2	9	26	1	-	12	3	
	100.0	13.1	3.3	14.8	42.6	1.6	-	19.7	4.9	
70歳代	59	4	4	7	28	1	1	12	2	
	100.0	6.8	6.8	11.9	47.5	1.7	1.7	20.3	3.4	
固定的性別役割分担意識	同感する	22	1	1	5	9	1	-	2	3
		100.0	4.5	4.5	22.7	40.9	4.5	-	9.1	13.6
	ある程度同感する	211	15	12	59	82	3	2	31	7
		100.0	7.1	5.7	28.0	38.9	1.4	0.9	14.7	3.3
	あまり同感しない	255	24	9	70	95	2	-	43	12
100.0		9.4	3.5	27.5	37.3	0.8	-	16.9	4.7	
同感しない	235	14	17	66	84	1	3	41	9	
	100.0	6.0	7.2	28.1	35.7	0.4	1.3	17.4	3.8	

問18. あなたは、地域活動における女性リーダーを増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

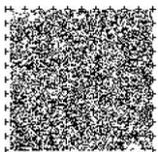
上段:実数 下段:%		全 体	男性啓発活動を中心とする啓発活動を実施する	男性慣習を改め社会通念を変える	女性リーダーの養成	成人女性のリーダー養成	育児や介護を支援する	家族が家事・育児を担う	夫が活動時間や立場を工夫する	さまざまな立場の人に参加しやすい場を工夫する	その他	わからない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	7	6	25	20	30	-	5	-			
		100.0	13.0	11.1	46.3	37.0	55.6	-	9.3	-			
	30歳代	83	7	4	44	31	39	3	7	6			
		100.0	8.4	4.8	53.0	37.3	47.0	3.6	8.4	7.2			
	40歳代	114	23	14	51	45	49	2	5	3			
		100.0	20.2	12.3	44.7	39.5	43.0	1.8	4.4	2.6			
	50歳代	111	20	13	53	30	54	4	7	4			
		100.0	18.0	11.7	47.7	27.0	48.6	3.6	6.3	3.6			
	60歳代	160	34	52	45	31	96	2	10	4			
		100.0	21.3	32.5	28.1	19.4	60.0	1.3	6.3	2.5			
	70歳代	107	21	24	18	15	56	2	13	14			
		100.0	19.6	22.4	16.8	14.0	52.3	1.9	12.1	13.1			
	男性 10・20歳代	35	10	7	10	8	10	2	3	5			
		100.0	28.6	20.0	28.6	22.9	28.6	5.7	8.6	14.3			
30歳代	47	6	5	22	10	23	4	3	4				
	100.0	12.8	10.6	46.8	21.3	48.9	8.5	6.4	8.5				
40歳代	58	13	10	21	20	29	3	1	3				
	100.0	22.4	17.2	36.2	34.5	50.0	5.2	1.7	5.2				
50歳代	77	20	14	24	17	39	2	6	3				
	100.0	26.0	18.2	31.2	22.1	50.6	2.6	7.8	3.9				
60歳代	130	40	22	37	21	71	9	5	10				
	100.0	30.8	16.9	28.5	16.2	54.6	6.9	3.8	7.7				
70歳代	109	29	41	27	17	62	2	6	5				
	100.0	26.6	37.6	24.8	15.6	56.9	1.8	5.5	4.6				



第6章 人権侵害について

問 19. あなたが女性への人権侵害と思うものはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

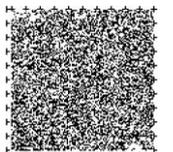
上段:実数 下段:%	全 体	痴漢や強制性交(レイプ)などの性犯罪	セクシュアル・ハラースメント(性的嫌がらせ)	ドメスティック・バイオレンス:DV(夫・パートナーや恋人からの暴力)	ストーカー行為(つきまとい行為)	売春、買春、援助交際	女性の働く風俗営業	女性の容姿を競うコンテスト	街なかや駅・電車など公共の場における性的情報の氾濫	テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアにおける女性の性的描写	その他	無回答		
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	47 87.0	48 88.9	39 72.2	38 70.4	24 44.4	10 18.5	10 18.5	14 25.9	21 38.9	2 3.7	1 1.9	
	30歳代	83 100.0	71 85.5	69 83.1	65 78.3	44 53.0	34 41.0	17 20.5	11 13.3	13 15.7	22 26.5	-	4 4.8	
	40歳代	114 100.0	96 84.2	97 85.1	97 85.1	74 64.9	57 50.0	29 25.4	19 16.7	40 35.1	48 42.1	1 0.9	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	97 87.4	99 89.2	88 79.3	63 56.8	53 47.7	39 35.1	21 18.9	39 35.1	53 47.7	4 3.6	2 1.8	
	60歳代	160 100.0	131 81.9	130 81.3	115 71.9	92 57.5	89 55.6	58 36.3	27 16.9	57 35.6	77 48.1	-	5 3.1	
	70歳代	107 100.0	74 69.2	67 62.6	60 56.1	51 47.7	43 40.2	29 27.1	12 11.2	28 26.2	47 43.9	-	12 11.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	32 91.4	30 85.7	29 82.9	30 85.7	21 60.0	8 22.9	6 17.1	10 28.6	13 37.1	2 5.7	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	35 74.5	40 85.1	34 72.3	29 61.7	18 38.3	11 23.4	7 14.9	7 14.9	13 27.7	2 4.3	2 4.3	
	40歳代	58 100.0	44 75.9	44 75.9	45 77.6	33 56.9	22 37.9	11 19.0	8 13.8	8 13.8	10 17.2	1 1.7	2 3.4	
	50歳代	77 100.0	60 77.9	63 81.8	65 84.4	55 71.4	29 37.7	15 19.5	15 19.5	17 22.1	20 26.0	-	3 3.9	
	60歳代	130 100.0	104 80.0	108 83.1	92 70.8	86 66.2	59 45.4	38 29.2	22 16.9	36 27.7	48 36.9	5 3.8	7 5.4	
	70歳代	109 100.0	81 74.3	81 74.3	78 71.6	70 64.2	54 49.5	36 33.0	20 18.3	40 36.7	59 54.1	1 0.9	3 2.8	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	23 65.7	24 68.6	23 65.7	19 54.3	12 34.3	7 20.0	1 2.9	8 22.9	9 25.7	1 2.9	3 8.6
		ある程度同感する	313 100.0	238 76.0	218 69.6	218 69.6	178 56.9	138 44.1	80 25.6	48 15.3	87 27.8	123 39.3	4 1.3	26 8.3
あまり同感しない		377 100.0	295 78.2	303 80.4	271 71.9	220 58.4	160 42.4	89 23.6	53 14.1	100 26.5	138 36.6	6 1.6	19 5.0	
同感しない		360 100.0	304 84.4	318 88.3	285 79.2	243 67.5	188 52.2	120 33.3	77 21.4	114 31.7	162 45.0	6 1.7	8 2.2	



問 20. (1)、(2)のそれぞれについてあてはまるものをすべて選び○印をつけてください。

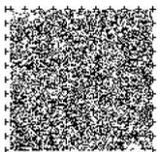
(1). (ア) から (コ) の中で、この5年間にあなた自身が受けた経験があるものはどれですか。経験があるものすべてを選び○印をつけてください。

上段:実数 下段:%	全 体	を じろ じろ 眺め られ たり、 容 姿	性 的 な 関 係 を 強 要 さ れ た	か ら だ に 触 ら れ た	食 事 な ど に し つ こ く 誘 わ れ た	性 的 な ジ ョ ウ ク を 言 わ れ た さ れ た	身 体 に 関 し て 不 快 に な る 言 葉 や 冗 談 を 言 わ れ た	ヌ ー ド 写 真 や わ い せ つ な 本 を 見 せ ら れ た	性 的 な う わ さ を 流 さ れ た	宴 席 で お 酌 や デ ュ エ ツ ト、 ダ ンス を 強 要 さ れ た	い つ 結 婚 す る の か と 言 わ れ た	無 回 答
		女性 10・20歳代	54 100.0	18 33.3	2 3.7	14 25.9	8 14.8	12 22.2	9 16.7	2 3.7	-	4 7.4
30歳代	83 100.0	26 31.3	8 9.6	26 31.3	11 13.3	32 38.6	20 24.1	1 1.2	2 2.4	4 4.8	23 27.7	29 34.9
40歳代	114 100.0	23 20.2	6 5.3	24 21.1	10 8.8	23 20.2	17 14.9	2 1.8	5 4.4	6 5.3	20 17.5	65 57.0
50歳代	111 100.0	32 28.8	10 9.0	25 22.5	14 12.6	30 27.0	29 26.1	3 2.7	4 3.6	22 19.8	15 13.5	53 47.7
60歳代	160 100.0	15 9.4	2 1.3	19 11.9	12 7.5	20 12.5	15 9.4	-	-	20 12.5	9 5.6	109 68.1
70歳代	107 100.0	6 5.6	1 0.9	7 6.5	6 5.6	6 5.6	7 6.5	-	1 0.9	9 8.4	3 2.8	84 78.5
男性 10・20歳代	35 100.0	2 5.7	-	-	-	2 5.7	2 5.7	-	-	-	2 5.7	29 82.9
30歳代	47 100.0	4 8.5	-	3 6.4	1 2.1	5 10.6	3 6.4	1 2.1	1 2.1	3 6.4	6 12.8	37 78.7
40歳代	58 100.0	5 8.6	1 1.7	1 1.7	2 3.4	2 3.4	3 5.2	1 1.7	3 5.2	2 3.4	4 6.9	49 84.5
50歳代	77 100.0	3 3.9	1 1.3	1 1.3	2 2.6	2 2.6	9 11.7	-	1 1.3	2 2.6	3 3.9	65 84.4
60歳代	130 100.0	10 7.7	4 3.1	7 5.4	4 3.1	9 6.9	8 6.2	2 1.5	4 3.1	7 5.4	4 3.1	113 86.9
70歳代	109 100.0	4 3.7	-	3 2.8	2 1.8	6 5.5	4 3.7	6 5.5	-	5 4.6	4 3.7	96 88.1
固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	2 5.7	1 2.9	3 8.6	-	4 11.4	2 5.7	-	3 8.6	2 5.7	28 80.0
	ある程度同感する	313 100.0	44 14.1	11 3.5	36 11.5	18 5.8	33 10.5	33 10.5	3 1.0	6 1.9	24 7.7	227 86.6
	あまり同感しない	377 100.0	46 12.2	5 1.3	46 12.2	22 5.8	48 12.7	41 10.9	6 1.6	8 2.1	20 5.3	259 68.7
	同感しない	360 100.0	55 15.3	18 5.0	43 11.9	30 8.3	63 17.5	49 13.6	8 2.2	6 1.7	38 10.6	243 67.5



(2). (ア) から (コ) の中で、あなたがセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）に該当すると思うものはどれですか。あてはまるものをすべて選び○印をつけてください。

上段:実数 下段:%	全体	じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた	性的な関係を強要された	からだに触られた	食事などにしつこく誘われた	性的なジョークを言われたわ	葉や冗談を言われた	身体に関して不愉快になる言	ヌード写真やわいせつな本を見せられた	性的なうわさを流された	宴席でお酌やデュエット、ダンスを強要された	いつ結婚するのかと言われた	無回答
	54	30	46	41	24	33	34	37	36	30	15	6	
	100.0	55.6	85.2	75.9	44.4	61.1	63.0	68.5	66.7	55.6	27.8	11.1	
	83	39	66	63	32	50	58	55	60	41	31	7	
	100.0	47.0	79.5	75.9	38.6	60.2	69.9	66.3	72.3	49.4	37.3	8.4	
	114	61	91	79	50	70	78	73	78	74	41	13	
	100.0	53.5	79.8	69.3	43.9	61.4	68.4	64.0	68.4	64.9	36.0	11.4	
	111	61	82	78	52	67	73	75	77	62	48	18	
	100.0	55.0	73.9	70.3	46.8	60.4	65.8	67.6	69.4	55.9	43.2	16.2	
	160	60	95	85	55	72	74	74	78	71	47	55	
	100.0	37.5	59.4	53.1	34.4	45.0	46.3	46.3	48.8	44.4	29.4	34.4	
	107	22	38	33	20	28	33	31	29	25	14	58	
	100.0	20.6	35.5	30.8	18.7	26.2	30.8	29.0	27.1	23.4	13.1	54.2	
	35	16	24	21	15	17	21	19	21	15	12	10	
	100.0	45.7	68.6	60.0	42.9	48.6	60.0	54.3	60.0	42.9	34.3	28.6	
	47	15	32	28	17	26	25	30	28	18	16	14	
	100.0	31.9	68.1	59.6	36.2	55.3	53.2	63.8	59.6	38.3	34.0	29.8	
	58	22	35	29	16	22	33	22	31	19	19	19	
	100.0	37.9	60.3	50.0	27.6	37.9	56.9	37.9	53.4	32.8	32.8	32.8	
	77	35	54	49	40	39	49	45	49	37	27	19	
	100.0	45.5	70.1	63.6	51.9	50.6	63.6	58.4	63.6	48.1	35.1	24.7	
	130	45	70	70	39	50	59	54	62	50	32	53	
	100.0	34.6	53.8	53.8	30.0	38.5	45.4	41.5	47.7	38.5	24.6	40.8	
	109	23	55	53	24	37	41	32	41	36	22	47	
	100.0	21.1	50.5	48.6	22.0	33.9	37.6	29.4	37.6	33.0	20.2	43.1	
固定的性別役割 分担意識	同感する	35	7	15	14	8	9	13	9	11	10	6	17
		100.0	20.0	42.9	40.0	22.9	25.7	37.1	25.7	31.4	28.6	17.1	48.6
	ある程度同感する	313	102	187	170	97	129	146	145	150	122	77	108
		100.0	32.6	59.7	54.3	31.0	41.2	46.6	46.3	47.9	39.0	24.6	34.5
	あまり同感しない	377	153	242	219	133	178	207	194	210	161	101	108
	100.0	40.6	64.2	58.1	35.3	47.2	54.9	51.5	55.7	42.7	26.8	28.6	
同感しない	360	168	241	224	147	196	210	196	220	182	140	91	
	100.0	46.7	66.9	62.2	40.8	54.4	58.3	54.4	61.1	50.6	38.9	25.3	



付問1. 【問20(1)で「経験がある」と答えた方に】

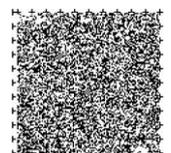
その経験はどこで起きましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	職場で	学校で	地域で	病院に入 院・通院した とき	福祉等の施 設を利用し たとき	スポーツや 趣味の活動 の場で	その他	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	31	23	4	7	1	-	2	9	-
		100.0	74.2	12.9	22.6	3.2	-	6.5	29.0	-
	30歳代	54	45	5	12	1	2	6	3	1
		100.0	83.3	9.3	22.2	1.9	3.7	11.1	5.6	1.9
	40歳代	49	37	3	10	2	-	4	6	3
		100.0	75.5	6.1	20.4	4.1	-	8.2	12.2	6.1
	50歳代	58	41	8	15	2	1	7	9	3
		100.0	70.7	13.8	25.9	3.4	1.7	12.1	15.5	5.2
	60歳代	51	28	3	16	2	-	8	6	1
		100.0	54.9	5.9	31.4	3.9	-	15.7	11.8	2.0
	70歳代	23	14	-	6	1	2	1	4	1
		100.0	60.9	-	26.1	4.3	8.7	4.3	17.4	4.3
	男性 10・20歳代	6	4	-	-	-	-	1	1	-
		100.0	66.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-
10		8	-	1	-	-	1	1	1	
100.0		80.0	-	10.0	-	-	10.0	10.0	10.0	
9		4	1	3	-	1	-	2	2	
100.0		44.4	11.1	33.3	-	11.1	-	22.2	22.2	
12		8	1	4	1	1	-	-	1	
100.0	66.7	8.3	33.3	8.3	8.3	-	-	8.3		
60歳代	17	9	-	5	-	-	2	-	3	
	100.0	52.9	-	29.4	-	-	11.8	-	17.6	
70歳代	13	10	1	2	2	1	3	-	-	
	100.0	76.9	7.7	15.4	15.4	7.7	23.1	-	-	

付問2. 【問20(1)で「経験がある」と答えた方に】

その後、あなたはどのような行動を取りましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

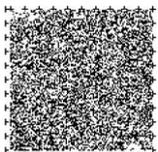
上段:実数 下段:%		全 体	相手に直接 抗議した	家族や友人 に相談した	職場の上 司や学校の先 生などに相 談した	公的な相談 機関や警察 に相談した	弁護士など 法律の専門 職に相談し た	その他	相談しな かった	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	31	6	8	2	-	-	4	19	-
		100.0	19.4	25.8	6.5	-	-	12.9	61.3	-
	30歳代	54	5	7	9	1	-	4	35	1
		100.0	9.3	13.0	16.7	1.9	-	7.4	64.8	1.9
	40歳代	49	8	7	2	-	-	2	28	3
		100.0	16.3	14.3	4.1	-	-	4.1	57.1	6.1
	50歳代	58	17	7	3	1	-	2	34	2
		100.0	29.3	12.1	5.2	1.7	-	3.4	58.6	3.4
	60歳代	51	10	10	-	-	-	7	26	3
		100.0	19.6	19.6	-	-	-	13.7	51.0	5.9
	70歳代	23	9	6	1	1	-	-	9	1
		100.0	39.1	26.1	4.3	4.3	-	-	39.1	4.3
	男性 10・20歳代	6	1	2	-	-	-	-	3	-
		100.0	16.7	33.3	-	-	-	-	50.0	-
10		1	1	1	-	-	-	6	-	
100.0		10.0	10.0	10.0	-	-	-	60.0	-	
9		1	1	-	1	-	-	4	2	
100.0		11.1	11.1	-	11.1	-	-	44.4	22.2	
12		5	1	-	-	-	-	5	1	
100.0	41.7	8.3	-	-	-	-	41.7	8.3		
60歳代	17	3	6	-	1	-	-	5	3	
	100.0	17.6	35.3	-	5.9	-	-	29.4	17.6	
70歳代	13	2	1	-	-	-	1	8	1	
	100.0	15.4	7.7	-	-	-	7.7	61.5	7.7	



付問2-1. 【付問2で「7. 相談しなかった」と答えた方に】

相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	な ど こ に 相 談 し て い い か 分 か ら な か っ た	人 に 知 ら れ た く な か っ た	相 談 し て も 無 駄 だ と 思 っ た	相 談 し た こ と が わ か る と 仕 返 し を さ れ る と 思 っ た	自 分 さ え 我 慢 す れ ば 何 と か や っ て い け る と 思 っ た	恥 ず か し い と 思 っ た	世 間 体 が 悪 い と 思 っ た	他 人 を 巻 き 込 み た く な か っ た	自 分 に も 悪 い と こ ろ が あ る と 思 っ た	相 談 す る ほ ど で は な い と 思 っ た	セ ク ハ ラ だ と 思 わ な か っ た の で 、 何 も し な か っ た	そ の 他	無 回 答
性・年代別	女性 10・20歳代	19	2	1	3	-	2	1	-	1	1	16	10	1	-
		100.0	10.5	5.3	15.8	-	10.5	5.3	-	5.3	5.3	84.2	52.6	5.3	-
	30歳代	35	5	4	15	3	7	3	1	2	2	20	5	3	-
		100.0	14.3	11.4	42.9	8.6	20.0	8.6	2.9	5.7	5.7	57.1	14.3	8.6	-
	40歳代	28	3	7	12	2	6	5	1	1	1	12	4	1	-
		100.0	10.7	25.0	42.9	7.1	21.4	17.9	3.6	3.6	3.6	42.9	14.3	3.6	-
	50歳代	34	2	5	14	3	10	3	2	2	1	17	4	1	-
		100.0	5.9	14.7	41.2	8.8	29.4	8.8	5.9	5.9	2.9	50.0	11.8	2.9	-
	60歳代	26	1	1	12	-	4	1	1	-	1	15	2	2	1
		100.0	3.8	3.8	46.2	-	15.4	3.8	3.8	-	3.8	57.7	7.7	7.7	3.8
	70歳代	9	1	2	1	-	1	1	-	1	-	5	2	1	-
		100.0	11.1	22.2	11.1	-	11.1	11.1	-	11.1	-	55.6	22.2	11.1	-
	男性 10・20歳代	3	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	1	1	-
		100.0	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-
	30歳代	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
		100.0	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-
	40歳代	4	-	-	3	-	-	1	-	-	-	2	1	-	-
		100.0	-	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-	50.0	25.0	-	-
50歳代	5	-	-	3	-	1	-	-	-	1	2	-	-	-	
	100.0	-	-	60.0	-	20.0	-	-	-	20.0	40.0	-	-	-	
60歳代	5	2	1	1	-	1	-	1	2	-	4	-	-	-	
	100.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	40.0	-	80.0	-	-	-	
70歳代	8	-	1	3	1	2	-	1	-	-	3	3	-	-	
	100.0	-	12.5	37.5	12.5	25.0	-	12.5	-	-	37.5	37.5	-	-	



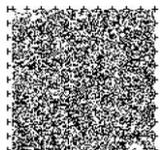
問 21. 次のことが配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中も含む）や交際相手の間で行われた場合、暴力だと思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○印をつけてください。

(ア) 素手でたたく。殴る・蹴る・体を傷つける可能性のあるもので殴る

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	40 74.1	12 22.2	-	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	70 84.3	11 13.3	-	2 2.4	
	40歳代	114 100.0	98 86.0	11 9.6	1 0.9	4 3.5	
	50歳代	111 100.0	99 89.2	8 7.2	-	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	131 81.9	15 9.4	-	14 8.8	
	70歳代	107 100.0	74 69.2	11 10.3	-	22 20.6	
	男性 10・20歳代	35 100.0	25 71.4	9 25.7	-	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	35 74.5	9 19.1	-	3 6.4	
	40歳代	58 100.0	50 86.2	5 8.6	-	3 5.2	
	50歳代	77 100.0	62 80.5	10 13.0	1 1.3	4 5.2	
	60歳代	130 100.0	99 76.2	14 10.8	-	17 13.1	
	70歳代	109 100.0	83 76.1	12 11.0	-	14 12.8	
	固 定 的 性 別 意 識 割	同感する	35 100.0	22 62.9	6 17.1	-	7 20.0
		ある程度同感する	313 100.0	244 78.0	35 11.2	1 0.3	33 10.5
あまり同感しない		377 100.0	290 76.9	51 13.5	1 0.3	35 9.3	
同感しない		360 100.0	304 84.4	31 8.6	-	25 6.9	

(イ) 首を絞める

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	51 94.4	1 1.9	-	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	78 94.0	3 3.6	-	2 2.4	
	40歳代	114 100.0	109 95.6	1 0.9	1 0.9	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	106 95.5	1 0.9	-	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	144 90.0	1 0.6	-	15 9.4	
	70歳代	107 100.0	80 74.8	2 1.9	-	25 23.4	
	男性 10・20歳代	35 100.0	31 88.6	3 8.6	-	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	41 87.2	3 6.4	-	3 6.4	
	40歳代	58 100.0	52 89.7	3 5.2	-	3 5.2	
	50歳代	77 100.0	71 92.2	1 1.3	1 1.3	4 5.2	
	60歳代	130 100.0	108 83.1	3 2.3	-	19 14.6	
	70歳代	109 100.0	91 83.5	5 4.6	-	13 11.9	
	固 定 的 性 別 意 識 割	同感する	35 100.0	23 65.7	3 8.6	-	9 25.7
		ある程度同感する	313 100.0	273 87.2	7 2.2	1 0.3	32 10.2
あまり同感しない		377 100.0	327 86.7	12 3.2	1 0.3	37 9.8	
同感しない		360 100.0	331 91.9	4 1.1	-	25 6.9	

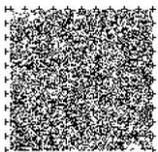


(ウ) 相手に向かって物を投げつける

上段:実数 下段:%	全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答		
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	44 81.5	8 14.8	-	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	62 74.7	18 21.7	1 1.2	2 2.4	
	40歳代	114 100.0	83 72.8	27 23.7	1 0.9	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	83 74.8	24 21.6	-	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	117 73.1	26 16.3	2 1.3	15 9.4	
	70歳代	107 100.0	65 60.7	16 15.0	-	26 24.3	
	男性 10・20歳代	35 100.0	27 77.1	7 20.0	-	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	29 61.7	15 31.9	-	3 6.4	
	40歳代	58 100.0	44 75.9	11 19.0	-	3 5.2	
	50歳代	77 100.0	56 72.7	15 19.5	1 1.3	5 6.5	
	60歳代	130 100.0	88 67.7	24 18.5	-	18 13.8	
	70歳代	109 100.0	78 71.6	17 15.6	1 0.9	13 11.9	
	固 定 的 分 担 意 識 別 役 割	同感する	35 100.0	15 42.9	12 34.3	-	8 22.9
		ある程度同感する	313 100.0	207 66.1	68 21.7	3 1.0	35 11.2
あまり同感しない		377 100.0	255 67.6	82 21.8	3 0.8	37 9.8	
同感しない		360 100.0	290 80.6	46 12.8	-	24 6.7	

(エ) 殴るふりやドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして脅す

上段:実数 下段:%	全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答		
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	37 68.5	14 25.9	1 1.9	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	60 72.3	21 25.3	-	2 2.4	
	40歳代	114 100.0	81 71.1	27 23.7	3 2.6	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	82 73.9	24 21.6	1 0.9	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	89 55.6	50 31.3	4 2.5	17 10.6	
	70歳代	107 100.0	47 43.9	31 29.0	3 2.8	26 24.3	
	男性 10・20歳代	35 100.0	25 71.4	9 25.7	-	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	25 53.2	18 38.3	-	4 8.5	
	40歳代	58 100.0	38 65.5	14 24.1	3 5.2	3 5.2	
	50歳代	77 100.0	42 54.5	28 36.4	2 2.6	5 6.5	
	60歳代	130 100.0	69 53.1	39 30.0	3 2.3	19 14.6	
	70歳代	109 100.0	49 45.0	43 39.4	4 3.7	13 11.9	
	固 定 的 分 担 意 識 別 役 割	同感する	35 100.0	12 34.3	13 37.1	1 2.9	9 25.7
		ある程度同感する	313 100.0	157 50.2	113 36.1	8 2.6	35 11.2
あまり同感しない		377 100.0	226 59.9	107 28.4	6 1.6	38 10.1	
同感しない		360 100.0	248 68.9	78 21.7	9 2.5	25 6.9	

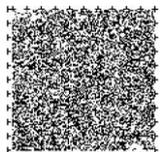


(オ) 何を言っても無視する

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	16 29.6	27 50.0	9 16.7	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	29 34.9	41 49.4	12 14.5	1 1.2	
	40歳代	114 100.0	43 37.7	56 49.1	11 9.6	4 3.5	
	50歳代	111 100.0	41 36.9	53 47.7	11 9.9	6 5.4	
	60歳代	160 100.0	53 33.1	70 43.8	18 11.3	19 11.9	
	70歳代	107 100.0	18 16.8	41 38.3	21 19.6	27 25.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	17 48.6	12 34.3	5 14.3	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	12 25.5	19 40.4	13 27.7	3 6.4	
	40歳代	58 100.0	14 24.1	33 56.9	7 12.1	4 6.9	
	50歳代	77 100.0	22 28.6	40 51.9	9 11.7	6 7.8	
	60歳代	130 100.0	21 16.2	70 53.8	19 14.6	20 15.4	
	70歳代	109 100.0	24 22.0	45 41.3	24 22.0	16 14.7	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	5 14.3	16 45.7	4 11.4	10 28.6
		ある程度同感する	313 100.0	76 24.3	146 46.6	53 16.9	38 12.1
あまり同感しない		377 100.0	96 25.5	184 48.8	58 15.4	39 10.3	
同感しない		360 100.0	133 36.9	152 42.2	45 12.5	30 8.3	

(カ) 大声で怒鳴る

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	22 40.7	26 48.1	4 7.4	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	43 51.8	35 42.2	3 3.6	2 2.4	
	40歳代	114 100.0	63 55.3	44 38.6	4 3.5	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	68 61.3	38 34.2	1 0.9	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	76 47.5	59 36.9	9 5.6	16 10.0	
	70歳代	107 100.0	32 29.9	38 35.5	9 8.4	28 26.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	15 42.9	15 42.9	4 11.4	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	15 31.9	21 44.7	8 17.0	3 6.4	
	40歳代	58 100.0	28 48.3	23 39.7	3 5.2	4 6.9	
	50歳代	77 100.0	28 36.4	40 51.9	4 5.2	5 6.5	
	60歳代	130 100.0	40 30.8	60 46.2	10 7.7	20 15.4	
	70歳代	109 100.0	32 29.4	47 43.1	15 13.8	15 13.8	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	7 20.0	16 45.7	3 8.6	9 25.7
		ある程度同感する	313 100.0	114 36.4	138 44.1	28 8.9	33 10.5
あまり同感しない		377 100.0	154 40.8	159 42.2	24 6.4	40 10.6	
同感しない		360 100.0	184 51.1	126 35.0	19 5.3	31 8.6	

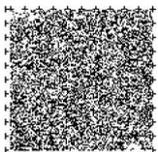


(キ) 「誰のおかげで生活できるんだ」、「甲斐性無し」などと言う

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	43 79.6	5 9.3	4 7.4	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	59 71.1	19 22.9	3 3.6	2 2.4	
	40歳代	114 100.0	81 71.1	25 21.9	3 2.6	5 4.4	
	50歳代	111 100.0	80 72.1	20 18.0	4 3.6	7 6.3	
	60歳代	160 100.0	100 62.5	35 21.9	10 6.3	15 9.4	
	70歳代	107 100.0	52 48.6	24 22.4	7 6.5	24 22.4	
	男性 10・20歳代	35 100.0	20 57.1	13 37.1	1 2.9	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	23 48.9	16 34.0	5 10.6	3 6.4	
	40歳代	58 100.0	34 58.6	16 27.6	4 6.9	4 6.9	
	50歳代	77 100.0	39 50.6	33 42.9	1 1.3	4 5.2	
	60歳代	130 100.0	52 40.0	48 36.9	11 8.5	19 14.6	
	70歳代	109 100.0	47 43.1	31 28.4	14 12.8	17 15.6	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	8 22.9	13 37.1	3 8.6	11 31.4
		ある程度同感する	313 100.0	165 52.7	86 27.5	26 8.3	36 11.5
あまり同感しない		377 100.0	207 54.9	111 29.4	21 5.6	38 10.1	
同感しない		360 100.0	246 68.3	71 19.7	17 4.7	26 7.2	

(ク) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	44 81.5	7 13.0	1 1.9	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	67 80.7	12 14.5	1 1.2	3 3.6	
	40歳代	114 100.0	96 84.2	13 11.4	1 0.9	4 3.5	
	50歳代	111 100.0	96 86.5	9 8.1	1 0.9	5 4.5	
	60歳代	160 100.0	121 75.6	22 13.8	3 1.9	14 8.8	
	70歳代	107 100.0	59 55.1	21 19.6	2 1.9	25 23.4	
	男性 10・20歳代	35 100.0	30 85.7	4 11.4	-	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	35 74.5	7 14.9	1 2.1	4 8.5	
	40歳代	58 100.0	46 79.3	7 12.1	2 3.4	3 5.2	
	50歳代	77 100.0	57 74.0	16 20.8	-	4 5.2	
	60歳代	130 100.0	89 68.5	20 15.4	3 2.3	18 13.8	
	70歳代	109 100.0	68 62.4	23 21.1	4 3.7	14 12.8	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	14 40.0	9 25.7	2 5.7	10 28.6
		ある程度同感する	313 100.0	213 68.1	56 17.9	8 2.6	36 11.5
あまり同感しない		377 100.0	276 73.2	63 16.7	3 0.8	35 9.3	
同感しない		360 100.0	296 82.2	33 9.2	6 1.7	25 6.9	

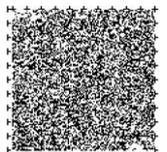


(ケ) 相手が嫌がっているのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	39 72.2	9 16.7	4 7.4	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	61 73.5	15 18.1	4 4.8	3 3.6	
	40歳代	114 100.0	90 78.9	15 13.2	5 4.4	4 3.5	
	50歳代	111 100.0	90 81.1	16 14.4	1 0.9	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	105 65.6	32 20.0	6 3.8	17 10.6	
	70歳代	107 100.0	58 54.2	11 10.3	10 9.3	28 26.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	28 80.0	4 11.4	2 5.7	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	30 63.8	8 17.0	4 8.5	5 10.6	
	40歳代	58 100.0	36 62.1	14 24.1	3 5.2	5 8.6	
	50歳代	77 100.0	50 64.9	22 28.6	1 1.3	4 5.2	
	60歳代	130 100.0	77 59.2	30 23.1	4 3.1	19 14.6	
	70歳代	109 100.0	57 52.3	28 25.7	9 8.3	15 13.8	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	10 28.6	11 31.4	3 8.6	11 31.4
		ある程度同感する	313 100.0	190 60.7	68 21.7	18 5.8	37 11.8
あまり同感しない		377 100.0	254 67.4	71 18.8	14 3.7	38 10.1	
同感しない		360 100.0	260 72.2	52 14.4	18 5.0	30 8.3	

(コ) 避妊に協力しない

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	42 77.8	6 11.1	4 7.4	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	60 72.3	17 20.5	3 3.6	3 3.6	
	40歳代	114 100.0	85 74.6	18 15.8	8 7.0	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	80 72.1	25 22.5	2 1.8	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	90 56.3	46 28.8	5 3.1	19 11.9	
	70歳代	107 100.0	44 41.1	24 22.4	10 9.3	29 27.1	
	男性 10・20歳代	35 100.0	25 71.4	7 20.0	2 5.7	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	30 63.8	11 23.4	1 2.1	5 10.6	
	40歳代	58 100.0	37 63.8	12 20.7	4 6.9	5 8.6	
	50歳代	77 100.0	45 58.4	25 32.5	2 2.6	5 6.5	
	60歳代	130 100.0	56 43.1	43 33.1	10 7.7	21 16.2	
	70歳代	109 100.0	38 34.9	35 32.1	16 14.7	20 18.3	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	10 28.6	12 34.3	2 5.7	11 31.4
		ある程度同感する	313 100.0	160 51.1	89 28.4	24 7.7	40 12.8
あまり同感しない		377 100.0	225 59.7	93 24.7	20 5.3	39 10.3	
同感しない		360 100.0	233 64.7	72 20.0	21 5.8	34 9.4	

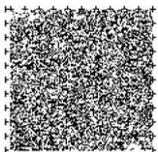


(サ) 生活費など必要なお金を渡さない

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	37 68.5	10 18.5	5 9.3	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	59 71.1	16 19.3	4 4.8	4 4.8	
	40歳代	114 100.0	87 76.3	15 13.2	8 7.0	4 3.5	
	50歳代	111 100.0	75 67.6	24 21.6	7 6.3	5 4.5	
	60歳代	160 100.0	96 60.0	28 17.5	17 10.6	19 11.9	
	70歳代	107 100.0	50 46.7	17 15.9	13 12.1	27 25.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	20 57.1	10 28.6	4 11.4	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	33 70.2	8 17.0	2 4.3	4 8.5	
	40歳代	58 100.0	35 60.3	15 25.9	3 5.2	5 8.6	
	50歳代	77 100.0	40 51.9	29 37.7	2 2.6	6 7.8	
	60歳代	130 100.0	52 40.0	40 30.8	19 14.6	19 14.6	
	70歳代	109 100.0	39 35.8	33 30.3	19 17.4	18 16.5	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	8 22.9	16 45.7	1 2.9	10 28.6
		ある程度同感する	313 100.0	171 54.6	70 22.4	33 10.5	39 12.5
あまり同感しない		377 100.0	216 57.3	90 23.9	32 8.5	39 10.3	
同感しない		360 100.0	222 61.7	67 18.6	36 10.0	35 9.7	

(シ) 生活費を必要以上に細かくチェックする

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	18 33.3	23 42.6	11 20.4	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	28 33.7	39 47.0	13 15.7	3 3.6	
	40歳代	114 100.0	47 41.2	50 43.9	13 11.4	4 3.5	
	50歳代	111 100.0	36 32.4	56 50.5	15 13.5	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	62 38.8	61 38.1	18 11.3	19 11.9	
	70歳代	107 100.0	30 28.0	26 24.3	24 22.4	27 25.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	9 25.7	18 51.4	7 20.0	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	9 19.1	26 55.3	8 17.0	4 8.5	
	40歳代	58 100.0	10 17.2	29 50.0	13 22.4	6 10.3	
	50歳代	77 100.0	14 18.2	48 62.3	9 11.7	6 7.8	
	60歳代	130 100.0	19 14.6	55 42.3	36 27.7	20 15.4	
	70歳代	109 100.0	19 17.4	44 40.4	27 24.8	19 17.4	
	固 定 的 性 別 役 割 分 担 意 識	同感する	35 100.0	2 5.7	16 45.7	6 17.1	11 31.4
		ある程度同感する	313 100.0	66 21.1	145 46.3	62 19.8	40 12.8
あまり同感しない		377 100.0	99 26.3	174 46.2	67 17.8	37 9.8	
同感しない		360 100.0	132 36.7	135 37.5	59 16.4	34 9.4	

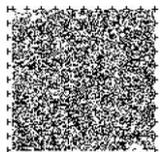


(ス) 身内や友達との付き合いや外出を制限する

上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	24 44.4	20 37.0	8 14.8	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	40 48.2	30 36.1	10 12.0	3 3.6	
	40歳代	114 100.0	66 57.9	31 27.2	14 12.3	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	64 57.7	33 29.7	10 9.0	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	71 44.4	55 34.4	18 11.3	16 10.0	
	70歳代	107 100.0	30 28.0	31 29.0	19 17.8	27 25.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	11 31.4	20 57.1	3 8.6	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	17 36.2	23 48.9	3 6.4	4 8.5	
	40歳代	58 100.0	18 31.0	28 48.3	7 12.1	5 8.6	
	50歳代	77 100.0	23 29.9	45 58.4	4 5.2	5 6.5	
	60歳代	130 100.0	28 21.5	61 46.9	21 16.2	20 15.4	
	70歳代	109 100.0	29 26.6	41 37.6	21 19.3	18 16.5	
	固 定 的 性 別 役 割	同感する	35 100.0	2 5.7	17 48.6	5 14.3	11 31.4
		ある程度同感する	313 100.0	102 32.6	128 40.9	46 14.7	37 11.8
あまり同感しない		377 100.0	144 38.2	148 39.3	48 12.7	37 9.8	
同感しない		360 100.0	170 47.2	120 33.3	38 10.6	32 8.9	

(セ) 携帯電話やメール等通信履歴をチェックする

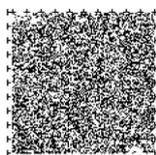
上段:実数 下段:%		全 体	どんな場合でも 暴力にあたる	暴力にあたる場 合もそうでない 場合もある	暴力にはあたら ない	無回答	
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	23 42.6	20 37.0	9 16.7	2 3.7	
	30歳代	83 100.0	34 41.0	35 42.2	11 13.3	3 3.6	
	40歳代	114 100.0	63 55.3	34 29.8	14 12.3	3 2.6	
	50歳代	111 100.0	58 52.3	37 33.3	12 10.8	4 3.6	
	60歳代	160 100.0	84 52.5	41 25.6	17 10.6	18 11.3	
	70歳代	107 100.0	35 32.7	29 27.1	15 14.0	28 26.2	
	男性 10・20歳代	35 100.0	13 37.1	15 42.9	6 17.1	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	20 42.6	18 38.3	5 10.6	4 8.5	
	40歳代	58 100.0	16 27.6	30 51.7	6 10.3	6 10.3	
	50歳代	77 100.0	28 36.4	41 53.2	4 5.2	4 5.2	
	60歳代	130 100.0	46 35.4	44 33.8	20 15.4	20 15.4	
	70歳代	109 100.0	36 33.0	35 32.1	20 18.3	18 16.5	
	固 定 的 性 別 役 割	同感する	35 100.0	2 5.7	18 51.4	4 11.4	11 31.4
		ある程度同感する	313 100.0	124 39.6	104 33.2	49 15.7	36 11.5
あまり同感しない		377 100.0	153 40.6	137 36.3	48 12.7	39 10.3	
同感しない		360 100.0	177 49.2	114 31.7	37 10.3	32 8.9	



問 22. あなたは、この5年間に配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中も含む）や交際相手から下表のような暴力を受けたことがありますか。1から5において、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び○印をつけてください。

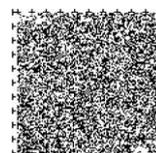
1. 身体的暴力（素手でたたく。殴る・蹴る。体を傷つける可能性のあるもので殴る。首を絞める。相手に向かって物を投げる）

上段:実数 下段:%		全 体	何度もあった	1~2度あった	なかった	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	49 100.0	- -	4 8.2	40 81.6	5 10.2	
	30歳代	77 100.0	1 1.3	11 14.3	61 79.2	4 5.2	
	40歳代	105 100.0	3 2.9	7 6.7	91 86.7	4 3.8	
	50歳代	103 100.0	5 4.9	6 5.8	87 84.5	5 4.9	
	60歳代	151 100.0	2 1.3	6 4.0	125 82.8	18 11.9	
	70歳代	97 100.0	3 3.1	9 9.3	55 56.7	30 30.9	
	男性 10・20歳代	27 100.0	- -	1 3.7	21 77.8	5 18.5	
	30歳代	41 100.0	- -	7 17.1	28 68.3	6 14.6	
	40歳代	51 100.0	3 5.9	6 11.8	37 72.5	5 9.8	
	50歳代	72 100.0	- -	3 4.2	62 86.1	7 9.7	
	60歳代	126 100.0	1 0.8	3 2.4	99 78.6	23 18.3	
	70歳代	106 100.0	2 1.9	4 3.8	80 75.5	20 18.9	
	婚姻別	結婚している	819 100.0	14 1.7	48 5.9	685 83.6	72 8.8
		配偶者(パートナー)と離別	42 100.0	2 4.8	7 16.7	15 35.7	18 42.9
配偶者(パートナー)と死別		36 100.0	2 5.6	- -	20 55.6	14 38.9	
結婚していない		109 100.0	2 1.8	11 10.1	68 62.4	28 25.7	



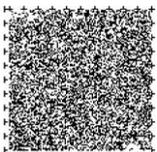
2. 精神的暴力（殴るふりやドアを蹴ったり、壁に物を投げつけて脅す。何を言っても無視する。大声で怒鳴る。「誰のおかげで生活できているんだ」「甲斐性無し」などと言う。）

上段:実数 下段:%		全 体	何度もあった	1~2度あった	なかった	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	49	4	1	40	4
		100.0	8.2	2.0	81.6	8.2
	30歳代	77	5	15	53	4
		100.0	6.5	19.5	68.8	5.2
	40歳代	105	8	15	77	5
		100.0	7.6	14.3	73.3	4.8
	50歳代	103	12	15	71	5
		100.0	11.7	14.6	68.9	4.9
	60歳代	151	6	19	110	16
		100.0	4.0	12.6	72.8	10.6
	70歳代	97	10	3	50	34
		100.0	10.3	3.1	51.5	35.1
	男性 10・20歳代	27	-	1	21	5
		100.0	-	3.7	77.8	18.5
30歳代		41	1	5	28	7
		100.0	2.4	12.2	68.3	17.1
40歳代		51	4	9	34	4
		100.0	7.8	17.6	66.7	7.8
50歳代		72	-	5	60	7
	100.0	-	6.9	83.3	9.7	
60歳代	126	2	11	91	22	
	100.0	1.6	8.7	72.2	17.5	
70歳代	106	3	10	72	21	
	100.0	2.8	9.4	67.9	19.8	
婚姻別	結婚している	819	39	95	610	75
		100.0	4.8	11.6	74.5	9.2
	配偶者(パートナー)と離別	42	8	5	12	17
		100.0	19.0	11.9	28.6	40.5
	配偶者(パートナー)と死別	36	2	3	17	14
100.0		5.6	8.3	47.2	38.9	
結婚していない	109	6	6	70	27	
	100.0	5.5	5.5	64.2	24.8	



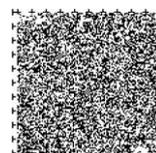
3. 性的暴力(望まない性行為を強要する、見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる。
避妊に協力しない)

上段:実数 下段:%		全 体	何度もあった	1~2度あった	なかった	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	49	2	5	38	4
		100.0	4.1	10.2	77.6	8.2
	30歳代	77	1	6	67	3
		100.0	1.3	7.8	87.0	3.9
	40歳代	105	4	6	91	4
		100.0	3.8	5.7	86.7	3.8
	50歳代	103	6	8	82	7
		100.0	5.8	7.8	79.6	6.8
	60歳代	151	1	7	120	23
		100.0	0.7	4.6	79.5	15.2
	70歳代	97	3	4	56	34
		100.0	3.1	4.1	57.7	35.1
	男性 10・20歳代	27	-	-	22	5
		100.0	-	-	81.5	18.5
30歳代		41	-	-	34	7
		100.0	-	-	82.9	17.1
40歳代		51	1	-	44	6
		100.0	2.0	-	86.3	11.8
50歳代		72	-	-	65	7
	100.0	-	-	90.3	9.7	
60歳代	126	-	2	101	23	
	100.0	-	1.6	80.2	18.3	
70歳代	106	2	2	81	21	
	100.0	1.9	1.9	76.4	19.8	
婚姻別	結婚している	819	15	32	692	80
		100.0	1.8	3.9	84.5	9.8
	配偶者(パートナー)と離別	42	4	1	17	20
		100.0	9.5	2.4	40.5	47.6
	配偶者(パートナー)と死別	36	1	1	20	14
100.0		2.8	2.8	55.6	38.9	
結婚していない	109	1	6	74	28	
	100.0	0.9	5.5	67.9	25.7	



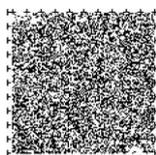
4. 経済的暴力（生活費など必要なお金を渡さない、生活費を細かくチェックする）

上段:実数 下段:%		全 体	何度もあった	1～2度あった	なかった	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	49	-	2	43	4
		100.0	-	4.1	87.8	8.2
	30歳代	77	4	1	68	4
		100.0	5.2	1.3	88.3	5.2
	40歳代	105	5	7	89	4
		100.0	4.8	6.7	84.8	3.8
	50歳代	103	7	3	87	6
		100.0	6.8	2.9	84.5	5.8
	60歳代	151	3	5	126	17
		100.0	2.0	3.3	83.4	11.3
	70歳代	97	2	6	54	35
		100.0	2.1	6.2	55.7	36.1
	男性 10・20歳代	27	-	-	22	5
		100.0	-	-	81.5	18.5
30歳代		41	2	1	31	7
		100.0	4.9	2.4	75.6	17.1
40歳代		51	1	-	44	6
		100.0	2.0	-	86.3	11.8
50歳代		72	-	-	65	7
	100.0	-	-	90.3	9.7	
60歳代	126	-	2	101	23	
	100.0	-	1.6	80.2	18.3	
70歳代	106	2	2	81	21	
	100.0	1.9	1.9	76.4	19.8	
婚 姻 別	結婚している	819	13	26	701	79
		100.0	1.6	3.2	85.6	9.6
	配偶者(パート ナー)と離別	42	7	-	18	17
		100.0	16.7	-	42.9	40.5
	配偶者(パート ナー)と死別	36	1	1	20	14
100.0		2.8	2.8	55.6	38.9	
結婚していない	109	5	2	74	28	
	100.0	4.6	1.8	67.9	25.7	



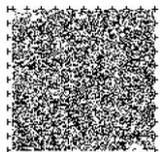
5. 社会的暴力（身内や友達とのつきあいや外出を禁止された、携帯電話のメールや通信履歴をチェックされた）

上段:実数 下段:%		全 体	何度もあった	1~2度あった	なかった	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	49 100.0	1 2.0	4 8.2	40 81.6	4 8.2	
	30歳代	77 100.0	2 2.6	7 9.1	64 83.1	4 5.2	
	40歳代	105 100.0	5 4.8	2 1.9	94 89.5	4 3.8	
	50歳代	103 100.0	6 5.8	2 1.9	89 86.4	6 5.8	
	60歳代	151 100.0	3 2.0	5 3.3	127 84.1	16 10.6	
	70歳代	97 100.0	3 3.1	3 3.1	56 57.7	35 36.1	
	男性 10・20歳代	27 100.0	- -	1 3.7	21 77.8	5 18.5	
	30歳代	41 100.0	2 4.9	4 9.8	28 68.3	7 17.1	
	40歳代	51 100.0	2 3.9	2 3.9	41 80.4	6 11.8	
	50歳代	72 100.0	- -	1 1.4	64 88.9	7 9.7	
	60歳代	126 100.0	- -	2 1.6	101 80.2	23 18.3	
	70歳代	106 100.0	3 2.8	1 0.9	82 77.4	20 18.9	
	婚姻別	結婚している	819 100.0	19 2.3	24 2.9	700 85.5	76 9.3
		配偶者(パートナー)と離別	42 100.0	4 9.5	4 9.5	16 38.1	18 42.9
配偶者(パートナー)と死別		36 100.0	1 2.8	- -	21 58.3	14 38.9	
結婚していない		109 100.0	3 2.8	6 5.5	72 66.1	28 25.7	



今までパートナーがいなかった

上段:実数 下段:%		全 体	はい	いいえ	無回答	
性・年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	5 9.3	1 1.9	48 88.9	
	30歳代	83 100.0	6 7.2	-	77 92.8	
	40歳代	114 100.0	9 7.9	-	105 92.1	
	50歳代	111 100.0	8 7.2	1 0.9	102 91.9	
	60歳代	160 100.0	9 5.6	1 0.6	150 93.8	
	70歳代	107 100.0	10 9.3	1 0.9	96 89.7	
	男性 10・20歳代	35 100.0	8 22.9	-	27 77.1	
	30歳代	47 100.0	6 12.8	-	41 87.2	
	40歳代	58 100.0	7 12.1	-	51 87.9	
	50歳代	77 100.0	5 6.5	1 1.3	71 92.2	
	60歳代	130 100.0	4 3.1	1 0.8	125 96.2	
	70歳代	109 100.0	3 2.8	-	106 97.2	
	婚姻別	結婚している	821 100.0	2 0.2	6 0.7	813 99.0
		配偶者(パートナー)と離別	51 100.0	9 17.6	-	42 82.4
配偶者(パートナー)と死別		46 100.0	10 21.7	-	36 78.3	
結婚していない		169 100.0	60 35.5	-	109 64.5	

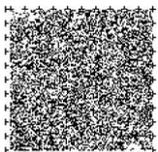


付問1. 【問22で1から5のいずれかの暴力を受けたことがあると答えた方に】
 あなたはこれまでに、受けた行為について、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	相談した	相談しなかった (できなかった)	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	13	6	7	-
		100.0	46.2	53.8	-
	30歳代	30	12	16	2
		100.0	40.0	53.3	6.7
	40歳代	31	14	16	1
		100.0	45.2	51.6	3.2
	50歳代	32	15	17	-
		100.0	46.9	53.1	-
	60歳代	36	9	21	6
		100.0	25.0	58.3	16.7
	70歳代	21	6	12	3
		100.0	28.6	57.1	14.3
	男性 10・20歳代	2	-	2	-
		100.0	-	100.0	-
30歳代		11	2	7	2
		100.0	18.2	63.6	18.2
40歳代		14	1	12	1
		100.0	7.1	85.7	7.1
50歳代		7	1	5	1
		100.0	14.3	71.4	14.3
60歳代	16	7	7	2	
	100.0	43.8	43.8	12.5	
70歳代	19	4	14	1	
	100.0	21.1	73.7	5.3	

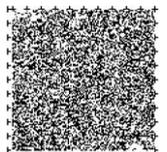
付問1-1. 【付問1で「相談した」と答えた方に】
 そのとき、だれ（どこ）に相談しましたか。（○印はあてはまるものすべて）

上段:実数 下段:%		全 体	家族、親 戚	友人、知 人	警察・交 番	久留米市 男女平等 推進セン ター	久留米市 家庭子ど も相談課	4、5以外 の公的な 相談機関	人権擁護 委員、民 生委員	弁護士	医師、カ ウンセ ラー	その他	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	6	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	33.3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	12	8	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	66.7	66.7	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	14	10	10	1	2	2	-	-	-	-	-	-
		100.0	71.4	71.4	7.1	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-
	50歳代	15	8	11	1	2	-	2	-	2	3	1	-
		100.0	53.3	73.3	6.7	13.3	-	13.3	-	13.3	20.0	6.7	-
	60歳代	9	8	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-
		100.0	88.9	22.2	-	-	-	-	-	11.1	22.2	-	-
	70歳代	6	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	66.7	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 10・20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
100.0		50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
1		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100.0		-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100.0		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7		2	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
100.0	28.6	71.4	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-		
4	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-		
100.0	50.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-		



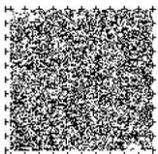
付問1-2. 【付問1で「相談しなかった（できなかった）」と答えた方に】
 だれ（どこ）にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。（○印はあてはまるものすべて）

上段:実数 下段:%	全体	どこに相談しなかった	人に知られたくなかった	相談しても無駄だと思った	相談したことがわかると仕事をされると思った	自分さえ我慢すれば何とかやっつけていけると思った	恥ずかしいと思った	世間体が悪いと思った	他人を巻き込みたくなかった	自分にも悪いところがあると思った	相談するほどではないと思った	その他	無回答
女性 10・20歳代	1000	14.3	28.6	28.6	-	-	-	14.3	28.6	42.9	42.9	-	-
30歳代	1000	6.3	12.5	37.5	-	31.3	6.3	-	18.8	25.0	31.3	-	-
40歳代	1000	3	6	3	-	4	1	1	2	5	8	-	-
50歳代	1000	5.9	29.4	29.4	-	29.4	17.6	5.9	17.6	11.8	35.3	11.8	5.9
60歳代	1000	4.8	23.8	23.8	4.8	19.0	14.3	9.5	9.5	28.6	33.3	-	4.8
70歳代	1000	8.3	33.3	50.0	8.3	58.3	8.3	16.7	16.7	-	41.7	-	-
男性 10・20歳代	1000	-	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0	50.0	-	-
30歳代	1000	-	-	1	-	-	-	-	14.3	14.3	57.1	14.3	-
40歳代	1000	-	3	5	1	2	-	2	-	6	3	-	1
50歳代	1000	-	-	-	-	-	1	1	-	1	4	-	-
60歳代	1000	14.3	-	-	-	-	-	-	-	14.3	71.4	-	-
70歳代	1000	-	2	6	1	2	2	3	2	3	9	-	-



問 23. あなたは、女性に対する暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	暴力防止のための教育啓発を推進する	被害を受けた人への情報を提供する	被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する	被害者を保護する体制を充実する	被害者が自立して生活できるように支援する	その他	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	31	27	36	41	32	3	2
		100.0	57.4	50.0	66.7	75.9	59.3	5.6	3.7
	30歳代	83	36	30	48	57	44	7	2
		100.0	43.4	36.1	57.8	68.7	53.0	8.4	2.4
	40歳代	114	51	47	63	76	67	3	1
		100.0	44.7	41.2	55.3	66.7	58.8	2.6	0.9
	50歳代	111	53	46	77	81	70	4	3
		100.0	47.7	41.4	69.4	73.0	63.1	3.6	2.7
	60歳代	160	68	56	103	100	105	2	8
		100.0	42.5	35.0	64.4	62.5	65.6	1.3	5.0
	70歳代	107	41	15	60	48	49	1	23
		100.0	38.3	14.0	56.1	44.9	45.8	0.9	21.5
	男性 10・20歳代	35	20	15	21	27	17	1	1
		100.0	57.1	42.9	60.0	77.1	48.6	2.9	2.9
30歳代	47	25	19	31	30	16	3	2	
	100.0	53.2	40.4	66.0	63.8	34.0	6.4	4.3	
40歳代	58	19	18	35	40	28	4	5	
	100.0	32.8	31.0	60.3	69.0	48.3	6.9	8.6	
50歳代	77	36	23	49	58	32	2	3	
	100.0	46.8	29.9	63.6	75.3	41.6	2.6	3.9	
60歳代	130	55	37	78	85	59	7	15	
	100.0	42.3	28.5	60.0	65.4	45.4	5.4	11.5	
70歳代	109	64	37	74	58	47	1	11	
	100.0	58.7	33.9	67.9	53.2	43.1	0.9	10.1	
性被害の有無別	じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた	153	82	65	95	107	91	7	5
		100.0	53.6	42.5	62.1	69.9	59.5	4.6	3.3
	性的な関係を強要された	35	22	8	19	17	16	3	1
		100.0	62.9	22.9	54.3	48.6	45.7	8.6	2.9
	からだに触られた	132	65	45	78	84	83	9	3
		100.0	49.2	34.1	59.1	63.6	62.9	6.8	2.3
	食事などにつこく誘われた	73	36	26	44	43	43	2	3
		100.0	49.3	35.6	60.3	58.9	58.9	2.7	4.1
	性的なジョークを言われたり、猥談(わいだん)がかわされた	151	78	64	92	103	95	11	1
		100.0	51.7	42.4	60.9	68.2	62.9	7.3	0.7
	身体に関して不愉快になる言葉や冗談を言われた	130	65	47	78	92	81	5	3
100.0		50.0	36.2	60.0	70.8	62.3	3.8	2.3	
ヌード写真やわいせつな本を見せられた	18	11	9	14	13	8	-	-	
	100.0	61.1	50.0	77.8	72.2	44.4	-	-	
性的なうわさを流された	21	12	5	12	14	8	1	-	
	100.0	57.1	23.8	57.1	66.7	38.1	4.8	-	
宴席でお酌やデュエット、ダンスを強要された	86	48	34	54	60	50	8	2	
	100.0	55.8	39.5	62.8	69.8	58.1	9.3	2.3	
いつ結婚するのかわかれた	113	61	46	70	79	68	9	1	
	100.0	54.0	40.7	61.9	69.9	60.2	8.0	0.9	
1 D V 身体的暴力の有無	何度もあった	20	12	7	13	12	12	2	1
		100.0	60.0	35.0	65.0	60.0	60.0	10.0	5.0
	1~2度あった	67	26	19	29	35	28	4	4
2 D V 精神的暴力の有無	何度もあった	110	50	36	58	55	54	5	3
		100.0	45.5	32.7	52.7	50.0	49.1	4.5	2.7
	1~2度あった	714	333	246	479	512	396	25	20
3 D V 性的暴力の有無	何度もあった	21	12	8	11	9	11	1	2
		100.0	57.1	38.1	52.4	42.9	52.4	4.8	9.5
	1~2度あった	41	24	15	22	22	24	1	2
4 D V 経済的暴力の有無	何度もあった	100.0	58.5	36.6	53.7	53.7	58.5	2.4	4.9
		809	377	279	527	563	438	29	22
	1~2度あった	100.0	46.6	34.5	65.1	69.6	54.1	3.6	2.7
5 D V 社会的暴力の有無	何度もあった	26	14	11	14	14	15	1	1
		100.0	53.8	42.3	53.8	53.8	57.7	3.8	3.8
	1~2度あった	30	17	14	21	18	19	1	1
な ナーバ今 か ー ト つ が ま たい い	はい	819	384	279	529	562	443	29	23
		100.0	46.9	34.1	64.6	68.6	54.1	3.5	2.8
	いいえ	6	1	3	2	4	4	-	-
	100.0	16.7	50.0	33.3	66.7	66.7	-	-	



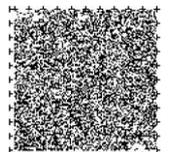
第7章 セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）について

問 24. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）を知っていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	25	16	12	1
		100.0	46.3	29.6	22.2	1.9
	30歳代	83	33	38	11	1
		100.0	39.8	45.8	13.3	1.2
	40歳代	114	49	36	25	4
		100.0	43.0	31.6	21.9	3.5
	50歳代	111	46	36	25	4
		100.0	41.4	32.4	22.5	3.6
	60歳代	160	50	70	33	7
		100.0	31.3	43.8	20.6	4.4
	70歳代	107	15	38	37	17
		100.0	14.0	35.5	34.6	15.9
	男性 10・20歳代	35	12	13	8	2
		100.0	34.3	37.1	22.9	5.7
30歳代		47	16	18	11	2
		100.0	34.0	38.3	23.4	4.3
40歳代		58	24	18	15	1
		100.0	41.4	31.0	25.9	1.7
50歳代		77	31	34	10	2
		100.0	40.3	44.2	13.0	2.6
60歳代	130	46	53	20	11	
	100.0	35.4	40.8	15.4	8.5	
70歳代	109	25	38	26	20	
	100.0	22.9	34.9	23.9	18.3	

問 25. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	社会全体で の教育や 啓発	学校等、子 どものこ ろからの教育 や啓発	性的少数 者に関する 相談や支 援の充実	社会制度 (法制度や 条例制定 等)の整備	社会環境 (トイレ等) の整備	わからない	特に必要 ない	その他	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	21	28	10	14	11	5	-	-	5
		100.0	38.9	51.9	18.5	25.9	20.4	9.3	-	-	9.3
	30歳代	83	37	42	20	23	14	5	-	-	5
		100.0	44.6	50.6	24.1	27.7	16.9	6.0	-	-	6.0
	40歳代	114	37	64	19	35	22	13	-	1	7
		100.0	32.5	56.1	16.7	30.7	19.3	11.4	-	0.9	6.1
	50歳代	111	56	34	24	36	8	16	-	-	12
		100.0	50.5	30.6	21.6	32.4	7.2	14.4	-	-	10.8
	60歳代	160	54	41	56	35	20	21	3	1	21
		100.0	33.8	25.6	35.0	21.9	12.5	13.1	1.9	0.6	13.1
	70歳代	107	29	19	30	18	10	16	2	-	29
		100.0	27.1	17.8	28.0	16.8	9.3	15.0	1.9	-	27.1
	男性 10・20歳代	35	18	13	9	6	7	3	1	-	4
		100.0	51.4	37.1	25.7	17.1	20.0	8.6	2.9	-	11.4
30歳代		47	18	16	15	8	5	10	1	2	2
		100.0	38.3	34.0	31.9	17.0	10.6	21.3	2.1	4.3	4.3
40歳代		58	28	27	15	15	7	5	2	1	2
		100.0	48.3	46.6	25.9	25.9	12.1	8.6	3.4	1.7	3.4
50歳代		77	34	23	20	17	7	9	6	1	5
		100.0	44.2	29.9	26.0	22.1	9.1	11.7	7.8	1.3	6.5
60歳代	130	36	37	31	39	9	23	3	2	20	
	100.0	27.7	28.5	23.8	30.0	6.9	17.7	2.3	1.5	15.4	
70歳代	109	34	29	28	23	8	19	4	1	19	
	100.0	31.2	26.6	25.7	21.1	7.3	17.4	3.7	0.9	17.4	



第8章 男女平等、男女共同参画などに関することについて

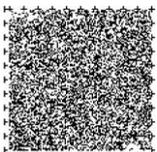
問 26. 次のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるのはどれですか。(ア) から (ク) のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

(ア) 男女共同参画社会基本法

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答	
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	16	28	9	1	
		100.0	29.6	51.9	16.7	1.9	
	30歳代	83	10	29	43	1	
		100.0	12.0	34.9	51.8	1.2	
	40歳代	114	6	47	59	2	
		100.0	5.3	41.2	51.8	1.8	
	50歳代	111	8	63	39	1	
		100.0	7.2	56.8	35.1	0.9	
	60歳代	160	14	81	53	12	
		100.0	8.8	50.6	33.1	7.5	
	70歳代	107	-	49	41	17	
		100.0	-	45.8	38.3	15.9	
	男 性	10・20歳代	35	9	19	6	1
			100.0	25.7	54.3	17.1	2.9
30歳代		47	3	22	21	1	
		100.0	6.4	46.8	44.7	2.1	
40歳代		58	9	17	30	2	
		100.0	15.5	29.3	51.7	3.4	
50歳代		77	9	35	30	3	
		100.0	11.7	45.5	39.0	3.9	
60歳代		130	20	63	36	11	
		100.0	15.4	48.5	27.7	8.5	
70歳代		109	8	57	33	11	
		100.0	7.3	52.3	30.3	10.1	

(イ) ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答	
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	2	9	42	1	
		100.0	3.7	16.7	77.8	1.9	
	30歳代	83	-	11	70	2	
		100.0	-	13.3	84.3	2.4	
	40歳代	114	1	19	92	2	
		100.0	0.9	16.7	80.7	1.8	
	50歳代	111	3	24	82	2	
		100.0	2.7	21.6	73.9	1.8	
	60歳代	160	1	31	114	14	
		100.0	0.6	19.4	71.3	8.8	
	70歳代	107	1	11	72	23	
		100.0	0.9	10.3	67.3	21.5	
	男 性	10・20歳代	35	-	9	25	1
			100.0	-	25.7	71.4	2.9
30歳代		47	2	3	41	1	
		100.0	4.3	6.4	87.2	2.1	
40歳代		58	2	7	47	2	
		100.0	3.4	12.1	81.0	3.4	
50歳代		77	3	18	52	4	
		100.0	3.9	23.4	67.5	5.2	
60歳代		130	2	40	78	10	
		100.0	1.5	30.8	60.0	7.7	
70歳代		109	1	26	68	14	
		100.0	0.9	23.9	62.4	12.8	

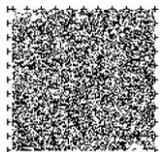


(ウ) 久留米市男女平等を進める条例

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	1	9	43	1
		100.0	1.9	16.7	79.6	1.9
	30歳代	83	2	26	52	3
		100.0	2.4	31.3	62.7	3.6
	40歳代	114	4	46	61	3
		100.0	3.5	40.4	53.5	2.6
	50歳代	111	4	46	60	1
		100.0	3.6	41.4	54.1	0.9
	60歳代	160	5	64	79	12
		100.0	3.1	40.0	49.4	7.5
	70歳代	107	1	30	53	23
		100.0	0.9	28.0	49.5	21.5
	男性 10・20歳代	35	-	6	28	1
		100.0	-	17.1	80.0	2.9
30歳代		47	1	12	33	1
		100.0	2.1	25.5	70.2	2.1
40歳代		58	3	15	39	1
		100.0	5.2	25.9	67.2	1.7
50歳代		77	2	25	46	4
	100.0	2.6	32.5	59.7	5.2	
60歳代	130	7	54	59	10	
	100.0	5.4	41.5	45.4	7.7	
70歳代	109	4	39	54	12	
	100.0	3.7	35.8	49.5	11.0	

(エ) 久留米市男女共同参画行動計画

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	1	10	42	1
		100.0	1.9	18.5	77.8	1.9
	30歳代	83	-	18	63	2
		100.0	-	21.7	75.9	2.4
	40歳代	114	4	42	67	1
		100.0	3.5	36.8	58.8	0.9
	50歳代	111	3	50	57	1
		100.0	2.7	45.0	51.4	0.9
	60歳代	160	5	54	89	12
		100.0	3.1	33.8	55.6	7.5
	70歳代	107	1	32	55	19
		100.0	0.9	29.9	51.4	17.8
	男性 10・20歳代	35	-	5	29	1
		100.0	-	14.3	82.9	2.9
30歳代		47	1	10	35	1
		100.0	2.1	21.3	74.5	2.1
40歳代		58	2	12	43	1
		100.0	3.4	20.7	74.1	1.7
50歳代		77	2	25	47	3
	100.0	2.6	32.5	61.0	3.9	
60歳代	130	9	51	58	12	
	100.0	6.9	39.2	44.6	9.2	
70歳代	109	3	36	58	12	
	100.0	2.8	33.0	53.2	11.0	

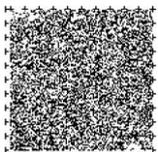


(オ) 男女平等推進委員（市の施策に関する男女平等の観点からの苦情の申出及び権利侵害に対する救済の申出について、必要な処理をするための市長の附属機関）

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	2	11	40	1
		100.0	3.7	20.4	74.1	1.9
	30歳代	83	2	30	49	2
		100.0	2.4	36.1	59.0	2.4
	40歳代	114	3	53	55	3
		100.0	2.6	46.5	48.2	2.6
	50歳代	111	4	47	59	1
		100.0	3.6	42.3	53.2	0.9
	60歳代	160	7	50	89	14
		100.0	4.4	31.3	55.6	8.8
	70歳代	107	2	23	60	22
		100.0	1.9	21.5	56.1	20.6
	男性 10・20歳代	35	1	11	22	1
		100.0	2.9	31.4	62.9	2.9
30歳代	47	-	10	36	1	
	100.0	-	21.3	76.6	2.1	
40歳代	58	1	16	39	2	
	100.0	1.7	27.6	67.2	3.4	
50歳代	77	1	23	50	3	
	100.0	1.3	29.9	64.9	3.9	
60歳代	130	6	50	63	11	
	100.0	4.6	38.5	48.5	8.5	
70歳代	109	3	25	69	12	
	100.0	2.8	22.9	63.3	11.0	

(カ) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答
性・ 年 代 別	女性 10・20歳代	54	3	16	34	1
		100.0	5.6	29.6	63.0	1.9
	30歳代	83	-	29	52	2
		100.0	-	34.9	62.7	2.4
	40歳代	114	3	25	83	3
		100.0	2.6	21.9	72.8	2.6
	50歳代	111	5	31	73	2
		100.0	4.5	27.9	65.8	1.8
	60歳代	160	2	40	105	13
		100.0	1.3	25.0	65.6	8.1
	70歳代	107	1	20	65	21
		100.0	0.9	18.7	60.7	19.6
	男性 10・20歳代	35	5	7	22	1
		100.0	14.3	20.0	62.9	2.9
30歳代	47	1	14	31	1	
	100.0	2.1	29.8	66.0	2.1	
40歳代	58	1	16	39	2	
	100.0	1.7	27.6	67.2	3.4	
50歳代	77	1	26	46	4	
	100.0	1.3	33.8	59.7	5.2	
60歳代	130	7	45	68	10	
	100.0	5.4	34.6	52.3	7.7	
70歳代	109	1	30	66	12	
	100.0	0.9	27.5	60.6	11.0	

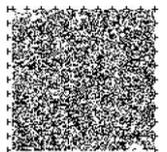


(キ) 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	2 3.7	7 13.0	43 79.6	2 3.7
	30歳代	83 100.0	-	14 16.9	67 80.7	2 2.4
	40歳代	114 100.0	2 1.8	16 14.0	94 82.5	2 1.8
	50歳代	111 100.0	2 1.8	30 27.0	76 68.5	3 2.7
	60歳代	160 100.0	4 2.5	35 21.9	108 67.5	13 8.1
	70歳代	107 100.0	1 0.9	17 15.9	68 63.6	21 19.6
	男性 10・20歳代	35 100.0	1 2.9	9 25.7	24 68.6	1 2.9
	30歳代	47 100.0	-	11 23.4	35 74.5	1 2.1
	40歳代	58 100.0	2 3.4	14 24.1	40 69.0	2 3.4
	50歳代	77 100.0	1 1.3	24 31.2	49 63.6	3 3.9
	60歳代	130 100.0	3 2.3	47 36.2	70 53.8	10 7.7
	70歳代	109 100.0	2 1.8	29 26.6	67 61.5	11 10.1

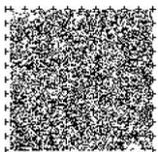
(ク) パープルリボン（女性に対する暴力根絶の象徴）

上段:実数 下段:%		全 体	内容まで知って いる	名前は聞いたこ とがある	知らない	無回答
性・年 代別	女性 10・20歳代	54 100.0	2 3.7	10 18.5	41 75.9	1 1.9
	30歳代	83 100.0	7 8.4	19 22.9	55 66.3	2 2.4
	40歳代	114 100.0	5 4.4	33 28.9	74 64.9	2 1.8
	50歳代	111 100.0	2 1.8	32 28.8	75 67.6	2 1.8
	60歳代	160 100.0	7 4.4	38 23.8	101 63.1	14 8.8
	70歳代	107 100.0	-	21 19.6	66 61.7	20 18.7
	男性 10・20歳代	35 100.0	1 2.9	12 34.3	21 60.0	1 2.9
	30歳代	47 100.0	2 4.3	9 19.1	35 74.5	1 2.1
	40歳代	58 100.0	2 3.4	22 37.9	32 55.2	2 3.4
	50歳代	77 100.0	2 2.6	19 24.7	52 67.5	4 5.2
	60歳代	130 100.0	5 3.8	37 28.5	79 60.8	9 6.9
	70歳代	109 100.0	1 0.9	19 17.4	78 71.6	11 10.1



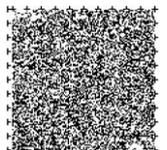
問 27. あなたは、久留米市の男女平等推進の拠点として男女平等に関する講座や相談などいろいろな事業を行っている「男女平等推進センター」（えーるピア久留米内）をご存じですか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	知っている	名前を見聞きしたことがある	知らない	無回答
性・年代別	女性 10・20歳代	54	7	12	34	1
		100.0	13.0	22.2	63.0	1.9
	30歳代	83	14	25	43	1
		100.0	16.9	30.1	51.8	1.2
	40歳代	114	23	41	50	-
		100.0	20.2	36.0	43.9	-
	50歳代	111	26	34	51	-
		100.0	23.4	30.6	45.9	-
	60歳代	160	37	40	78	5
		100.0	23.1	25.0	48.8	3.1
	70歳代	107	26	32	44	5
		100.0	24.3	29.9	41.1	4.7
	男性 10・20歳代	35	6	6	22	1
		100.0	17.1	17.1	62.9	2.9
30歳代		47	6	7	33	1
		100.0	12.8	14.9	70.2	2.1
40歳代		58	12	10	36	-
		100.0	20.7	17.2	62.1	-
50歳代		77	11	24	41	1
	100.0	14.3	31.2	53.2	1.3	
60歳代	130	31	28	65	6	
	100.0	23.8	21.5	50.0	4.6	
70歳代	109	20	24	60	5	
	100.0	18.3	22.0	55.0	4.6	
居住地別	東部A	61	11	25	23	2
		100.0	18.0	41.0	37.7	3.3
	東部B	135	28	27	78	2
		100.0	20.7	20.0	57.8	1.5
	北部A	67	13	20	31	3
		100.0	19.4	29.9	46.3	4.5
	北部B	138	22	36	77	3
		100.0	15.9	26.1	55.8	2.2
	中央東部	95	25	28	40	2
		100.0	26.3	29.5	42.1	2.1
	南東部	61	8	15	36	2
		100.0	13.1	24.6	59.0	3.3
	中央部	91	23	23	43	2
		100.0	25.3	25.3	47.3	2.2
	中央南部	112	29	26	57	-
		100.0	25.9	23.2	50.9	-
	南西部	57	18	14	25	-
		100.0	31.6	24.6	43.9	-
西部A	101	13	31	53	4	
	100.0	12.9	30.7	52.5	4.0	
西部B	112	23	27	58	4	
	100.0	20.5	24.1	51.8	3.6	



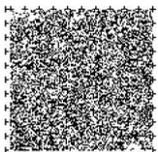
問 28. あなたは、これまでに男女平等推進センターを利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%		全 体	毎週1回以上利 用している	月に1~3回程 度利用している	年に数回利用し ている	今まで数回利 用したことがあ る	利用したことは ない	無回答	
性・ 年代別	女性 10・20歳代	54 100.0	-	-	-	2 3.7	51 94.4	1 1.9	
	30歳代	83 100.0	-	-	2 2.4	5 6.0	75 90.4	1 1.2	
	40歳代	114 100.0	-	-	-	13 11.4	101 88.6	-	
	50歳代	111 100.0	-	-	-	10 9.0	100 90.1	1 0.9	
	60歳代	160 100.0	1 0.6	-	3 1.9	9 5.6	143 89.4	4 2.5	
	70歳代	107 100.0	-	-	1 0.9	6 5.6	93 86.9	7 6.5	
	男性 10・20歳代	35 100.0	-	-	-	-	34 97.1	1 2.9	
	30歳代	47 100.0	-	-	1 2.1	1 2.1	44 93.6	1 2.1	
	40歳代	58 100.0	-	1 1.7	2 3.4	3 5.2	52 89.7	-	
	50歳代	77 100.0	-	-	-	2 2.6	73 94.8	2 2.6	
	60歳代	130 100.0	1 0.8	-	-	8 6.2	115 88.5	6 4.6	
	70歳代	109 100.0	-	-	-	5 4.6	99 90.8	5 4.6	
	居 住 地 域 別	東部A	61 100.0	-	-	-	5 8.2	55 90.2	1 1.6
		東部B	135 100.0	-	-	2 1.5	8 5.9	120 88.9	5 3.7
北部A		67 100.0	-	-	1 1.5	3 4.5	60 89.6	3 4.5	
北部B		138 100.0	-	-	1 0.7	9 6.5	125 90.6	3 2.2	
中央東部		95 100.0	1 1.1	-	2 2.1	7 7.4	82 86.3	3 3.2	
南東部		61 100.0	-	-	-	2 3.3	56 91.8	3 4.9	
中央部		91 100.0	-	1 1.1	-	6 6.6	82 90.1	2 2.2	
中央南部		112 100.0	-	-	2 1.8	8 7.1	102 91.1	-	
南西部		57 100.0	1 1.8	-	-	2 3.5	54 94.7	-	
西部A		101 100.0	-	-	1 1.0	4 4.0	92 91.1	4 4.0	
西部B		112 100.0	-	-	-	7 6.3	102 91.1	3 2.7	



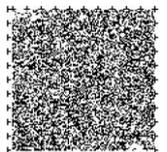
問 29. あなたは今後、男女平等推進センターでどのような事業を充実してほしいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

上段:実数 下段:%	全 体	男女平等について学ぶ講座	女性労働問題に関する講座	職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援	女性の起業を支援する講座	男女共同参画推進のための調査・研究	図書情報ステーションの充実	DVやセクシュアル・ハラスメントなどの女性の様々な悩みについての相談	女性の労働問題などについての相談	提供に関する啓発・情報提供	関係する若者向けの啓発・情報提供	自主的な活動や研究を行っている市民グループなどへの支援	男性に対する男女平等に関する啓発・情報提供	女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座	その他	特になし	無回答
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
女性 10・20歳代	54	8	9	14	9	4	3	16	12	11	4	13	8	1	6	2	
	100.0	14.8	16.7	25.9	16.7	7.4	5.6	29.6	22.2	20.4	7.4	24.1	14.8	1.9	11.1	3.7	
30歳代	83	9	13	31	15	7	4	21	17	9	12	13	26	3	9	2	
	100.0	10.8	15.7	37.3	18.1	8.4	4.8	25.3	20.5	10.8	14.5	15.7	31.3	3.6	10.8	2.4	
40歳代	114	25	17	42	27	6	8	36	29	22	8	19	22	2	11	1	
	100.0	21.9	14.9	36.8	23.7	5.3	7.0	31.6	25.4	19.3	7.0	16.7	19.3	1.8	9.6	0.9	
50歳代	111	20	19	40	15	10	6	24	22	11	7	19	19	1	23	5	
	100.0	18.0	17.1	36.0	13.5	9.0	5.4	21.6	19.8	9.9	6.3	17.1	17.1	0.9	20.7	4.5	
60歳代	160	25	29	57	13	17	13	33	28	17	17	23	32	5	20	19	
	100.0	15.6	18.1	35.6	8.1	10.6	8.1	20.6	17.5	10.6	10.6	14.4	20.0	3.1	12.5	11.9	
70歳代	107	27	13	26	11	9	4	11	12	9	9	15	25	1	17	22	
	100.0	25.2	12.1	24.3	10.3	8.4	3.7	10.3	11.2	8.4	8.4	14.0	23.4	0.9	15.9	20.6	
男性 10・20歳代	35	10	4	10	4	7	3	3	6	4	2	2	-	-	10	2	
	100.0	28.6	11.4	28.6	11.4	20.0	8.6	8.6	17.1	11.4	5.7	5.7	-	-	28.6	5.7	
30歳代	47	11	6	5	8	4	-	16	5	7	4	5	1	1	15	4	
	100.0	23.4	12.8	10.6	17.0	8.5	-	34.0	10.6	14.9	8.5	10.6	2.1	2.1	31.9	8.5	
40歳代	58	16	10	12	5	9	2	12	9	6	7	13	7	3	11	3	
	100.0	27.6	17.2	20.7	8.6	15.5	3.4	20.7	15.5	10.3	12.1	22.4	12.1	5.2	19.0	5.2	
50歳代	77	21	12	15	7	8	5	18	13	12	4	11	4	3	13	5	
	100.0	27.3	15.6	19.5	9.1	10.4	6.5	23.4	16.9	15.6	5.2	14.3	5.2	3.9	16.9	6.5	
60歳代	130	29	16	41	12	26	1	22	30	11	16	22	13	2	25	17	
	100.0	22.3	12.3	31.5	9.2	20.0	0.8	16.9	23.1	8.5	12.3	16.9	10.0	1.5	19.2	13.1	
70歳代	109	39	12	30	14	25	3	17	17	14	17	20	10	2	13	12	
	100.0	35.8	11.0	27.5	12.8	22.9	2.8	15.6	15.6	12.8	15.6	18.3	9.2	1.8	11.9	11.0	

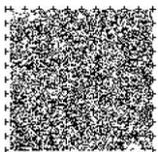


問 30. あなたは、男女平等をより一層進めるために、市に対してどのような取り組みを望みますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

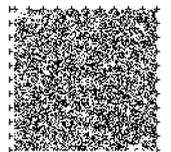
上段:実数 下段:%	全体	増やす 審議会など行政の政策・方針を決定する場に女性の参画を	促進する 行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用を	育成する 各種団体の女性のリーダーを	性暴力被害者支援のための取り組みを強化する	広報紙やパンフレットなどで、男女平等について啓発を強化する	男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する	保育所・幼稚園や学校における男女平等教育を充実させる	地域で男女平等をすすめる生涯学習の機会や場を増やす	女性の再就職・起業・資格取得のための職業教育・訓練の機会を提供する	
											1
性・年代別	女性 10・20歳代	54	11	9	4	7	3	23	10	4	16
		100.0	20.4	16.7	7.4	13.0	5.6	42.6	18.5	7.4	29.6
	30歳代	83	6	15	7	10	5	29	13	8	30
		100.0	7.2	18.1	8.4	12.0	6.0	34.9	15.7	9.6	36.1
	40歳代	114	19	27	6	15	5	33	20	3	35
		100.0	16.7	23.7	5.3	13.2	4.4	28.9	17.5	2.6	30.7
	50歳代	111	20	13	10	9	11	34	10	7	31
		100.0	18.0	11.7	9.0	8.1	9.9	30.6	9.0	6.3	27.9
	60歳代	160	21	35	11	12	18	50	20	20	42
		100.0	13.1	21.9	6.9	7.5	11.3	31.3	12.5	12.5	26.3
	70歳代	107	15	22	10	5	10	21	5	17	15
		100.0	14.0	20.6	9.3	4.7	9.3	19.6	4.7	15.9	14.0
	男性 10・20歳代	35	7	8	6	6	4	9	2	3	4
		100.0	20.0	22.9	17.1	17.1	11.4	25.7	5.7	8.6	11.4
30歳代	47	9	14	4	6	3	6	9	2	11	
	100.0	19.1	29.8	8.5	12.8	6.4	12.8	19.1	4.3	23.4	
40歳代	58	12	9	8	6	3	13	8	7	12	
	100.0	20.7	15.5	13.8	10.3	5.2	22.4	13.8	12.1	20.7	
50歳代	77	7	23	9	13	6	17	6	10	18	
	100.0	9.1	29.9	11.7	16.9	7.8	22.1	7.8	13.0	23.4	
60歳代	130	19	39	22	10	12	18	7	24	31	
	100.0	14.6	30.0	16.9	7.7	9.2	13.8	5.4	18.5	23.8	
70歳代	109	35	29	26	4	19	13	14	14	14	
	100.0	32.1	26.6	23.9	3.7	17.4	11.9	12.8	12.8	12.8	
居住地域別	東部A	61	8	10	6	5	6	12	6	9	18
		100.0	13.1	16.4	9.8	8.2	9.8	19.7	9.8	14.8	29.5
	東部B	135	22	24	14	9	15	35	18	24	28
		100.0	16.3	17.8	10.4	6.7	11.1	25.9	13.3	17.8	20.7
	北部A	67	9	13	8	10	6	13	8	5	15
		100.0	13.4	19.4	11.9	14.9	9.0	19.4	11.9	7.5	22.4
	北部B	138	26	37	19	12	8	26	14	16	36
		100.0	18.8	26.8	13.8	8.7	5.8	18.8	10.1	11.6	26.1
	中央東部	95	14	22	6	13	12	23	9	12	19
		100.0	14.7	23.2	6.3	13.7	12.6	24.2	9.5	12.6	20.0
	南東部	61	9	18	5	6	3	16	10	4	16
		100.0	14.8	29.5	8.2	9.8	4.9	26.2	16.4	6.6	26.2
	中央部	91	15	21	13	3	10	24	13	5	22
		100.0	16.5	23.1	14.3	3.3	11.0	26.4	14.3	5.5	24.2
	中央南部	112	18	31	13	14	11	40	14	9	27
		100.0	16.1	27.7	11.6	12.5	9.8	35.7	12.5	8.0	24.1
南西部	57	4	10	6	6	4	16	8	5	16	
	100.0	7.0	17.5	10.5	10.5	7.0	28.1	14.0	8.8	28.1	
西部A	101	22	24	13	10	6	19	6	15	28	
	100.0	21.8	23.8	12.9	9.9	5.9	18.8	5.9	14.9	27.7	
西部B	112	21	21	17	11	13	26	9	14	25	
	100.0	18.8	18.8	15.2	9.8	11.6	23.2	8.0	12.5	22.3	

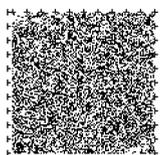


上段:実数 下段:%	どり扱い(仕事の内容・賞金など)について周知徹底をする	職場における男女の均等な取	条件整備を進める	育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための	保育所・児童保育所の整備、	高年齢者や障害者(児)の介護	者への支援策を充実する	ひとり親家庭や寡婦に対する支援策を充実する	外国人女性のための支援策を	男性相談窓口の設置など、男性への支援を充実させる	その他	特にな	無回答
女性 10・20歳代	14.8	42.6	7.4	22.2	-	9.3	-	5.6	3.7				
30歳代	15	39	9	10	1	4	2	9.9	1				
40歳代	18.1	47.0	10.8	12.0	1.2	4.8	2.4	10.8	1.2				
50歳代	20	43	28	23	3	3	4	4	-				
60歳代	17.5	37.7	24.6	20.2	2.6	2.6	3.5	3.5	-				
70歳代	24	38	36	10	2	2	1	11	2				
男性 10・20歳代	21.6	34.2	32.4	9.0	1.8	1.8	0.9	9.9	1.8				
30歳代	29	45	36	15	-	4	2	10	16				
40歳代	18.1	28.1	22.5	9.4	-	2.5	1.3	6.3	10.0				
50歳代	14	23	29	13	1	2	-	13	20				
60歳代	13.1	21.5	27.1	12.1	0.9	1.9	-	12.1	19.7				
70歳代	8	7	1	1	2	1	-	7	2				
男性 10・20歳代	22.9	20.0	2.9	2.9	5.7	2.9	-	20.0	5.7				
30歳代	8	10	7	6	1	4	2	7	3				
40歳代	17.0	21.3	14.9	12.8	2.1	8.5	4.3	14.9	6.4				
50歳代	12	13	15	6	2	3	3	8	3				
60歳代	20.7	22.4	25.9	10.3	3.4	5.2	5.2	13.8	5.2				
70歳代	13	21	14	6	2	2	2	8	5				
東部A	16.9	27.3	18.2	7.8	2.6	2.6	2.6	10.4	6.5				
東部B	21	39	28	13	4	4	1	13	13				
北部A	16.2	30.0	21.5	10.0	3.1	3.1	0.8	10.0	10.0				
北部B	16	25	23	9	4	8	1	8	10				
中央東部	14.7	22.9	21.1	8.3	3.7	7.3	0.9	7.3	9.2				
南東部	8	19	13	6	3	3	1	7	4				
中央部	13.1	31.1	21.3	9.8	4.9	4.9	1.6	11.5	6.6				
中央南部	22	39	30	15	1	7	1	13	12				
西部A	16.3	28.9	22.2	11.1	0.7	5.2	0.7	9.6	8.9				
西部B	11	17	11	9	2	2	1	10	7				
東部A	16.4	25.4	16.4	13.4	3.0	3.0	1.5	14.9	10.4				
東部B	23	44	31	12	4	2	2	13	9				
北部A	16.7	31.9	22.5	8.7	2.9	1.4	1.4	9.4	6.5				
北部B	13	31	19	15	2	7	1	9	7				
中央東部	13.7	32.6	20.0	15.8	2.1	7.4	1.1	9.5	7.4				
中央南部	10	12	11	4	2	2	2	10	4				
西部A	16.4	19.7	18.0	6.6	3.3	3.3	3.3	16.4	6.6				
西部B	21	28	19	7	1	8	4	7	6				
東部A	23.1	30.8	20.9	7.7	1.1	8.8	4.4	7.7	6.6				
東部B	20	35	24	14	1	2	2	4	7				
北部A	17.9	31.3	21.4	12.5	0.9	1.8	1.8	3.6	6.3				
北部B	10	21	15	8	2	-	1	3	3				
中央東部	17.5	36.8	26.3	14.0	3.5	-	1.8	5.3	5.3				
中央南部	17	27	23	5	1	3	-	6	12				
西部A	16.8	26.7	22.8	5.0	1.0	3.0	-	5.9	11.9				
西部B	22	35	20	12	1	3	2	14	7				
東部A	19.6	31.3	17.9	10.7	0.9	2.7	1.8	12.5	6.3				



V 調査票





V 調査票

久留米市 男女平等に関する市民意識調査

【ご記入にあたってのお願い】

- ◆ この調査は、あて名のご本人がお答えください。
ご本人による記入が難しい場合は、ご家族や第3者による代筆で、ご記入ください
- ◆ 質問番号の順に進んでください。矢印(→)のあるところは、矢印(→)に従って進んでください。
- ◆ 「問」で始まる質問は、全員におたずねする質問ですが、「問」の前に【】で一定の条件にあてはまる方のみにおたずねしている質問もあります。
また、「付問」は、前問で一定の条件にあてはまる方だけにおたずねするものです。その方のみお答えください。
- ◆ 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。お答えいただく○印の数は、「1つ」、「3つまで」など質問によって異なります。
お答えが「その他」の場合には、回答番号に○印をつけたうえで、その内容を具体的に()内に記入してください。また、番号やカタカナを回答枠内に記入する場合があります。
- ◆ 調査票の記入が終わりましたら、同封の「返信用封筒」に入れ、8月6日(火)までに投函してください。切手は不要です。
- ◆ 調査票には住所、氏名を記入する必要はありません。
お答えいただきました内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはなく、また、他の目的に使用したり、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。ぜひ、率直にお答えください。
- ◆ ご不明な点などがありましたら、お問い合わせください。

《問い合わせ先》

久留米市 協働推進部 男女平等政策課（市役所本庁舎9階）

受付時間：月曜～金曜 8時30分から17時15分

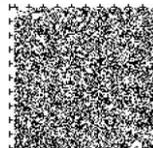
電話：0942-30-9044/Fax：0942-30-9703

令和元年 7月

久留米市制施行130周年



久留米市イメージキャラクター くろっば



◆男女平等に関する考え方についておたずねします

問1. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどのように思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

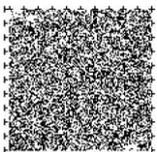
- 1. 同感する
- 2. ある程度同感する
- 3. あまり同感しない
- 4. 同感しない

問2. あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(ク)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び○印をつけてください。

	優遇されている 女性の方が	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	平 等	どちらかといえ ば男性の方が優 遇されている	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が
(ア) 家庭生活では					
(イ) 職場では					
(ウ) 学校教育の場では					
(エ) 地域活動・社会活動の場では					
(オ) 政治の場では					
(カ) 法律や制度のうえでは					
(キ) 社会の慣習・しきたりなどでは					
(ク) 社会全体では					

問3. 政治、行政、企業、地域などにおいて、政策・方針決定の過程に女性が進出していない理由は何だと思いませんか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

- 1. 男性優位の組織運営になっているから
- 2. 家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強いから
- 3. 女性をリーダーとして育てようとする社会風土が形成されていないから
- 4. 家族の支援・協力が得られないから
- 5. 家事・育児や介護に支障がでるから
- 6. 女性の能力開発の機会が不十分だから
- 7. 女性の積極性が十分でないから
- 8. その他（具体的に



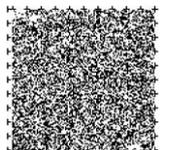
◆子育て、教育についておたずねします

問4. あなたは、子どものしつけや教育についてどのような考え方をお持ちですか。次の（ア）、（イ）のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び○印をつけてください。
※現在子育て中でない方も、お答えください。

	賛 成	い ど ち ら か と い え ば 賛 成	い ど ち ら か と い え ば 反 対	反 対
（ア）女の子も男の子も仕事もち、経済的に自立できるように育てる				
（イ）女の子も男の子も炊事、掃除、洗濯など生活していくために必要な技術を身につけるように育てる				

問5. これから、性別にかかわらず誰もが個性や能力を発揮できる社会にしていくために、あなたは、学校教育の場でどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 男女平等の意識を育てる授業を行う
2. 互いの性を尊重しあいながら、主体的に生きるための健康や性に関する指導を行う
3. 働くことや経済的自立についての大切さを教える
4. 家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える
5. 学校行事や学級活動などの役割を性別でなく個性と能力に応じて決める
6. 性の多様性を認めあう授業を行う
7. 性別にかかわらず能力をいかせるよう、生活指導や進路指導において配慮する
8. 保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等についての理解を促す
9. 管理職（校長や教頭）に女性を増やす
10. 教職員に対する男女平等や性の多様性を認めあう研修を行う
11. その他（具体的に _____)



◆仕事や家庭、ワーク・ライフ・バランスに関することがらについて おたずねします

※ワーク・ライフ・バランスとは

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。

【配偶者・パートナーと同居している方に】

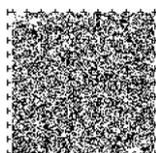
問6. あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。(ア)から(ケ)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

	主に妻が行っている	主に妻が行い、夫が一部を分担している	夫と妻が同じ程度に分担している	主に夫が行い、妻が一部を分担している	主に夫が行っている
(ア)生活費を得る					
(イ)炊事、掃除、洗濯などの家事をする					
(ウ)日々の家計を管理する					
(エ)育児、子どものしつけをする					
(オ)親などの世話(介護)をする					
(カ)自治会・町内会などの地域活動を行う					
(キ)保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する					
(ク)子どもの教育方針や進学目標を決める					
(ケ)高額の商品や土地・家屋の購入を決める					

また、あなたが、問6の(ア)から(ケ)までの家庭内の仕事について、配偶者・パートナーの方にもっとしてほしいことはどれですか。主なものを2つまで選び下の枠の中にカタカナを記入してください。

配偶者・パートナーにしてほしいこと……

--	--



問7. あなたは、次にあげるような活動を平日に1日平均して何時間くらいしていますか（日曜・休日などは含めない）。（ア）から（カ）のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

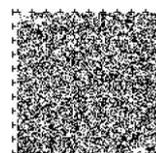
	していない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6～8時間未満	8時間以上	対象者がいない
(ア) 炊事、掃除、洗濯などの時間									
(イ) 育児などの時間									
(ウ) 介護などの時間									
(エ) 収入を得る仕事の時間 (通勤時間を含む)									
(オ) 睡眠時間									
(カ) 自分が自由に使える時間 (余暇・ボランティアなど)									

問8. 育児や家族の介護を行うために、法律に基づき育児休業・介護休業・子の看護休暇を取得できる制度があります。あなたは、男性がこの制度を活用することについて、どう思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 積極的に活用すべきである
2. なるべく活用すべきである
3. 活用しなくてもよい
4. わからない

問9. 女性の育児休業取得率は83.2%であるのに対し、男性の育児休業取得率は5.14%（厚生労働省：平成29年度雇用均等基本調査）となっています。あなたは男性の9割以上が育児休業等を取得しない（できない）理由は何かだと思いますか。あなたの考えに近いものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 周囲に取った男性がいないから
2. 職場に取りやすい雰囲気がないから
3. 仕事が忙しいから
4. 取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから
5. 取ると人事評価や昇給に悪い影響があるから
6. 経済的に困るから
7. 育児・介護は女性の方が担うものなので男性がとる必要はないから
8. その他（)
9. わからない



問 10. 男女がともに働き、介護と仕事を両立させていく環境を作るためにどのようなことが必要であると思いますか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 男女共に介護に参加できるような職場の意識の形成 | 4. 介護保険制度の周知 |
| 2. 介護休業期間中の経済的支援の充実 | 5. その他 |
| 3. 長時間労働の見直し | () |
| | 6. 特にない |

◆仕事についておたずねします

問 11. 現在、職種や勤務形態に関わらず、職業に就いている人にお尋ねします。

次にあげることがらの中で、現在のあなたの職場の女性にあてはまることがありますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

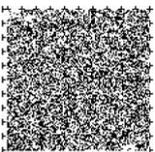
1. 採用人数等で差があり、女性は男性より採用されづらくなっている
2. 女性の昇進・昇格が遅い、または望めない
3. 同期に同年齢で入社した男性との賃金・給料の差がある
4. 女性の仕事を補助的業務に限っている
5. 女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある
6. 女性にはつけないポスト・職種がある
7. 女性は、同じポストの男性より、社内研修・教育訓練を受ける機会が少ない
8. 女性は、同じポストの男性より、出張・視察等の機会が少ない
9. 定年の年齢に男女差がある（慣行を含む）
10. 結婚や出産時に退職する慣行や退職を迫るような圧力がある。
11. 性別により家族手当、住居手当などがつかない、資金貸付や社宅に入居できないなど不利益がある
12. その他（具体的に)
13. 特にない

問 12. 現在、職業に就いていない人（家事に専念している主婦・主夫または無職等）にお尋ねします。

あなたは今後、職業に就きたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. すぐにでも職業につきたい
2. そのうち職業につくつもり
3. 職業につくつもりはない

付問 1 へ



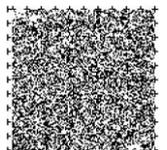
付問1. **【問12で1または2と答えた方に】**

現在、職業についていない理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件があう仕事がないから
2. 家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから
3. 働きたいが働く場所がないから
4. 健康や体力の面で不安があるから
5. 家族が働くことを望まないから
6. 今は、家事・育児・介護に専念したいから
7. その他（具体的に _____)

問13. 女性が職業をもち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 賃金の男女格差を改める
2. 昇進・昇格の男女格差を改める
3. 職能訓練や研修を行ったり、挑戦の機会を設けたりするなどの女性の能力向上を図る
4. 女性の能力を正當に評価し、積極的に管理職に登用する
5. 残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない
6. 結婚したり出産したりすると勤めにくいような慣習を改める
7. 育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する
8. 労働時間の短縮や在宅勤務などの普及など、多様な働き方の見直しを進める
9. 仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする
10. 女性が働くことについて、上司や同僚の認識を改める
11. 男性の家事・育児・介護等への参加を促すための啓発をする
12. 結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する
13. 求人・職業情報を積極的に提供する
14. 職業生活を続けていく上での相談窓口を充実する
15. 特に無い
16. その他（具体的に _____)



◆社会活動などへの参加・参画についておたずねします

問 14. ふだんの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の優先度についておたずねします。

(A) 希望と (B) 現実のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選び番号に○印をつけてください。 ※現在、職業についていない方は、考えをお答えください。

(A) 希望

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「地域・個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先
8. わからない

(B) 現実

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「地域・個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてをともに優先
8. わからない

問 15. あなたは現在、自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動などの地域活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

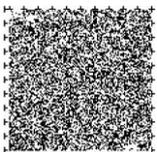
1. 参加している
2. 参加していない

↓ 付問1へ

付問 1. 【問 15 で「参加していない」と答えた方に】

その理由はなんですか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 活動するための施設が近くにないから
2. 地域活動に関心がないから
3. 地域で興味や関心の持てる活動が行われていないから
4. 地域活動に関する情報が少ないから
5. 仕事が忙しくて時間がないから
6. 家事・育児・介護などで忙しくて時間がないから
7. 経済的に余裕がないから
8. 家族の理解や協力が得られないから
9. 一緒に活動する仲間がいないから
10. 他人と一緒に活動するのがわずらわしいから
11. その他()



問 16. 地域活動（自治会・校区コミュニティ組織の活動や子ども会・ボランティア活動など）での男女の役割分担についておたずねします。

(1) 現状：地域活動の現状について（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

(2) 意識：今後はどうすべきだと思いますか。（ア）から（ク）のそれぞれについてあてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

	(1) 現状 1つ選び○印を つけてください			→	(2) 意識 1つ選び○印を つけてください		
	いる そう して	いない そう して	現状を 知らない		現状の ままで いい	改善 すべ き	わか らな い
(ア) 催し物の企画などは主に男性が決定している				→			
(イ) 地域活動は男性が取り仕切る				→			
(ウ) 地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている				→			
(エ) 地域の役員はほとんど男性になっている				→			
(オ) 地域での集会では男性が上座に座る				→			
(カ) 女性の発言が少ない				→			
(キ) 自治委員などの登録は男性(夫)だが、会議の出席は女性(妻)が出ることが多い				→			
(ク) 同じ作業に参加しても女性には出不足金※がある				→			

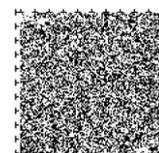
※出不足金・・・地域活動の作業で、女性が出た場合にその世帯からは不足金を徴収する地域のルール。

問 17. 自治会長や校区コミュニティ組織の会長、PTA会長などの地域の役職についておたずねします。女性の方は、もし、あなた自身が推薦されたら引き受けますか。男性の方は、妻などの身近な女性が推薦されたとしたら引き受けることをすすめますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 引き受ける（引き受けることをすすめる）

2. 断る（断ることをすすめる）

↓
付問 1へ



付問 1. 【問 17 で 2. 「断る (断ることをすすめる)」と答えた方に】

その理由は何ですか。あてはまるものを 1 つ選び番号に○印をつけてください。

1. 家族の協力が得られないから
2. 女性が役職につくことを快く思わない社会通念があるから
3. 家事・育児や介護に支障がでるから
4. 役職につく知識や経験がないから
5. 女性には向いていないから
6. 世間体がわるいから
7. その他 (具体的に)

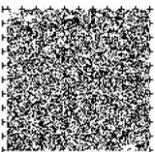
問 18. あなたは、地域活動における女性リーダーを増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを 2 つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 男性中心の社会通念や慣習を改めるための啓発活動を実施する
2. 女性のリーダーを養成するための講座やセミナーを開催する
3. 育児や介護を支援するための施策を充実させる
4. 家族が家事・育児を分担する
5. さまざまな立場の人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する
6. その他 (具体的に)
7. わからない

◆人権侵害についておたずねします

問 19. あなたが女性への人権侵害と思うものはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 痴漢や強制性交 (レイプ) などの性犯罪
2. セクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)
3. ドメスティック・バイオレンス:DV (夫・パートナーや恋人からの暴力)
4. ストーカー行為 (つきまとい行為)
5. 売春、買春、援助交際
6. 女性の働く風俗営業
7. 女性の容姿を競うコンテスト
8. 街なかや駅・電車など公共の場における性情報の氾濫
9. テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアにおける女性の性的描写
※ここでは、女性の性が商品として扱われ、女性を専ら性的・暴力行為の対象として捉えた表現を指します。
10. その他 (具体的に)



問 20. (1)、(2)のそれぞれについてあてはまるものをすべて選び○印をつけてください。

(1). (ア) から (コ) の中で、この5年間にあなた自身が受けた経験があるものはどれですか。経験があるものをすべて選び○印をつけてください。

(2). (ア) から (コ) の中で、あなたがセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)に該当すると思うものはどれですか。あてはまるものをすべて選び○印をつけてください。

	(1)	(2)
	経験がある	思う セクハラだと
(ア) じろじろ眺められたり、容姿を話題にされた		
(イ) 性的な関係を強要された		
(ウ) からだに触られた		
(エ) 食事などにしつこく誘われた		
(オ) 性的なジョークを言われたり、猥談 <small>わいだん</small> がかわされた		
(カ) 身体に関して不愉快になる言葉や冗談を言われた		
(キ) ノード写真やわいせつな本を見せられた		
(ク) 性的なうわさを流された		
(ケ) 宴席でお酌やデュエット、ダンスを強要された		
(コ) いつ結婚するのかわ言われた		

付問1及び付問2へ

付問1. 【問20(1)で「経験がある」と答えた方に】

その経験はどこで起きましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

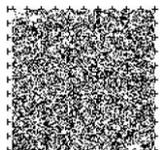
1. 職場で
2. 学校で
3. 地域で
4. 病院に入院・通院したとき
5. 福祉等の施設を利用したとき
6. スポーツや趣味の活動の場で
7. その他(具体的に)

付問2. 【問20(1)で「経験がある」と答えた方に】

その後、あなたはどのような行動を取りましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 相手に直接抗議した
2. 家族や友人に相談した
3. 職場の上司や学校の先生などに相談した
4. 公的な相談機関や警察に相談した
5. 弁護士など法律の専門職に相談した
6. その他(具体的に)
7. 相談しなかった

付問2-1へ



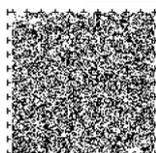
付問2-1. 【付問2で「7. 相談しなかった」と答えた方に】

相談しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. どこに相談していいか分からなかった
2. 人に知られたくなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると仕返しをされると思った
5. 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った
6. 恥ずかしいと思った
7. 世間体が悪いと思った
8. 他人を巻き込みたくなかった
9. 自分にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどではないと思った
11. セクハラだと思わなかったなので、何もしなかった
12. その他（具体的に _____）

問21. 次のことが配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中も含む）や交際相手の間で行われた場合、暴力だと思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○印をつけてください。

※項目ごとに横に見てお答えください。 (○印はそれぞれ1つずつ)	どんな場合でも 暴力にあたる	場合もある 場合もない	暴力にあたる 暴力には あたらない
(ア) 素手でたたく。殴る・蹴る・体を傷つける可能性のあるもので殴る			
(イ) 首を絞める			
(ウ) 相手に向かって物を投げつける			
(エ) 殴るふりやドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして脅す			
(オ) 何を言っても無視する			
(カ) 大声で怒鳴る			
(キ) 「誰のおかげで生活できるんだ」、「甲斐性無し」などと言う			
(ク) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する			
(ケ) 相手が嫌がっているのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる			
(コ) 避妊に協力しない			
(サ) 生活費など必要なお金を渡さない			
(シ) 生活費を必要以上に細かくチェックする			
(ス) 身内や友達との付き合いや外出を制限する			
(セ) 携帯電話やメール等通信履歴をチェックする			



問 22. あなたは、この5年間に配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中も含む）や交際相手から下表のような暴力を受けたことがありますか。1から5において、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び○印をつけてください。

	何 度 も あ っ た	あ っ た 1 〜 2 度	な か っ た	い ま ま で な か っ た が
1. 身体的暴力 (素手でたたく。殴る・蹴る。体を傷つける可能性のあるもので殴る。首を絞める。相手に向かって物を投げる)				
2. 精神的暴力 (殴るふりやドアを蹴ったり、壁に物を投げつけて脅す。何を言っても無視する。大声で怒鳴る。「誰のおかげで生活できているんだ」「甲斐性無し」などと言う。)				
3. 性的暴力 (望まない性行為を強要する、見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる。避妊に協力しない)				
4. 経済的暴力 (生活費など必要なお金を渡さない、生活費を細かくチェックする)				
5. 社会的暴力 (身内や友達とのつきあいや外出を禁止された、携帯電話のメールや通信履歴をチェックされた)				

付問 1 へ

付問 1. 【問 22 で 1 から 5 のいずれかの暴力を受けたことがあると答えた方に】

あなたはこれまでに、受けた行為について、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 相談した

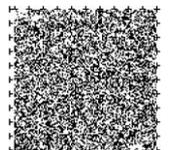
2. 相談しなかった（できなかった）

そのとき、だれ（どこ）に相談しましたか。
(○印はあてはまるものすべて)

1. 家族、親戚
2. 友人、知人
3. 警察・交番
4. 久留米市男女平等推進センター
5. 久留米市家庭子ども相談課
6. 4、5以外の公的な相談機関
7. 人権擁護委員、民生委員
8. 弁護士
9. 医師、カウンセラー
10. その他 ()

だれ（どこ）にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(○印はあてはまるものすべて)

1. どこに相談してよいかわからなかった
2. 人に知られなくなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると仕返しをされると思った
5. 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った
6. 恥ずかしいと思った
7. 世間体が悪いと思った
8. 他人を巻き込みたくなかった
9. 自分にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどではないと思った
11. その他 ()



問 23 あなたは、女性に対する暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

1. 暴力防止のための教育・啓発を推進する
2. 被害を受け悩んでいる人への情報を提供する
3. 被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する
4. 被害者を保護する体制を充実する
5. 被害者が自立して生活できるように支援する
6. その他（具体的に)

◆セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）についておたずねします

問 24. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）を知っていますか。あてはまるものを1つ 選び番号に○印をつけてください。

1. 内容まで知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

問 25. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権を守るためにどのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものを2つまで 選び番号に○印をつけてください。

1. 社会全体での教育や啓発
2. 学校等、子どものころからの教育や啓発
3. 性的少数者に関する相談や支援の充実
4. 社会制度（法制度や条例制定等）の整備
5. 社会環境（トイレ等）の整備
6. わからない
7. 特に必要ない
8. その他（具体的に)

<セクシュアル・マイノリティ>

LGBTQ（※）などの性的指向又は性自認における少数者を表す総称。

※LGBTQとは

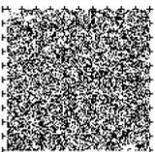
L：レズビアン 女性として女性が好きな人

G：ゲイ 男性として男性が好きな人

B：バイセクシュアル 性別に関わらず恋愛対象になる人

T：トランスジェンダー 産まれたときに割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人

Q：クエスチョニング 自分の性のあり方が何に当てはまるか決まっていない人



◆男女平等、男女共同参画などに関することについておたずねします

問 26. 次のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるのはどれですか。(ア) から (ク) のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び○印をつけてください。

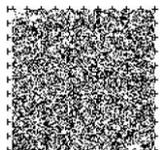
	知 つ て い る	内 容 ま で こ と が あ る	名 前 は 聞 い た	知 ら な い
(ア) 男女共同参画社会基本法				
(イ) ポジティブ・アクション (積極的格差是正措置)				
(ウ) 久留米市男女平等を進める条例				
(エ) 久留米市男女共同参画行動計画				
(オ) 男女平等推進委員 (市の施策に関する男女平等の観点からの苦情の申出及び権利侵害に対する救済の申出について、必要な処理をするための市長の附属機関)				
(カ) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)				
(キ) 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律				
(ク) パープルリボン (女性に対する暴力根絶の象徴)				

問 27. あなたは、久留米市の男女平等推進の拠点として男女平等に関する講座や相談などいろいろな事業を行っている「男女平等推進センター」(えーるピア久留米内)をご存じですか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

1. 知っている
2. 名前を見聞きしたことがある
3. 知らない

問 28. あなたは、これまでに男女平等推進センターを利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 毎週1回以上利用している | 4. 今まで数回利用したことがある |
| 2. 月に1～3回程度利用している | 5. 利用したことはない |
| 3. 年に数回利用している | |

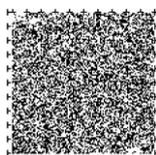


問 29. あなたは今後、男女平等推進センターでどのような事業を充実してほしいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 男女平等について学ぶ講座
2. 女性労働問題に関する講座
3. 職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援
4. 女性の起業を支援する講座
5. 男女共同参画推進のための調査・研究
6. 図書情報ステーションの充実
7. DVやセクシュアル・ハラスメントなどの女性の様々な悩みについての相談
8. 女性の労働問題などについての相談
9. 男女平等やデートDV防止に関する若者向けの啓発・情報提供
10. 自主的な活動や研究を行っている市民グループなどへの支援
11. 男性に対する男女平等に関する啓発・情報提供
12. 女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座
13. その他（具体的に _____)
14. 特にない

問 30. あなたは、男女平等をより一層進めるために、市に対してどのような取り組みを望みますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 審議会など行政の政策・方針を決定する場に女性の参画を増やす
2. 行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用を促進する
3. 各種団体の女性のリーダーを育成する
4. 性暴力被害者支援のための取り組みを強化する
5. 広報紙やパンフレット、講座などで、男女平等について啓発を強化する
6. 男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する
7. 保育所・幼稚園や学校における男女平等教育を充実させる
8. 地域で男女平等をすすめる生涯学習の機会や場を増やす
9. 女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する
10. 職場における男女の均等な取り扱い(仕事の内容・賃金など)について周知徹底をする
11. 保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める
12. 高齢者や障害者（児）の介護者への支援策を充実する
13. ひとり親家庭や寡婦に対する支援策を充実する
14. 外国人女性のための支援策を充実する
15. 男性相談窓口の設置など、男性への支援を充実させる
16. その他（具体的に _____)
17. 特にない



F 8. 現在の地域に住んでから何年になりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。(通算でお答えください)

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 3. 10年以上20年未満 | 5. 30年以上40年未満 |
| 2. 5年以上10年未満 | 4. 20年以上30年未満 | 6. 40年以上 |

最後に、男女共同参画社会づくりのためのご提案やご意見、要望などがありましたら、自由にご記入ください。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

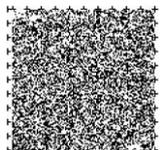
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、8月6日(火)までに投函してください。



みんなで取り組む
安全安心のまちづくり



セーフコミュニティ
国際認証都市
久留米市



第8回 久留米市

男女平等に関する市民意識調査 報告書

発行 久留米市 協働推進部 男女平等政策課
久留米市城南町1-5番地3

TEL 0942-30-9044

FAX 0942-30-9703

E-mail danjo@city.kurume.fukuoka.jp

